桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書（改修１）	A-61	１階建具配置図（改修前）	E-01	特記仕様書　建築電気設備１
A-02	特記仕様書（改修２）	A-62	１階建具配置図（改修後）	E-02	特記仕様書　建築電気設備２
A-03	特記仕様書（改修３）	A-63	２階建具配置図（改修前）	E-03	配置図
A-04	特記仕様書（改修４）	A-64	２階建具配置図（改修後）	E-04	電灯盤結線図(改修前後)
A-05	特記仕様書（改修５）	A-65	３階建具配置図（改修前）	E-05	２階 電灯コンセント設備平面図（改修前）
A-06	特記仕様書（改修６）	A-66	３階建具配置図（改修後）	E-06	２階 電灯設備平面図（改修後）
A-07	敷地案内図　配置図	A-67	４階建具配置図（改修前）	E-07	２階 コンセント設備平面図（改修後）
A-08	仕上表（改修前後１）	A-68	４階建具配置図（改修後）	E-08	２階 拡声・電気時計・テレビ共聴設備平面図（改修後）
A-09	仕上表（改修前後２）	A-69	建具表１	E-09	２階 弱電設備平面図（改修後）
A-10	１階平面図（改修前）	A-70	建具表２	E-10	２階 自動火災報知設備平面図（改修前後）
A-11	１階平面図（改修後）	A-71	建具表３	E-11	２階構内ＬＡＮ平面図（改修前後）
A-12	２階平面図（改修前）	A-72	建具表４	E-12	西側便所　幹線・電灯コンセント設備平面図（ 改修前後）
A-13	２階平面図（改修後）	A-73	建具表５	E-13	１ 階、３ 階、４ 階　自動火災報知・防火戸設備平面図（ 改修前後）
A-14	３階平面図（改修前）	A-74	建具表６	E-14	１ 階～ ４ 階　階段Ｂ 電灯設備設備平面図（ 改修前後）
A-15	３階平面図（改修後）	A-75	詳細図（１）		
A-16	４階平面図（改修前）	A-76	詳細図（２）		
A-17	４階平面図（改修後）	A-77	詳細図（３）	M-01	特記仕様書　建築機械設備１
A-18	Ｒ階平面図 断面図（改修前後）	A-78	１階家具キープラン	M-02	特記仕様書　建築機械設備２
A-19	立面図（改修前１）	A-79	２階家具キープラン	M-03	機械設備　給排水衛生設備　系統図（改修前）
A-20	立面図（改修後１）	A-80	３階家具キープラン	M-04	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟　配置図（改修前）
A-21	立面図（改修前２）	A-81	４階家具キープラン	M-05	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：１階平面図（改修前）
A-22	立面図（改修後２）	A-82	家具詳細図（１）	M-06	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：２階平面図（改修前）
A-23	矩計図１（改修前）	A-83	家具詳細図（２）	M-07	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：３階平面図（改修前）
A-24	矩計図１（改修後）	A-84	家具詳細図（３）	M-08	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：４階平面図（改修前）
A-25	矩計図２（改修前）	A-85	家具詳細図（４）	M-09	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：Ｒ階平面図（改修前）
A-26	矩計図２（改修後）	A-86	家具詳細図（撤去）	M-10	機械設備　給排水衛生設備　凡例・器具機器表（改修後）
A-27	階段Ｂ　平面詳細図　断面図（改修前）	A-87	黒板他詳細図（1）	M-11	機械設備　給排水衛生設備　系統図（改修後）
A-28	階段Ｂ　平面詳細図　断面図（改修後）	A-88	黒板他詳細図（2）	M-12	機械設備　給排水衛生設備　配置図（改修後）
A-29	階段Ｂ　展開図（改修前）	A-89	仮設図	M-13	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：１階平面図（改修後）
A-30	階段Ｂ　展開図（改修後）	A-90	外構図（改修前）	M-14	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：２階平面図（改修後）
A-31	２階　ほっとルーム　平面詳細図　展開図（改修前）	A-91	外構図（改修後）	M-15	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：３階平面図（改修後）
A-32	２階　ほっとルーム　平面詳細図　展開図（改修後）	A-92	屋上詳細図	M-16	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：４階平面図（改修後）
A-33	２階　普通教室・学習室　平面詳細図　展開図（改修前）			M-17	機械設備　給排水衛生設備　普通教室棟：Ｒ階平面図（改修後）
A-34	２階　普通教室・学習室　平面詳細図　展開図（改修後）			M-18	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟　生徒用便所：前室・平面詳細図（改修前）
A-35	２階　普通教室（3-2）　平面詳細図　展開図（改修前）			M-19	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟　生徒用便所：前室・平面詳細図（改修後）
A-36	２階　普通教室（3-2）　平面詳細図　展開図（改修後）			M-20	機械設備 給排水衛生設備 普通教室棟　廊下手洗い・昇降口平面詳細図（改修前・改修後）
A-37	２階　図書室　平面詳細図（改修前）			M-21	機械設備 給排水衛生設備 高架水槽：平面詳細図（参考）
A-38	２階　図書室　平面詳細図（改修後）			M-22	機械設備 空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修前）
A-39	２階　図書室　展開図（改修前）			M-23	機械設備 空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）
A-40	２階　図書室　展開図（改修後）			M-24	機械設備 換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修前）
A-41	３階　多目的ホール・部室　平面詳細図（改修前）			M-25	機械設備 空調・換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修前）
A-42	３階　多目的ホール　平面詳細図（改修後）			M-26	機械設備 換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修前）
A-43	３階　多目的ホール・部室　展開図（改修前）			M-27	機械設備 換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修前）
A-44	３階　多目的ホール　展開図（改修後）			M-28	機械設備 換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）
A-45	生徒用便所・前室　１　平面詳細図　展開図（改修前）			M-29	機械設備 空調・換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修後）
A-46	生徒用便所・前室　１　平面詳細図　展開図（改修後）			M-30	機械設備 換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修後）
A-47	２階廊下　展開図１（改修前）			M-31	機械設備 換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修後）
A-48	２階廊下　展開図１（改修後）				
A-49	２階廊下　展開図２（改修前）				
A-50	２階廊下　展開図２（改修後）				
A-51	昇降口棟　２・３階廊下　展開図（改修前）				
A-52	昇降口棟　２・３階廊下　展開図（改修後）				
A-53	１階天井伏図（改修前）				
A-54	１階天井伏図（改修後）				
A-55	２階天井伏図（改修前）				
A-56	２階天井伏図（改修後）				
A-57	３階天井伏図（改修前）				
A-58	３階天井伏図（改修後）				
A-59	４階天井伏図（改修前）				
A-60	４階天井伏図（改修後）				

藤川設計株式会社

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)特記仕様書

総　　則

工事概要　　1．工事場所　　四日市市　桜町　地内

2．工事種目　　外壁改修、内部改修、外構

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)(以下「標仕」という。)による。

2．特記仕様

（1）項目は、○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［．．］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（標．．）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

部分完成　⊙無　・有（　　）

部分引渡し　⊙無　・有（　　）

1)保険及び保証　⊙建設工事保険　（保険証の写しを提出）

⊙請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出）

（⊙管理財物担保特約に加入のこと）

・任意にて加入

2)建設共済等　下記の制度について加入すること。

⊙法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出）

⊙建設業退職金共済制度　当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。　共済証紙購入額　請負金額の 1/1000以上

なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする

・任意にて加入

※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項

資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。

章	項目	特記事項
1章 一般共通事項	① 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 4 年版） ※工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 5 年版）
	② 工事実績情報の登録	※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。　[1.1.4]
	③ 品質計画	※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※風速（Vo)＝34 m毎秒 地表面粗度　※Ⅲ(Zb=5 Zg=450 α=0.20)　・Ⅱ(Zb=5 Zg=350 α=0.15) 積雪区分　※30 cm　⊙40 cm
	④ 電気保安技術者	・適用する。　⊙適用しない。　[1.3.3] 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。
	⑤-1 週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和6年7月19日改正適用）に基づく適用は下記による。 ⊙週休2日制工事対象 ・週休2日制工事(受注者希望型)対象 ・週休2日制対象外工事（・工事の実働日数が30日未満の工事　・現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。 ※土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。） ⊙土日以外閉所 ※土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
	⑤-2 施工条件	[1.3.5] ・週休2日制対象外工事の現場閉所日については下記による。 ※土日閉所　・土日以外閉所 ⊙現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 ⊙工事用車両の駐車場及び資機材置場　※敷地内　・ ⊙工事着手前に周辺住民への工事説明会が開催される場合は資料作成等に協力すること。 ⊙施工作業時間は原則8:30～17:00とすること。清掃片付け等は18:00までとすること。 ⊙施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行うこと。 ⊙工事に関わる法令手続きは受注者にて行うこと。手続きに係る手数料は受注者の負担（道路占用許可申請における占用料は除く）とする。 ⊙仮囲い等について施設利用者等の安全上、使用上支障がないように計画し、維持管理に努めること。 ⊙工程計画については、関係者等と十分に調整を行った上で進めること。

	⊙資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。 ⊙大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること。 ⊙高さ10mを超える足場を60日以上設置する場合は、着手の30日前までに、設置届を所管官庁へ提出すること。 ⊙道路の汚損がないように努めると共に、汚損した場合は直ちに清掃を行うこと。 ⊙既設構造物を汚損した場合は、受注者負担にて補修等を行うこと。 ⊙工事により発生する残土や廃材、汚泥等は適切処理を行うこと。また、必要に応じて釜場を設け、敷地外への泥水の流出を防止すること。 ⊙学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。 ⊙振動、騒音、ほこりのでる作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣施設等と調整を行うこと。 ⊙現場における施工について、騒音により授業に影響が出る作業は、事前に学校と十分打合せを行うこと。原則は、休み時間等の授業時間外に行うこと。 ⊙工事期間中は、近隣住民の安全確保に努めること。 ⊙同一敷地内での別途工事について、協議に応じること。 ⊙外壁改修（南面以外）の現場着手は契約日以降可とする。 ⊙上記以外の工事の現場着手は、原則、7月17日午後（内部解体は7月18日）以降着手可とする。 ⊙現場作業は、足場解体、整理清掃片付けを含め、原則、8月28日までに完了すること。(工事担当確認後、8月29日よ事前使用開始)ただし、便所部分及び図書室は9月30日まで施工可能とする。(工事担当確認後、10月1日より事前使用開始) ⊙高さ5mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はフルハーネス型を使用すること。
⑥ 発生材の処理	・引渡しを要するもの（　　）　[1.3.12] ・特別管理産業廃棄物　※無　・有（　　）　処理方法（　　） ・特定建設資材の搬出 再資源化等を行う（再資源化が困難な場合には縮減） ・特定建設資材以外の搬出　・構外搬出適正処理 ※廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録（電子マニフェスト）により確認を行う場合は、この限りではない。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
⑦ 交通安全管理	交通誘導員　※配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　⊙配置しない　[1.3.9] ・交通誘導警備員Ａ　※交通誘導警備員Ｂ
⑧ 建築材料等	※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ・品質及び性能を試験により証明を求める材料は以下の物とする。　[1.4.5] （　　）
⑨ 化学物質を発散する建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1) から 5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル，集成材、単板積層材、パーティクルボード、ＭＤＦ、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)及び 4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥo規格品 ④旧ＪＡＳのＦco規格品
⑩ 特別な材料の工法	改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪ 石綿含有建材の調査	事前調査（有資格者）　※行う　・行わない　[1.5.1] 調査結果報告書等の貸与　⊙有　・無 分析調査　・行う（対象箇所：　　）　※行わない ※定性分析　・定量分析 ※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※事前調査及び分析調査は、それぞれ厚生労働大臣が定めるものが行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。
⑫ 技能士	※適用する　⊙適用しない　[1.7.2] ・鉄筋施工　・型枠施工　・鉄工　・塗装　・左官 ※防水施工　・建築大工　・サッシ施工　・内装仕上げ施工
⑬ 化学物質の濃度測定	施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン　[1.7.10] エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。 測定は、パッシブ型採集機器により行う。 着工前測定　⊙行う　・行わない 測定対象室　・図示　⊙図書室、ほっとルーム 測定箇所数　・図示　⊙2か所 採取方法　⊙文部科学省の定めるところによる。　・ 報告書の様式　濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり 1.工事名　2.測定年月日　3.天候　4.測定前の換気及び閉鎖時間 5.測定時間　6.室名と測定時間　7.測定器具 8.化学物質採取方法　9.分析装置
⑭ 完成図	・提出する　※提出しない　[1.9.1～3] 種類　※改修標仕 表1.9.1による　・ ・配置図及び案内図　・各階平面図 ・各立面図　・断面図 ・仕上表　・施工図 ・施工計画書　・ ※ＣＡＤデータの提出　※提出する　・提出しない ・保全に関する資料　提出部数　※１部　・ ・製本図面　提出部数　※1部　・2部　・3部
⑮ 記　録	工事記録については以下による。(A4版) ※工事着手前写真　１部 ※工程写真　各工程毎　１部 ※竣工写真　※内部、外部　２部 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。 ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。
⑯ 設備工事との取合い	施工範囲　※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
17 設計ＧＬ	※図示のベンチマーク（Ｂ.Ｍ）　mm　（現状地盤はＢ.Ｍ　mm）
⑱ 完成引渡し後の点検	かし期間は、別に定めた特約（責任施工による保証期間など）を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。 ⊙工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。
⑲ 随時検査	予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること
⑳ 施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。
21 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・建設副産物を搬出する際の計画 1.土砂500m3以上 2.コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・再生資材を利用する際の計画 1.土砂500m3以上　3.加熱アスファルト200t以上 2.砕石500t以上

※産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名　桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年11月	特記仕様書（改修１） 令和7年11月版	—	A-01 /

2章 仮設工事

① 足場その他

内部足場　種別　※きゃたつ、足場板等　・　[2.2.1]
外部足場　種別　※くさび緊結式（手すり先行工法）・　[2.2.1]
防護シートによる養生　・行わない
⊙行う　※１類　（・帆布製　※網地製）
騒音・粉じん等の対策　⊙行わない　・行う（・防音パネル　・防音シート）[2.1.3]
材料、撤去材等の運搬　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　[2.2.1][表2.2.1]

② 養生その他

既存部分の養生　※ビニルシート、合板等　・　[2.3.1]
固定家具等の移動　※行わない　・行う(図示)

③ 仮設間仕切り

（ａ）設置箇所　※図示　・　[2.3.2][表2.3.1]

種別	下　地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗　装
・Ａ種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　）		※無し
⊙Ｂ種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　）	厚さ　mm	・片面
・Ｃ種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	・合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	・片面フラシュ程度		・有り

④ 監督職員事務所

・設ける　規模等は以下による　・既存施設の一部を使用する　※設けない　[2.4.1]
（・規模　㎡程度　・仕上げ：床　、壁　、天井　程度）

⑤ 工事用水

構内既存の施設　※利用できる（・有償 ※無償）　・利用できない

⑥ 工事用電力

構内既存の施設　※利用できる（・有償 ※無償）　・利用できない

3章 防水改修工事

1 既存下地の補修及び処置

※図示による　[3.2.6]
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去　・する　・しない

2 アスファルト防水

[3.3.2～3][表3.1.1][表3.3.3～10]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別

アスファルトの種類　※3種　・　押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度)
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
改修用ドレン　※設ける（　箇所）※銅製　・鉛製　・設けない　[3.2.5]
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材
材質　※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）
厚さ（mm）　※35
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材
材質　※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
厚さ（mm）　※35
乾式保護材　製造所の仕様による・
防水保護のれんがの種類　※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック
保護コンクリート仕上り平たんさ種別　・ａ種　・ｂ種　・ｃ種　[3.3.5][8.1.4][表8.1.5]
仕上塗装（M4C,M3D,POD,PODI,M3DI,M4DI,工法）　※種類および使用量は製造所の仕様による
施工標識　※設ける　・設けない

3 改質アスファルトシート防水

[表3.1.1][3.4.2～3][表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別(厚さmm)	仕上げ塗料等

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材　※製造所の指定する製品
・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
施工標識　※設ける　・設けない

4 合成高分子系ルーフィングシート防水

[表3.1.1][3.5.2～3][表3.5.1～2]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別(厚さmm)	仕上げ塗料等

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
絶縁用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・　[3.5.2]
可塑剤移行防止用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・　[3.5.2]
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
機械固定工法に用いる断熱材　※次のいずれかによる　・
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
接着工法に用いる断熱材
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
・ポリエチレンフォーム断熱材
改修用ドレン　※設ける（　箇所）　・設けない
※製造所の指定する製品　・銅製　・鉛製
施工標識　※設ける　・設けない

⑤ 塗膜防水

[表3.1.1][3.6.2～3][表3.6.1～表3.6.2]

防水改修工法の種類	施　工　箇　所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等
図示	庇	X-2	有り

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去(L4X工法)　・除去する　[3.2.6]
脱気装置　⊙設けない　・設ける
施工標識　※設ける　⊙設けない

⑥ 保証期間

防水の保証期間は原則、表面仕上材塗替なしで10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。

⑦ シーリング

・シーリング充填工法　⊙シーリング再充填工法　[3.1.4][表3.1.2]
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2][表3.7.1]
※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする

施　工　箇　所	シーリング材の種類（記号）
外壁伸縮目地、打継目地・建具廻り	PU-2、MS-2
水廻り	SR-1(防カビ仕様)

シーリングの試験　※行わない　・行う（※簡易接着性試験　・引張接着性試験）

⑧ と　い

材質　・配管用鋼管　・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　⊙硬質ﾎﾟﾘ塩化ｶﾗｰﾋﾞﾆﾙ管(VP)　[3.8.2(1)]
とい受け金物　※SUS製　・亜鉛メッキ製
ルーフドレン　※JCW301(日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格)　・図示による　[3.8.2(1)]

9 アルミニウム製笠木

表面処理　・AB-1種　※BB-1種　[3.9.2]［表5.2.2］

4章 外壁改修工事

① 施工数量調査

調査範囲　・既存モルタル面　・躯体コンクリート面　⊙図示の範囲　[1.6.2]
調査内容　ひび割れ（0.2mm以上）の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、
漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
調査報告書の部数　※１部

② 改修工法の種類

[4.1.4～5]

外壁の種類	種　類	改　修　工　法
⊙コンクリート打放し仕上げ	・ひび割れ部	・樹脂注入工法・Ｕカットシール材充填工法・シール工法
	⊙欠損部	⊙充填工法
⊙モルタル塗り仕上げ	⊙ひび割れ部	⊙樹脂注入工法・Ｕカットシール材充填工法・シール工法
	・欠損部	・充填工法　・モルタル塗替え工法
	⊙浮き部	⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・タイル張り仕上げ	・ひび割れ部	・樹脂注入工法
	・欠損部	・タイル部分張替え工法　・タイル張替え工法
	・浮き部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
	・目地	・目地ひび割れ部改修工法　・伸縮調整目地改修工法
⊙塗り仕上げ	⊙薄付け仕上塗材塗り	・可とう形改修用仕上塗材塗り
	・厚付け仕上塗材塗り	・マスチック塗材塗り
	・複層仕上塗材塗り	・外壁用塗膜防水材塗り

③ ひび割れ部改修工法

⊙樹脂注入工法　(⊙モルタル面　⊙躯体コンクリート面)　[4.1.4][4.2.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(cc/m)	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
		・	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130　・	
		・	・	

注入材料　[4.2.4]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査（コア抜取り）　⊙行わない
※行う（抜取り部の補修方法：　）
・Ｕカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.6]
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系シーリング材
・可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填　※行う　・行わない
・シール工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.7]
シール材料　・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

④ 欠損部改修工法

※充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
充填材料　・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面　・コンクリート面　・ＣＢ面）
⊙エポキシ樹脂モルタル（　）
・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）

⑤ 浮き部改修工法

[4.1.4][4.3.11～16][表4.3.5～6]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数(本/m²) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/m²) 一般部	指定部	充てん量 注入量
⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・			※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※25ml
・アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	・25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※50ml

※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする
アンカーピン　[4.3.5]
材質　※ステンレス SUS304、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　・
注入口付アンカーピン　[4.3.5]
材質　※ステンレス SUS304、呼び径外径６mm

⑥ 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法　[4.5.4][表4.5.4～7]

工　法	処　理　範　囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上面全体　・	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体　・	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体　・	・欠損部改修工法
⊙水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

下地調整材　[4.3.5][4.5.4]
※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　・防水形仕上げ塗材主材を使用

⑦ 仕上塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法　[4.5.1][4.5.2][表4.5.1～2]

種　類	呼　び　名	仕　上　の　形　状
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・
	⊙防水形外装薄塗材Ｅ	⊙ゆず肌状　・凹凸状
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材ＣＥ	上塗材　・水系アクリル
	・複層塗材Ｅ	・水系アクリルシリコン
	・複層塗材ＲＥ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＣＥ	・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　・行う
・可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状　・さざ波状　※ゆず肌状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	上塗材　・アクリル　・ウレタン
		※シリコン　・ふっ素
		外観　・吹付　※ローラー
		仕上　※薄付け　・厚付け

⑧ 設計数量

外壁部位	種　類	工　法	数　量	備　考
⊙コンクリート打放し面	・ひび割れ	※Ｕカットシール材充填工法 ・	m	
	⊙欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・	14 箇所	100x100x30程度
⊙モルタル塗り仕上げ面	⊙ひび割れ	※Ｕカットシール材充填工法	m	
		⊙自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	28 m	
	・欠損部	※充填工法 ・	m	
	⊙浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・	33 ㎡	

※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。
尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。

5章 建具改修工事

① 改修工法

⊙かぶせ工法　⊙撤去工法（・引き抜き工法　⊙はつり工法）　[5.1.3]

2 見本の製作等

・建具見本の製作　・特殊な建具の仮組　[5.1.5]

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)

日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年11月	特記仕様書（改修２） 令和7年11月版	—	A-02 /

5章 建具改修工事

③ アルミニウム製建具

外部に面する建具（フロントサッシは除く） [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S－4	A－3	W－4	※ 70	※図示
⊙B種	S－5			・100	
・C種	S－6	A－4	W－5	・70 ・100 ・	

表面処理 ※BB-1種 ・BB-2種（※ﾌﾞﾛﾝｽﾞ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ） [5.2.4][表5.2.2]

内部建具 [5.2.4][表5.2.2]

表面処理 ※AC-1又はBB-1種 ・AC-2又はBB-2種（※ﾌﾞﾛﾝｽﾞ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

④ 網戸

防虫網 [5.2.3]

網の種別 ※ステンレス(SUS316)製 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製

形 式 ※可動式 ・固定式

⑤ 樹脂製建具

外部に面する建具（ﾌﾛﾝﾄｻｯｼは製造所の仕様による） [5.3.2][表5.3.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S－4	A－4	W－4	・ 70	※図示
・B種	S－5		W－5	・100	
・C種	S－6			・	

・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-1種 ・T-2種 [5.3.2][表5.3.2]

・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-4種 ・H-5種 [5.3.2][表5.3.3]

・H-6種 ・H-7種 ・H-8種

⑥ 鋼製建具

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5.4.2]

⑦ 鋼製軽量建具

品質規格 ※改修標仕表5.5.1による [5.5.2][5.5.4]

・製造所標準仕様による

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない

⑧ ステンレス製建具

表面仕上げ ※ＨＬ仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.2][5.6.4]

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [表5.4.1]

⑨ 木製建具

材料の含水率 [5.7.2][表5.7.1]

種別	加工及び組み立て時の含水率
※A種	１５%以下
・B種	１８%以下

⑩ 建具用金物

マスターキー ・製作する ⊙製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5.8.4]

モノロック ゴール（ ） 美和ロック（ ）

シリンダー箱錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）

シリンダー本締り錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）

ドアクローザー 大鳥機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

フロアヒンジ 大鳥機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

ヒンジクローザー 大鳥機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

押板、取手 ユニオン、DAIKEN

11 自動ドア開閉装置

開閉方法 ※引き戸 ・多機能トイレ用引き戸 [5.9.2～3][表5.9.1～6]

センサーの種類 ・光線センサー ・熱線センサー ・

12 自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※改修標仕5.10.3による [5.10.3][表5.10.1]

・製造所標準仕様による

13 重量シャッター

種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター [5.11.2][表5.11.1]

・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター

開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.11.2]

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]

形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.2]

シャッターケース(防火・防煙以外のもの) ・設ける ・設けない

危害防止機構 ・障害物感知装置（自動閉鎖型）

・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの

耐風圧性能（ ）N/㎡（一般重量・外壁用防火のもの）

14 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.12.2][表5.12.1]

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.12.3]

形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.12.4]

耐風圧性能（ ）N/㎡

15 その他のシャッター

・オーバーヘッドドア

・リンググリルシャッター

⑯ ガラス

種類・厚さ ※ 建具表による [5.14.2]

⑰ ガラスの留め材

種別(区分は図示による) [5.14.2]

※シーリング材(SR-1, ｼﾘｺｰﾝ系、9030G) ・ガスケット

18 ガラス用フィルム

品質は、JIS A5759による

※ガラス飛散防止フィルム 種類（・第２種 ・ ） 張り面（※内張 ・外張）

性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法）

② 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]

⊙下地モルタルとも(※図示の範囲 ・除去範囲全て)

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・図示

合成樹脂塗り床の除去 ⊙機械的除去工法 ・目荒工法

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.3.10][6.3.2]

※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ・行う ・行わない)

④ 木下地等

表面仕上げ程度 ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ仕上げ ⊙ｻﾝﾀﾞｰ仕上げ ・超自動機械かんな仕上げ [6.5.1]

木材の含水率 ※Ａ種 ・Ｂ種 [6.5.2][表6.5.3]

木材の品質 ※改修標仕6.5.2による ・市販品 [6.5.2][表6.5.4]

樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき

造作材 ※杉 ・松 ・ひのき

防腐防蟻処理等 ※行わない ・行う(箇所ー)

木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。

※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。

5 集成材等

集成材又は単板積層材の材質 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

品名	規格・品質	芯材の種類	施工箇所
・造作用集成材	※１等 ・２等	・たも ・なら ・しおじ	
・化粧ばり造作用集成材	※１等 ・２等	・単一針葉樹	
・化粧ばり構造用集成材			
・造作用単板積層材			
・直交集成材			

⑥ 接着剤

※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.3]

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤の [6.8.2][6.14.2]

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

7 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.8]

下張り用床板	※無し
	・有り ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・
床板	※単層フローリング(改修標仕6.11.2による)
	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	・縁甲板 ※ひのき

⑧ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋内（※19形 ・25形） 屋外（※25形 ・19形） [6.6.2][表6.6.1]

既存の埋込みインサート ⊙使用する ・使用しない [6.6.4]

あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ⊙行わない

耐震補強 ・行う（図示）

屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示

⑨ 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

⑩ ビニル床シート

工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所) [6.8.2～3]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※発泡層のないもの	※ＦＳ	・無地 ※マーブル柄	・2.5 ※2.0	
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地		
⊙防汚防滑			⊙2.0	廊下一部、便所

接着材 ※改修標仕表6.8.1による ・エポキシ樹脂系

11 ビニル床タイル [6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※単層ビニル床タイル	ＴＴ	※2.0	
・複層ビニル床タイル	ＦＴ	・	
・コンポジションビニル床タイル	ＫＴ	・	

接着材 ※改修標仕表6.8.1による ・エポキシ樹脂系

12 帯電防止ビニル床タイル [6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
※単層ビニル床タイル	※2.0	体積抵抗値 1.0x10⁹ Ω以下又は
・複層ビニル床タイル	・	漏えい抵抗値 1.0x10¹⁰ Ω以下
・コンポジションビニル床タイル	・	

13 誘導用及び注意喚起用床材

視覚障害者用床タイル [6.8.2]

種類	寸法(mm)	施工箇所
・塩化ビニル製	※300×300	
・レジンコンクリート製	・	
・磁器又はせっ器質タイル		

⑭ ビニル幅木

高さ（mm） ※60 ・75 ⊙100

15 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

種別	パイル形状	色柄等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物(標準品)	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーペット [6.9.2～3][表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性
・カットパイル	※５～７	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※４～６	・グリッパー工法	※３kv以下
・カット、ループパイル併用	・		

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.2]

パイル形状	種類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	施工箇所
・ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種	・		
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

・下敷き材 種類 ※第二種二号 厚さ 8.0mm

16 合成樹脂塗床 [6.10.3][表6.10.4～8]

・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）

・厚膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）

・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑）

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

17 フローリング張り [6.11.2～7][表6.11.1～7]

種別	樹種	工法	塗装	
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘止め工法	※塗装品	
・単層フローリング	・ひのき	（・A種・B種・C種）		
⊙フローリングブロック	⊙ぶな	⊙接着剤	⊙無塗装品	
・モザイクパーケット張り				

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

18 畳敷き

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ※Ｄ種（ＫＴ－Ⅲ） [6.12.2][表6.12.1]

19 せっこうボード その他ボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	無石綿 ※6 ・8 ・
・ロックウール化粧吸音板	DR	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃） ・12 ・ ）
		・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12(不燃) ・15 ・19 ・ ）
⊙せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ・9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無（下地張り用）
		化粧有（ﾄﾗﾊﾟｰﾁﾝ模様）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
⊙シージング石こうボード	GB-S	⊙12.5(不燃) ⊙9.5(準不燃)
⊙化粧せっこうボード	GB-D	・12.5(不燃) ⊙9.5（準不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	・9.5
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2
・パーティクルボード		
⊙化粧けい酸カルシウム板	0.8FK	※6

合板類、繊維板、パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない

6章 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁,床の改修範囲 [6.1.3]

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲

天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲

※既存のまま ・図示による範囲

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)

日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年11月	特記仕様書（改修３） 令和7年11月版	—	A-03 /

6章 内装改修工事

⑳ せっこうボードの目地処理

目地処理の種類等 [6.13.3][表6.13.5]

⊙継目処理工法　施工場所（ 壁塗装仕上げ面 ）

⊙突付け工法　施工場所（ 壁捨張り面、天井面、面台下地面 ）

・目透し工法　施工場所（ ）

21 壁紙張り

[6.14.3]

施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考
	※量産ｸﾛｽ ・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
		・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ ・Ａ種 ※Ｂ種 [表6.14.1]

コンクリート面の素地ごしらえ ・Ａ種 ※Ｂ種 [表6.14.2]

せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ ・Ａ種 ※Ｂ種 [表6.14.3]

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

22 ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ張り

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法(mm)	用途による区分		耐凍害性		色調		うわぐすり		役物	
				無	有	標準	特注	無釉	施釉	無	有
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・
		・屋内 ・屋外	・床 ・壁	※	・	※	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外装タイル ・ ）

内装タイル ・改良積上げ張り [6.16.3][表6.16.4]

※壁タイル接着剤張り [6.16.4][表6.16.6]

23 セルフレベリング

セルフレベリング材の種類 ・せっこう系 ※セメント系 [6.17.2][表6.17.1]

※厚み（ mm程度）

24 断熱材

(標仕19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種b	※一般部	※25	※ノンフロンのもの ・特定フロンを使用しないもの
	※３種b	・接地部分	※25	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分		ノンフロンタイプ ・HFCタイプ 難燃性・3級 ・2級 ・難燃材料相当品
		・一般部	※15	

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

25 フリーアクセスフロア

(標仕20.2.2)

施工箇所	仕上り高	耐震性能	耐荷重性能	表面仕上げ材
			・3000N	・帯電防止床タイル
			・5000N	・タイルカーペット

スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示

26 可動間仕切

(標仕20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式		※鋼板 (※0.6 ・0.8) ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・

遮音性 ・あり（ ） ・なし

27 移動間仕切り

操作方法 ・手動式 ・電動式 ・部分電動式 (標仕20.2.4)

パネル表面材（・ ） 遮音性（・ ）

パネル及び圧着装置の操作方法 （・ ）

㉘ トイレブース

パネル表面材 ※高圧メラミン樹脂系化粧板（アルミ製コナーエッジ付き） (標仕20.2.5)

・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き)

脚部 (ｽﾃﾝﾚｽ製) ※幅木タイプ ・脚金物タイプ

㉙ 階段滑り止め

材種 ※ステンレス製ビニルタイヤ入り ・ (標仕20.2.7)

寸法 ※幅 35mm ・ 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法

㉚ 黒板及びホワイトボード

(標仕20.2.9)

種類		寸法(mm)	色彩	備考
⊙黒板	※ホーロー		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・
	※焼付け		※緑 ・黒	
⊙ホワイトボード	※ホーロー		※白	

31 ブラインド

・既存再使用する（養生方法 ） [2.3.1][5.1.6]

・新設する (標仕20.2.14)

形式	種類	スラットの材種・幅(mm)	施工箇所
※横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金 ※25 ・	
・縦型	・１本操作コード ※２本操作コード	・アルミスラット ・80 ・クロススラット ・100	

32 ロールスクリーン

材種・品質（ ） (標仕20.2.15)

操作方法（ ）

㉝ カーテン

・既存再使用する（養生方法 ） [2.3.1][5.1.6]

⊙新設する (標仕20.2.16)

施工箇所	名称・品質	ひだの種別	形式
図示	暗幕カーテン、カーテン	・箱ひだ等 ⊙片ひだ	⊙片引 ⊙引分
		・箱ひだ等 ・片ひだ	・片引 ・引分

防炎加工 消防庁認定の ㋑ とする

カーテンレール ・アルミニウム製 ※ステンレス製 ※Ｃ型又はＤ型

カーテンきれ地のはぎれ ※半幅未満は使用しない ・一幅未満は使用しない

暗幕用カーテンの重なりは300mm以上とする。なお、重ねか所は下記による。

・両端 ・上部 ※召合わせ

㉞ 点検口

天井点検口 ※アルミニウム製 （※額縁タイプ ・目地タイプ ）

床点検口 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 受け枠(・)

35 流し台ユニット

種類	寸法	適用内容	規格・品質等
流し台	※1200 ・1500 ・	トラップ付	※優良住宅部品
コンロ台	※600 ・700 ・	バックガード付	

7章 塗装改修工事

① 材料一般

・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3]

・次の箇所を除き防火材料とする。（ ）

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

② 下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]

下地調整 [表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別
木部	・RA種 ※RB種 ・RC種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種
亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種 ・RC種
モルタル、せっこうプラスター面	・RA種 ※RB種 ・RC種
ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種 ・RC種

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4～6]

⊙行わない ・行う(補修範囲及び補修方法は図示)

③ 素地ごしらえ

素地ごしらえ [7.3.1～7] [表7.3.1～7]

素地面の種類	種別	備考
木部	⊙A種 ・ B種	不透明塗料塗りの場合はA種 透明塗料塗りの場合はB種
鉄鋼面	・A種 ・ B種 ※C種	8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、B種とする
亜鉛めっき面	⊙A種 ・ B種	
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・A種 ※B種	
ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面	・A種 ※B種	8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出形成ｾﾒﾝﾄ版面による
ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出形成ｾﾒﾝﾄ版面	・A種 ・ B種	
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	⊙A種 ※B種	せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法の場合はA種、それ以外の場合はB種

④ 錆止め塗料塗り

塗料種別 [7.4.2]

鉄鋼面 ※As種（ ） ・Bs種 ・Cs種 ・Ds種 ⊙Es種 [表7.4.1]

仕上げＥＰ－Ｇの場合 ・As種(　　) ※Bs種

亜鉛めっき鋼面 ※Az種 ⊙Bz種 [表7.4.2]

仕上げＥＰ－Ｇの場合 ・Az種(　　) ※Cz種

錆止め塗料塗り [表7.4.3～6]

鉄鋼面塗り替えの場合の種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種

亜鉛めっき面の塗りの種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種

亜鉛めっき面ＥＰ－Ｇ塗り替えの場合の種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種

新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種別 ※標仕18.3.3による

⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗り工法 [7.5.1～4][表7.5.1～3]

下地の種類	塗料種類	塗り工法
木部	※1種 ・2種	新規(屋外 ※Ａ種・Ｂ種 屋内 Ａ種※Ｂ種) 塗替え(※Ｂ種 ・)
鉄鋼面	※1種 ・2種	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき面	※1種 ・2種	※改修標仕7.5.4よる ・

6 クリアラッカー塗り(CL)

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.2]

塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.6.2][表7.6.1]

⑦ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ⊙RC種 [7.2.5～6]

塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.7.2][表7.7.1]

⑧ 耐候性塗料塗り（DP）

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.2][表7.2.1] ～ [7.2.7][表7.2.7]

・鉄鋼面 工法は、表7.8.1 [7.8.2][表7.8.1]

⊙亜鉛めっき面 工法は、表7.8.2 [7.8.3][表7.8.2]

上塗種別

・ JISK5659（１級） ふっ素系樹脂塗料

・ JISK5659（２級） シリコン系樹脂塗料

⊙ JISK5659（３級） ポリウレタン系樹脂塗料

⊙コンクリート面、押出成型セメント板面 [7.8.4][表7.8.3]

工法は、表7.8.3 種別は(・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2 ・C-1種 ・C-2種)

上塗種別

・ JISK5658 主要原料 ふっ素樹脂(1級)

・ JISK5658 主要原料 シリコーン樹脂(2級)

⊙ JISK5658 主要原料 ポリウレタン樹脂(3級)

⑨ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

[7.9.2～5][表7.9.1～4]

下地の種類	塗り工法
ｺﾝｸﾘｰﾄ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板、ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	新規(・Ａ種 ⊙Ｂ種) 塗替え(※Ｂ種 ・)
木部	新規(※Ａ種 ・) 塗替え(※Ｂ種 ・)
鉄鋼面	新規(・Ａ種 ・Ｂ種) 塗替え(※Ｂ種 ・)
亜鉛めっき鋼面	新規(※Ａ種 ・) 塗替え(※Ｂ種 ・)

塗替えの場合のシーラー ※改修標仕 7.9.2による ・行わない

⑩ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 [7.10.2][表7.10.1]

⑪ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

塗り工法の種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.11.2][表7.11.1]

塗料の種別 ※１液形 ・２液形

着色剤の種別 ・油性顔料着色剤 ・溶剤形顔料着色剤

12 ピグメントステイン塗り

木部 工法は改修標仕表7.12.1による [7.12.2][表7.12.1]

13 木材保護塗料塗り(WP)

工法 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.13.2][表7.13.1]

8章 耐震改修工事

① 鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	径
⊙ ＳＤ295	※ Ｄ16以下
・ ＳＤ345	※ Ｄ19以上

② 溶接金網

網目の形状 (※ 150x150 ・ 100x100 ・50×50) [8.2.2]

鉄線の径 (mm)（※ 6.0 ・3.2 ）

③ 鉄筋の材料試験

※JIS規格品については径の異なるごとに１ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 [8.2.3]

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)

日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年11月	特記仕様書（改修４） 令和7年11月版	—	A-04 /

8章 耐震改修工事

4 継手及び定着

鉄筋の継手方法 [8.3.4][表8.3.3]
・径Ｄ19㎜以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手
・重ね継手
継手位置　※標仕各部配筋参考図による　・図示 [8.3.4]
定着長さ　※改標仕[表8.3.4]による　・図示 [8.3.4][表8.3.4]

5 帯筋組立の形

※各部配筋参考図図1.1による　・図示 [8.3.4]

6 壁の配筋及び補強

※標仕各部配筋参考図４節による　・図示 [8.3.7]

7 ガス圧接

圧接部の確認試験 [8.3.8]
※超音波探傷試験　・引張試験

⑧ コンクリートの種類及び強度

コンクリートの種類　※普通コンクリート　・軽量コンクリート [8.1.3]

普通コンクリートの類別　※Ⅰ類　・Ⅱ類 [8.1.3][表8.1.1]
仕上りの平たんさ種別　・ａ種　・ｂ種　・ｃ種 [8.1.4][表8.1.5]
普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.4]

設計基準強度Ｆo	施 工 箇 所
※ 21 (N/mm^2)	2～4階便所
・	

軽量コンクリートの設計基準強度 [8.1.3～4][8.9.1～2][表8.9.1]

設計基準強度Ｆo (N/mm^2)	気乾単位容積質量 (t/m^3)	種　別	施 工 箇 所
※ 21 (N/mm)	※1.9程度	※１種	
・			

⑨ コンクリートの材料

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 [8.2.5][表8.2.3]
・高炉セメントＢ種　適用箇所（　　）
・フライアッシュセメントＢ種　適用箇所（　　）
・アルカリシリカ反応による区分　※Ａ
・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない

10 モルタル及びグラウト材

グラウト材　※無収縮グラウト材　（圧縮強度　45Ｎ/mm^{2}以上） [8.2.6][8.2.12]
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル)　マスターフロー540グラウト(BASFポゾリス)
ノンシュリンクライトグラウト(ＡＢＣ商会)　デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

柱底等の均しモルタル　※無収縮モルタル　・モルタル
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル)　マスターフロー870グラウト(BASFポゾリス)
ノンシュリンクライトグラウト(ＡＢＣ商会)　デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

⑪ 無筋コンクリート [8.11.1～3]

種　類	設計基準強度Ｆo (N/mm^2)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	1階便所床、外構

12 調合管理強度

構造体強度補正値（Ｓ） [8.2.5][表8.2.4]
（普通ポルトランドセメント）

打　設　期　間	補正値(N/mm^2)	備　考
2/25～7/ 7　9/ 7～11/22	3.0	
11/23～2/24	6.0	
7/ 8～9/ 6	6.0	暑中コンクリート

⑬ コンクリートの試験

※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。 [8.8.2～3]
20m^{3}以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20～50m^{3}の場合は任意の一車より試料を採取し、各３個供試体を作成する。
50m^{3}以上は 改修標仕8.8.3による。

14 型枠

打ち放し仕上げの種別 [8.7.8]

種　別	施　工　箇　所	
・Ａ 種		
※Ｂ 種		
・Ｃ 種		

外部に面するコンクリート打ち放し仕上げの打増し　・20　※図示 [8.7.8]

15 鉄骨製作工場

・監督職員の承諾する工場 [8.1.5]
・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場（下記認定グレード以上）
（・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ）
施工管理技術者　・配置する　・配置しない [8.1.6]

16 鉄骨工作図

※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による。 [8.13.2]

17 溶接管理技術者

・配置する　・配置しない [8.15.2]

18 鋼材

鋼材の材質、規格は下表による。 [8.2.8]

材　質	品名又は使用箇所	規　格
		※JISの規格品
		※JISの規格品
		※JISの規格品

19 高力ボルト

※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9]
径（　　）
すべり係数試験　・実施する　※実施しない [8.14.2]
試験方法（　　）、試験片の摩擦面の状態（　　）

20 鋼材の材料試験

※JIS規格品については種類の異なるごとに１ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 [8.2.13]

21 溶接施工

エンドタブの種類　※鋼製タブ [8.15.7]
代替タブを使用する場合は、セラミックスタブとし、以下の書類を提出し、監督職員の承諾を得ること。
・セラミックスタブの使用実績
・AW検定協議会の代替エンドタブ技量認定資格者または日本エンドタブ協会によるエンドタブ施工講習（溶接技能者・固形タブ・A級）修了者の資格証
・鉄骨製作工場における施工実績
エンドタブの切断　・行う（　　）　・行わない
スカラップ　※改良型スカラップ

22 溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う(9㎜以上)　・行わない [8.15.12]
試験箇所数　耐震ブレース　※改修標仕8.15.12による　・
その他　※標仕7.6.12(ｲ)による　・

23 錆止め塗料

・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種別は、下記とする。 [8.17.3]
・JIS K 5674
・DP塗装の場合　JIS K 5552 + JIS K 5551(2回)
耐火被覆材の接着する面の塗装　・行う　※行わない

24 耐火被覆材 [8.18.2～7]

種　別		所要性能及び適用構造部位
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・耐火板張り		
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火塗料		

25 既存コンクリート面の目荒し

適用範囲 [8.21.3][8.22.3]
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱、梁面　打継ぎ面又は接合面全体の３/４以上
※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の１/３程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ５～１０㎜で最大深さ１５㎜程度の凹部を施す

26 あと施工アンカーの材料

⊙金属拡張アンカー [8.2.4]
※接着系アンカー
接着剤の材質及びカプセルの種類　（ガラス管タイプ）
日本デコラックス（株）　ケミカルアンカーＲ、ＲＳタイプ
旭化成ジオテック（株）　ＡＲケミカルセッターＳＵＰＥＲ　ＬＬ　ＡＰ
日本ヒルティ(株)　ＨＶＵ-Ｇ／ＥＡ　もしくは同等品以上
接合筋の種類　※鉄筋コンクリート用棒鋼（Ｄ１６以上ＳＤ３４５）
・全ねじボルト

27 あと施工アンカーの施工

施工管理技術者　※置く　⊙置かない [8.12.2]

28 あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の探査 [8.12.4]
範囲　⊙あと施工アンカー施工部分全て　・図示
方法　・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。
・はつり出しによる
穿孔方法　・低騒音、低振動工法とする（工法については、監督員の承諾を得ること）

29 あと施工アンカーの確認試験

施工確認試験 [8.12.5][8.12.7]
※全数打音試験を行う.
・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする.場所については監督職員の指示による.

30 既存構造体との取り合い

グラウト材の品質管理 [8.21.9][8.22.7]
※圧縮強度試験を行う（3日,28日、封かん養生）
※コンシステンシー試験を行う.

9章 環境配慮改修工事

①一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
⊙アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。

石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
⊙石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
⊙事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。
⊙アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
⊙アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

②アスベスト含有建材の処理工事

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　⊙行わない [9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　⊙行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　⊙行わない
施工箇所及び工法　※図示

③アスベストの含有調査

分析による確認　・行う（下表による）　⊙行わない

材　料　名	調査方法	1材料あたりの試料数
	※定性分析(3　・　)	※定量分析(※3　・　)
	※定性分析(3　・　)	※定量分析(※3　・　)
	※定性分析(3　・　)	※定量分析(※3　・　)

④アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付材の有無　・有　⊙無 [9.1.3]
除去吹付材（　　）含有場所（　　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う

表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測　定　場　所	測　定　点　（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	1点	空気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点	(注)２
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	－
処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測　定　3	測定1，2，4，6，7，8	測　定　5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の負圧隔離養生　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。

処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)

日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年11月	特記仕様書（改修５） 令和7年11月版	—	A-05 /

9章　環境配慮改修工事

⑤ アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。

アスベスト含有仕上塗材の有無　⊙有　・無

除去仕上塗材（ 外装薄塗材E、ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 ）含有場所（ 外壁、ほっとﾙｰﾑ・階段室 ）

撤去の範囲　　・全面撤去　⊙図示による

除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）

・水洗い工法　⊙手工具ケレン工法

・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法

・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法

・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法

上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。

除去工法の試験施工　・行う　※行わない

作業場の隔離及び養生

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。

・隔離養生不要　・隔離養生必要(負圧不要)・その他（　　）

処分方法

⊙埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。

⊙中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥ アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　⊙有　・無　[9.1.4]

除去保温材（　設備図による　）含有場所（　設備図による　）

作業場の隔離　※行う　⊙行わない

・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。

・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑦ アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　[9.1.5]

除去成形板（　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ、ｹｲｶﾙ板　）含有場所（　図示　）

作業場の養生　・行う　⊙行わない

※石綿含有ケイカル板第一種の除去は、隔離養生（負圧不要）を行う

※その他成形板については、切断・穿孔・研磨等の作業を伴う場合は、隔離養生（負圧不要）を行う

処分方法

石綿含有石膏ボード

※管理型最終処分場で埋立処分する。

石綿含有石膏ボード以外

⊙埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。

⊙中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑧ 特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）

※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）

又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

個人情報取扱注意事項

個人情報の取り扱いに関する事項

（基本事項）

第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

（施工者の義務）

第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律大57号。以下「法」という。）67条に規定する義務を負う。

２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。

（秘密の保持）

第３　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。

２　乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。

３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（適正な管理）

第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。

３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。

４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。

（収集の制限）

第５　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

（再提供の禁止）

第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。

２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。

３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。

（複写、複製の禁止）

第７　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という）を複写し、又は複製してはならない。

（持ち出しの禁止）

第８　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。

２　甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。

３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。

（資料等の返還）

第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。

２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。

(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断

(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕

３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。

４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。

（研修・教育の実施）

第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。

（苦情の処理）

第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。

（定期報告及び事故発生時における報告）

第12　乙は、甲から個人情報の取扱の状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。

2　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

（監査及び検査）

第13　甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。

２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要な指示をすることができる。

（契約解除及び損害賠償）

第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

暴力団等不当介入に関する事項

１．契約の解除

四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務

（１）不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。

（２）契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。

（３）(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

障害者差別解消に関する事項

１．対応要領に沿った対応

（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。

（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。

２．対応指針に沿った対応

上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

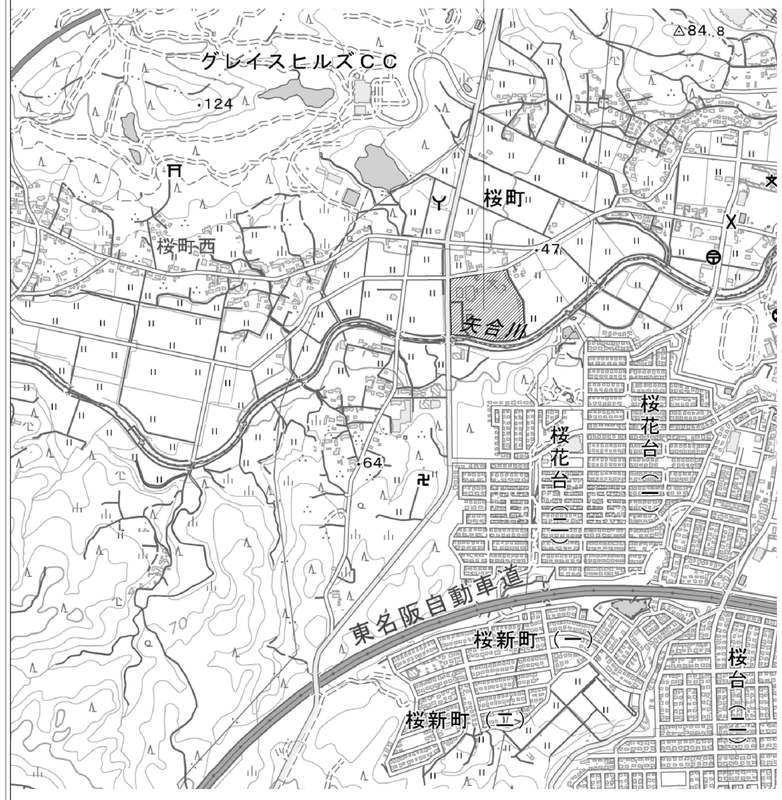
四日市市諏訪町１番５号

工事名

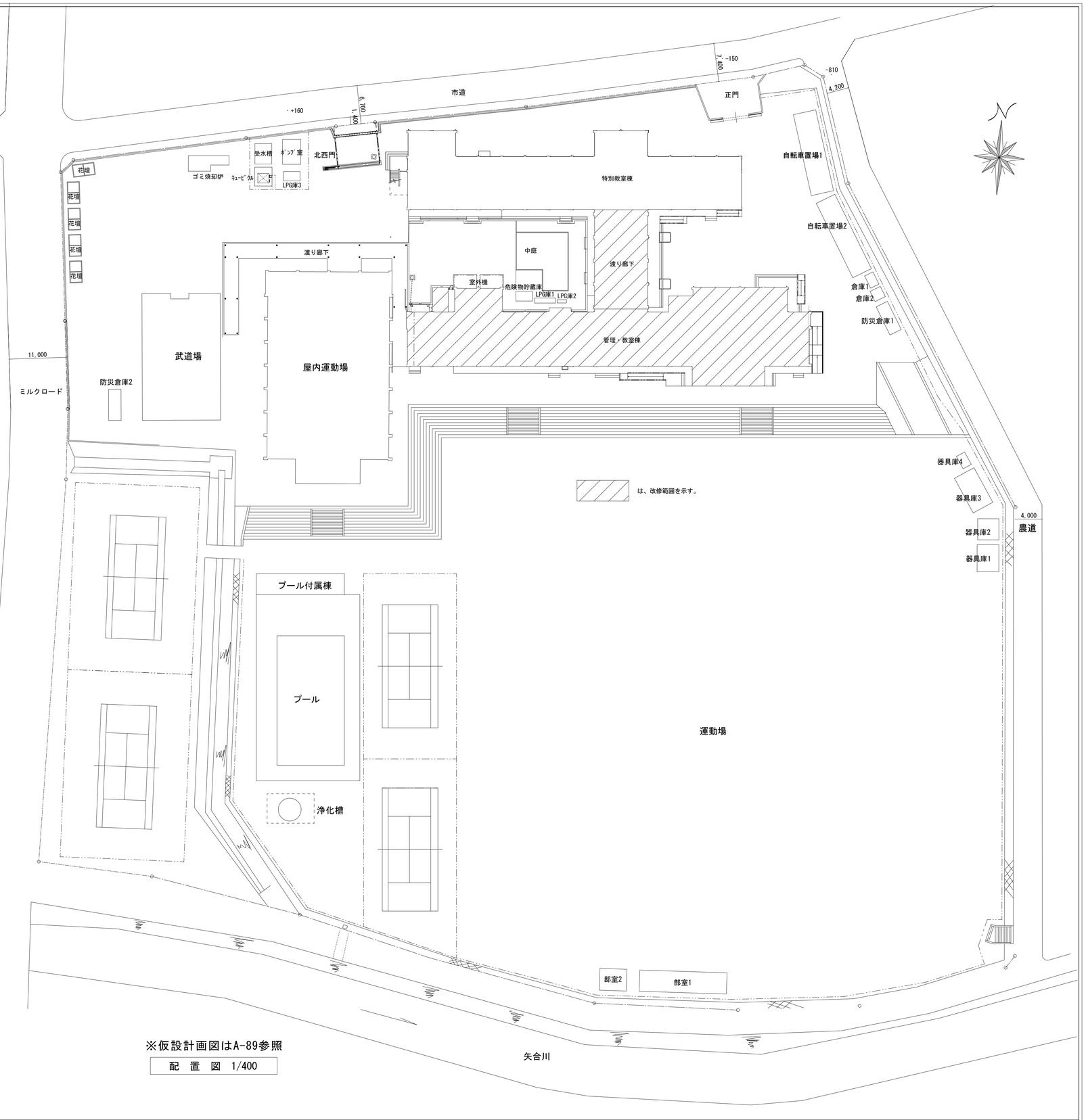
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)

日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年11月	特記仕様書（改修６） 令和7年11月版	—	A-06 /

工事場所　四日市市桜町　桜中学校



敷　地　案　内　図



※仮設計画図はA-89参照

配　置　図　1/400

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	敷地案内図　配置図	A1: 1:400 A3: 1:800	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	A－07
★	★	★						一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	

外部仕上表

管理・教室棟	校舎	屋根	改修前	平場、立上：改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水　笠木：ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水(X-2)
			改修後	平場、立上：［既設のまま］笠木：［既設のまま］
			改修前	パラペット見付：コンクリート打放外装薄塗材E
			改修後	パラペット見付：［水洗い+防水形外装薄塗材E(ローラー塗）塗替え］
		軒天	改修前	コンクリート打放
			改修後	［水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う。）+NAD塗替え］
	EV棟	屋根	改修前	ﾌｯｼ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.8折板葺 山高85程度 笠木：アルミ笠木
			改修後	［既設のまま］
		軒天	改修前	ﾌｯｼ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.8折板葺現し
			改修後	［既設のまま］
	職員室	屋根	改修前	平場、立上：改質アスファルト防水　見付：ALCﾊﾟﾈﾙt=100　防水+複層塗材E　笠木：アルミ笠木
			改修後	平場、立上：［既設のまま］見付：［水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え］目地シーリング（PU-2）［打替え］笠木：［既設のまま］
		軒天	改修前	ケイカル板t=6.0　AEP塗（一部有孔ケイカル板t=6.0）
			改修後	［水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う。）+NAD塗替え］
	男子更衣室	屋根	改修前	カラー鋼板葺 フッ素樹脂
			改修後	［水洗い+下地調整+DP塗替え］
		軒天	改修前	ケイカル板t=6.0　（一部有孔ボード）AEP塗
			改修後	［水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う。）+NAD塗替え］
		鼻隠、破風	改修前	化粧幕板W210VP塗
			改修後	［水洗い+下地調整+NAD塗替え］
	竪樋	校舎、EV棟	改修前	竪樋：VP100φ VP塗［撤去］（掴み金物共）（EV棟、職員室は工事範囲外）
		職員室	改修後	竪樋：カラーVP100φ　（SUS製掴み金物@1200内外共）［新設］（EV棟、職員室は工事範囲外）
	軒天 竪樋	男子更衣室	改修前	軒樋：大型角樋（前高130）　落しロステンレス網付［撤去］竪樋：VP70φ VP塗［撤去］（掴み金物共）
			改修後	軒樋：大型角樋（前高130）　塩ビ落し口付［新設］　竪樋：カラーVP70φ［新設］（掴み金物共）
	校舎	庇	改修前	平場、立上、笠木：ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
			改修後	平場、立上、笠木：［既設のまま］

管理・教室棟	保健室 更衣室	庇	改修前	天端：防水モルタル塗　見付：コンクリート打放★外装薄塗材E　軒天：コンクリート打放+外装薄塗材E(★下地調整材)
			改修後	天端：水洗い+ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)［新設］見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）［塗替え］　軒天：水洗い+下地調整（RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行う。）+NAD［塗替え］
	校舎	外壁	改修前	コンクリート打放+外装薄塗材E(★下地調整材)　（柱型）モルタル刷毛引+外装薄塗材E(★下地調整材)
			改修後	［水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え］（柱型共）　目地シーリング［打替え］
	職員室	外壁	改修前	腰壁：モルタル金コテ下地　防水型複層塗材E ALCパネルt=100縦張防水型複層塗材E
			改修後	［水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え］　目地シーリング［打替え］
	EV棟	外壁	改修前	ALCパネルt=125縦張複層塗材E
			改修後	［既設のまま］
	男子更衣室	男子更衣室外壁	改修前	ALCパネルt=50横張弾性吹付タイル
			改修後	［水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え］　目地シーリング［打替え］
昇降口棟		外部建具	改修前	アルミ製建具
			改修後	周囲シーリング・ガラス押え：［打替え］
		巾木	改修前	モルタル金コテ仕上
			改修後	［水洗い］
		昇降口床	改修前	モルタル金コテ仕上（目地切@2250内外）一部［撤去］
			改修後	モルタル金コテ仕上一部［新設］
		犬走床	改修前	モルタル金コテ仕上（目地切@2250内外）一部［撤去］
			改修後	土間コンクリート金コテ仕上一部［新設］
	特記事項			※　・★印はアスベスト含有材を示す。 ・特記なき限り外壁目地はシーリング打替えとする。 ・一部撤去部分のモルタル仕上などはカッター入れとする。 ※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
・設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は　清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、
鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
・φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。　φ２０より大きい付属配管については、
樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
・ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
・外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(ＭＳ－２ Ｗ１５)を行うこと。

内部仕上表　※　改修部分［撤去］において、（下地共）の特記なき限り　仕上のみの撤去とする。

棟名	階	室名		床	巾　木	腰壁	壁	天　井	天井高	廻　縁	備　考
管理・教室棟	1階	職員玄関	改修前	モルタル金コテ下地弾性ウレタン樹脂塗床t=2.0［塗床のみケレン撤去］ 一部ビニル床シートt=2.0 カーペット敷［撤去］	木製H=100 SOP塗 モルタル金コテ下地EP-G塗H=150	モルタル金コテ下地AEP塗	モルタル金コテ下地AEP塗	LGS下地化粧PBt=9.0張(910x455)	H=2800	木製廻縁 SOP塗	下足入［撤去］掲示板［掲示クロス撤去］ 入口両引分戸［撤去］
			改修後	塗床撤去面弾性ウレタン樹脂塗床t=2.0ノンスリップタイプ［新設］ 一部ビニル床シートt=2.0［新設］	［SOP塗替え］ モルタル金コテ下地 ［EP-G塗替え］H=150	モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］	モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］	化粧PBt=9.0張(910x455) 面［EP塗替え］	H=2800	［SOP塗替え］	下足入［新設］掲示板［掲示クロス張替］入口両引分戸［新設］
		校長室	改修前	フローリングブロックt=15張 PU塗一部［撤去］（下地共）	チーク練付巾木 H=60 PU塗	木製下地銘木合板張PU塗 一部ﾒﾗﾐﾝ化粧板張 H=1200［撤去］	木製下地銘木合板張PU塗	LGS下地PBt=9.0下地★岩綿吸音板t=9.0張 ［撤去］（下地共）	H=2800	銘木合板張PU塗	掲示板掲示クロス張［撤去］行事用黒板 戸棚 ブラインド［撤去］
			改修後	フローリングブロックt=15張 PU塗一部［新設］（下地共）既設床 研磨後、［PU塗替え］	［UC塗替え］	木製下地銘木合板張［UC塗替え］一部ﾒﾗﾐﾝ化粧板張 H=1200[新設]	木製下地銘木合板張［UC塗替え］	LGS下地PBt=9.0下地岩綿吸音板t=9.0張 ［新設］（下地共）	H=2800	［UC塗替え］	掲示板［掲示クロス張替］ブラインド［新設］ ブラインドボックス［UC塗替え］
		職員室	改修前	フローリングブロックt=15張 PU塗一部［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗	一部メラミン化粧板張 H=1200［撤去］ 木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張 (910x910)	H=3050	木製廻縁 SOP塗 塩ビ製廻縁	掲示板 行事用黒板 黒板 戸棚一部［撤去］掃除具入［撤去］ブラインド［撤去］ カーテン、レール［撤去］
			改修後	フローリングブロックt=15張 PU塗一部［新設］（下地共）既設床 研磨後、［PU塗替え］	［SOP塗替え］	一部メラミン化粧板張 H=1200［新設］ 木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	［EP塗替え］	H=3050	［SOP塗替え］ 塩ビ製廻縁 ［既設のまま］	行事用黒板 黒板ホワイトボード増張［新設］ブラインド［新設］　戸棚一部［新設］ ブラインドボックス カーテンボックス［SOP塗替え］
		スタジオ	改修前	モルタル金コテ下地［じゅうたん敷のみ撤去］	木製H=100 SOP塗	木製下地有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製下地有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	LGS下地PBt=9.0下地岩綿吸音板t=9.0張	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	既設モルタル面［下地調整モルタル+ビニル床シートt=2.0新設］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	
		放送室	改修前	フローリングブロックt=15張 OSW塗	木製H=100 SOP塗	木製下地有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製下地有孔ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	LGS下地PBt=9.0下地岩綿吸音板t=9.0張	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインド［撤去］放送ランプ［撤去］（設備工事）
			改修後	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	ブラインド［新設］放送ランプ［新設］（設備工事）
		スタジオ前室	改修前	フローリングブロックt=15張 PU塗一部［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	LGS下地PBt=9.0下地岩綿吸音板t=9.0張	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	フローリングブロックt=15張（塗装品）一部［新設］（下地共）	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	
		印刷室	改修前	モルタル金コテ下地ビニル床タイルt=2.0一部［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張 (910x910)	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインド［撤去］
			改修後	モルタル金コテ下地ビニル床タイルt=2.0一部［新設］（下地共）	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	ブラインド［新設］
		職員男女子便所	改修前	土間コンクリートt=120+モルタル下地+磁器質25角モザイクタイル張［撤去］ （土間コンクリート、モルタル下地共）		モルタル下地陶器質100角タイル張 H=1200 LGS100下地ラスモルタル塗陶器質100角タイル張 H=1200［撤去］	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共） LGS100下地ラスモルタル仕上AEP塗［撤去］（下地共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）［撤去］ （下地共）	H=2550 H=2500	木製廻縁 SOP塗 塩ビ製廻縁［撤去］	
			改修後	土間コンクリートt=120［新設］モルタル金コテ下地防汚防滑長尺ビニル床シート t=2.0［新設］（下地共）　男子便所汚垂タイルt=5.0以上［新設］	ビニル巾木H=100［新設］	既設仕上面化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)アルミジョイナー共［新設］ 遮音壁:LGS+65@450+GW24Kt=50下地耐水PBt=12.5+9.5(両面) 化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)アルミジョイナー共［新設］（下地共）	遮音壁:LGS+65@450＋GW24Kt=50下地耐水PBt=12.5+9.5(両面) ［EP-G塗替え］（下地共） モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.5張（910x910）［新設］ （下地共）	H=2500	［SOP塗替え］ 塩ビ製廻縁［新設］	
		職員便所前室	改修前	職員男女子便所と同じ		モルタル下地陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地★ケイカル板t=6.0張複層塗材E ［撤去］（下地共）	H=2500	木製廻縁 SOP塗［撤去］	出入口三方枠亜鉛鋼板SOP塗［撤去］
			改修後	職員男女子便所と同じ	ビニル巾木H=100［新設］	職員男女子便所と同じ	職員男女子便所と同じ	職員男女子便所と同じ	H=2500	塩ビ製廻縁［新設］	
		湯沸室	改修前	モルタル金コテ下地一部［撤去］ビニル床タイルt=2.0［全面撤去］		モルタル下地陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地★ケイカル板t=6.0張複層塗材E ［撤去］（下地共）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	流し台 吊戸棚 水切り棚 ガス台 棚［撤去］
			改修後	モルタル金コテ下地一部［新設］ビニル床シートt=2.0［全面新設］		［既設のまま］	［既設のまま］	LGS下地ケイカル板t=6.0張EP塗装 ［新設］（下地共）	H=2800	［既設のまま］	流し台 吊戸棚 水切り棚 ガス台 棚［新設］
		職員女子更衣室	改修前	モルタル金コテ下地一部［撤去］ビニル床タイルt=2.0［全面撤去］	木製H=100 SOP塗一部［撤去］ 一部33角タイル張［既設のまま］	モルタル下地AEP塗一部陶器質100角タイル張 LGS100下地耐水PBt=12.5AEP塗一部［撤去］（下地共）	モルタル下地AEP塗一部陶器質100角タイル張［既設のまま］ LGS100下地耐水PBt=12.5 EP-G塗装一部［新設］（下地共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）一部［撤去］ （下地共）	H=2800	木製廻縁 SOP塗 一部［撤去］	吊カーテン・レール［撤去］
			改修後	モルタル金コテ下地一部［新設］ビニル床シートt=2.0［全面新設］	木製H=100 SOP塗一部［新設］ 一部33角タイル張［既設のまま］	モルタル下地AEP塗一部陶器質100角タイル張［既設のまま］ LGS100下地耐水PBt=12.5 EP-G塗装一部［新設］（下地共）	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）［既設のまま］ LGS100下地耐水PBt=12.5 EP-G塗装一部［新設］（下地共）	LGS下地化粧PBt=9.5張（910x910）一部［新設］ （下地共）撤去部以外［既設のまま］	H=2800	木製廻縁 SOP塗 一部［新設］	吊カーテン・レール［新設］
		職員男子更衣室	改修前	モルタル金コテ下地一部［撤去］ビニル床タイルt=2.0［撤去］一部天然麻床材t=7.0［撤去］	ビニル巾木H=60一部［撤去］	LGS100下地PBt=9.5二重張（廊下間仕切壁）［撤去］（下地共） 耐水PBt=12.5 AEP塗一部［撤去］ コンクリート打放複層塗材E吹付	LGS100下地PBt=9.5二重張（廊下間仕切壁）［撤去］ 耐水PBt=12.5 AEP塗一部［撤去］（下地共） コンクリート打放複層塗材E吹付	LGS下地PBt=9.5張 AEP塗 LGS下地ケイカル板t=6.0張 複層塗材E一部 ［撤去］（下地共）	H=2800	塩ビ製廻縁一部［撤去］	吊カーテン・レール［撤去］
			改修後	モルタル金コテ下地一部［新設］ビニル床シートt=2.0［全面新設］	ビニル巾木H=60一部［新設］	スチールパーテション（廊下間仕切壁）［新設］ 耐水PBt=12.5 EP-G塗装一部［新設］ コンクリート打放複層塗材E吹付［既設のまま］	スチールパーテション（廊下間仕切壁）［新設］ 耐水PBt=12.5 EP-G塗装一部［新設］（下地共） コンクリート打放複層塗材E吹付（既設のまま）	撤去部以外［既設のまま］ LGS下地ケイカル板t=6.0張 複層塗材E一部 ［新設］（下地共）	H=2800	塩ビ製廻縁一部［新設］	吊カーテン・レール［新設］
		第１相談室	改修前	モルタル金コテ下地［ビニル床シートt=2.0のみ撤去］	木製H=100 SOP塗	モルタル金コテ下地AEP塗	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	カーテン・レール［撤去］
			改修後	ビニル床シートt=2.0［新設］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］		［既設のまま］	ブラインド［新設］
		第２相談室	改修前	モルタル金コテ下地一部［撤去］ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt=6.5 一部ビニル床タイルt=2.0［全面撤去］	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインド［撤去］
			改修後	モルタル金コテ下地一部［新設］ビニル床シートt=2.0［新設］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］		［既設のまま］	ブラインド［新設］
		保健室	改修前	土間コンクリートt=120+モルタル下地+フローリングブロックt=15張 PU塗一部［撤去］ 土間コンクリートt=120+モルタル下地+磁器質25角モザイクタイル張［撤去］ （土間コンクリート、モルタル下地共）	木製H=100 SOP塗一部［撤去］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張SOP塗一部［撤去］（下地共） モルタル金コテ下地AEP塗 一部メラミン化粧板張 H=1200［撤去］	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	ブラインドボックスSOP塗ブラインド［撤去］姿見鏡取外し　掲示板［掲示クロス張撤去］ 行事用黒板 人研ぎ流台 押入 掃除用具入［撤去］間仕切カーテン、レール［撤去］
			改修後	土間コンクリート一部［新設］フローリングブロックt=15（無塗装品）張 PU塗一部［新設］ （下地共）既設床 研磨後、［PU塗替え］ 土間コンクリート一部［新設］一部モザイクタイル張［新設］（下地共）	［SOP塗替え］ 木製H=100 SOP塗一部［新設］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］（下地共） モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］ 一部メラミン化粧板張 H=1200［新設］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	［EP塗替え］	H=2800	［SOP塗替え］	ブラインドボックスSOP塗　ブラインド［新設］一部掲示板［掲示クロス張替］ ホワイトボード SUS製流台 押入 掃除用具入［新設］間仕切カーテン、レール［新設］
		第３相談室	改修前	モルタル金コテ下地［ビニル床タイルt=2.0のみ撤去］ 畳敷t=60［撤去］	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	畳　ブラインド［撤去］
			改修後	モルタル金コテ下地［ビニル床シートt=2.0のみ新設］ 畳敷t=60［新設］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	畳　ブラインド［新設］
		かがやきルーム	改修前	モルタル金コテ下地一部［撤去］ビニル床タイルt=2.0［撤去］	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	カーテン、レール［撤去］ブラインドボックスSOP塗
			改修後	モルタル金コテ下地一部［新設］ビニル床シートt=2.0［新設］	［SOP塗替え］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル下地［EP-G塗替え］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	［EP塗替え］	H=2800	［SOP塗替え］	ブラインドボックス［SOP塗替え］　ブラインド［新設］

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	仕上表（改修前後１） ★	A1：1:100 A3：1:200 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－０８

内部仕上表

棟名	階	室名		床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考
管理・教室棟	1階	配膳室	改修前	セルフレベリングt=40下地　防汚・防滑・耐摩耗長尺ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木H=100	硬質PBt=9.5GL工法　ビニルクロス貼 LGS65　強化PBt=12.5+硬質PBt=9.5　ビニルクロス貼 モルタル金コテ下地AEP塗部分　ビニルクロス貼 柱型　モルタル金コテ下地AEP塗部分　NAD塗	硬質PBt=9.5GL工法　ビニルクロス貼 LGS65　強化PBt=12.5+硬質PBt=9.5　ビニルクロス貼 モルタル金コテ下地AEP塗部分　ビニルクロス貼 柱型　モルタル金コテ下地AEP塗部分　NAD塗	LGS下地化粧PBt=9.5（910×910） 梁型モルタル金コテNAD塗	H=3050	木製廻縁 SOP塗 塩ビ製廻縁	
			改修後	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=3050	［既設のまま］	
		昇降口２、３	改修前	モルタル金コテ下地弾性ウレタン樹脂塗床t=2.0 ［ビニル床シートt=2.0のみ撤去］ モルタル下地磁器質180角タイル張［既設のまま］	木製H=100 SOP塗	モルタル下地AEP塗	モルタル下地AEP塗	コンクリート打放 ［★パーライト吹付主材のみ撤去］	–		昇降口２下足入［撤去］
			改修後	［ビニル床シートt=2.0のみ新設］	［SOP塗替え］	モルタル下地　［EP-G塗替え］	モルタル下地　［EP-G塗替え］	［EP塗替え］（下地調整RC種※研磨紙ずりに行うこと）	–		昇降口２ 下足入［新設］ホワイトボード［新設］
		物置	改修前	モルタル金コテ仕上	コンクリート打放	コンクリート打放	コンクリート打放	コンクリート打放	H=2000		
			改修後	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2000		
	2階	教材資料室	改修前	モルタル金コテ下地ビニル床タイルt=2.0	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	
		ほっとルーム	改修前	フローリングブロックt=15張 OSW塗一部［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗一部［撤去］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）一部 ［仕上のみ撤去］ 天井金物及び一部化粧PBt=9.0［撤去］	H=3050	塩ビ製廻縁	地図掛フック 掃除用具入 掲示板 生徒用ロッカー 背面黒板 教師用戸棚 教壇 TVﾊﾝｶﾞｰ［撤去］ OHPスクリーンハンガー セーフティハンガー［撤去］暗幕、カーテン、レール［撤去］ 行事用黒板 黒板［取外し］
			改修後	フローリングブロックt=15張（無塗装品）PU塗一部［新設］（下地共） 既設床 研磨後、［PU塗替え］	木製H=100 SOP塗一部［新設］ ［SOP塗替え］	木製下地シナ合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル下地［EP-G塗替え］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）［EP塗替え］ （下地調整RC種※研磨紙ずりに代えて清掃を行うこと）化粧PBt=9.5一部［新設］	H=3050	［既設のまま］	掃除用具入 生徒用ロッカー 教師用戸棚 掲示板 セーフティハンガー［新設］ 行事用黒板 黒板［再取付］黒板増張［新設］カーテンボックス［SOP塗替え］ 暗幕、カーテン、レール［新設］
	3階	教材室	改修前	モルタル金コテ下地ビニル床タイルt=2.0	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	［既設のまま］	
		特別支援室	改修前	フローリングブロックt=15張 OSW塗一部撤去（下地共）	木製H=100 SOP塗一部［撤去］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） ［★梁型パーライト吹付主材のみ撤去］ 天井金物［撤去］一部［化粧PBt=9.0のみ撤去］	H=3050	木製廻縁 SOP塗	地図掛フック 掃除用具入 掲示板 生徒用ロッカー 背面黒板 教師用戸棚 教壇 TVﾊﾝｶﾞｰ［撤去］ OHPスクリーンハンガー セーフティハンガー［撤去］暗幕、カーテン、レール［撤去］ 可動間仕切 行事用黒板 黒板取外し カーテンボックス
			改修後	フローリングブロックt=15張（無塗装品）PU塗一部新設（下地共） 既設床 研磨後、［PU塗替え］	木製H=100 SOP塗一部［新設］ ［SOP塗替え］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル下地［EP-G塗替え］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）［EP塗替え］ （下地調整RC種※研磨紙ずりに代えて清掃を行うこと） 天井金物撤去部一部［化粧PBt=9.5新設］	H=3050	［SOP塗替え］	掃除用具入 生徒用ロッカー 教師用戸棚 掲示板 セーフティハンガー［新設］ 可動間仕切再取付 行事用黒板 黒板再取付黒板増張［新設］カーテンボックス［SOP塗替え］ 暗幕、カーテン、レール［新設］
	4階	教材室	改修前	モルタル金コテ下地ビニル床タイルt=2.0	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	
			改修後	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	［既設のまま］	H=2800	既設のまま	
		生徒会室	改修前	フローリングブロックt=15張 OSW塗一部［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗一部［撤去］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） ［★梁型パーライト吹付主材のみ撤去］ 天井金物［撤去］一部［化粧PBt=9.0のみ撤去］	H=3050	木製廻縁 SOP塗	地図掛フック 掃除用具入 掲示板 生徒用ロッカー 背面黒板 教師用戸棚 教壇 TVﾊﾝｶﾞｰ［撤去］ OHPスクリーンハンガー セーフティハンガー［撤去］暗幕、カーテン、レール［撤去］ 可動間仕切 ホワイトボード黒板 行事用ホワイトボード黒板取外し カーテンボックス
			改修後	フローリングブロックt=15張（無塗装品）PU塗一部［新設］（下地共） 既設床 研磨後、［PU塗替え］	木製H=100 SOP塗一部［新設］ ［SOP塗替え］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル下地［EP-G塗替え］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）［EP塗替え］ （下地調整RC種※研磨紙ずりに代えて清掃を行うこと） 天井金物撤去部一部［化粧PBt=9.5新設］	H=3050	［SOP塗替え］	掃除用具入 生徒用ロッカー 教師用戸棚 掲示板 セーフティハンガー［新設］ 可動間仕切 ホワイトボード黒板 行事用ホワイトボード黒板増張［新設］ カーテンボックス［SOP塗替え］暗幕、カーテン、レール［新設］
	2、~~3~~ ~~4~~階	普通教室 学習室	改修前	フローリングブロックt=15張 OSW塗一部［撤去］（下地共） ~~（2-1.2-2.2-3教室）はフローリングブロックt=15張［OSW塗全面撤去］（下地共）~~	木製H=100 SOP塗一部［撤去］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル下地AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） 天井金物［撤去］一部［化粧PBt=9.0のみ撤去］	H=3050	木製廻縁 SOP塗	地図掛フック 掃除用具入 掲示板 生徒用ロッカー 背面黒板 教師用戸棚 教壇 TVﾊﾝｶﾞｰ［撤去］ OHPスクリーンハンガー セーフティハンガー［撤去］暗幕、カーテン、レール［撤去］ 行事用黒板 黒板［取外し］
			改修後	フローリングブロックt=15張（無塗装品）PU塗一部［新設］（下地共） 既設床 研磨後、［PU塗替え］ ~~（2-1.2-2.2-3教室）はフローリングブロックt=15張（塗装品）全面新設］（下地共）~~	木製H=100 SOP塗一部［新設］ ［SOP塗替え］	木製下地シナ合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル下地［EP-G塗替え］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）［EP塗替え］ 天井金物撤去部一部［化粧PBt=9.5新設］	H=3050	［SOP塗替え］	掃除用具入 生徒用ロッカー 教師用戸棚 掲示板 セーフティハンガー［新設］ 行事用黒板 黒板［再取付］黒板増張［新設］カーテンボックス［SOP塗替え］ 暗幕、カーテン、レール［新設］
	各階 共通	男女 便所	改修前	1階土間コンクリートt=120+モルタル下地+磁器質25角モザイクタイル張［撤去］ （土間コンクリート、モルタル下地共）スロープ刷毛引き［撤去］ 2～4階男子便所小便器床モルタル下地+磁器質25角モザイクタイル張［撤去］（下地共） スロープ刷毛引き［撤去］		モルタル下地陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地★ケイカル板t=6.0張AEP塗 ［撤去］（下地共）	H=2500	木製廻縁 SOP塗［撤去］	
			改修後	1階土間コンクリートt=120（金ｺﾃ仕上）+防汚・防滑長尺ビニル床シートt=2.0［新設］ （土間コンクリート共） 2～4階乾式二重床+防汚・防滑長尺ビニル床シートt=2.0［新設］（下地共） 各階男子便所汚垂タイルt=5.0以上［新設］	ビニル巾木H=100［新設］	既設仕上面化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)アルミジョイナー共［新設］ 袖壁部：LGS65+GW24+耐水PBt=12.5+9.5二重張化粧ｹｲｶﾙ板t=6.0張［新設］（下地共）	モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共） 袖壁部：LGS65+GW24+耐水PBt=12.5+9.5二重張EP-G塗装 ［新設］（下地共）	LGS下地化粧PBt=9.5張（910x910） ［新設］（下地共）	H=2450	塩ビ製廻縁［新設］ ［SOP塗替え］	
	各階 共通	男女 便所前室	改修前	1階土間コンクリートt=120+モルタル下地+ビニル床シートt=2.0［撤去］ （土間コンクリート、モルタル下地共） 2～4階モルタル金コテ下地ビニル床シートt=2.0［撤去］（下地共）		モルタル下地陶器質100角タイル張 H=1200	モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地★ケイカル板t=6.0張AEP塗 ［撤去］（下地共）	H=2500	木製廻縁 SOP塗	SUS製手洗い流し［撤去］
			改修後	1階土間コンクリートt=120（金ｺﾃ仕上）+防汚・防滑長尺ビニル床シートt=2.0［新設］ （土間コンクリート、モルタル下地共） 2～4階防汚・防滑長尺ビニル床シートt=2.0［新設］（下地共）	ビニル巾木H=100［新設］	既設仕上面化粧ｹｲｶﾙ板t=6(接着貼)アルミジョイナー共［新設］	モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.5張（910x910） ［新設］（下地共）	H=2500	塩ビ製廻縁［新設］	SUS製手洗い流し［新設］
管理・教室棟 昇降口棟	各階 共通	廊下	改修前	モルタル金コテ下地★ビニル床シート、★ビニル床タイルt=2.0一部［撤去］（下地共） 手洗い場：モルタル下地磁器質25角タイル張［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗一部［撤去］（下地共） モルタル下地AEP塗 LGS100下地PBt=9.5二重張(男子更衣室間仕切壁)［撤去］（下地共）	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x455） ［仕上のみ撤去］（一部下地共）	H=2800	木製廻縁 SOP塗	SUS製手洗い流し［撤去］掲示板取外し［掲示クロス張撤去］~~救助袋（4階西側外箱のみ［撤去］）~~
			改修後	モルタル金コテ下地ビニル床シートt=2.0一部［新設］（下地共） 手洗い場：モルタル金コテ下地防汚防滑長尺ビニル床シートt=2.0［新設］（下地共）	［SOP塗替え］	木製下地シナ合板t=5.5目透張 SOP塗一部［新設］（下地共） 既設［SOP塗替え］モルタル下地［EP-G塗替え］	同左 モルタル金コテ下地［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x455）［新設］ （一部下地共）	H=2800	塩ビ製廻縁［新設］	SUS製手洗い流し［新設］掲示板再取付［掲示クロス張新設］~~救助袋（4階西側外箱のみ［新設］）~~
管理・教室棟	各階 共通	階段室	改修前	モルタル金コテ下地［★ビニル床タイルt=2.0撤去］ ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽWN35合成ｺﾞﾑﾀｲﾔ入［撤去］ モルタル金コテ下地［★ビニル床シートt=2.0一部撤去］	モルタル金コテ仕上AEP塗	モルタル金コテ仕上AEP塗	モルタル金コテ仕上AEP塗（柱、梁型共）	上裏コンクリート打放			
			改修後	ビニル床シートt=2.0［新設］ ノンスリップ ステンレスW35合成ゴムタイヤ入［新設］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	［EP塗替え］（下地調整RC種※研磨紙ずりにかえて清掃を行うこと）			手摺ビニル製φ40［新設］
昇降口棟	1階	昇降口１	改修前	モルタル下地磁器質180角タイル張一部［撤去］（下地共） モルタル金コテ仕上一部［撤去］　スロープ：モルタル刷毛引き［撤去］	木製H=100 SOP塗 モルタル金コテ仕上AEP塗 テラゾー框一部［撤去］	モルタル金コテ仕上AEP塗	モルタル金コテ仕上AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x455）	H=2920	木製廻縁 SOP塗	下足入［撤去］
			改修後	モルタル下地ビニル床シートt=2.0一部［新設］（下地共）モルタル金コテ仕上一部［新設］ スロープ:土間コンクリートt=180+ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+防滑性ビニル床シートt=2.0［新設］	［SOP塗替え］ ［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	化粧PBt=9.0張(910x455)［EP塗替え］	H=2920	［SOP塗替え］	下足入［新設］
	2階	図書室	改修前	フローリングブロックt=15張 PU塗一部［撤去］（下地共）	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル金コテ仕上AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910）	H=3050	木製廻縁 SOP塗	黒板、掲示板［撤去］本棚［取外し］掃除用具入扉［撤去］廊下側掲示板［取外し］ スクリーン［撤去］カーテン、レール［撤去］
			改修後	フローリングブロックt=15張（無塗装品）PU塗一部［新設］（下地共） 既設床 研磨後、［PU塗替え］	［SOP塗替え］	木製下地シナ合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル金コテ仕上下地［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	化粧PBt=9.0張(910x455)［EP塗替え］	H=3050	［SOP塗替え］	掲示板［新設］ホワイトボード［新設］本棚再取付 掃除用具入扉［新設］ 廊下側掲示板［再取付（掲示クロス張新設）］カーテン・レール［新設］ カーテンボックス［SOP塗替え］、家具改修
	3階	多目的ホール	改修前	モルタル金コテ下地［★ビニル床シートt=2.0撤去］	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル金コテ仕上AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共） LGS下地PB=9.5目透かし張下地 AEP塗アルミコーナー見切り共	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） ［撤去］（下地共）	H=3050	木製廻縁 SOP塗 塩ビ廻縁［撤去］	地図掛フック 黒板 日課黒板 教師用戸棚［撤去］カーテン・レール暗幕［撤去］ OHPスクリーンハンガー TVハンガー 可動間仕切・レール［撤去］掲示板 カーテンボックス
			改修後	ビニル床シートt=2.0［新設］	［SOP塗替え］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル金コテ仕上下地［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） ［新設］（下地共）	H=3050	［SOP塗替え］	掲示板［掲示クロス張替え］カーテンボックス［SOP塗替え］ カーテン・レール暗幕［新設］
		部室	改修前	モルタル金コテ下地［★ビニル床タイルt=2.0撤去］	木製H=100 SOP塗	木製下地ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗 モルタル金コテ仕上AEP塗	同左 モルタル金コテ下地 AEP塗（柱、梁型共） LGS下地PB=9.5目透かし張下地 AEP塗アルミコーナー見切り共	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） ［撤去］（下地共）	H=3050	木製廻縁 SOP塗 塩ビ廻縁［撤去］	日課黒板　可動間仕切・レール［撤去］掲示板［撤去］ カーテン、レール［撤去］
		多目的ホール	改修後	ビニル床シートt=2.0［新設］	［SOP塗替え］	木製下地ラワン合板t=5.5目透張［SOP塗替え］ モルタル金コテ仕上下地［EP-G塗替え］	モルタル金コテ仕上［EP-G塗替え］（柱、梁型共）	LGS下地化粧PBt=9.0張（910x910） ［新設］（下地共）	H=3050	［SOP塗替え］	カーテン・レール［新設］

※ フローリング塗替え仕様については下記に示す仕様とする。

1. 塗料：湿気硬化型ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗料　下記同等品以上

・和信化学㈱	ﾜﾝｴｺﾝﾌﾛｱ(WT)	
・三精塗料工業㈱	ｾｰﾌﾃｨｰｶﾞｰﾄﾞ	ﾌﾛｱｰ
・玄々化学工業㈱	ユートンﾊﾟﾋｭｱﾗｲﾌ	

2. 素地調整

※研磨機はﾄﾞﾗﾑｻﾝﾀﾞｰ機（室内中央部）、ﾃﾞｨｽｸｻﾝﾀﾞｰ機（壁際）を用いる。

機械の当たらない隅等は手作業とする。

1）荒掛け　ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰは＃30～40を標準とし、木粧の突起、目違い及び汚れを取り除く。

2）中掛け　ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰは＃60～80を標準とし、荒掛けｻﾝﾀﾞｰ目払いを行う。

3）仕上げ　ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰは＃100～120を標準とし、ｻﾝﾀﾞｰ目を完全に払い、塗装仕上げの素地を作る。（研磨機はﾎﾞﾘｯｼｬの使用も可とする）

4）ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ面をよく清掃し、付着物が有れば取り除き、油類は溶剤拭きをする。

3. 下　塗　り：塗料製造者仕様により刷毛類で塗布し乾燥養生する。

4. 研　　磨：ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰは＃80～180程度で研磨し、発泡があれば除去する。

5. 中　塗　り：塗料製造者仕様により刷毛類で塗布し乾燥養生する。

6. 研　　磨：ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰは＃80～180程度で研磨し、発泡があれば除去する。

7. ライン引き：塗料は中塗りと馴染む様、同系統のものとする。

8. 上　塗　り：塗料製造者仕様により刷毛類で塗布し乾燥養生する。

※ 改修部分［撤去］において、（下地共）の特記なき限り　仕上のみの撤去とする。

※ ｶｰﾃﾝ、暗幕については下記同等品以上

・㈱ｻﾝｶﾞ	ｶｰﾃﾝ：ｼﾞｪﾏｲｶⅡ	暗幕：ミュンヘンS
・㈱川島織物ｾﾙｺﾝ	ｶｰﾃﾝ：トーロ	暗幕：フォラーシン
・㈱ｽｽﾞﾉ	ｶｰﾃﾝ：かべラⅢ	暗幕：エコプラリス

※ 新設する土間ｺﾝｸﾘｰﾄについては、下記仕様とする。

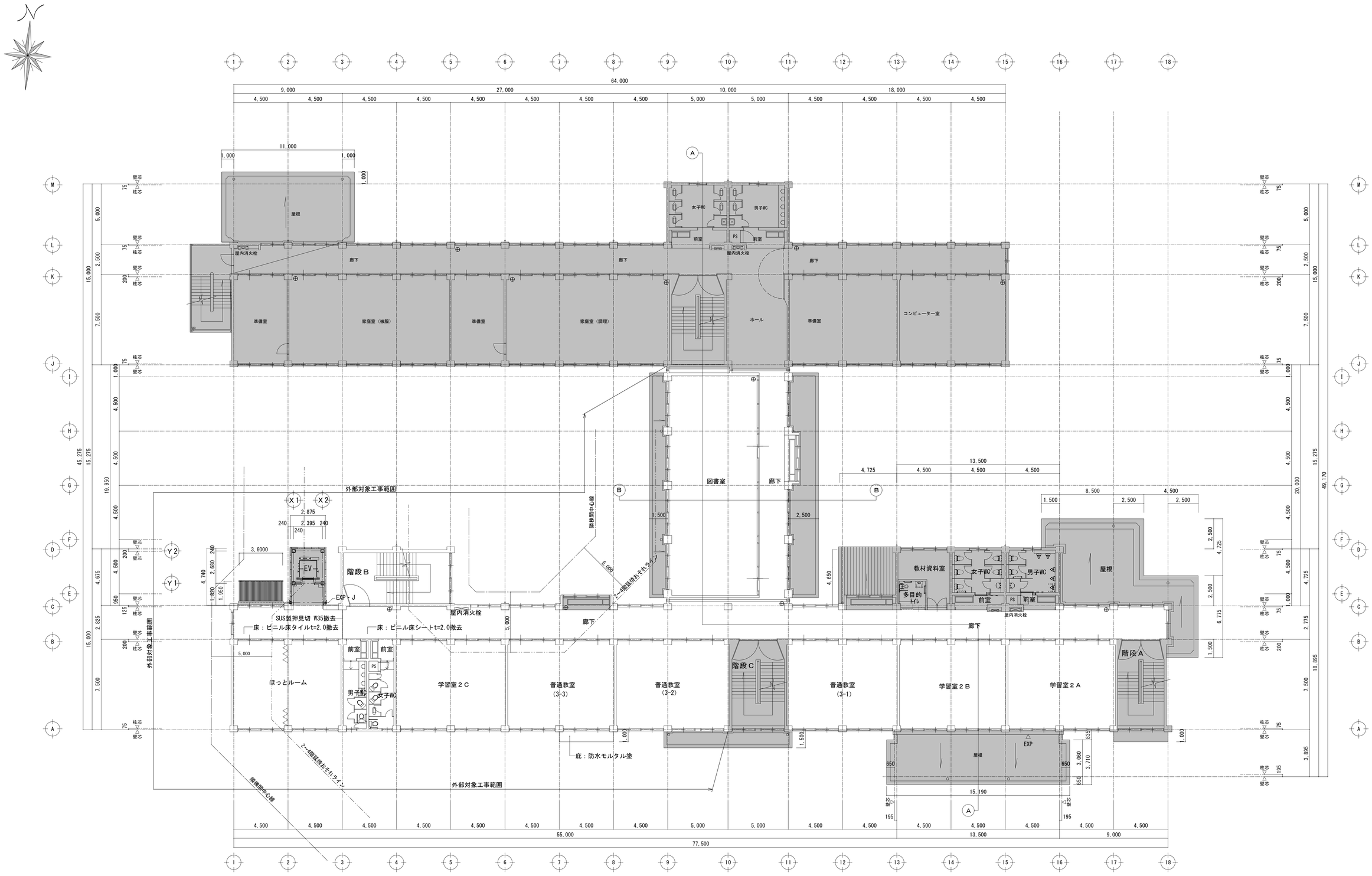
・便所：砕石（RC-40)t=100+ﾎﾞﾘﾃｸﾚﾝﾌｨﾙﾑt=0.15（※壁際250mm埋込不要）＋土間ｺﾝｸﾘｰﾄt=120（溶接金網φ6ｘ150ｘ150 端部差筋ｱﾝｶｰφ10@300 L=400）

・昇降口、犬走り：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上t=30+土間ｺﾝｸﾘｰﾄt=120（D10@200 端部差筋ｱﾝｶｰφ10@200 L=400）

※ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去後はﾎﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄで下地調整の上新設すること。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	★ 仕上表（改修前後２）	★ A1: 1:100 A3: 1:200	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－09

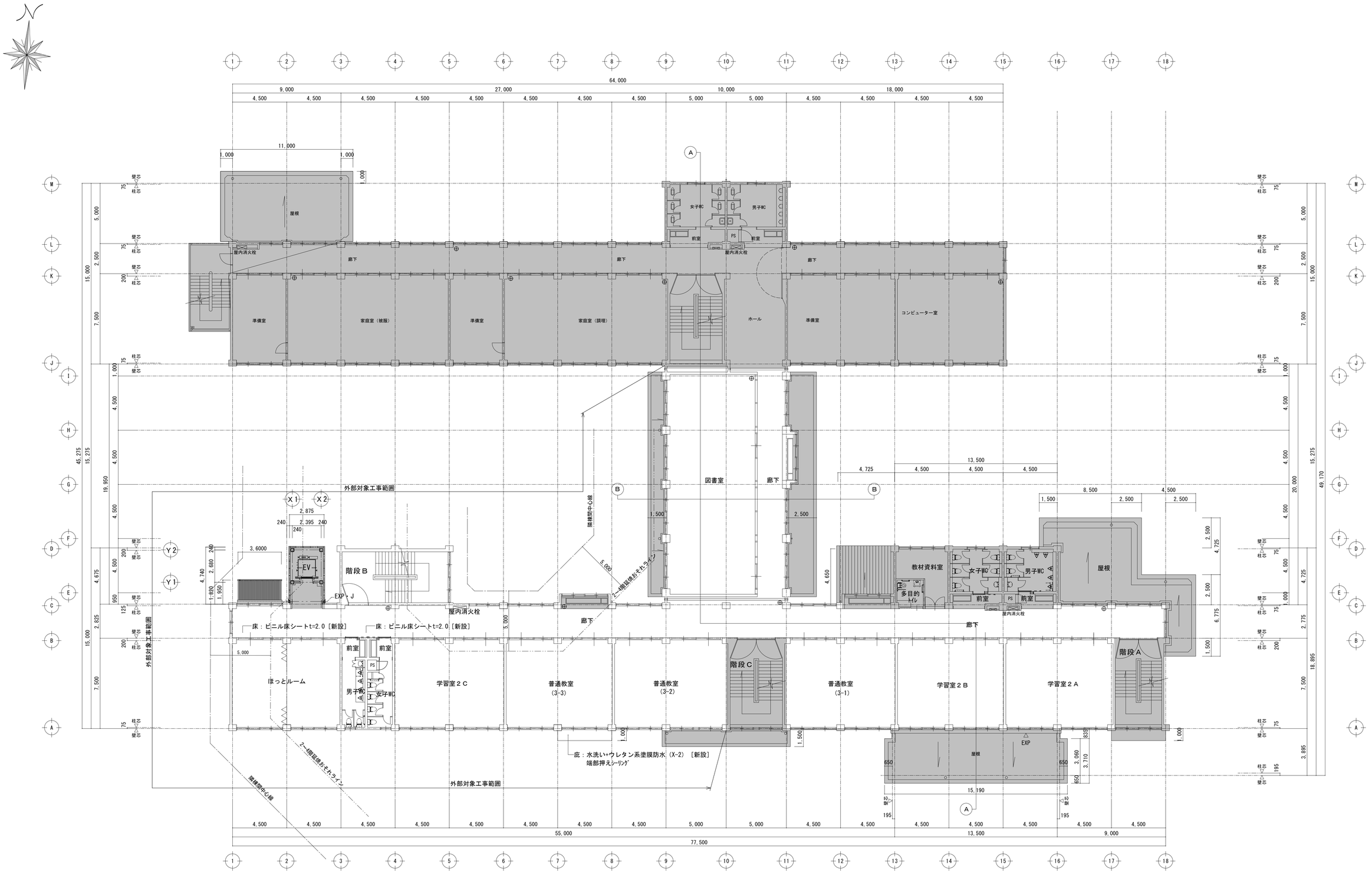


２階平面図（改修前）　1／150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	２階平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－12



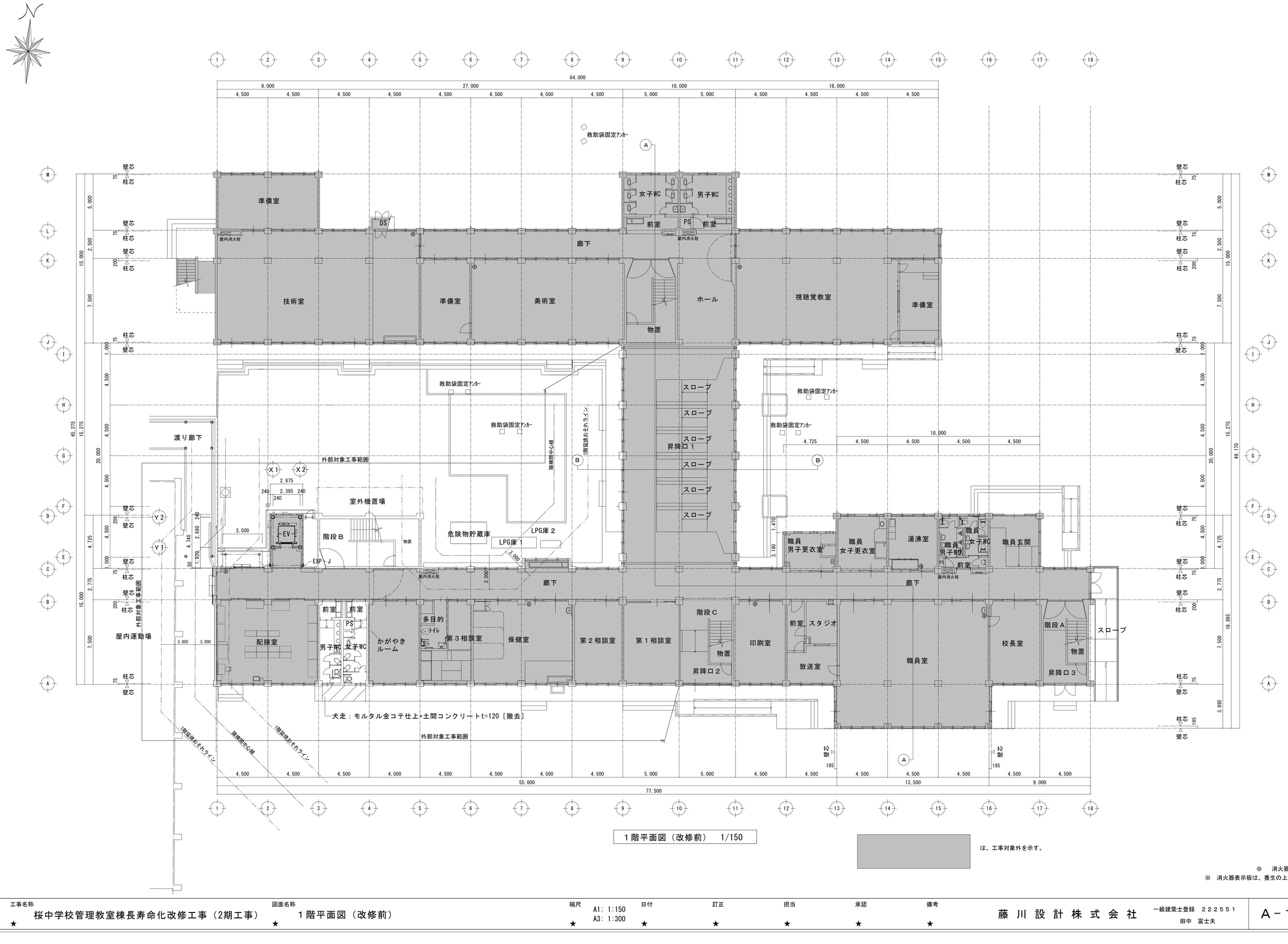
２階平面図（改修後）　1／150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	２階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－１３



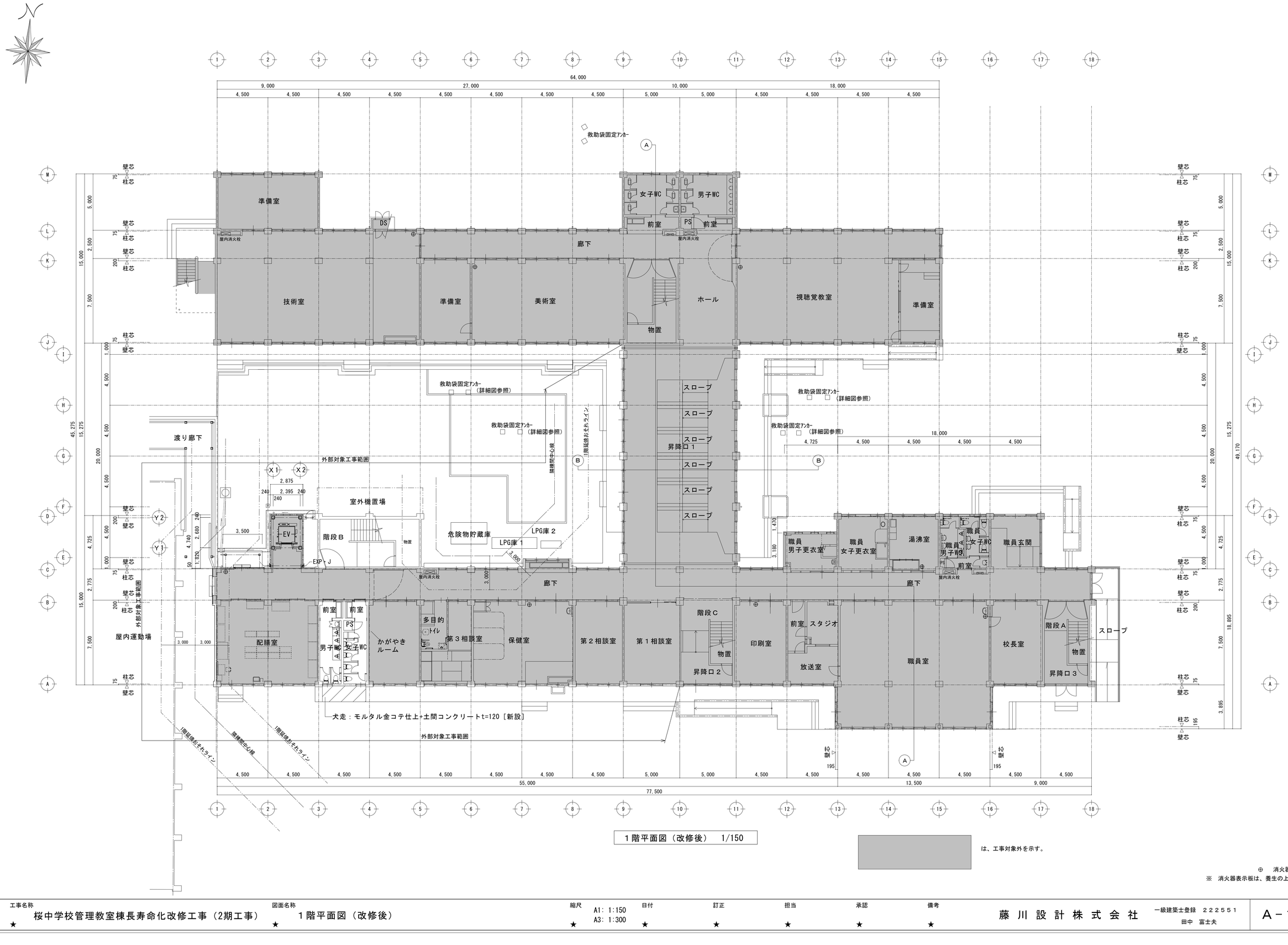
１階平面図（改修前）　1/150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	１階平面図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１０



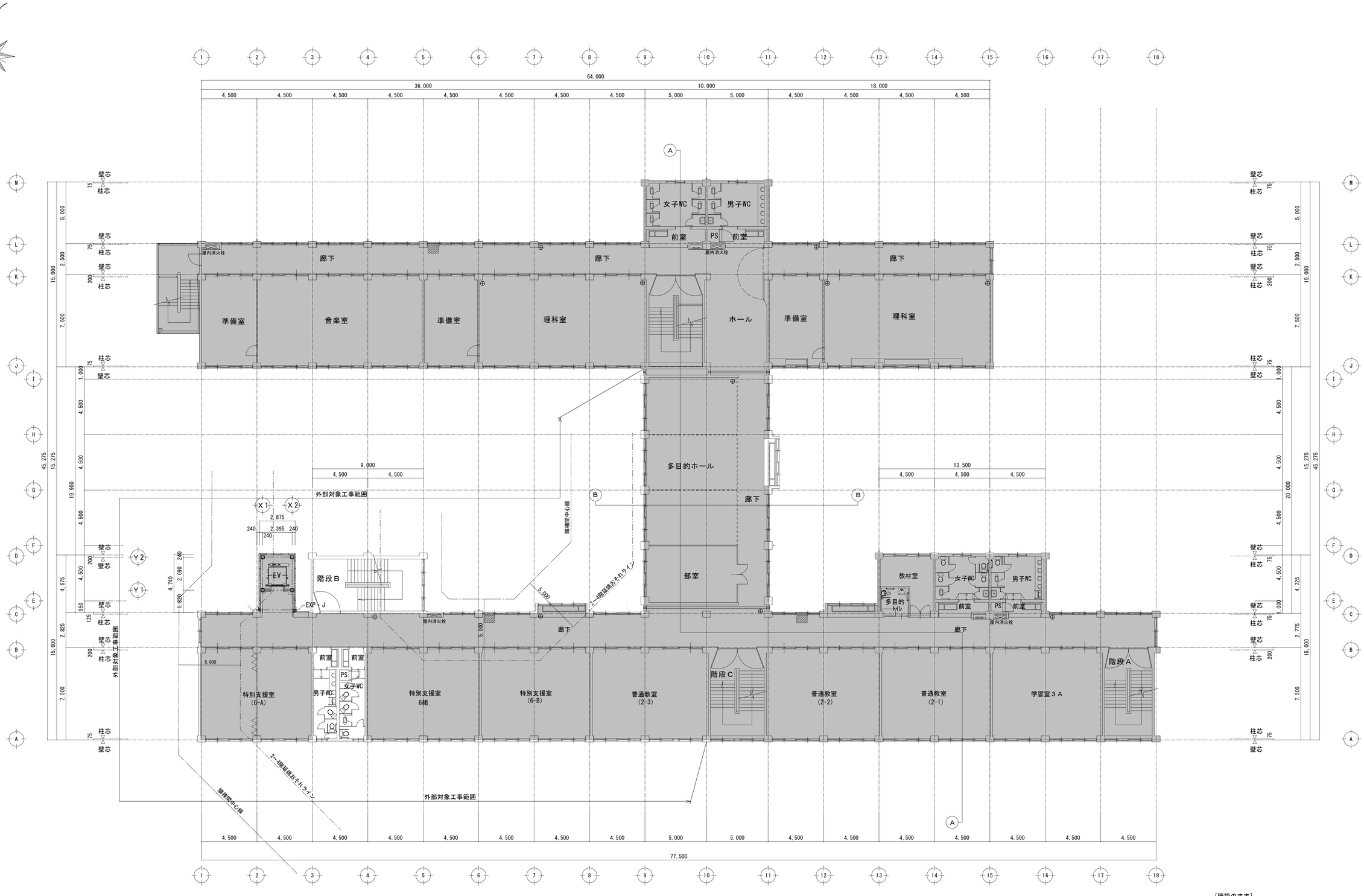
１階平面図（改修後）　1/150

は、工事対象外を示す。

⊕　消火器ABC10型

※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	１階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－１１



３階平面図（改修前）　1/150

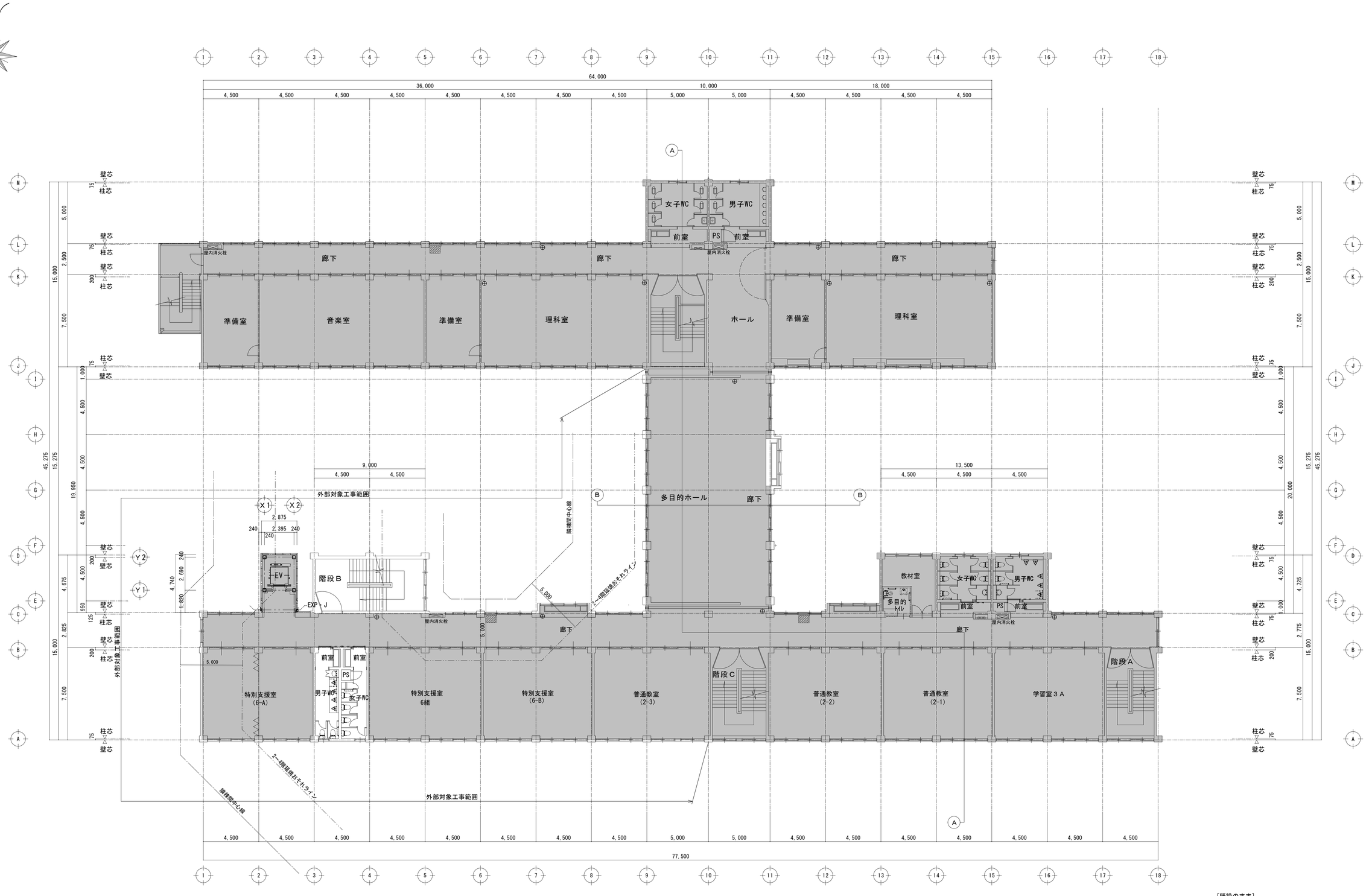
は、工事対象外を示す。

［既設のまま］
- 救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
  ※　取外し、再取付
- ⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	３階平面図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－１４



３階平面図（改修後）　1/150

は、工事対象外を示す。

［既設のまま］

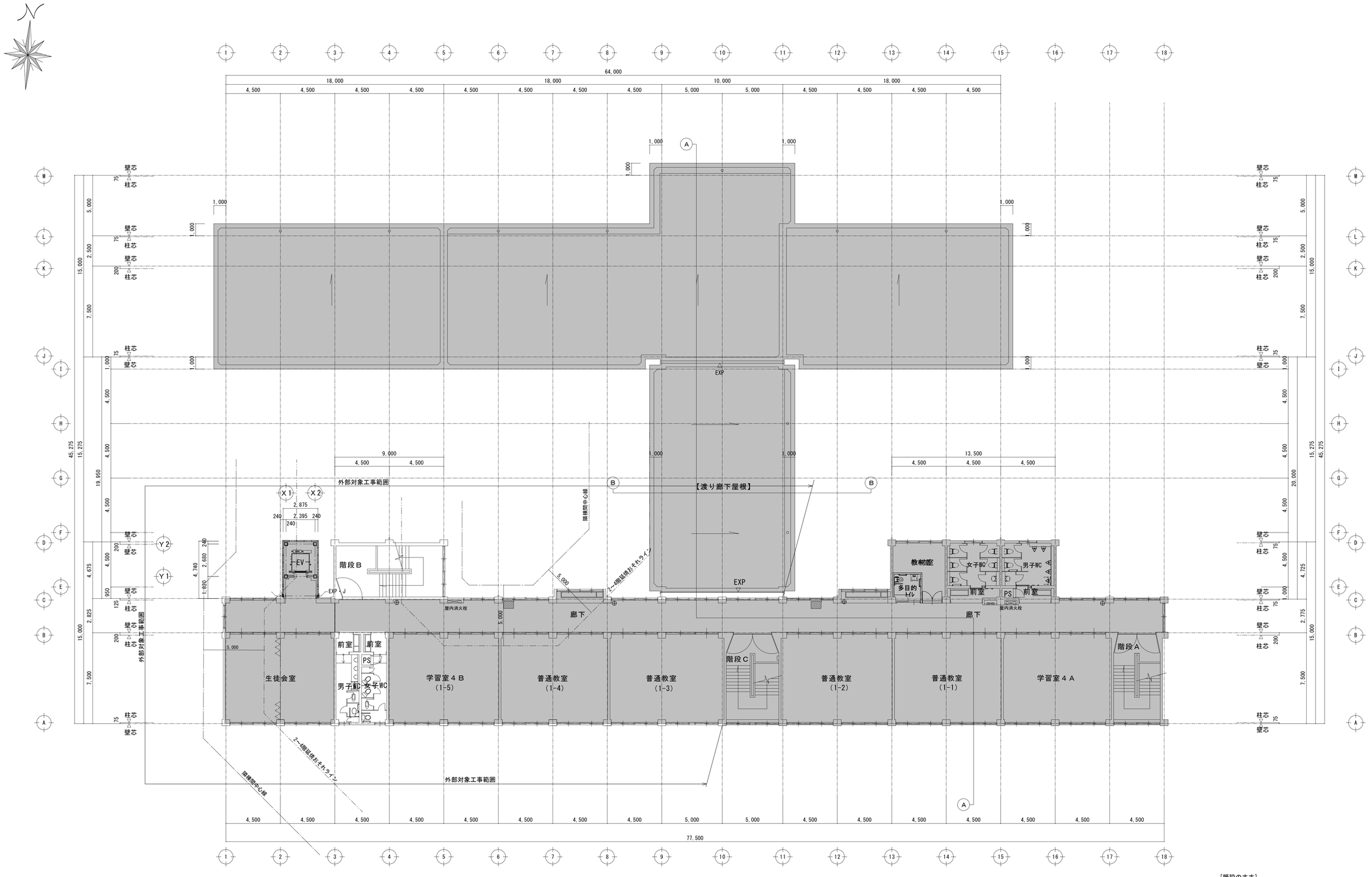
- 救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
  ※　取外し、再取付
- ⊕　消火器ABC10型

※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	３階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－１５



４階平面図（改修前）　1/150

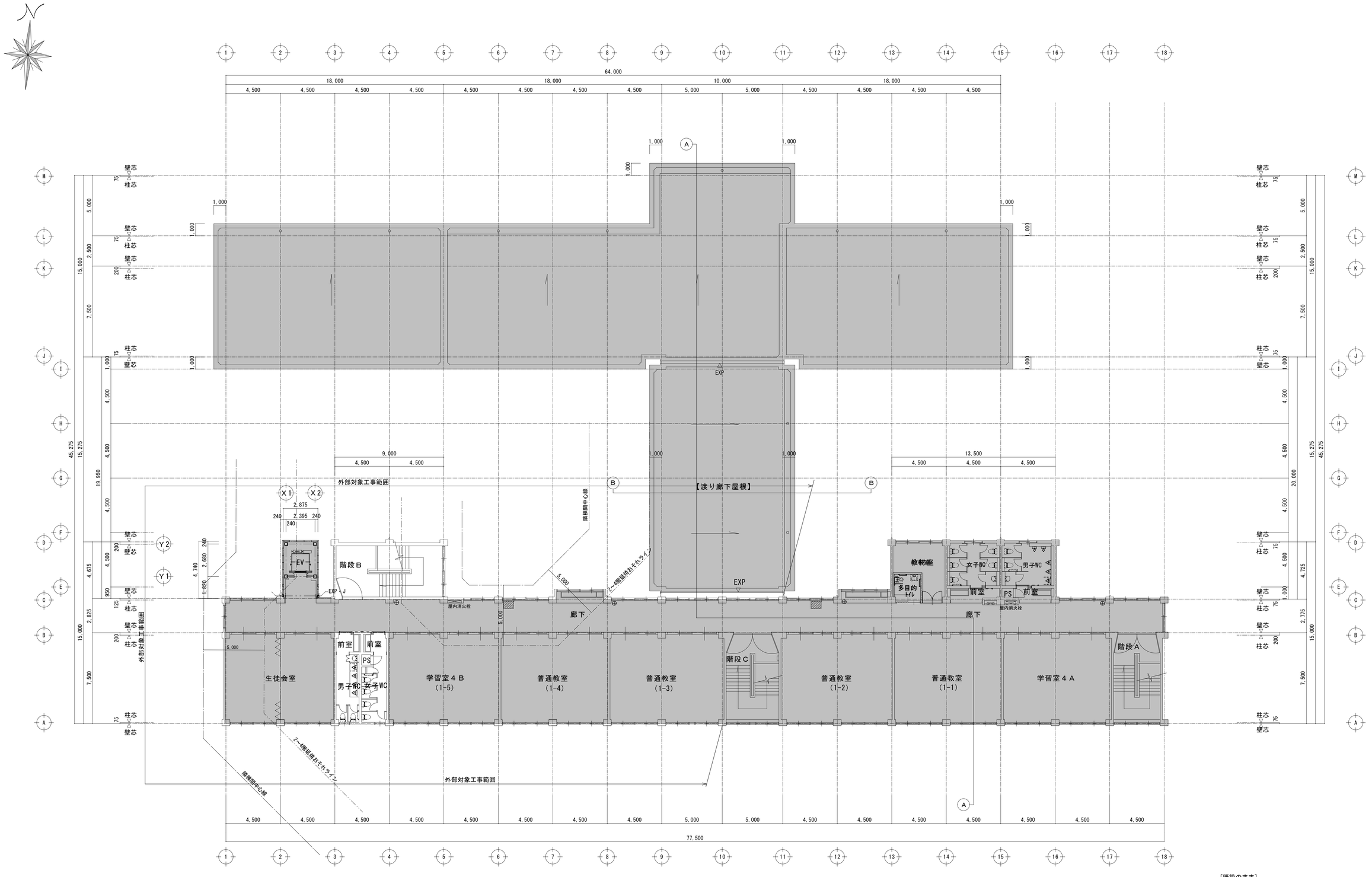
は、工事対象外を示す。

［既設のまま］
- 救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
- ※　取外し、再取付
- ⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	４階平面図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－１６



４階平面図（改修後）　1/150

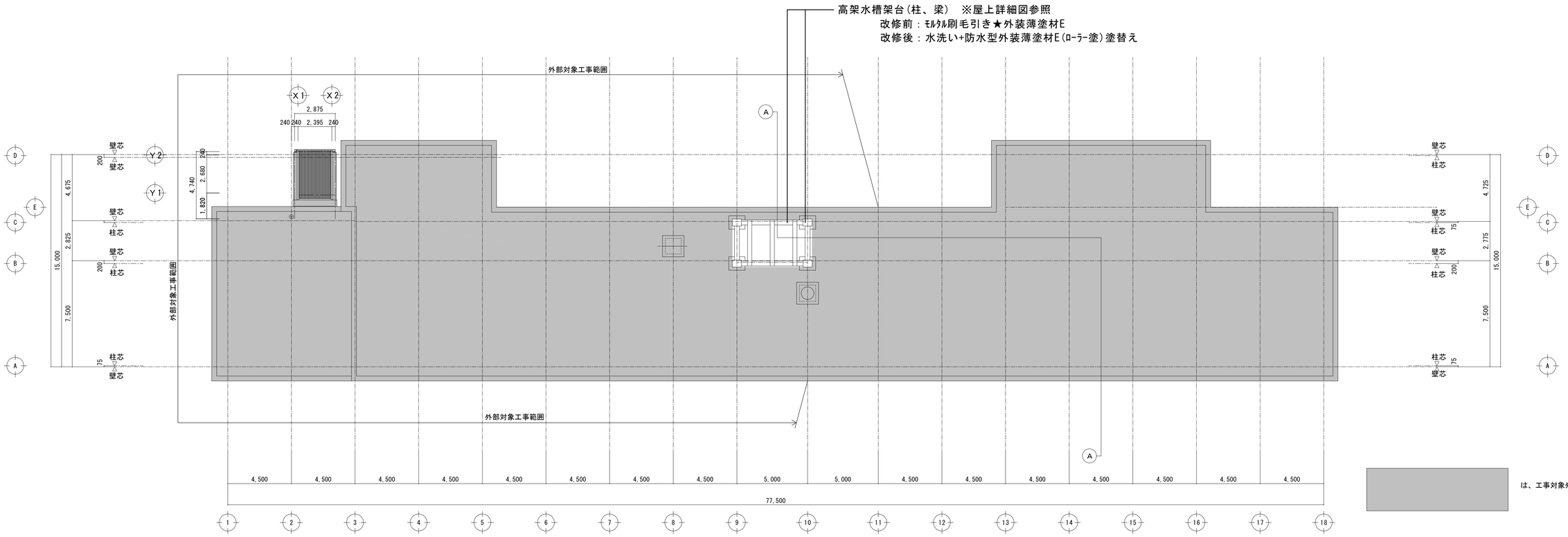
は、工事対象外を示す。

［既設のまま］
- 救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
- ※　取外し、再取付
- ⊕　消火器ABC10型
- ※　消火器表示板は、養生の上塗装のこと。

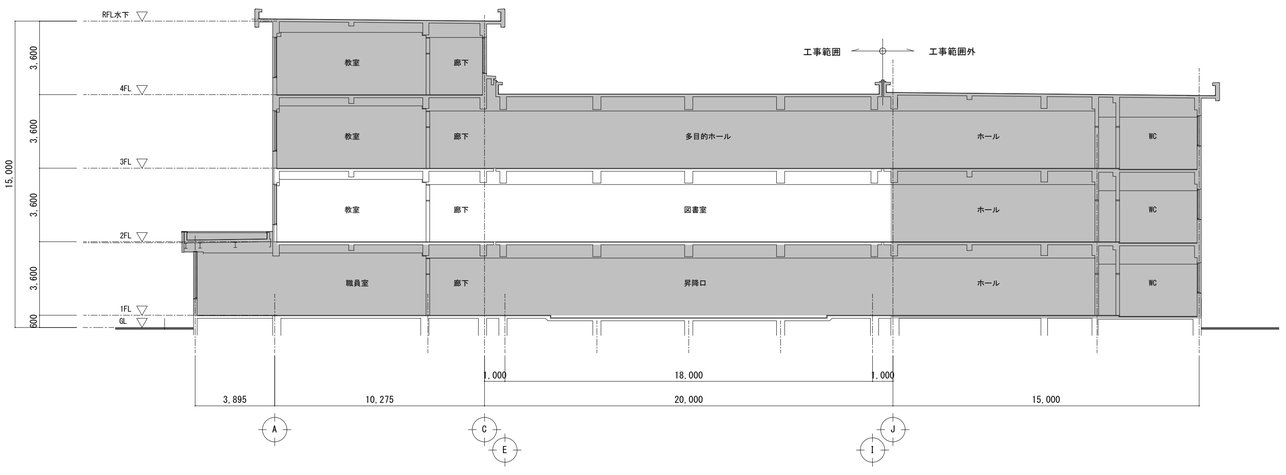
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	４階平面図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

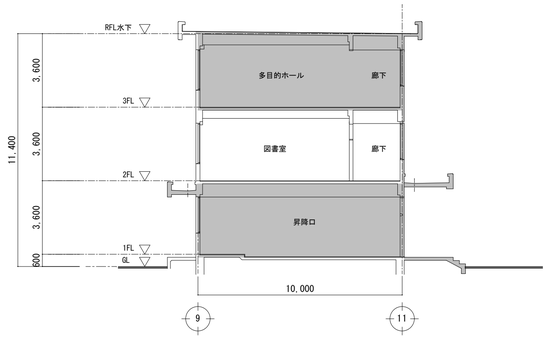
A－１７



R階平面図（改修前後） 1/150

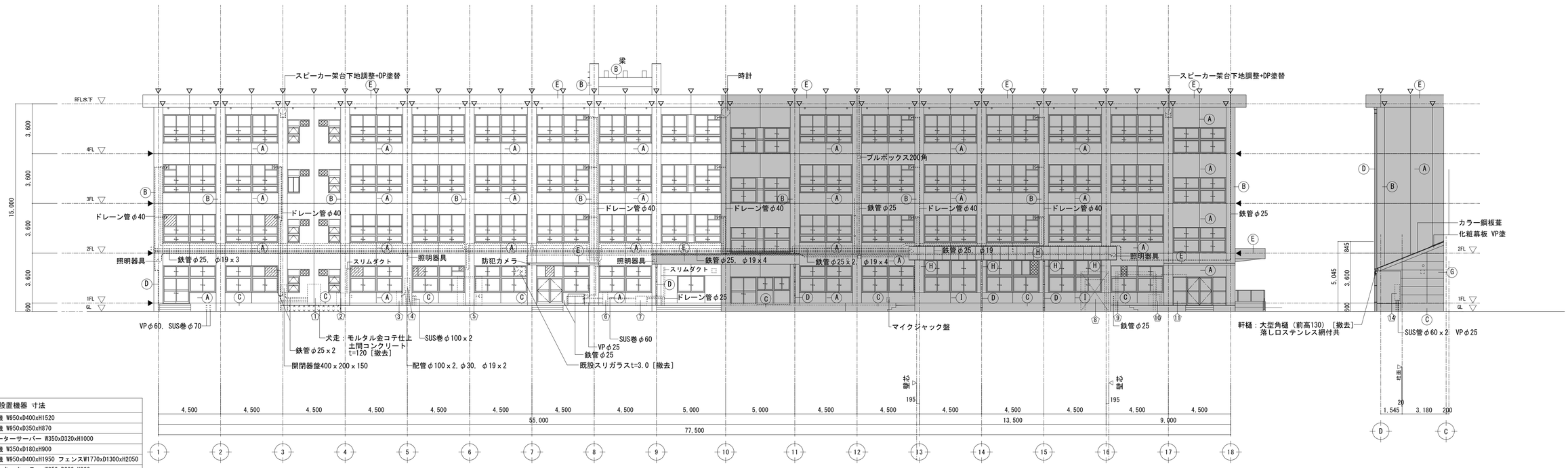


A断面図（改修前後） 1/150



B断面図（改修前後） 1/150

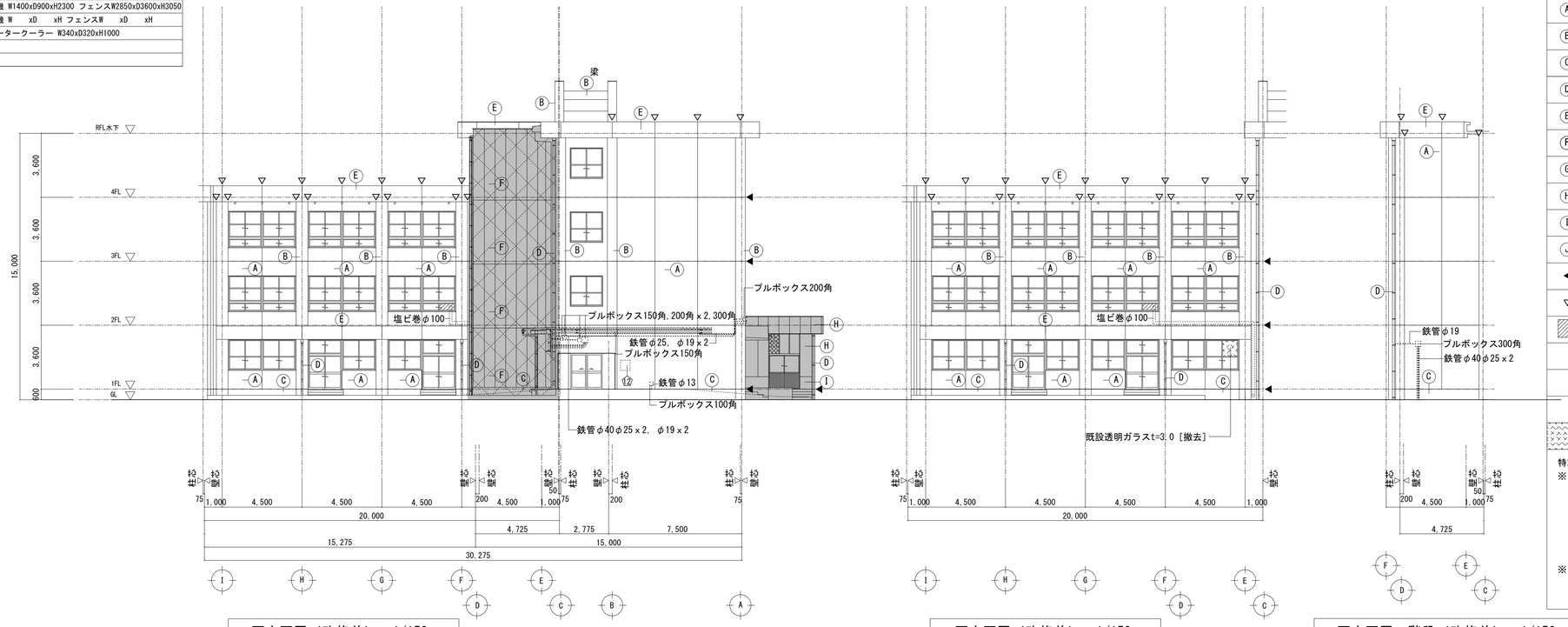
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	R階平面図 断面図（改修前後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫
★	★	★							A-18



南立面図（改修前） 1/150

凡例

記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォーターサーバー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W xD xH フェンスW xD xH
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000



西立面図（改修前） 1/150

西立面図（改修前） 1/150

西立面図B階段（改修前） 1/150

西立面図男子更衣室（改修前） 1/150

※ ★印はアスベスト含有材

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓑ	校舎柱型：モルタル刷毛引★外装薄塗材E
Ⓒ	巾木：モルタル金コテ仕上
Ⓓ	竪樋：VP100φ VP塗［撤去］（掴み金物共）
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：ALCパネルt=125縦張複層塗材E
Ⓖ	男子更衣室外壁：ALCパネルt=50横張弾性吹付タイル 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：ALCパネルt=100縦張防水型複層塗材E 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：モルタル金コテ下地防水型複層塗材E
Ⓙ	男子更衣室竪樋：VP70φ［撤去］（掴み金物共）
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。 / アルミパネルt=3.0［撤去］を示す。
	ハッチング部分は、撤去範囲を示す。

特記事項

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は 清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。 φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(ＭＳ-２ Ｗ１５)を行うこと。

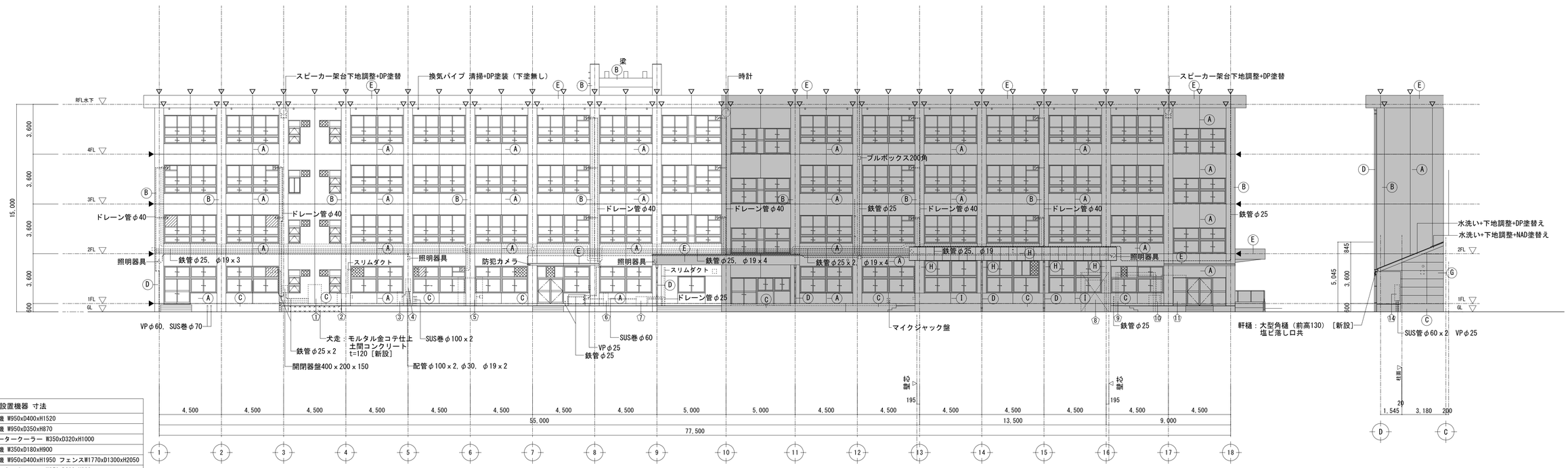
※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	立面図（改修前１） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫

A－１９

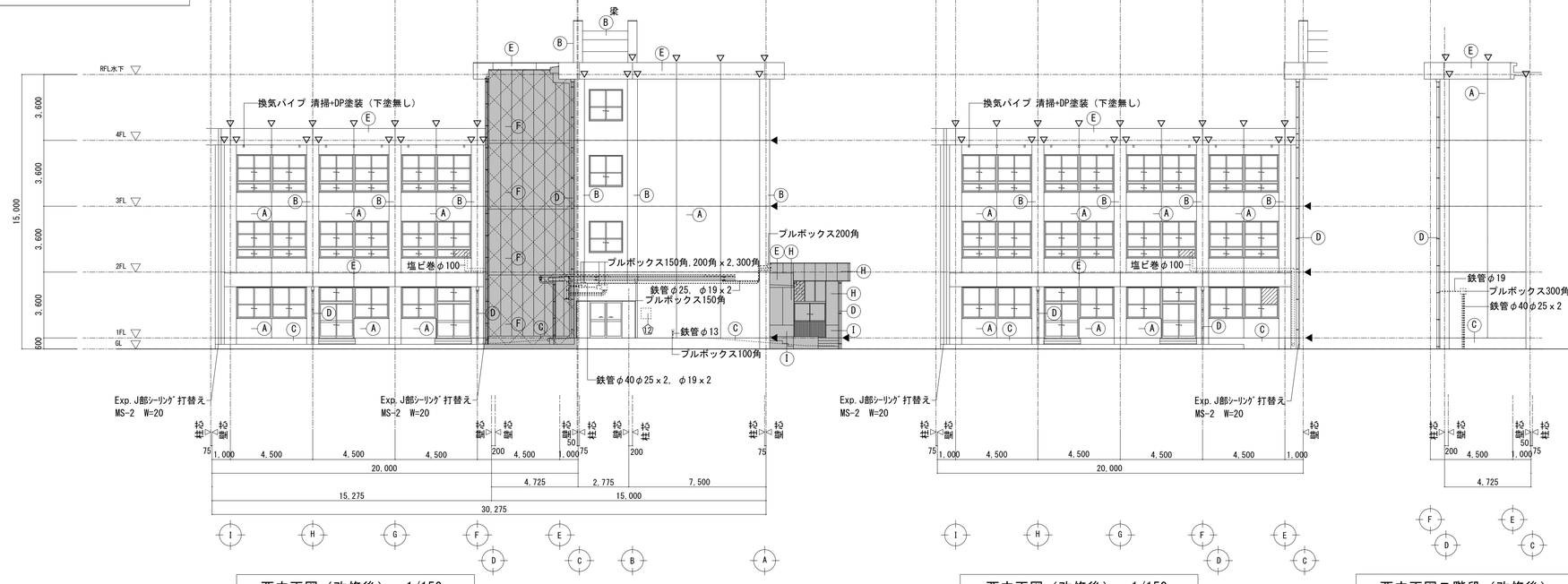


南立面図（改修後） 1/150

西立面図男子更衣室（改修後） 1/150

凡例

記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォータークーラー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W1000xD600xH2300×4 フェンスW9400xD2300xH2700
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000



西立面図（改修後） 1/150

西立面図（改修後） 1/150

西立面図Ｂ階段（改修後） 1/150

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓑ	校舎柱型：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓒ	巾木：水洗い
Ⓓ	竪樋：カラーVP100φ［新設］SUS製掴み金物@1200内外共、飾ります共（EV棟は工事対象外）
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：［既設のまま］
Ⓖ	男子更衣室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓙ	竪樋：カラーVP70φ［新設］SUS製掴み金物@1200内外共
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
▨	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。
▩	アルミパネルt=3.0［新設］を示す。
▨	ハッチング部分は、工事範囲囲外を示す。
▨	ハッチング部分は、新設範囲を示す。

特記事項

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は 清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。 φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(ＭＳ-２ Ｗ１５)を行うこと。

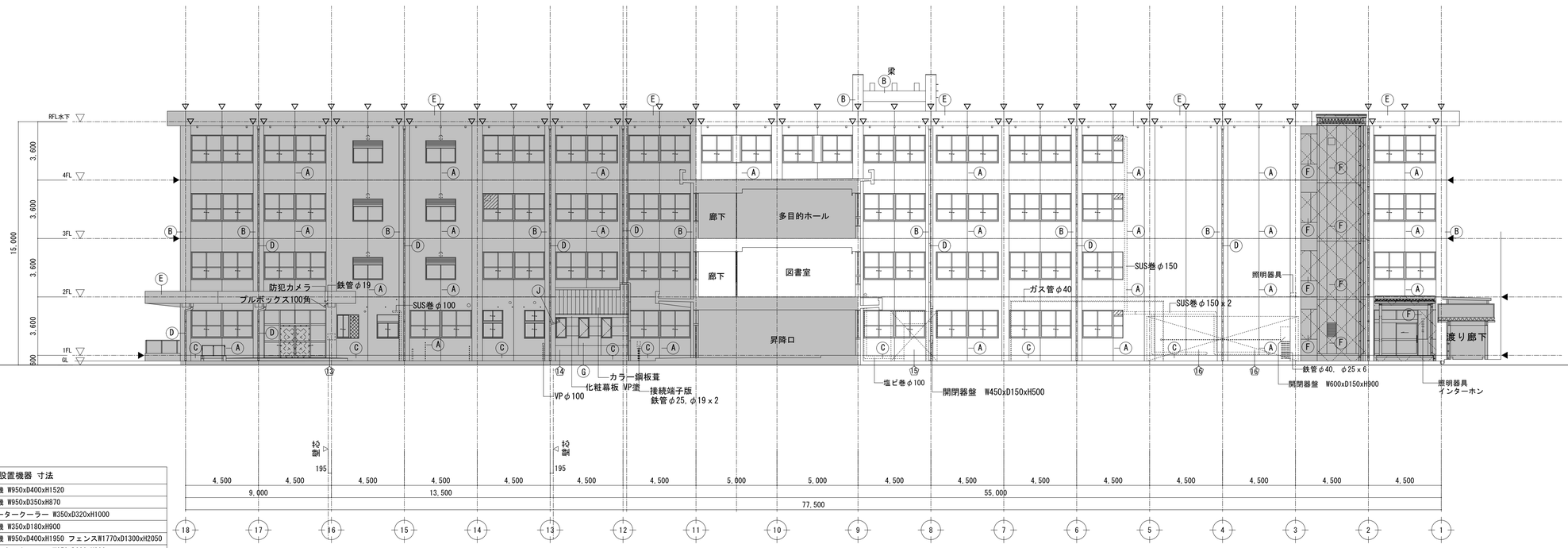
※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	立面図（改修後１） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録 ２２２５５１ 田中 富士夫

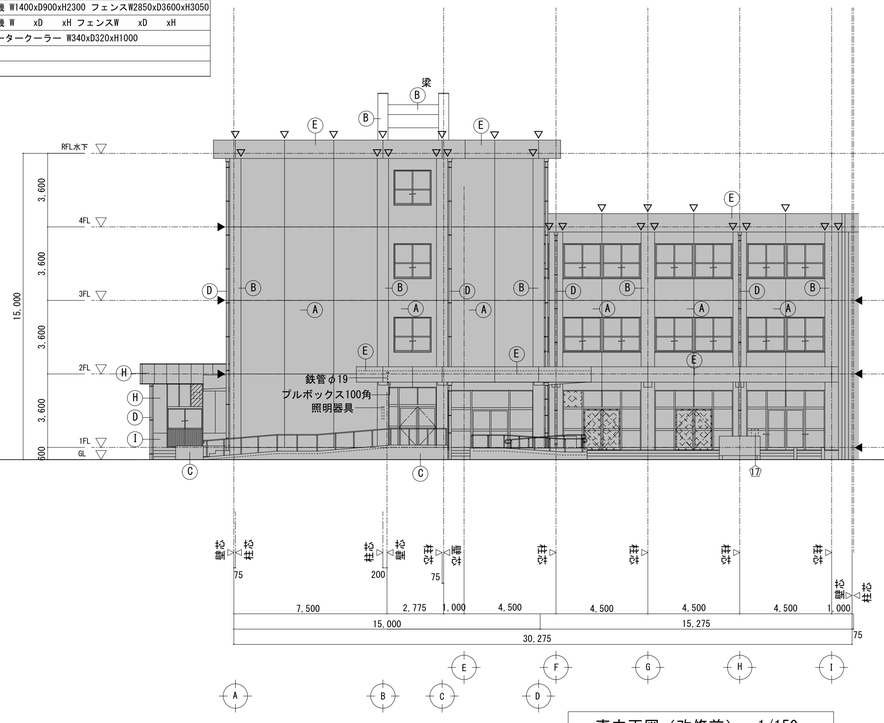
A－２０



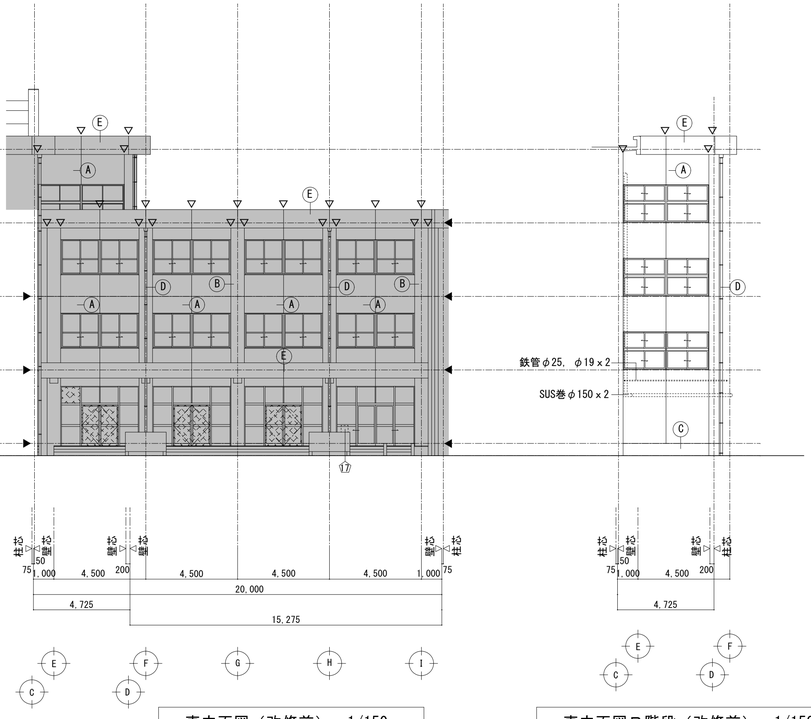
北立面図（改修前） 1/150

凡例

記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォータークーラー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W xD xH フェンスW xD xH
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000



東立面図（改修前） 1/150



東立面図（改修前） 1/150

東立面図Ｂ階段（改修前） 1/150

凡例

※ ★印はアスベスト含有材

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓑ	校舎柱型：モルタル刷毛引★外装薄塗材E
Ⓒ	巾木：モルタル金コテ仕上
Ⓓ	竪樋：VP100φ VP塗［撤去］（掴み金物共）
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：コンクリート打放★外装薄塗材E
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：ALCパネルt=125縦張複層塗材E
Ⓖ	男子更衣室外壁：ALCパネルt=50横張弾性吹付タイル 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：ALCパネルt=100縦張防水型複層塗材E 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：モルタル金コテ下地防水型複層塗材E
Ⓙ	男子更衣室竪樋：VP70φ［撤去］（掴み金物共）
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。
	アルミパネルt=3.0［撤去］を示す。
	ハッチング部分は、撤去範囲を示す。

特記事項

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は 清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。 φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装(下塗無し)とし、鉄部はＤＰ塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替（ＭＳ－２ Ｗ１５）を行うこと。

※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

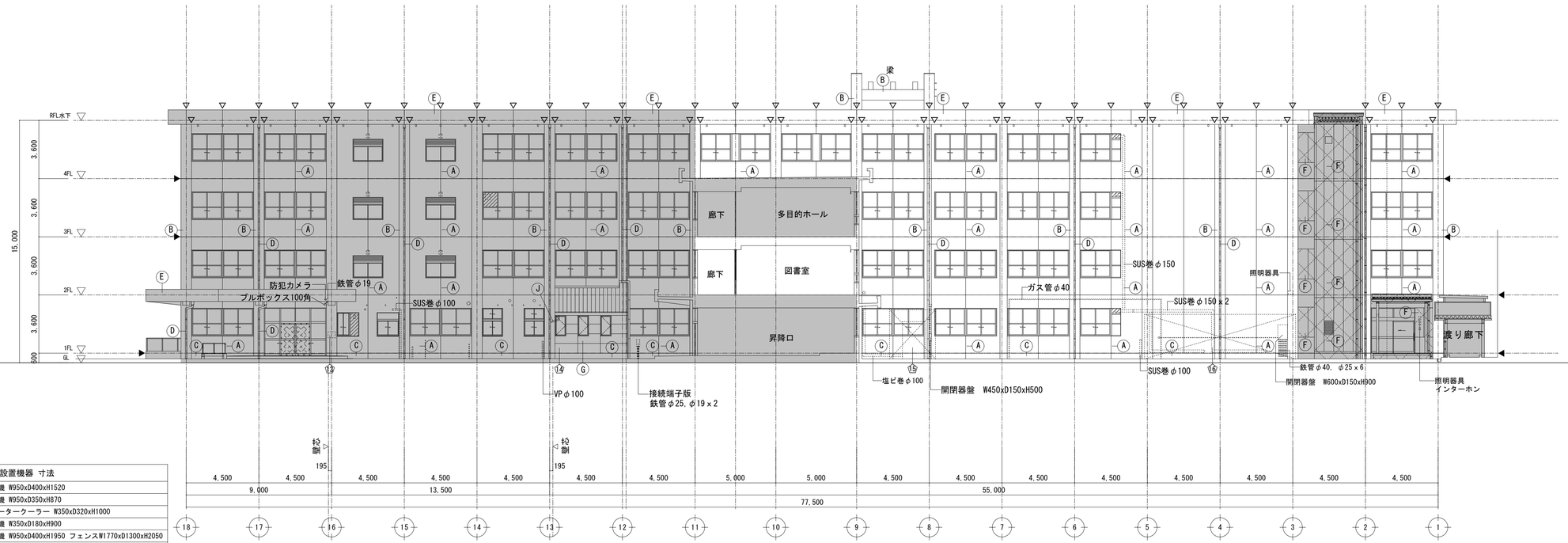
工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	★ 立面図（改修前２）	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社

一級建築士登録 １１７４７１
田中 保雄

A－２１



北立面図（改修後）　1/150

凡例

記号	屋外設置機器 寸法
①	室外機 W950xD400xH1520
②	室外機 W950xD350xH870
③	ウォータークーラー W350xD320xH1000
④	給湯機 W350xD180xH900
⑤	室外機 W950xD400xH1950 フェンスW1770xD1300xH2050
⑥	ウォータークーラー W350xD280xH900
⑦	室外機 W780xD300xH600
⑧	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2000xD2000xH2600
⑨	屋根 W2700xD5350xH2850
⑩	室外機 W800xD330xH750
⑪	物置 W1800xD650xH2180
⑫	AEDボックス W530xD300xH580
⑬	郵便受 W450xD280xH370
⑭	給湯機 W350xD200xH1150
⑮	室外機 W1400xD900xH2300 フェンスW2850xD3600xH3050
⑯	室外機 W1000xD600xH2300×4 ﾌｪﾝｽW9400xD2300xH2700
⑰	ウォータークーラー W340xD320xH1000

東立面図（改修後）　1/150

東立面図（改修後）　1/150

東立面図Ｂ階段（改修後）　1/150

凡例

記号	仕上
Ⓐ	校舎外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓑ	校舎柱型：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓒ	巾木：水洗い
Ⓓ	竪樋：カラーVP100φ［新設］SUS製掴み金物@1200内外共、飾ります共（EV棟は工事対象外）
Ⓔ	屋根・庇パラペット見付：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え
Ⓕ	ＥＶ棟外壁：［既設のまま］
Ⓖ	男子更衣室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓗ	職員室外壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 縦横目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓘ	職員室腰壁：水洗い+防水型外装薄塗材E（ローラー塗）塗替え 目地シーリング PU-2 W20打替え
Ⓙ	竪樋：カラーVP70φ［新設］SUS製掴み金物@1200内外共
◀	打継目地シーリング PU-2 W10打替え
▽	伸縮目地シーリング PU-2 W10打替え
	アルミパネルt=3.0［既設のまま］を示す。 / アルミパネルt=3.0［新設］を示す。
	ハッチング部分は、工事範囲外を示す。
	ハッチング部分は、新設範囲を示す。

特記事項

※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
- 設備ＢＯＸ・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は　清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鋼板製はＤＰ塗装（亜鉛ﾒｯｷ面程度）とする。
- φ２０より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。　φ２０より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上ＤＰ塗装（下塗無し）とし、鉄部はＤＰ塗装（亜鉛ﾒｯｷ面程度）とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替（ＭＳ-２ Ｗ１５）を行うこと。

※ 室外機裏面については、手が届く範囲で施工を行うこと。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	立面図（改修後２）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　１１７４７１
田中　保雄

A-２２

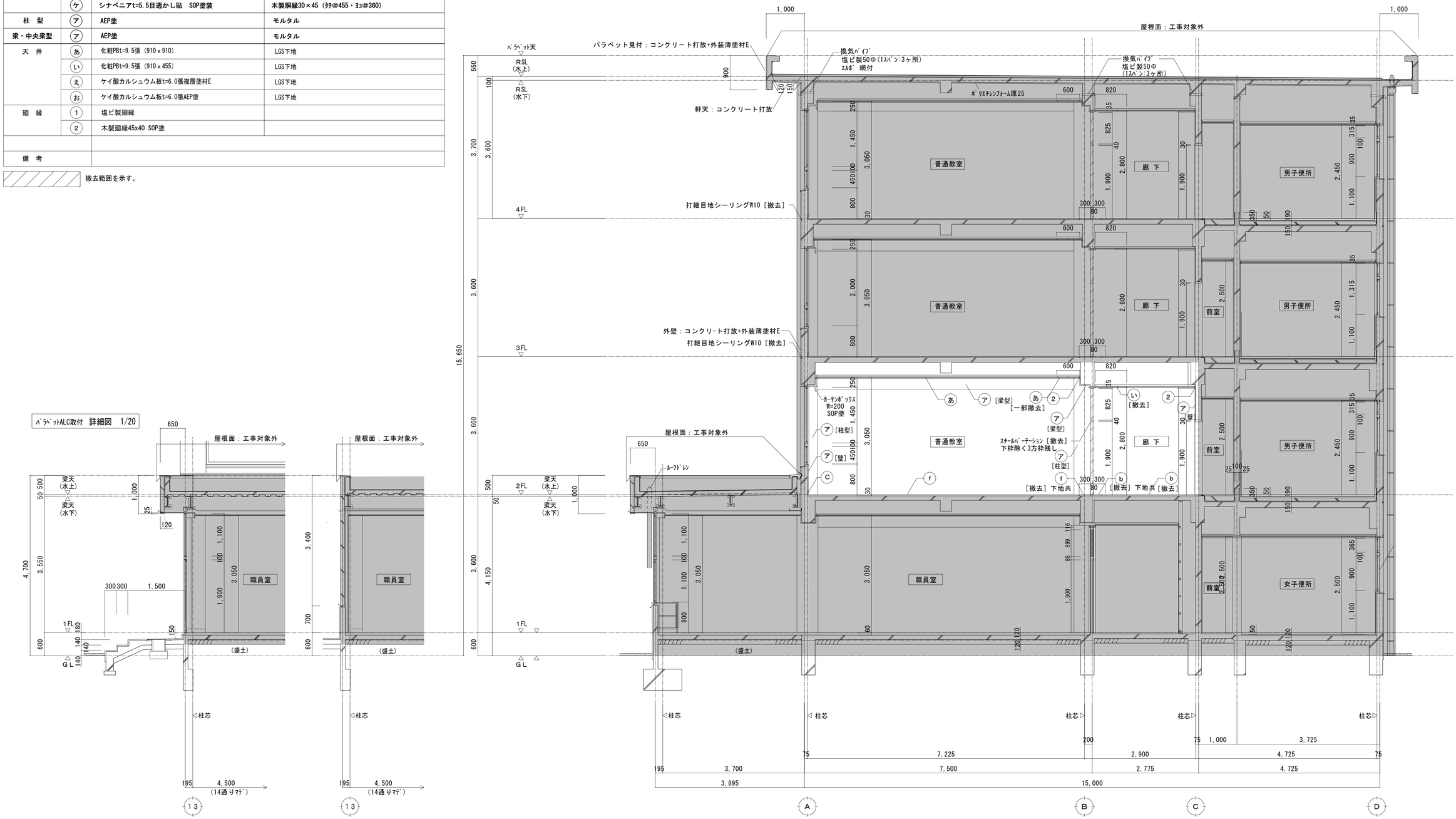
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル
	ⓜ	磁器質25角タイル張	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	㋐	AEP塗	モルタル
	㋒	陶器質100角タイル張	モルタル
	㋓	**シナベニアt=5.5目透かし貼　SOP塗装**	**木製胴縁30×45（ﾀﾃ@455・ﾖｺ@360）**
柱　型	**㋐**	**AEP塗**	**モルタル**
梁・中央梁型	**㋐**	**AEP塗**	**モルタル**
天　井	㋑	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	㋺	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
	㋩	ケイ酸カルシュウム板t=6.0張複層塗材E	LGS下地
	㋥	ケイ酸カルシュウム板t=6.0張AEP塗	LGS下地
廻　縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗	
備　考			

撤去範囲を示す。



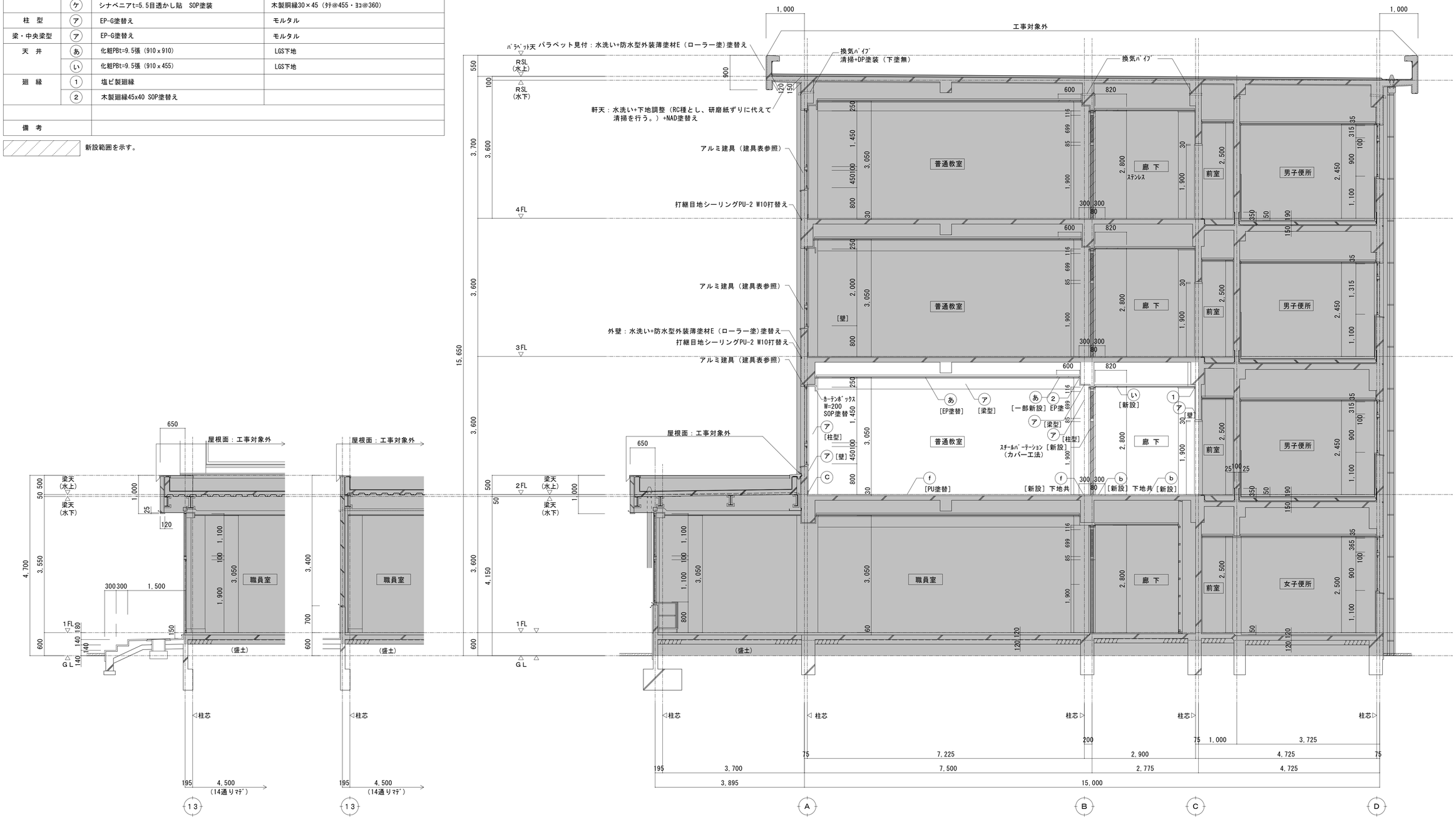
工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	矩計図１（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－２３

仕上表（改修後）

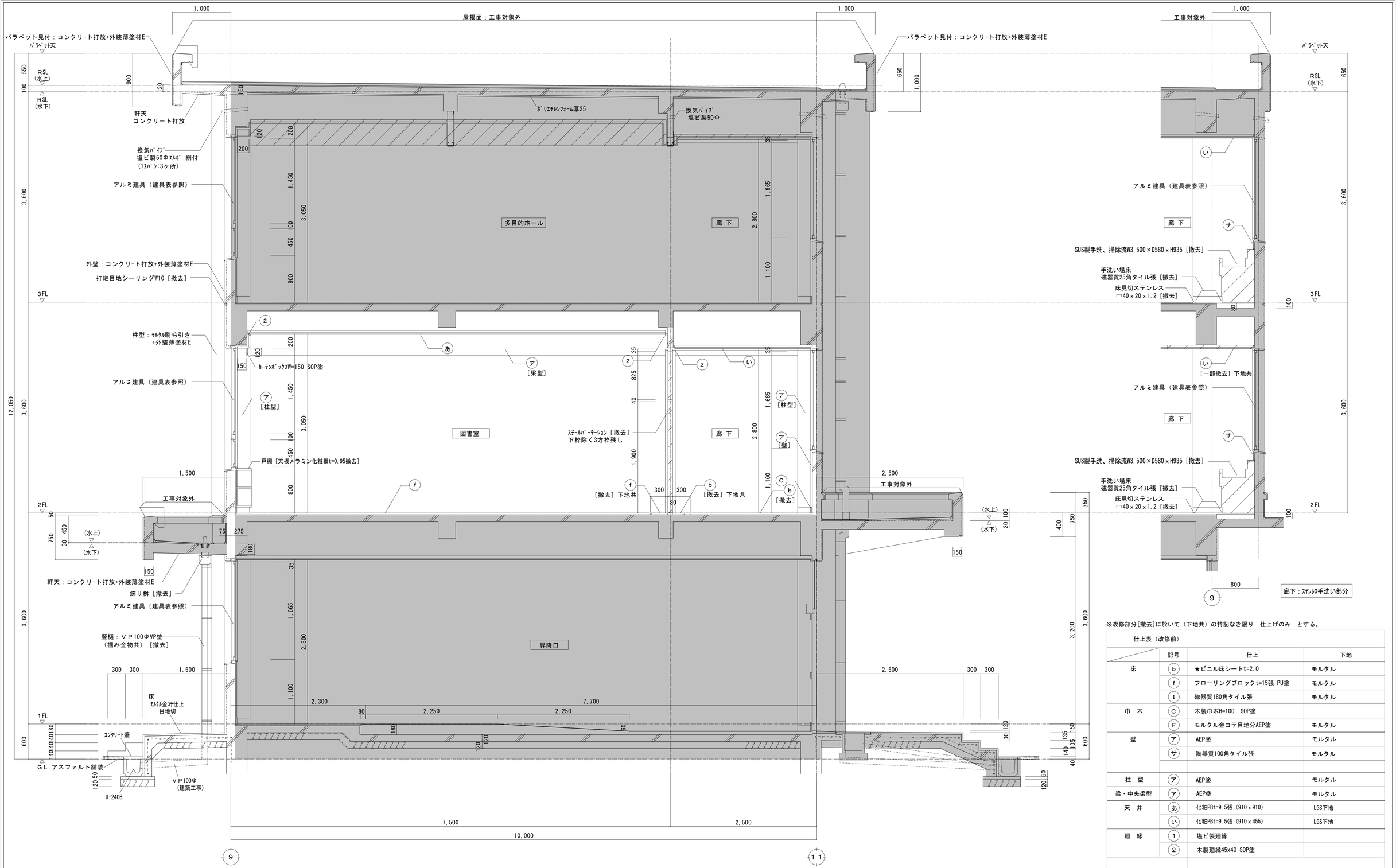
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓓ	防汚・防滑長尺ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗替え 新設部フローリングブロックt=15（無塗装品）PU塗装	モルタル
巾木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
	ス	既設仕上面化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6(接着貼)ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共	タイル
	ケ	シナベニアt=5.5目透かし貼　SOP塗装	木製胴縁30×45（ﾀﾃ@455・ﾖｺ@360）
柱型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
天井	あ	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	い	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
廻縁	1	塩ビ製廻縁	
	2	木製廻縁45x40 SOP塗替え	
備考			

新設範囲を示す。



工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	矩計図１（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－２４



※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

仕上表（改修前）

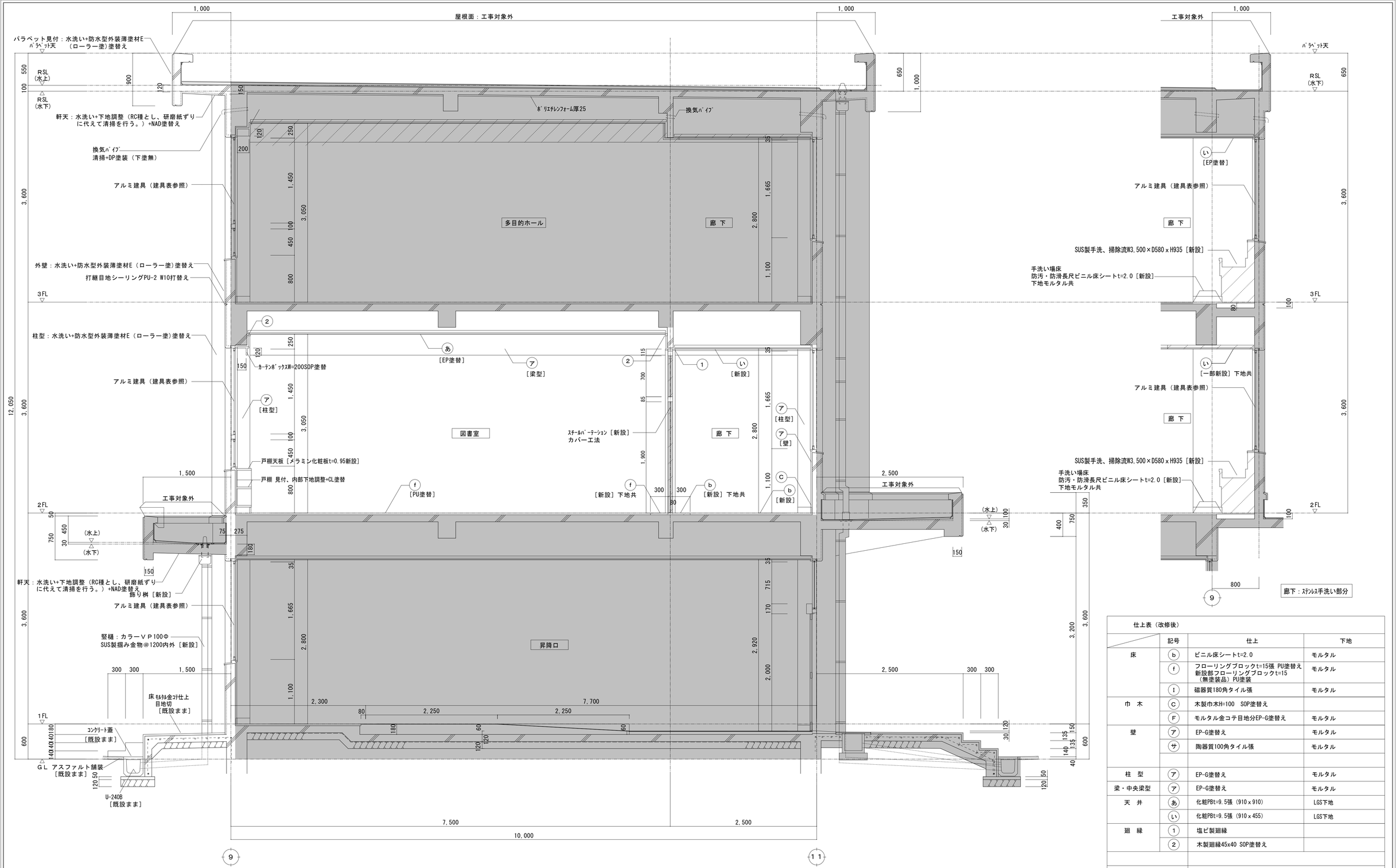
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル
	ⓘ	磁器質180角タイル張	モルタル
巾木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗	
	Ⓕ	モルタル金コテ目地分AEP塗	モルタル
壁	ⓐ	AEP塗	モルタル
	ⓢ	陶器質100角タイル張	モルタル
柱型	ⓐ	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ⓐ	AEP塗	モルタル
天井	ⓐ	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	ⓘ	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
廻縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗	
備考			

撤去範囲を示す。

※　★印はアスベスト含有材

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	矩計図２（改修前）	A1: 1:30 A3: 1:60						藤川設計株式会社	A－２５
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



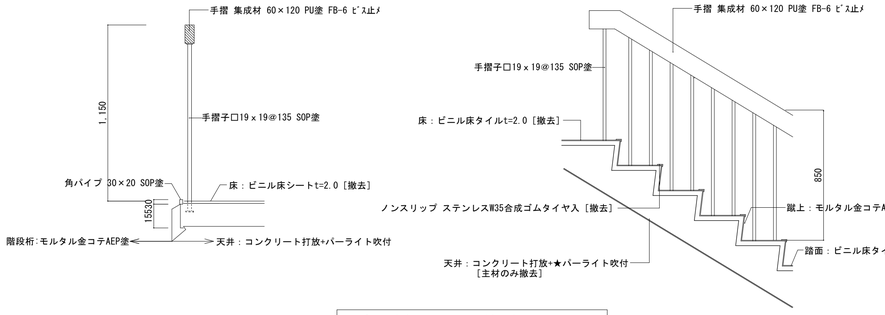
仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗替え 新設部フローリングブロックt=15 （無塗装品）PU塗装	モルタル
	ⓘ	磁器質180角タイル張	モルタル
巾 木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
	Ⓕ	モルタル金コテ目地分EP-G塗替え	モルタル
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
	サ	陶器質100角タイル張	モルタル
柱 型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
天 井	あ	化粧PBt=9.5張（910×910）	LGS下地
	い	化粧PBt=9.5張（910×455）	LGS下地
廻 縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗替え	
備 考			

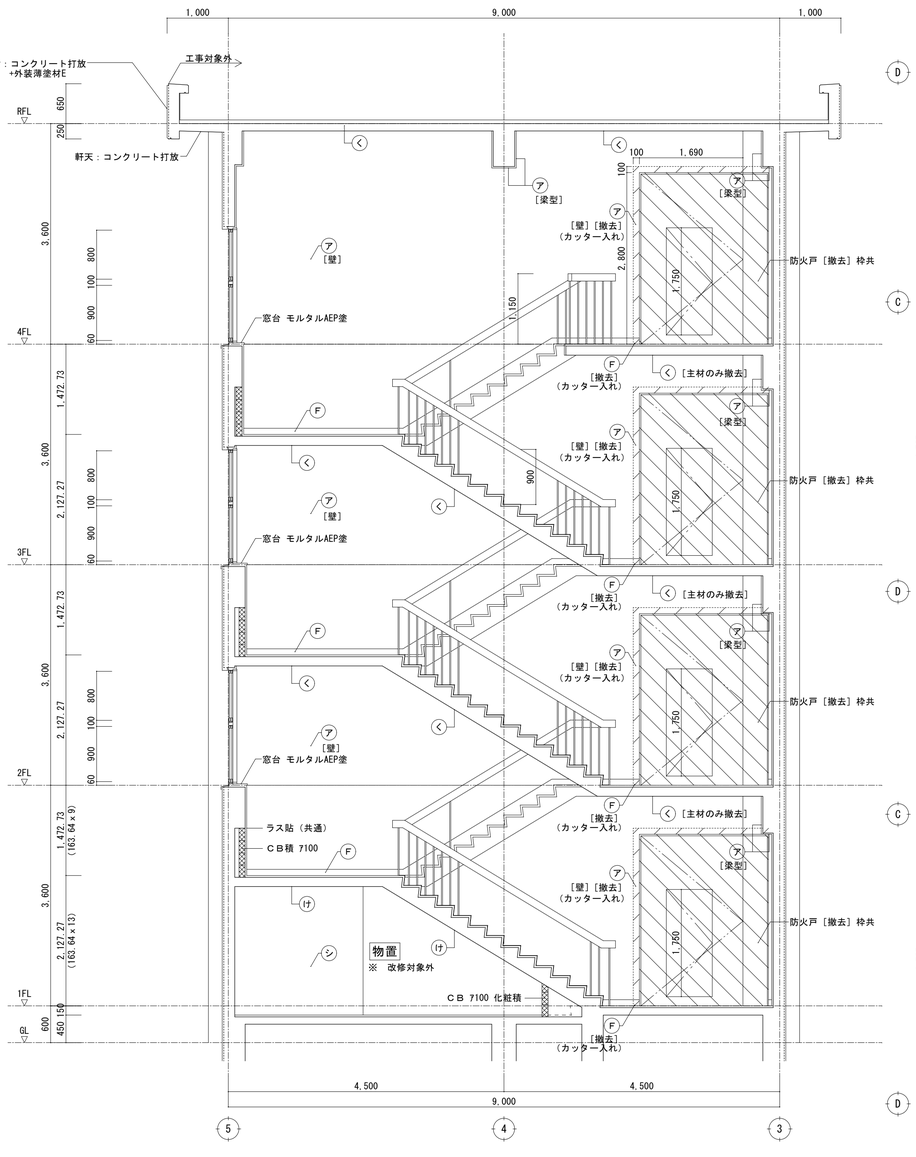
新設範囲を示す。

工事対象外を示す。

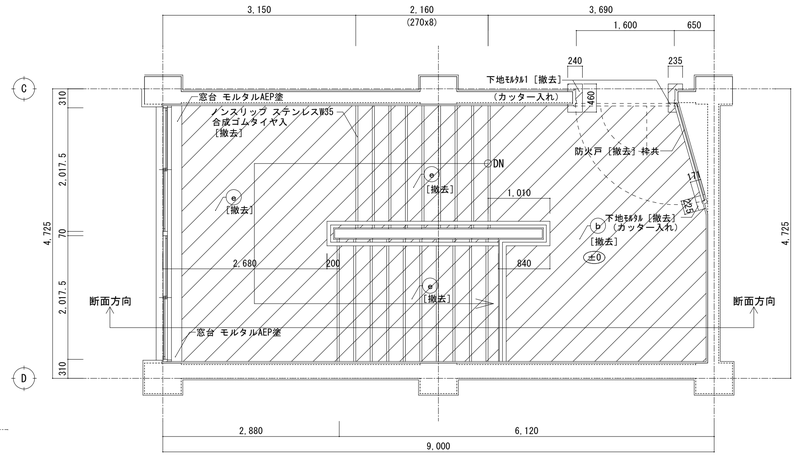
工事名称	図面名称		縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	矩計図２（改修後）		A1: 1:30 A3: 1:60						藤川設計株式会社	A－２６
★	★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



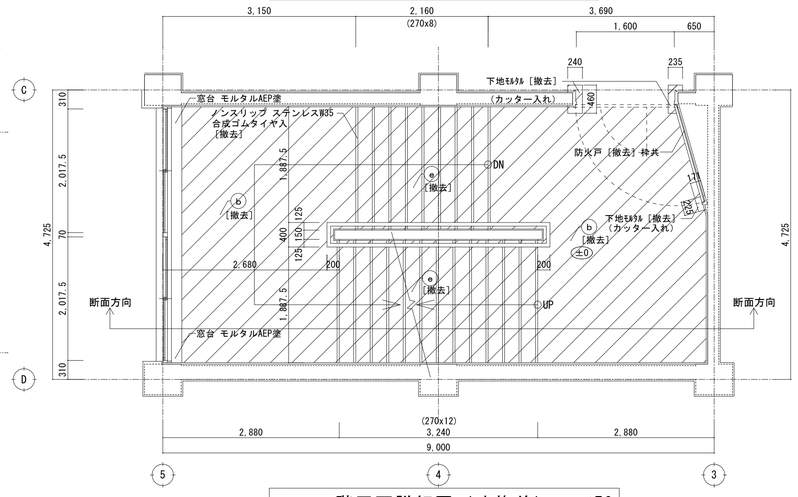
手摺詳細図（改修前） 1／20



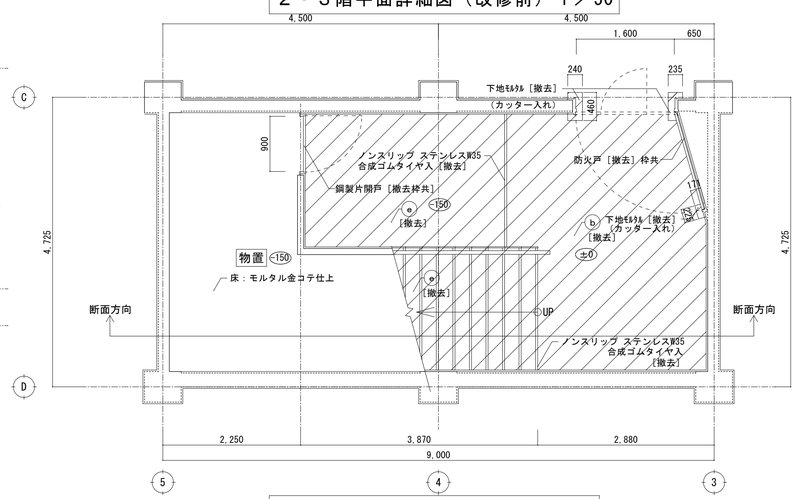
断面詳細図（改修前） 1／50



4階平面詳細図（改修前） 1／50



2・3階平面詳細図（改修前） 1／50



1階平面詳細図（改修前） 1／50

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

物置		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	－	モルタル金コテ仕上	
巾　木	Ⓖ	コンクリート打放	
壁	Ⓢ	コンクリート打放	
柱　型	－		
梁・中央梁型	－		
天　井	Ⓚ	コンクリート打放	
廻　縁	－		
天井高		2,000	
備　考		－	

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

階段B		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓕ	モルタル金コテ目地分AEP塗	
壁	Ⓐ	AEP塗	モルタル
柱　型	－		
梁・中央梁型	Ⓐ	AEP塗	モルタル
天　井	Ⓒ	天井：コンクリート打放+パーライト吹付(★下地調整材)	
廻　縁	－		
天井高		－	
備　考		－	

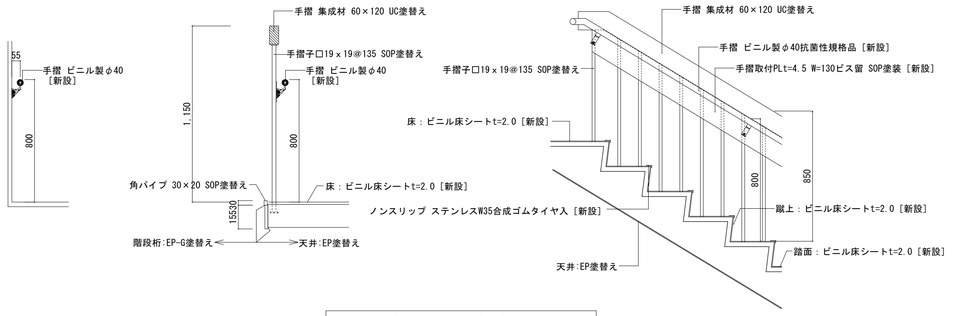
壁撤去・床仕上撤去範囲を示す。

建具等撤去範囲を示す。

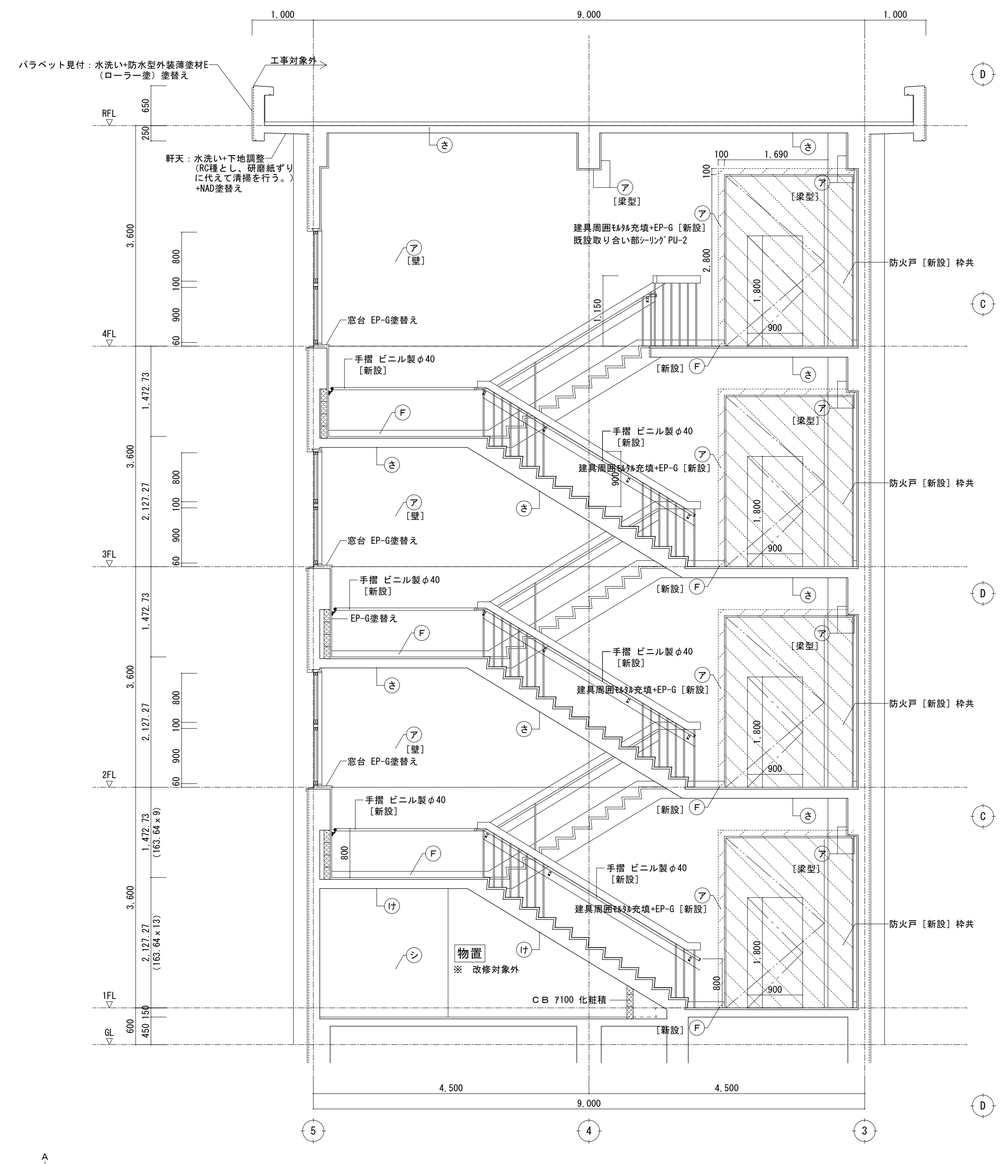
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	階段B　平面詳細図　断面図（改修前） ★	★ A1：1:50 A3：1:100	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

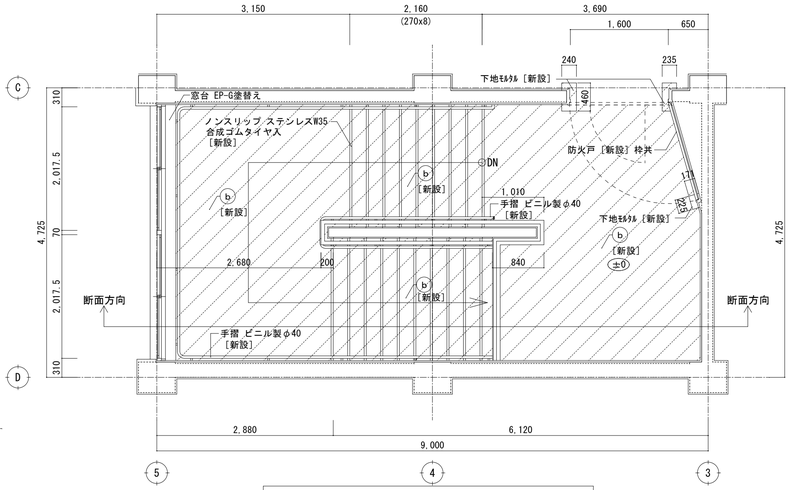
A－２７



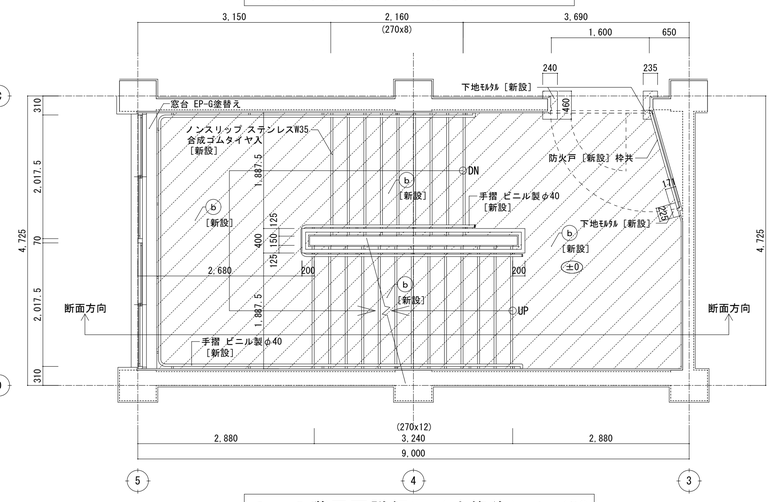
手摺詳細図（改修後） 1／20



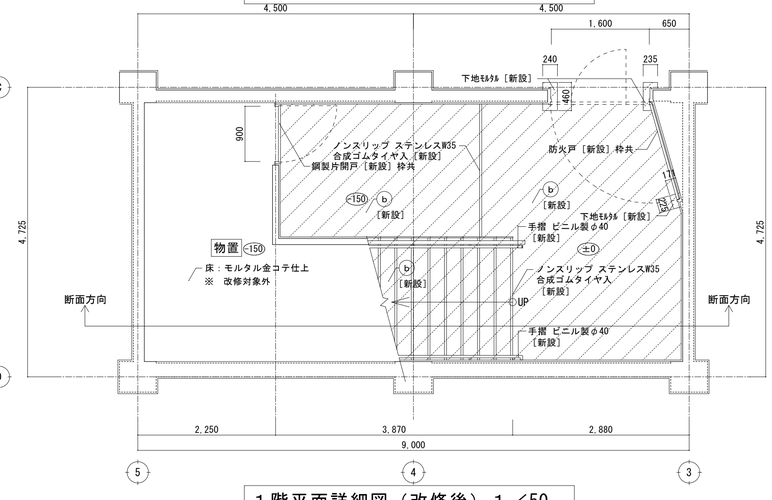
断面詳細図（改修後） 1／50



4階平面詳細図（改修後） 1／50



2・3階平面詳細図（改修後） 1／50



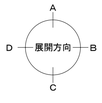
1階平面詳細図（改修後） 1／50

物置		仕上表（改修後）
	記号	仕上 / 下地
床	—	モルタル金コテ仕上
巾木	(G)	コンクリート打放
壁	(シ)	コンクリート打放
柱型	—	
梁型	—	
天井	(け)	コンクリート打放
廻縁	—	
天井高		2,000
備考		—

階段B		仕上表（改修後）
	記号	仕上 / 下地
床	(b)	ビニル床シートt=2.0 / モルタル
巾木	(F)	EP-G塗替え
壁	(ア)	EP-G塗替え / モルタル
柱型	—	
梁型	(ア)	EP-G塗替え / モルタル
天井	(さ)	EP塗替え / コンクリート打放
廻縁	—	
天井高		—
備考		天井塗替えについては、下地調整RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行うこと。

壁、床仕上新設範囲を示す。

建具等新設範囲を示す。



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	階段Ｂ　平面詳細図　断面図（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

A－２８

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　　※　★印はアスベスト含有材

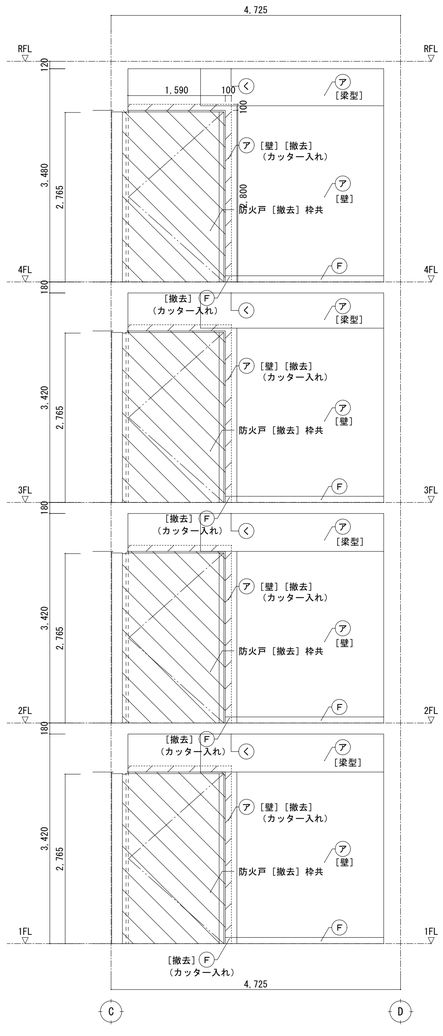
階段B	仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓕ	モルタル金コテ目地分AEP塗	
壁	㋐	AEP塗	モルタル
柱　型	―		
梁・中央梁型	㋐	AEP塗	モルタル
天　井	㋑	コンクリート打放+パーライト吹付(★下地調整材)	
廻　縁	―		
天井高		―	
備　考		―	

巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

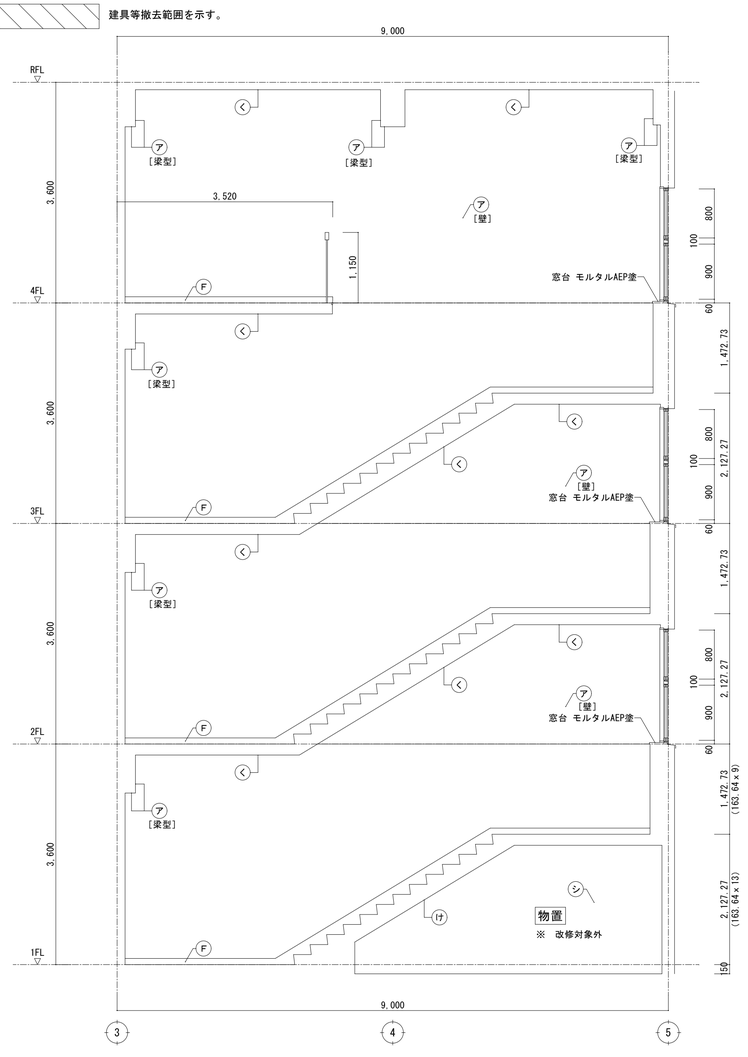
建具等撤去範囲を示す。

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　　※　★印はアスベスト含有材

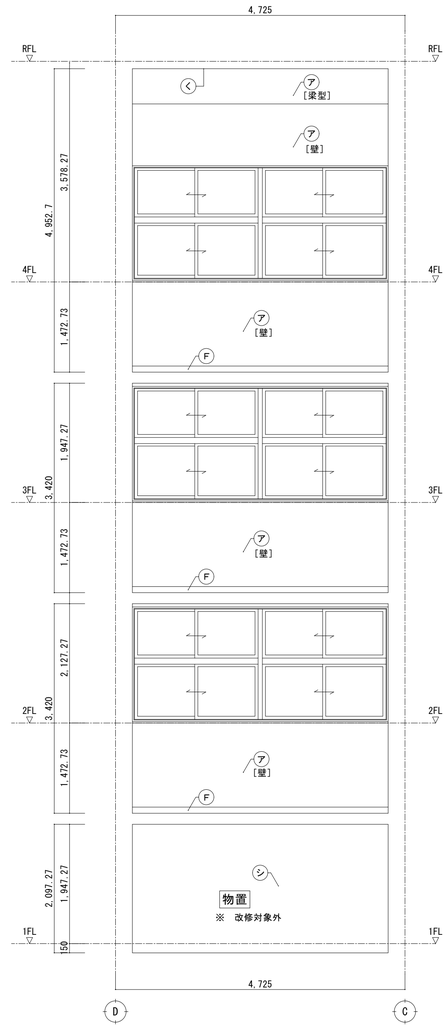
物置	仕上表（改修前）		
	記号	仕上	下地
床	―	モルタル金コテ仕上	
巾　木	Ⓖ	コンクリート打放	
壁	㋑	コンクリート打放	
柱　型	―		
梁・中央梁型	―		
天　井	㋕	コンクリート打放	
廻　縁	―		
天井高		2,000	
備　考		―	



B面詳細図（改修前）　1／50



C面詳細図（改修前）　1／50



D面詳細図（改修前）　1／50

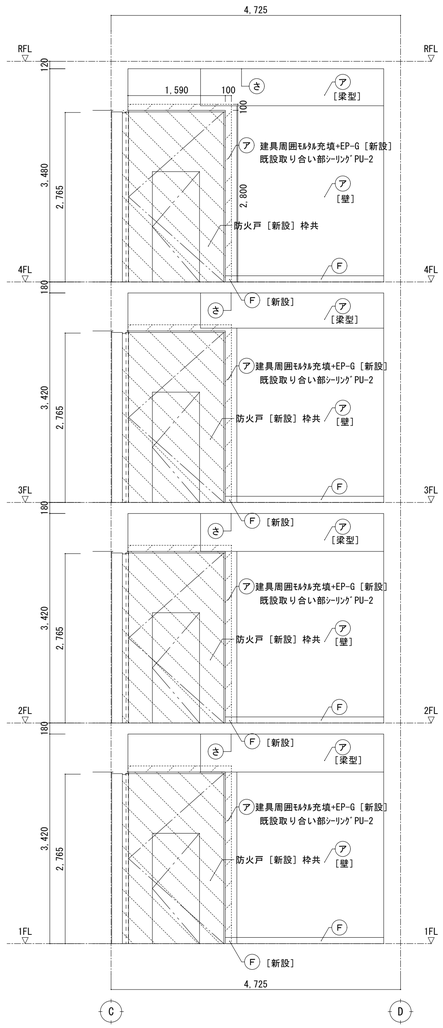
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	階段B　展開図（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－29

階段B		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓕ	EP-G塗替え	
壁	Ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	―		
梁　型	Ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
天　井	ⓢ	EP塗替え	コンクリート打放
廻　縁	―		
天井高		―	
備　考		天井塗替えについては、下地調整RC種とし、研磨紙ずりに代えて清掃を行うこと。	

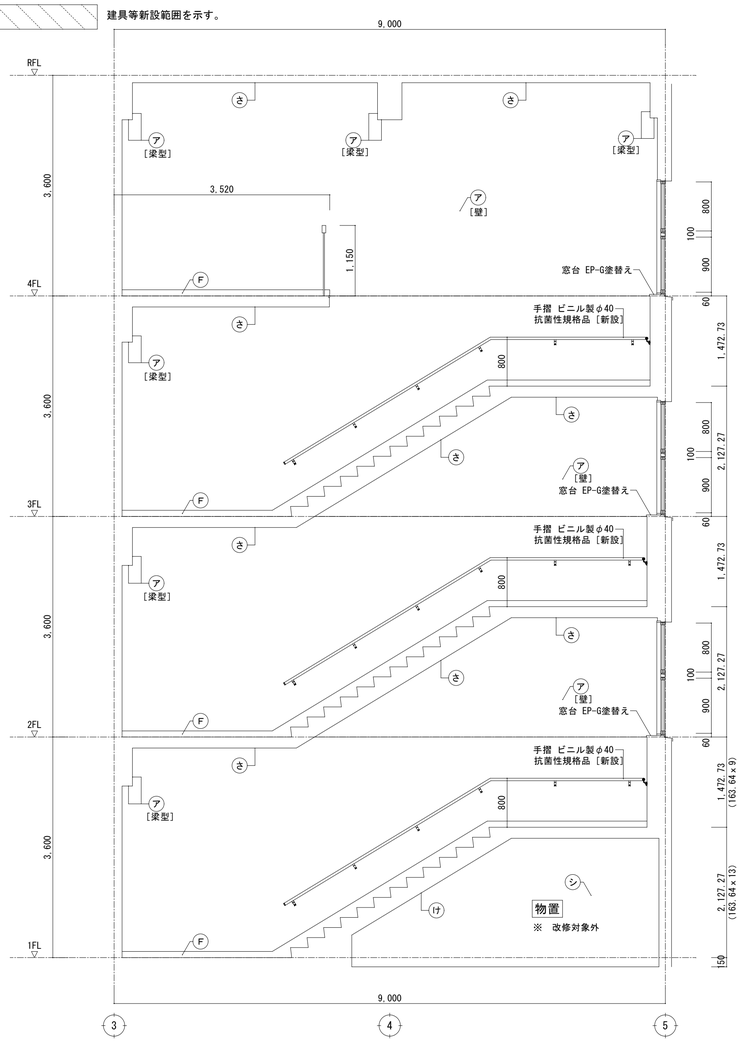
物置		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	―	モルタル金コテ仕上	
巾　木	Ⓖ	コンクリート打放	
壁	Ⓒ	コンクリート打放	
柱　型	―		
梁　型	―		
天　井	ⓚ	コンクリート打放	
廻　縁	―		
天井高		2,000	
備　考		―	

巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

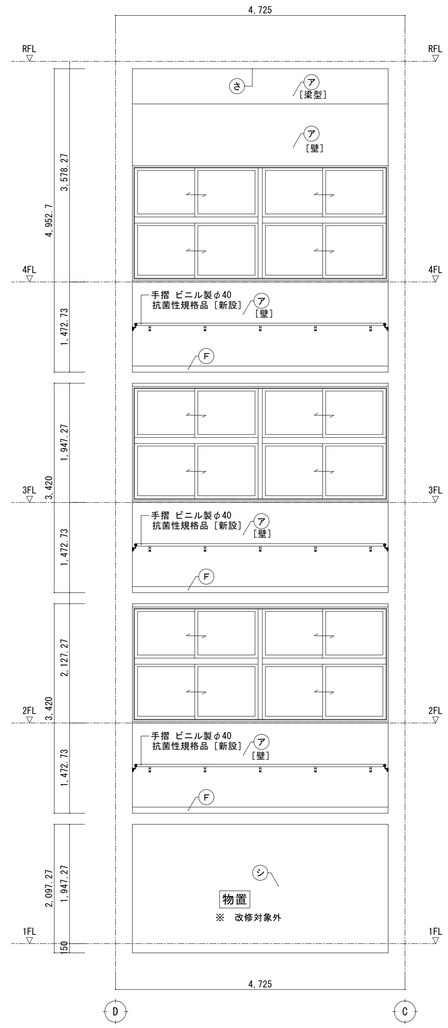
建具等新設範囲を示す。



B面詳細図（改修後）　1／50



C面詳細図（改修後）　1／50



D面詳細図（改修後）　1／50

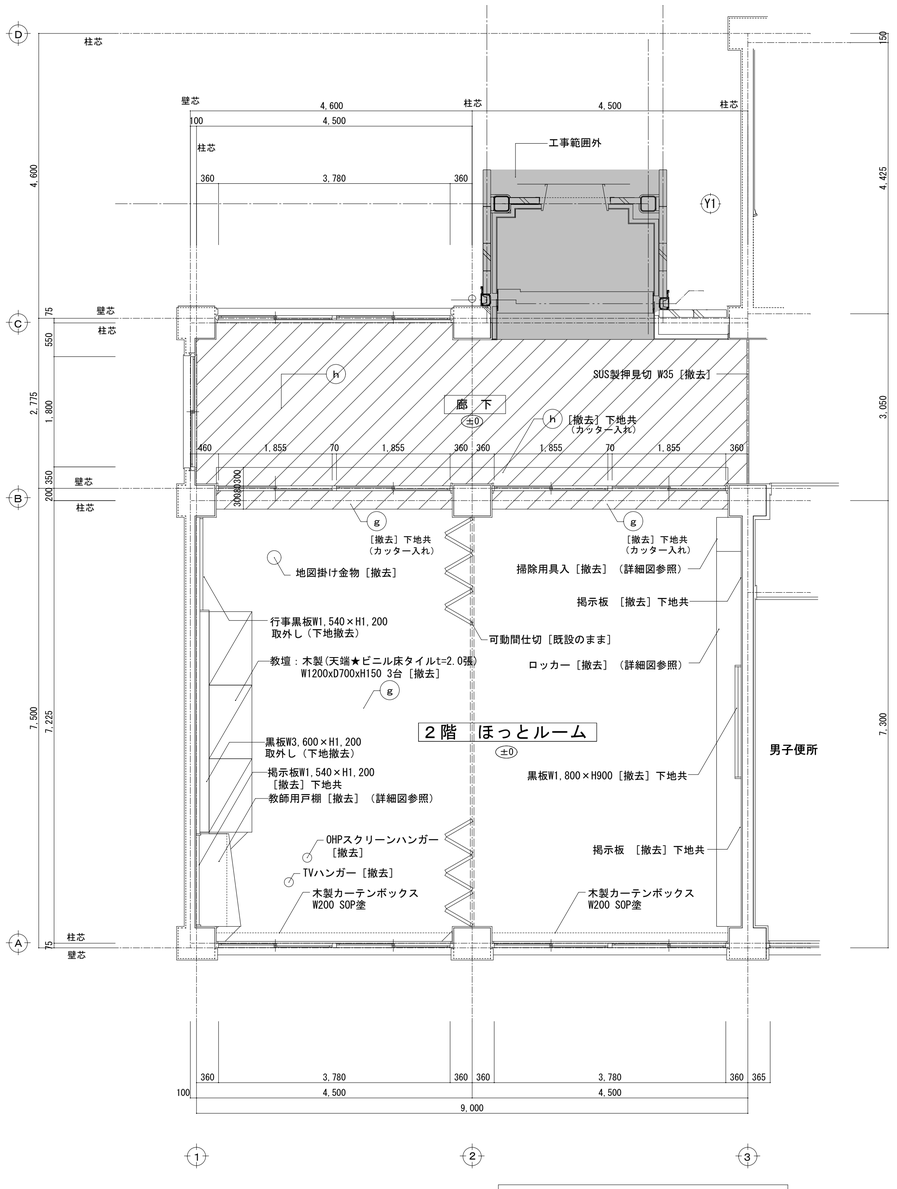
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	階段B　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－30

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　　※　★印はアスベスト含有材

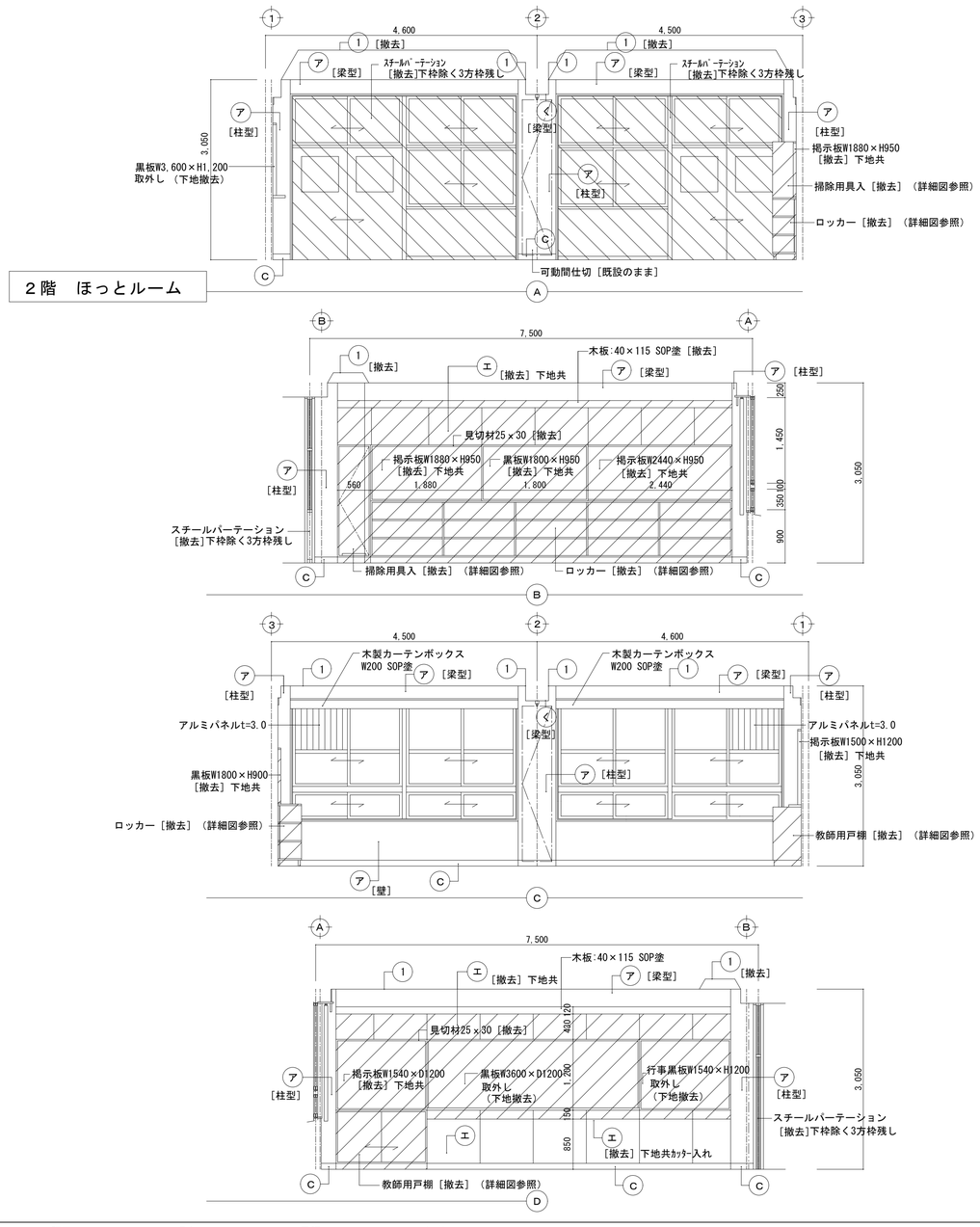
２階　ほっとルーム		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	ⓖ	フローリングブロックt=15　OSW塗	モルタル
	ⓗ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	エ	ラワン合板t=5.5目透張　SOP塗	木製
中央梁型	く	コンクリート打放+パーライト吹付（★下地調整材）	
廻　縁	ⓛ	塩ビ廻縁	
天井高		3,050	
備　考			

巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。



平面詳細図（改修前）１／50



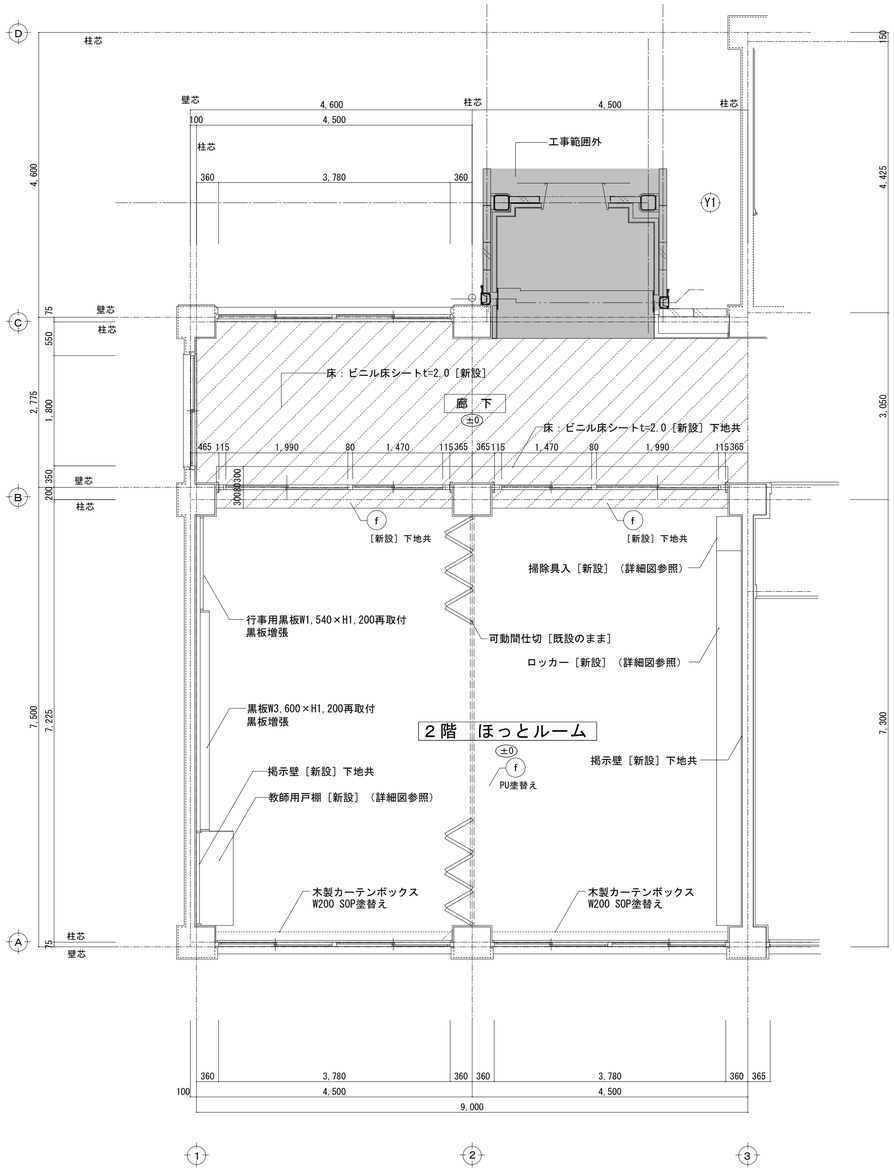
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	２階　ほっとルーム 平面詳細図　展開図（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫

A－３１

２階　ほっとルーム		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	ⓕ	フローリングブロックt=15　PU塗替 新設部フローリングブロックt=15（無塗装品）PU塗替	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替	モルタル
	ソ	シナ合板t=5.5増張目透張 SOP塗替え	木製
	掲示板	シナ合板t=5.5　掲示クロス張四周ｱﾙﾐ押さえ	木製：縦胴24×45@450 横胴縁24×45@360
中央梁型	こ	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	1	塩ビ廻縁既設のまま	
天井高		3,050	
備　考		黒板、掲示板、ロッカー、掃除具入、教師用戸棚の新設（黒板増張り含む）は、詳細図参照	

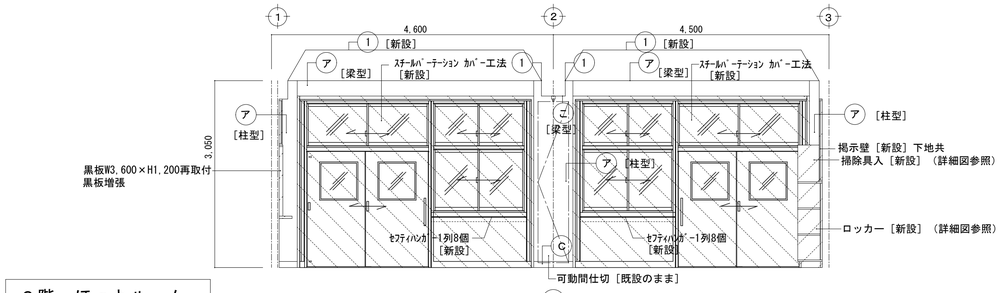
巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

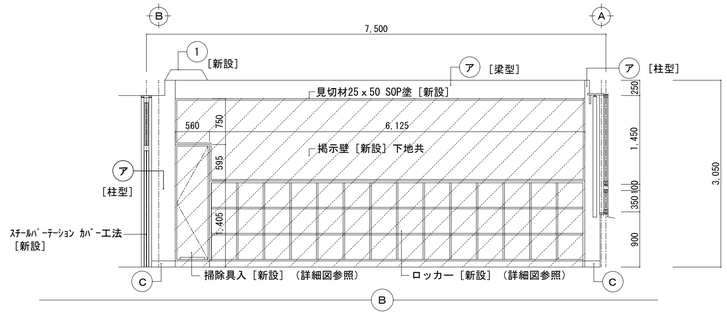
建具新設範囲を示す。

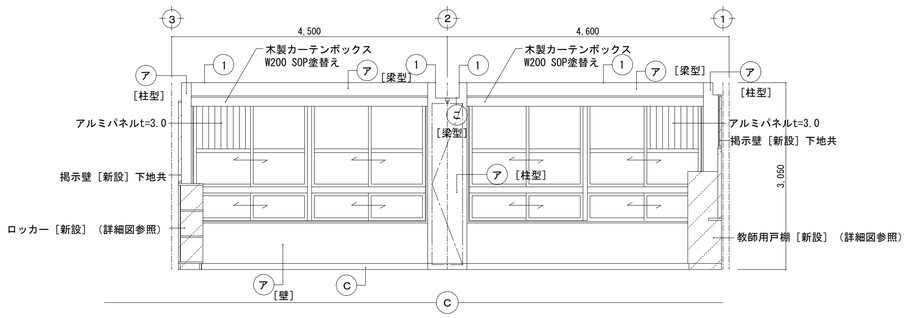


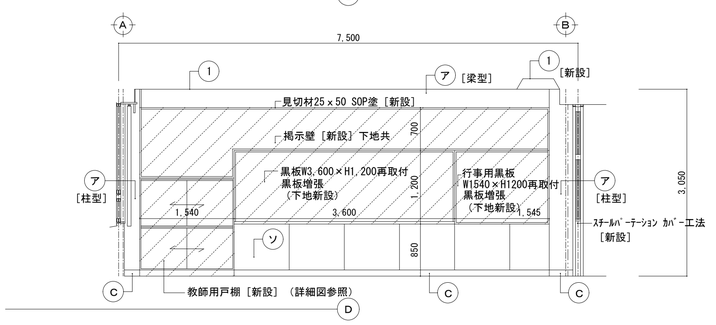
床仕上材新設範囲を示す。

平面詳細図（改修後）　１／50









工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	２階　ほっとルーム 平面詳細図　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３２

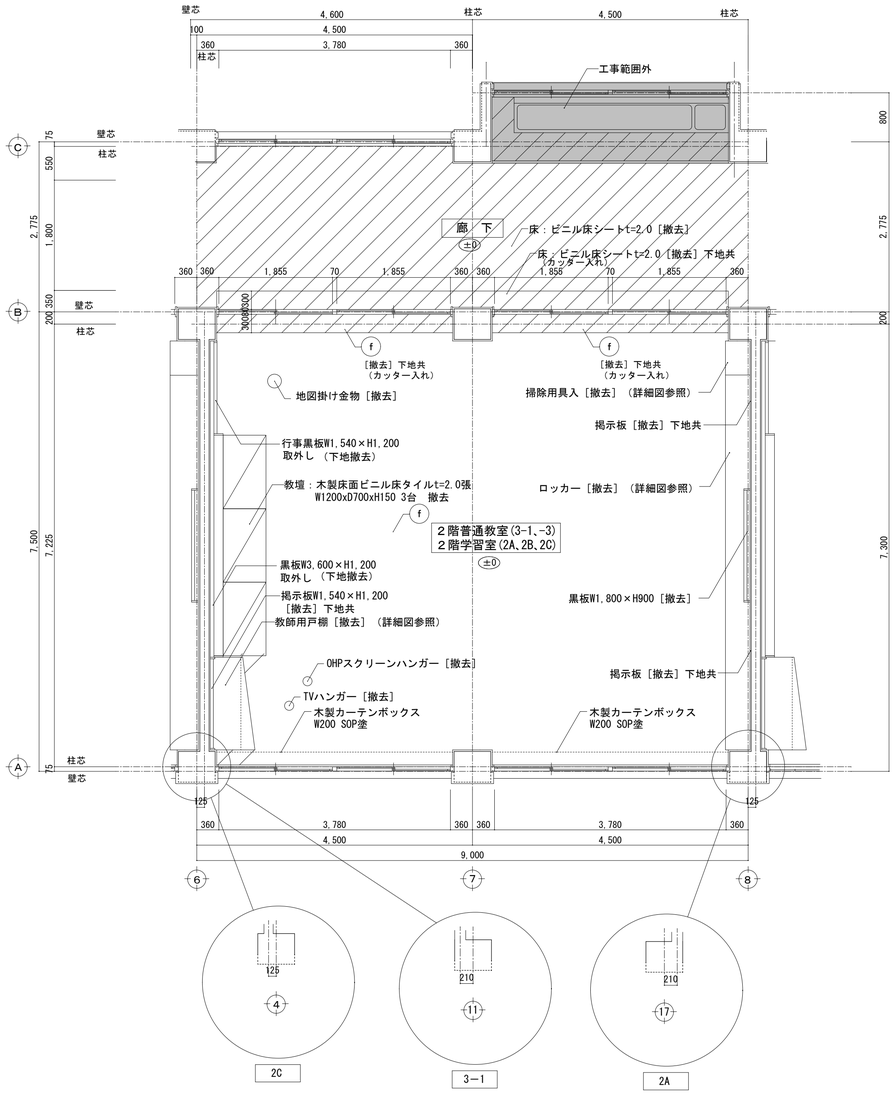
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

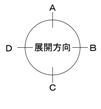
※　★印はアスベスト含有材

２階　普通教室　学習室		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	f	フローリングブロックt=15　PU塗	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	エ	ラワン合板t=5.5目透張　SOP塗	木製
中央梁型	こ	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗	
天井高		3,050	
備　考			

巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

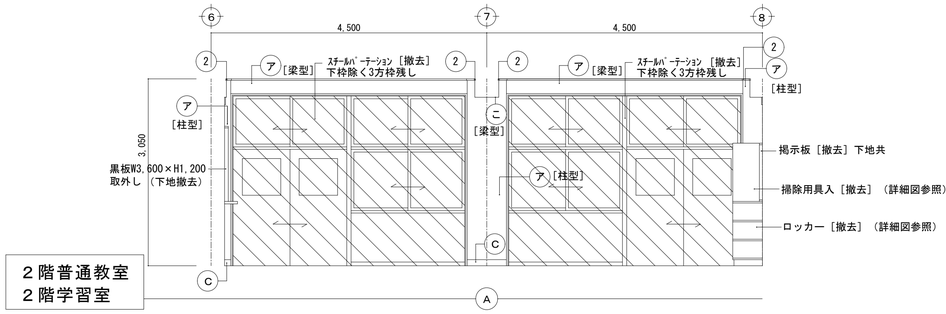


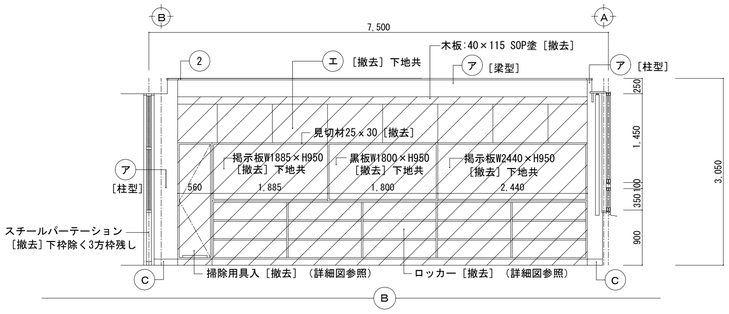


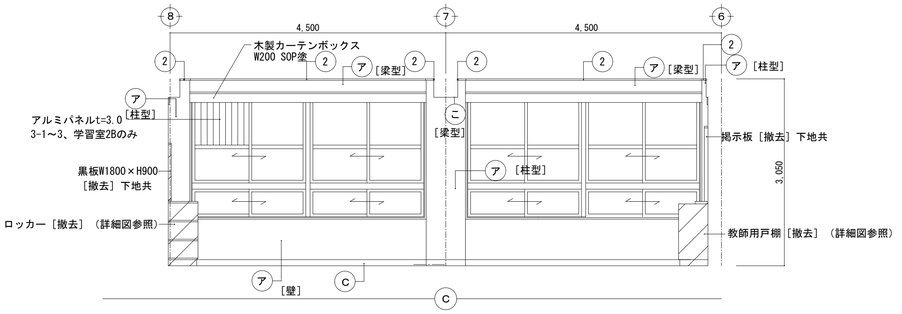
床仕上材撤去範囲を示す。

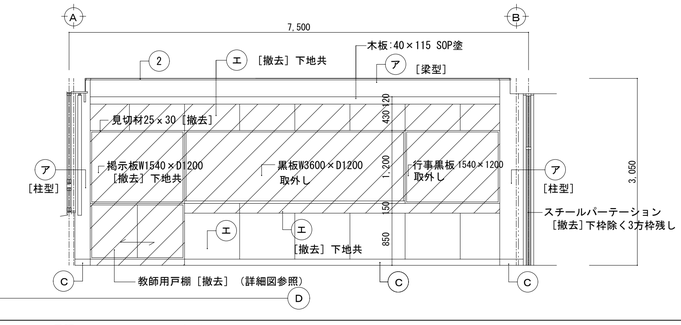
平面詳細図（改修前）　１／50

２階普通教室
２階学習室







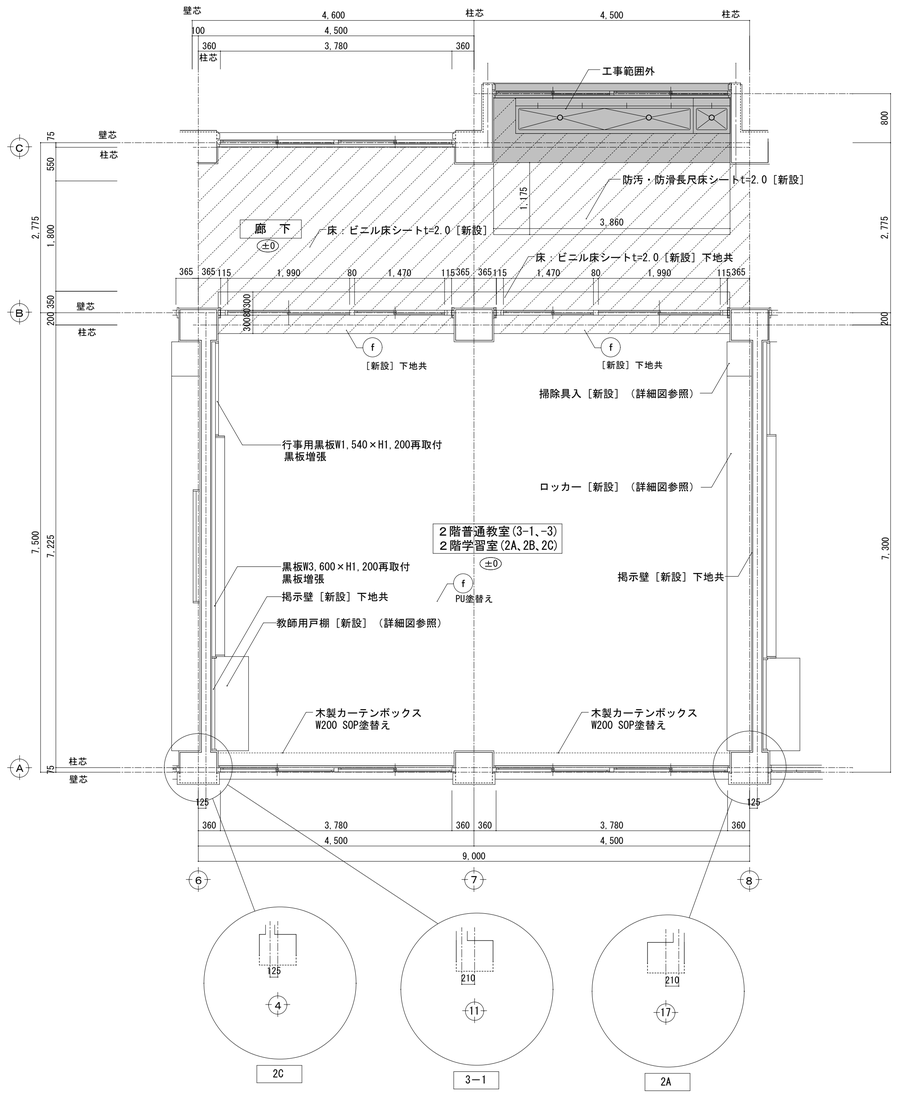


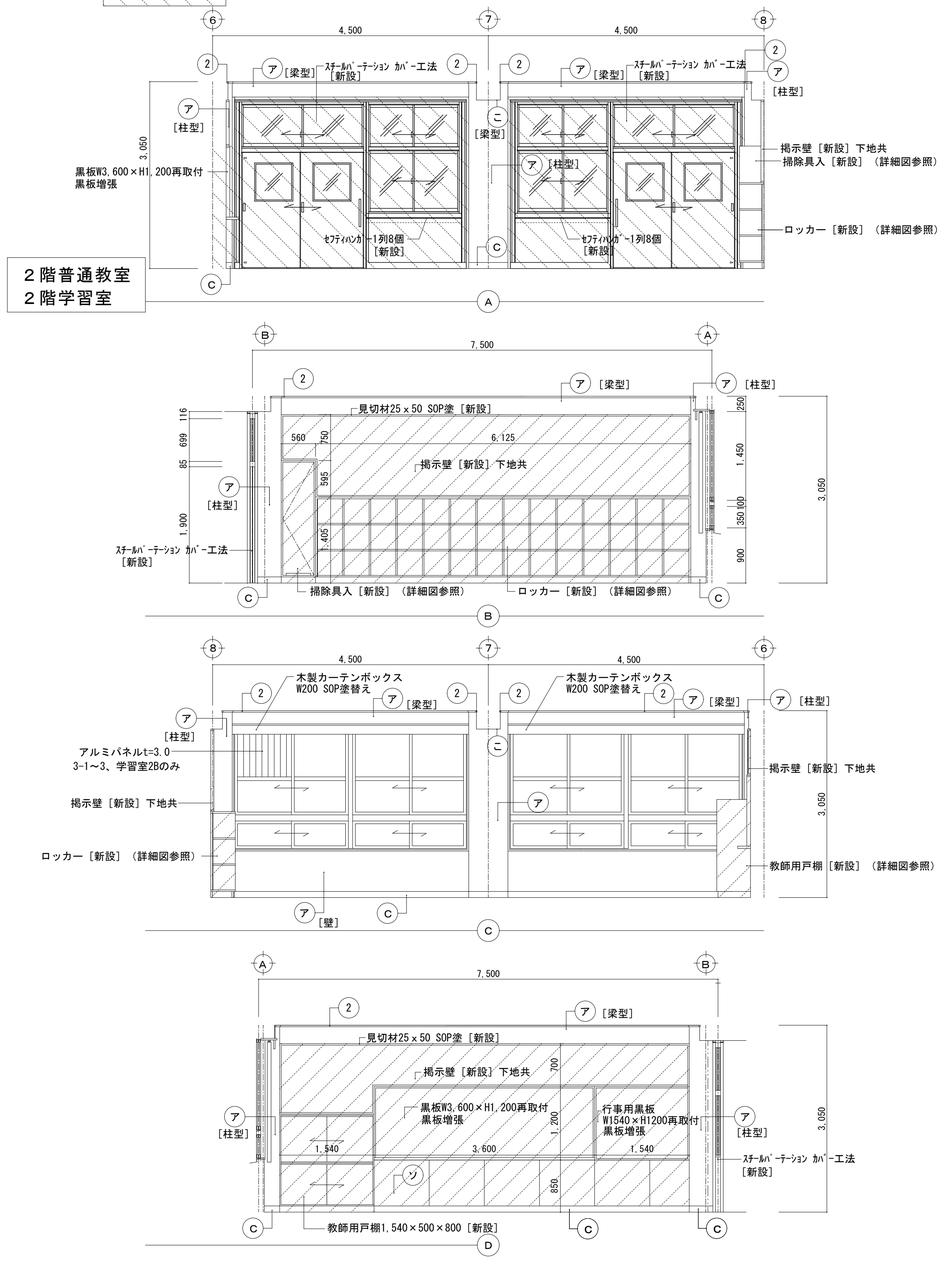
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	２階　普通教室・学習室　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３３

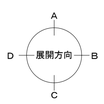
2階　普通教室　学習室		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	f	フローリングブロックt=15　PU塗替 新設部フローリングブロックt=15（無塗装品）PU塗替	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗替	
壁	ア	EP-G塗替	モルタル
	ソ	シナ合板t=5.5増張目透張　SOP塗	木製
	掲示板	シナ合板t=5.5　掲示クロス張	木製：縦胴24×45@450 横胴縁24×45@360
中央梁型	こ	EP-G塗替	モルタル
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗替	
天井高		3,050	
備　考		黒板、掲示板、ロッカー、掃除具入、教師用戸棚の新設（黒板増張り含む）は、詳細図参照	

巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。



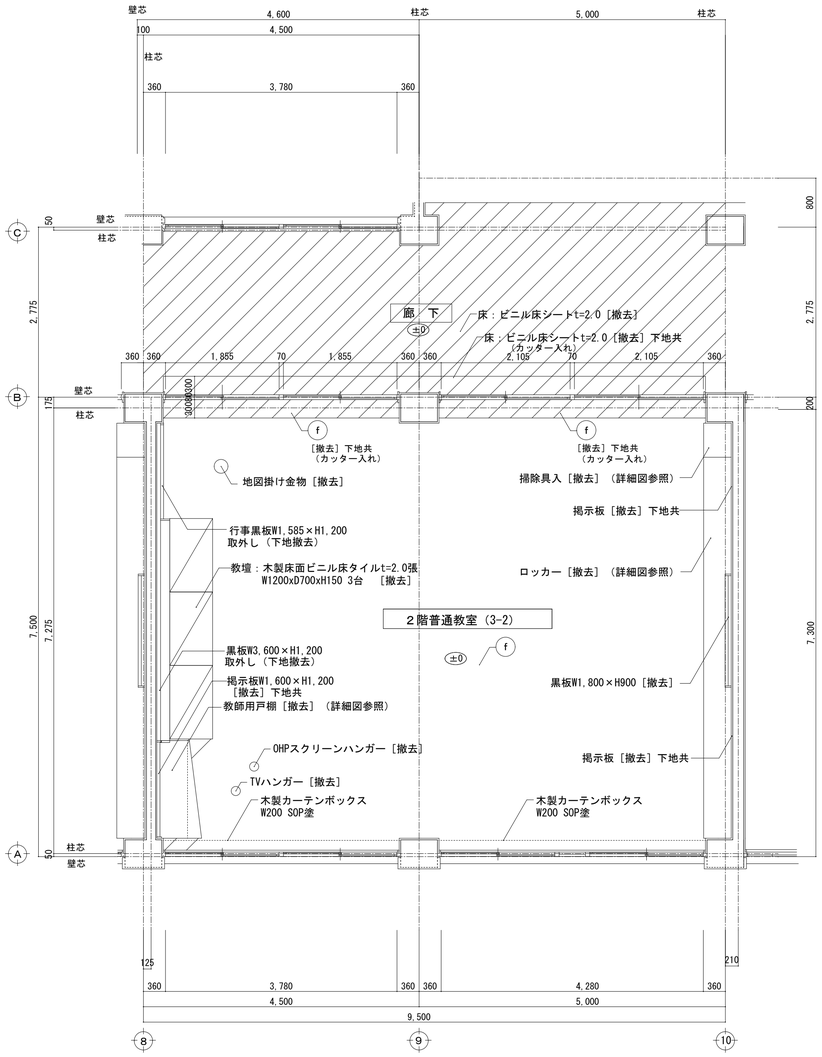




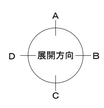
床仕上材新設範囲を示す。

平面詳細図（改修後）　1／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	2階　普通教室　学習室　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1：1:50 A3：1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－34



平面詳細図（改修前）　1／50



床仕上材撤去範囲を示す。

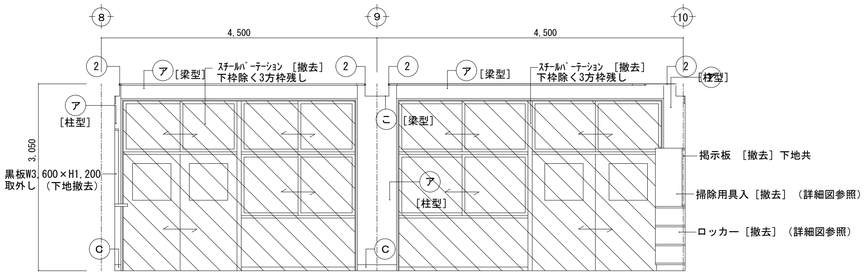
※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

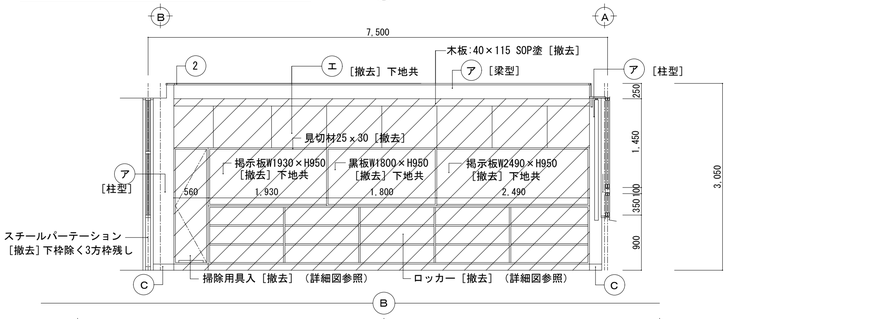
2階　普通教室（3-2）		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	f	フローリングブロックt=15　PU塗	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	エ	ラワン合板t=5.5目透張　SOP塗	木製
中央梁型	こ	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗	
天井高		3,050	
備　考			

巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

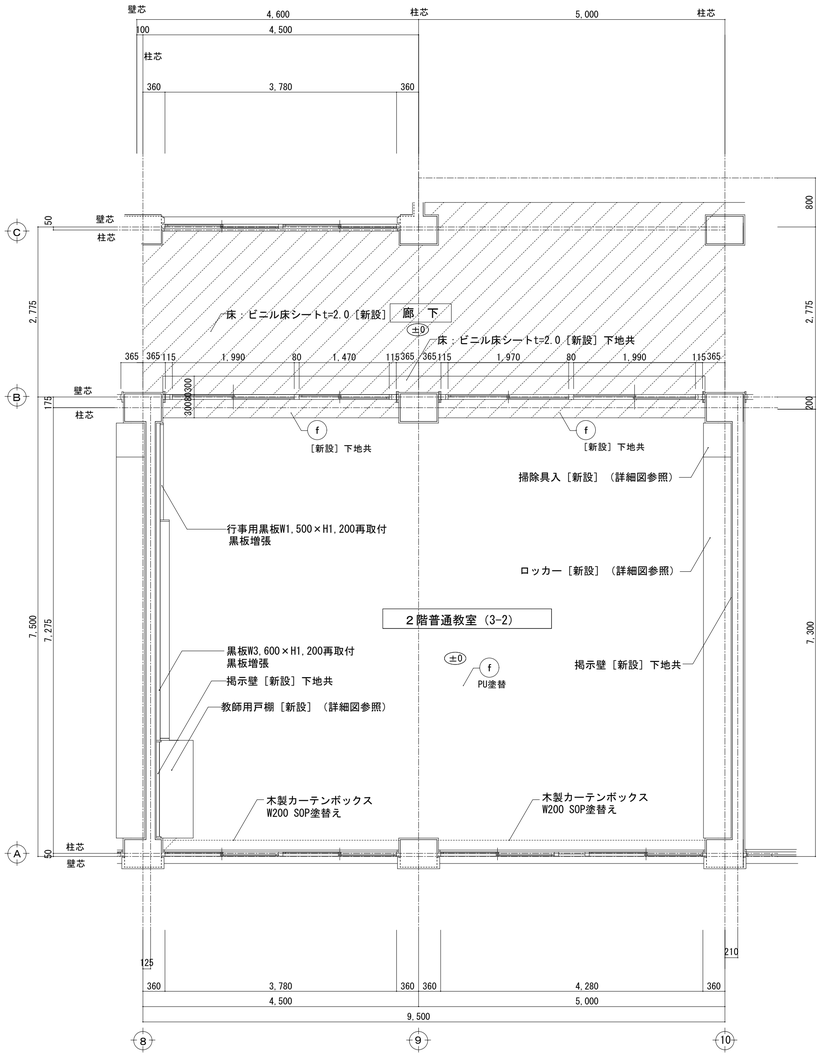
建具撤去範囲を示す。



2階　普通教室（3-2）



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	2階　普通教室(3-2)　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1：1:50 A3：1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－35

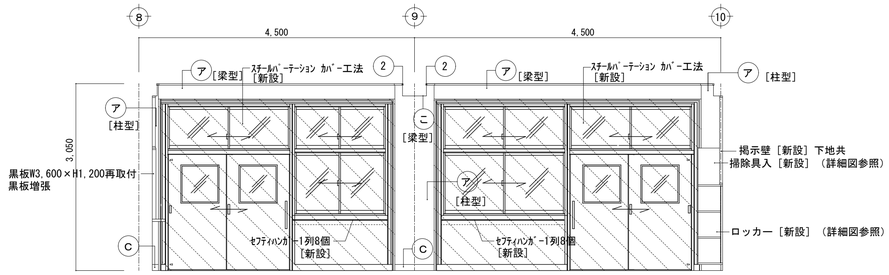


平面詳細図（改修後）　1／50

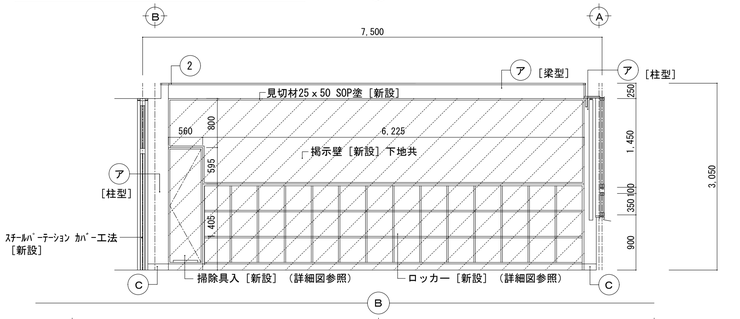
2階　普通教室（3-2）		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	f	フローリングブロックt=15　PU塗替 フローリングブロックt=15［新設］（無塗装品）PU塗替	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
	ソ	シナ合板t=5.5増張目透張 SOP塗	木製
	掲示板	シナ合板t=5.5　掲示クロス張	木製：縦胴24×45@450 横胴縁24×45@360
中央梁型	こ	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗替え	
天井高		3,050	
備　考		黒板、掲示板、ロッカー、掃除具入、教師用戸棚の新設（黒板増張り含む）は、詳細図参照	

巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

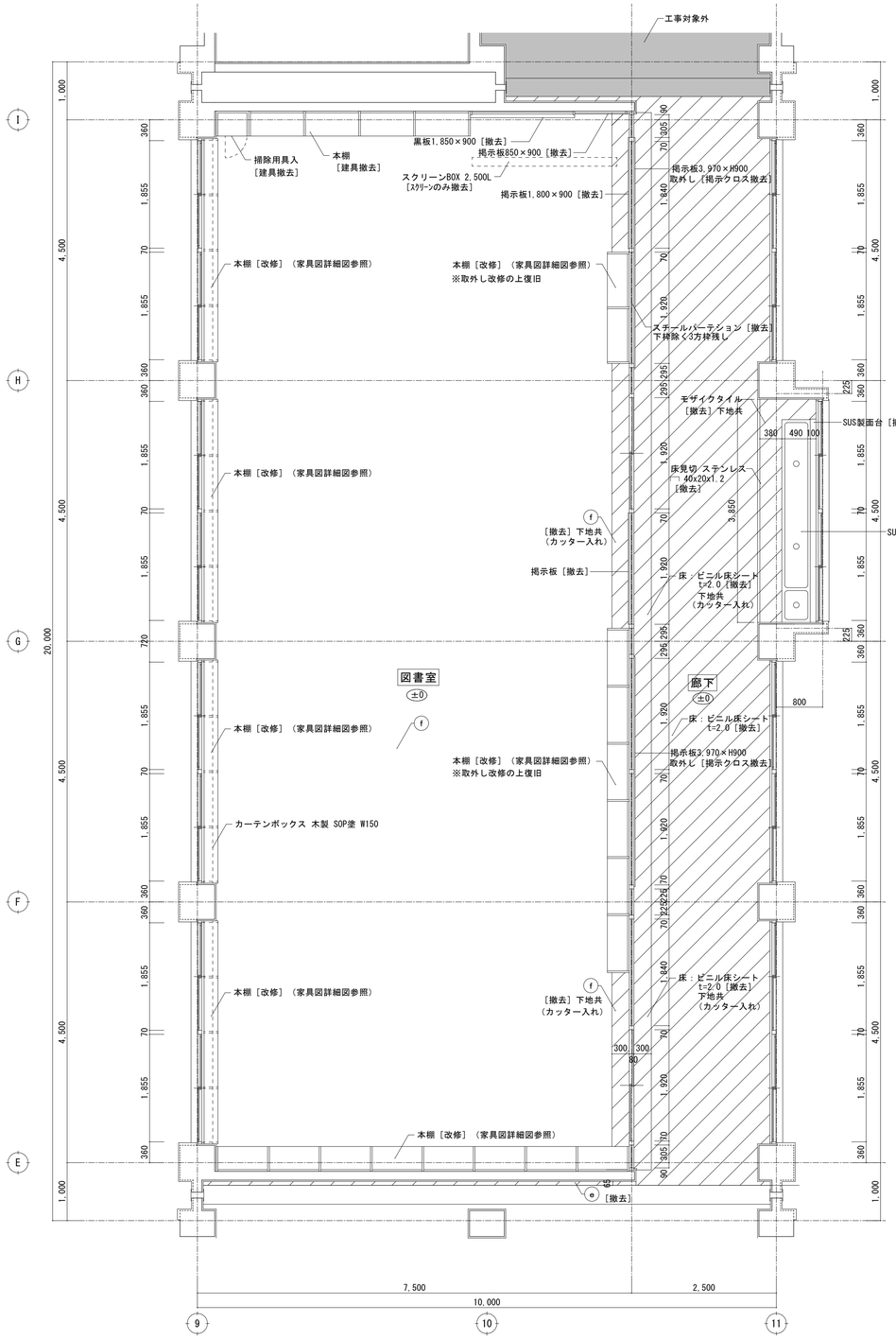


2階普通教室（3-2）



床仕上材新設範囲を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	2階　普通教室(3-2)　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1：1:50 A3：1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－36



※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

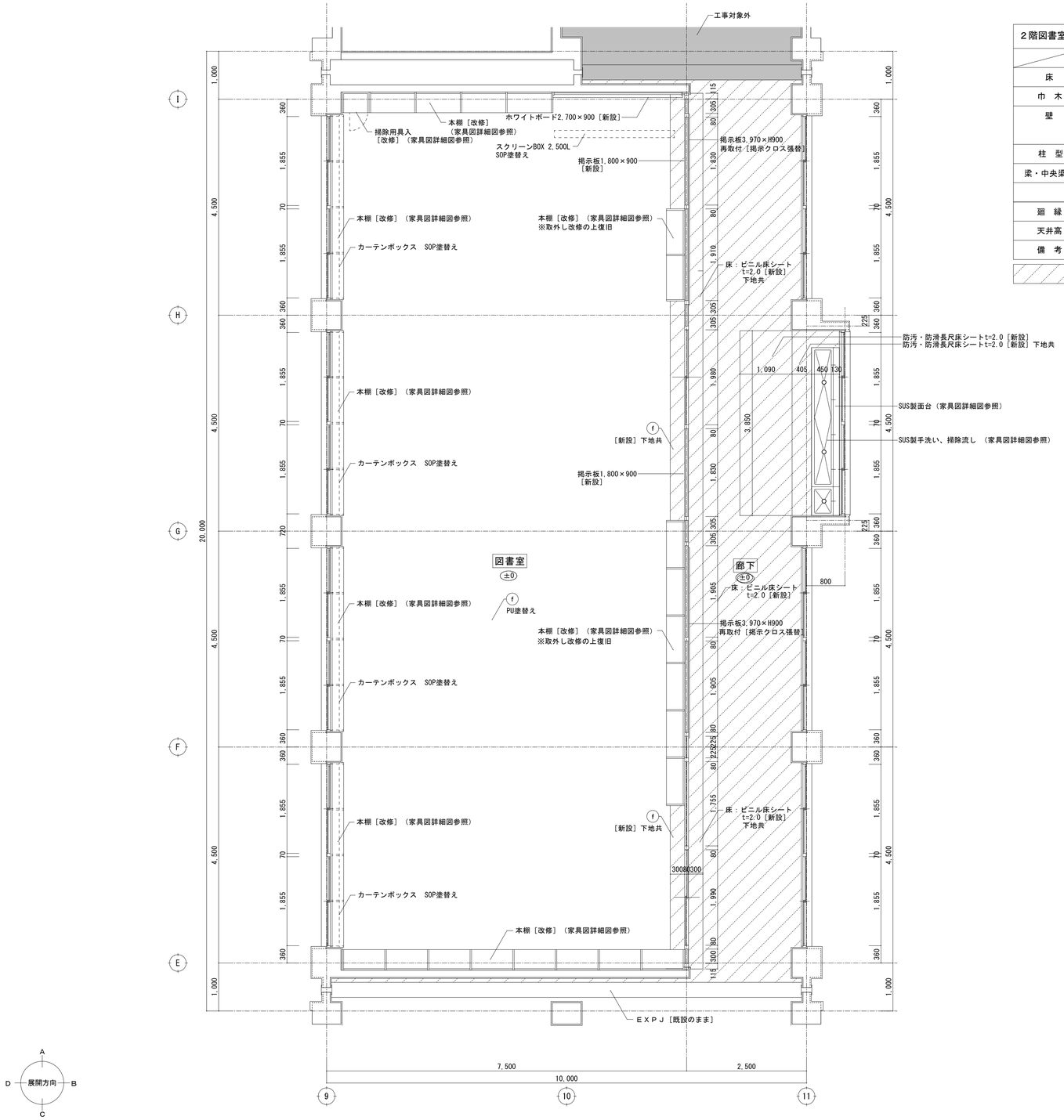
※　★印はアスベスト含有材

２階図書室		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	Ⓔ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製
	Ⓐ	AEP塗	モルタル
柱　型	Ⓐ	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	Ⓐ	AEP塗	モルタル
廻　縁	②	木製廻縁45x40 SOP塗	
天井高		3,050	
備　考			

床仕上材撤去範囲を示す。

図書室平面詳細図（改修前）１／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	２階　図書室　平面詳細図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３７

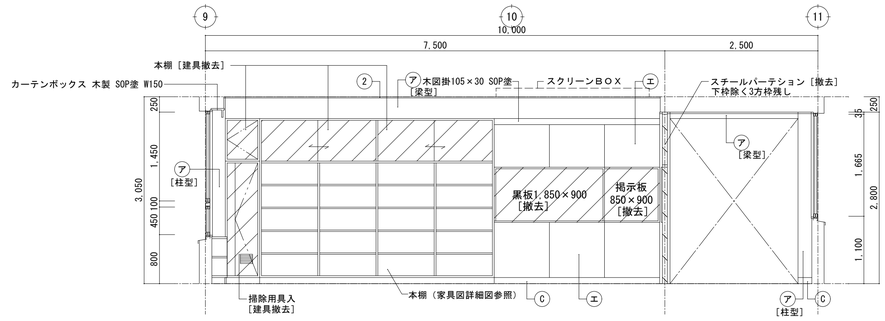


2階図書室		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	ⓕ	フローリングブロックt=15張 PU塗替 新設部フローリングブロックt=15（無塗装品）PU塗替	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	Ⓔ	シナ合板t=5.5目透張 SOP塗替え	木製
	Ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	Ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	Ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	②	木製廻縁45x40 SOP塗替え	
天井高		3,050	
備　考			

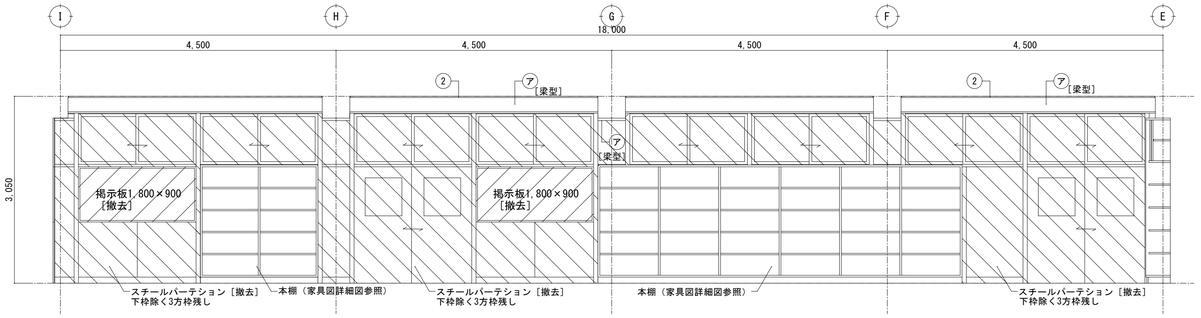
床仕上材新設範囲を示す。

図書室平面詳細図（改修後）１／50

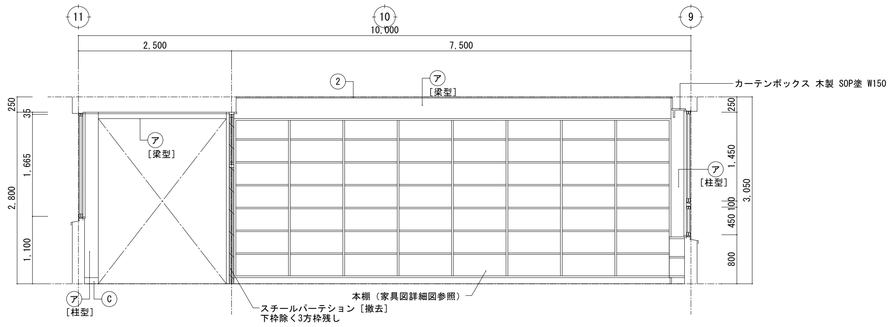
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	２階　図書室　平面詳細図（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100						藤川設計株式会社	A－３８
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



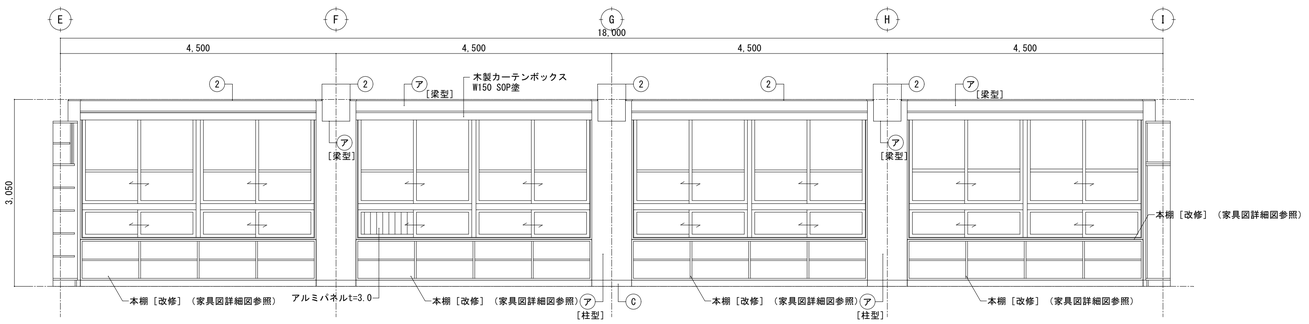
図書室 — A



図書室 — B



図書室 — C



図書室 — D

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

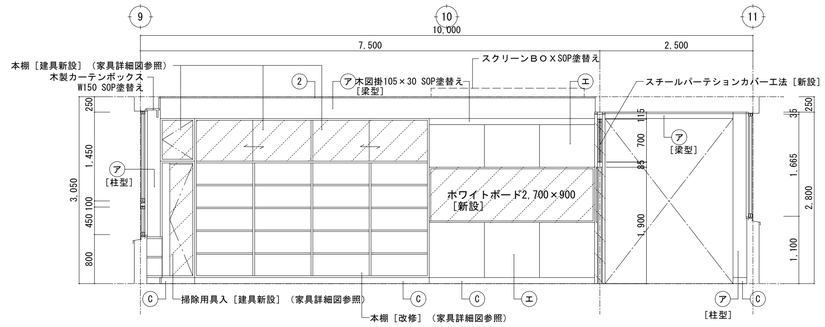
※　★印はアスベスト含有材

２階図書室		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	f	フローリングブロックt=15張 PU塗	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製
	ア	AEP塗	モルタル
柱　型	ア	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗	
天井高		3,050	
備　考		掲示板、黒板 撤去 本棚取外し 掃除用具入扉 撤去 廊下側掲示板 掲示クロス張 撤去 スクリーン 撤去 暗幕、カーテン、レール 撤去　カーテンボックス	

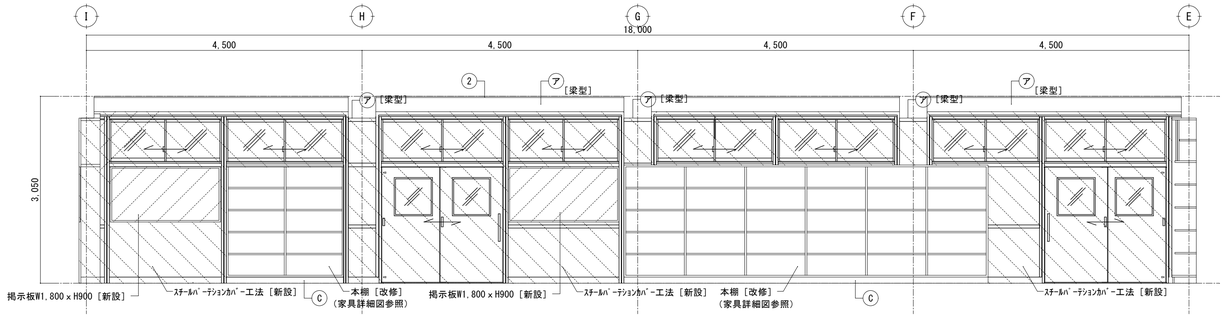
巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

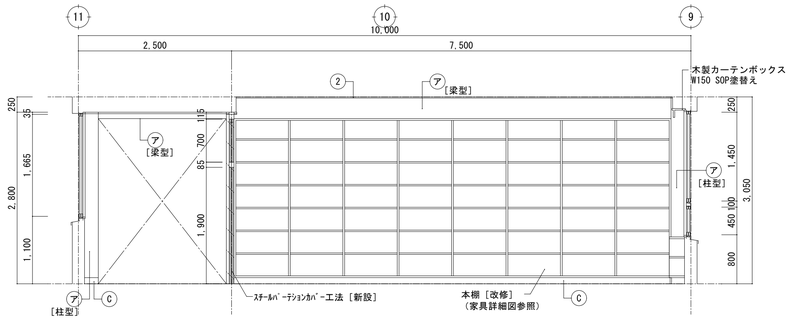
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	２階　図書室　展開図（改修前） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－３９



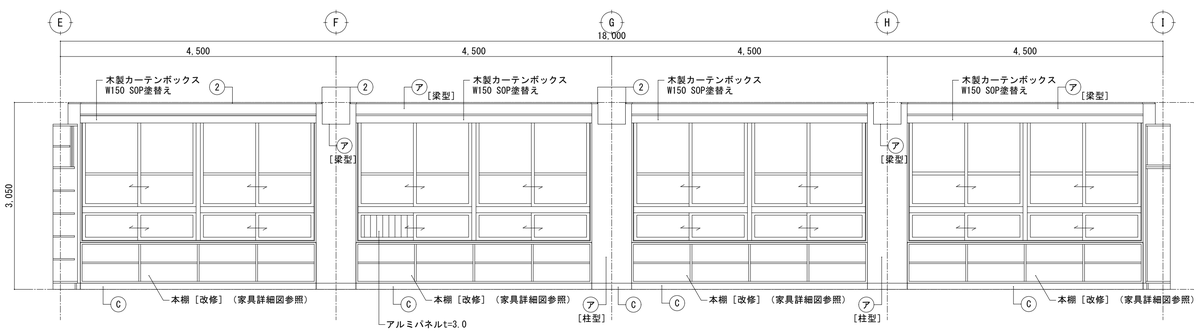
図書室 A



図書室 B



図書室 C



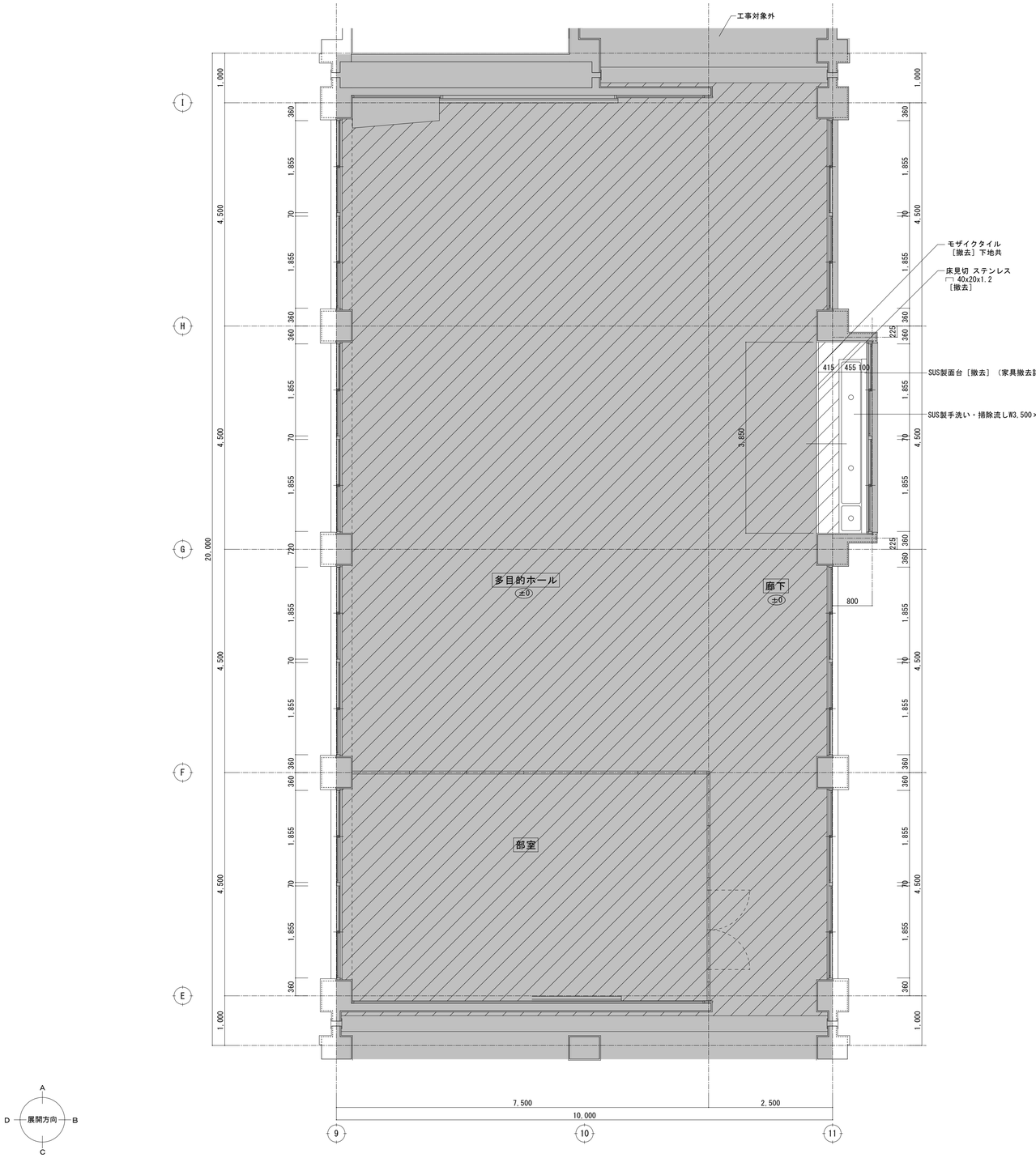
図書室 D

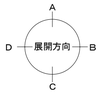
2階図書室		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	f	フローリングブロックt=15張 PU塗替え 新設部フローリングブロックt=15（塗装品）	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	エ	シナ合板t=5.5目透張 SOP塗替え	木製
	ア	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁　型	ア	EP-G塗替え	モルタル
中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	2	木製廻縁 SOP塗替え	
天井高		3,050	
備　考			

巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	2階　図書室　展開図（改修後） ★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－40





多目的ホール平面詳細図（改修前） 1／50

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

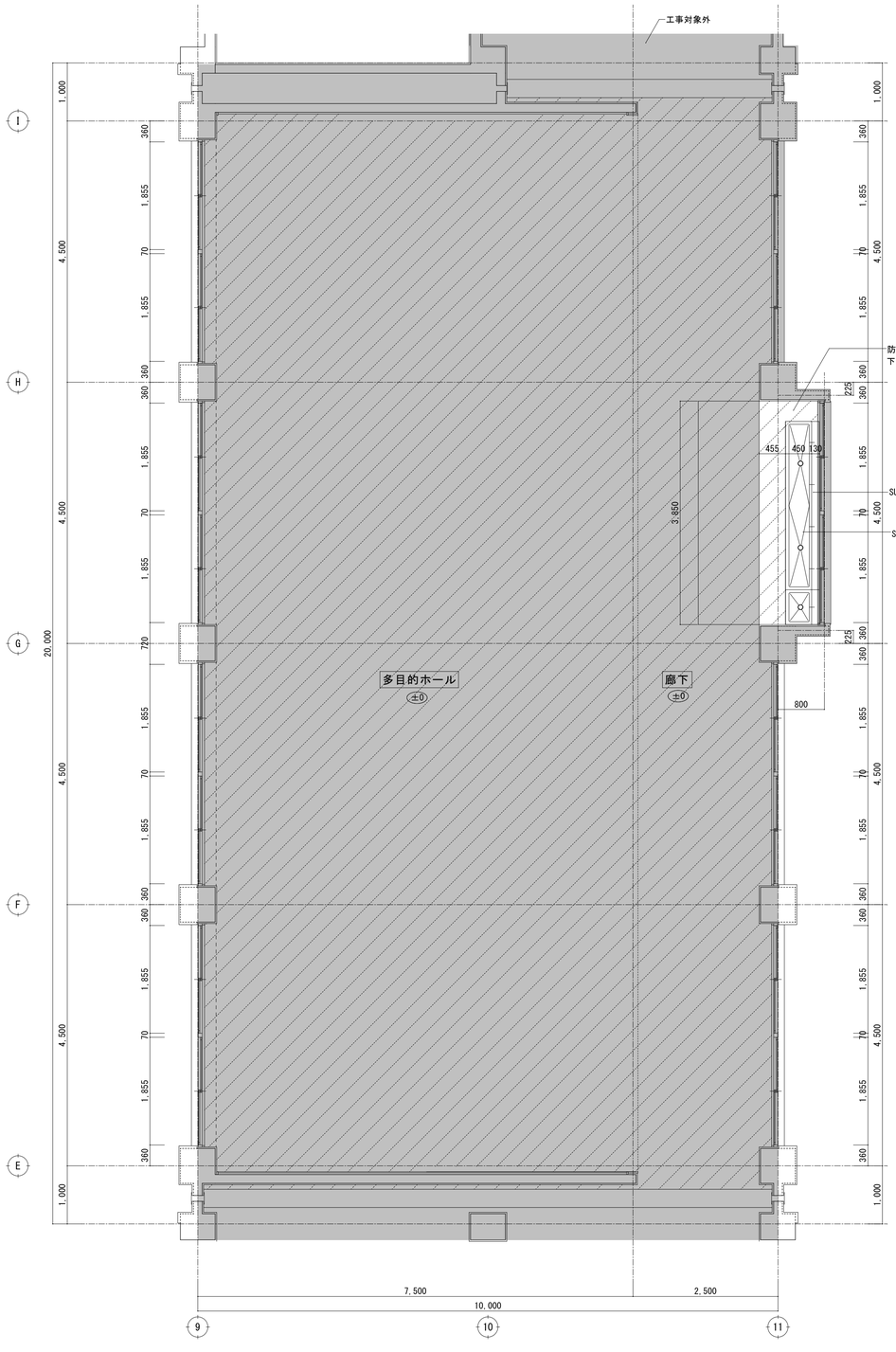
※　★印はアスベスト含有材

３階多目的ホール・部室		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	㋓	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製
	㋐	AEP塗	モルタル
	㋕	PBt=12.5 AEP塗	LGS
柱　型	㋐	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	㋐	AEP塗	モルタル
廻　縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗	
天井高		3,050	
備　考			

床仕上材撤去範囲を示す。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	３階　多目的ホール・部室　平面詳細図（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	A－４１
★	★	★						一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



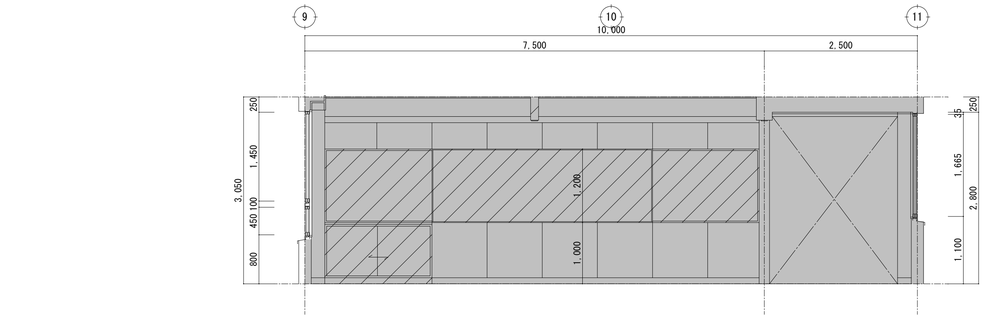
３階多目的ホール・廊下		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	㊦	シナ合板t=5.5目透張 SOP塗替え	木製
	㋐	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	㋐	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	㋐	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗替え	
天井高		3,050	
備　考			

床仕上材新設範囲を示す。

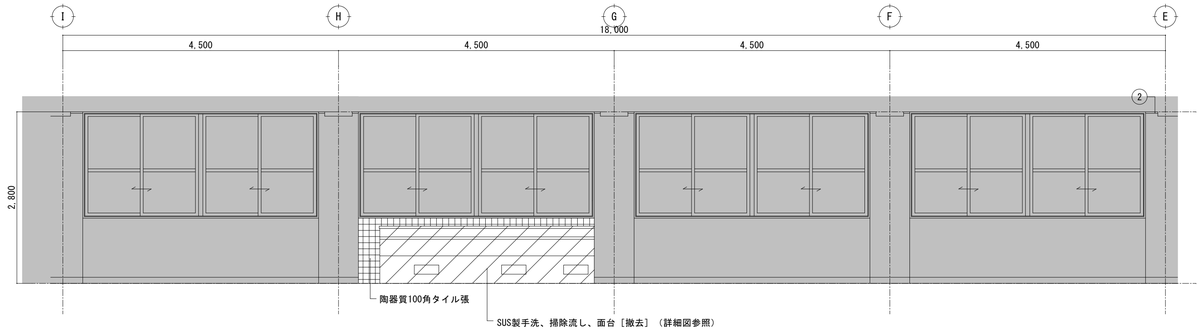
工事対象外を示す。

多目的ホール平面詳細図（改修後）１／50

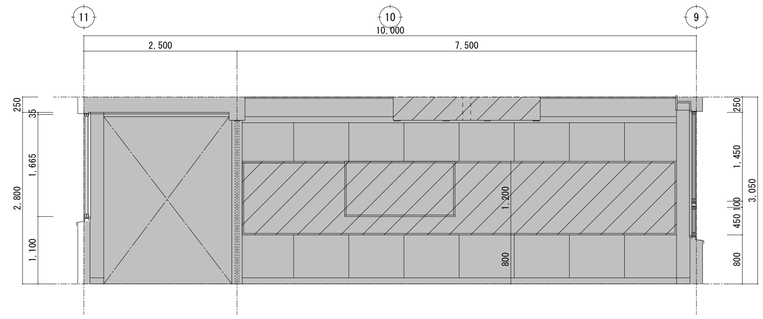
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	３階　多目的ホール　平面詳細図（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４２



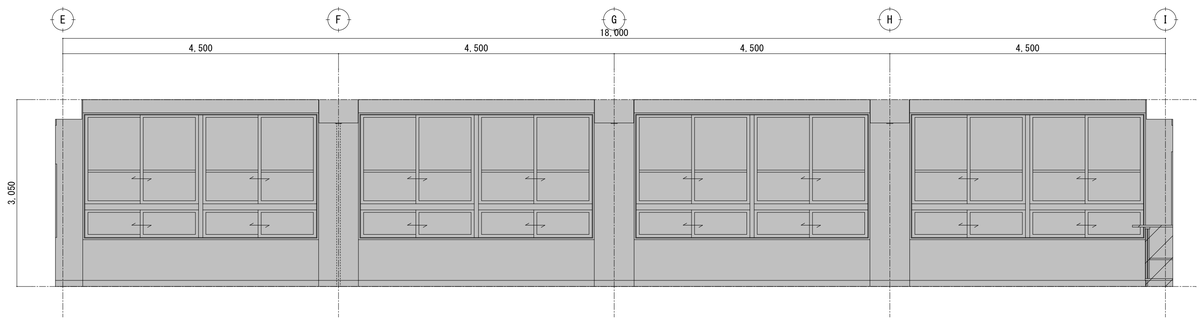
多目的ホール・部室 — A



多目的ホール・部室 — B



多目的ホール・部室 — C



多目的ホール・部室 — D

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

3階多目的ホール・部室		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
	ⓔ	★ビニル床タイルt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	Ⓔ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製
	Ⓐ	AEP塗	モルタル
	Ⓢ	PBt=12.5 AEP塗	LGS
柱　型	Ⓐ	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	Ⓐ	AEP塗	モルタル
廻　縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗	
天井高		3,050	
備　考			

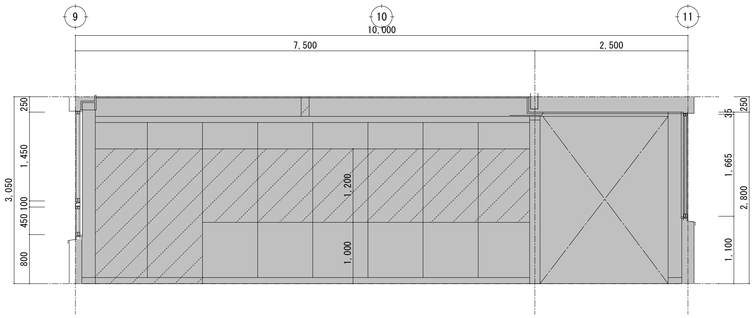
巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

工事対象外を示す。

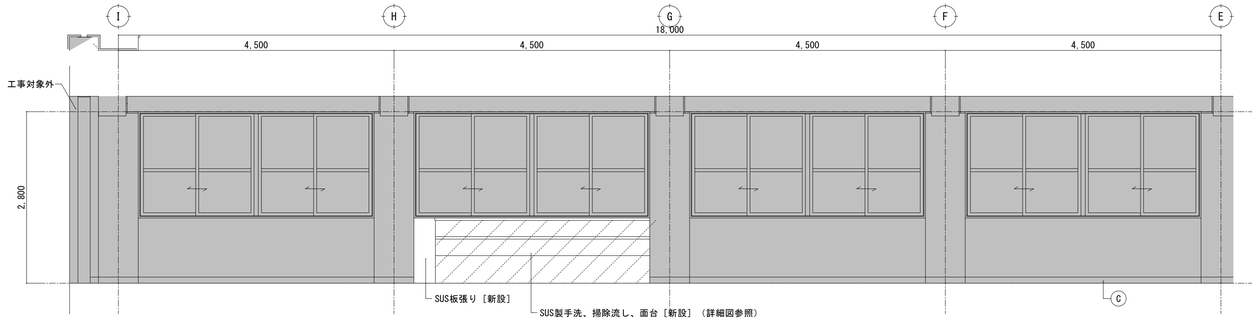
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	★ ３階　多目的ホール・部室　展開図（改修前）	★ A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

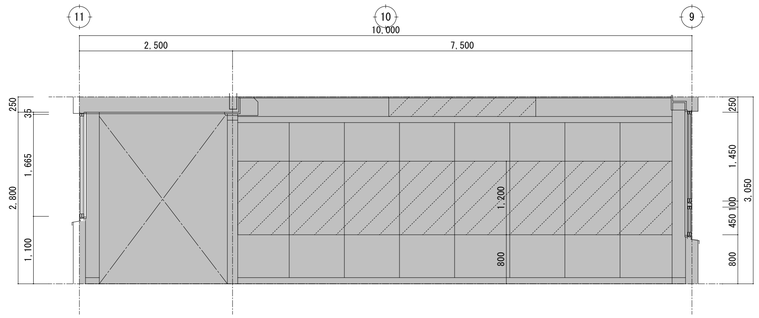
A－４３



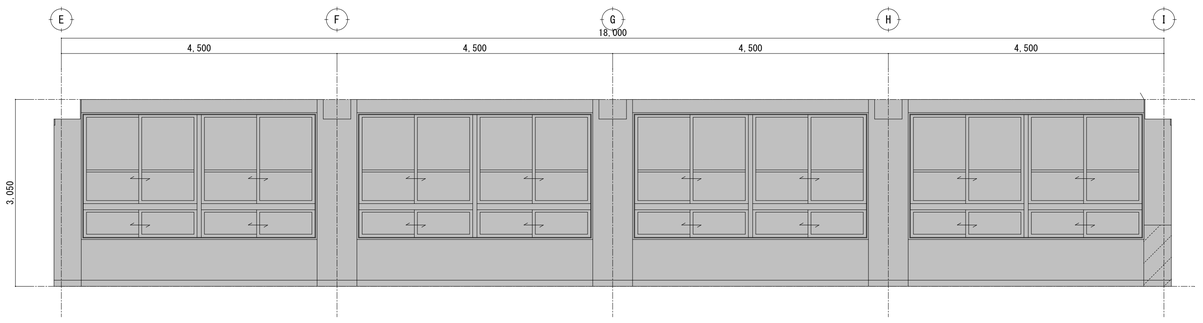
多目的ホール　A



多目的ホール　B



多目的ホール　C



多目的ホール　D

３階多目的ホール		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ⓔ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗替え	木製：縦胴縁24x45@450　横胴縁24x45@360 新設
	ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ⓐ	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	①	塩ビ製廻縁	
	②	木製廻縁45x40 SOP塗替え	
天井高		3,050	
備　考			

巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

工事対象外を示す。

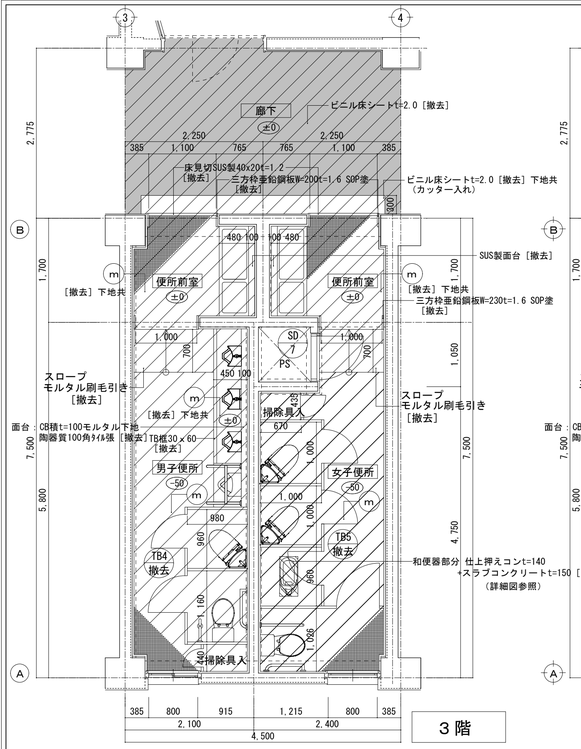
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	★ ３階　多目的ホール　展開図（改修後）	★ A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４４

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

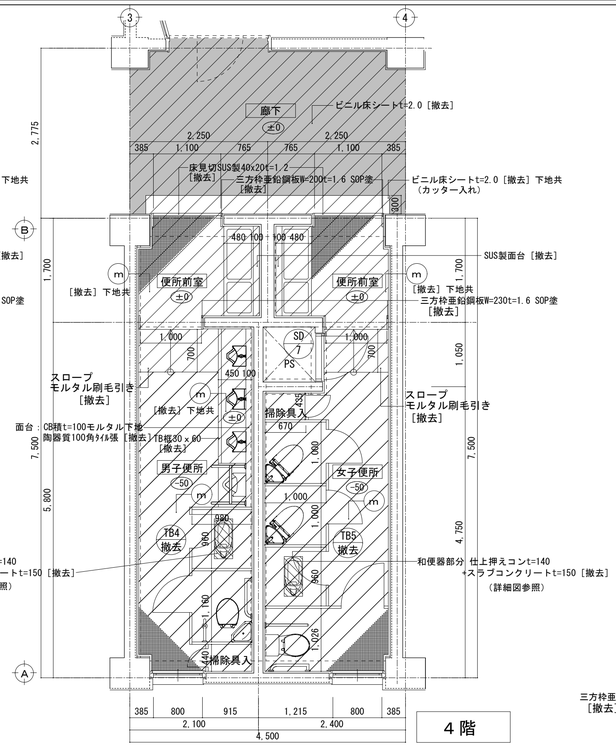
※　★印はアスベスト含有材

生徒用便所、前室　1		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	m	磁器質25角タイル張	モルタル
巾　木			
壁	ア	AEP塗	モルタル
	サ	陶器質100角タイル張 H=1200（前室H=1150）	モルタル
柱型	ア	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製45×40　SOP塗	
天井高		便所前室2,500　便所2,500	
備　考			

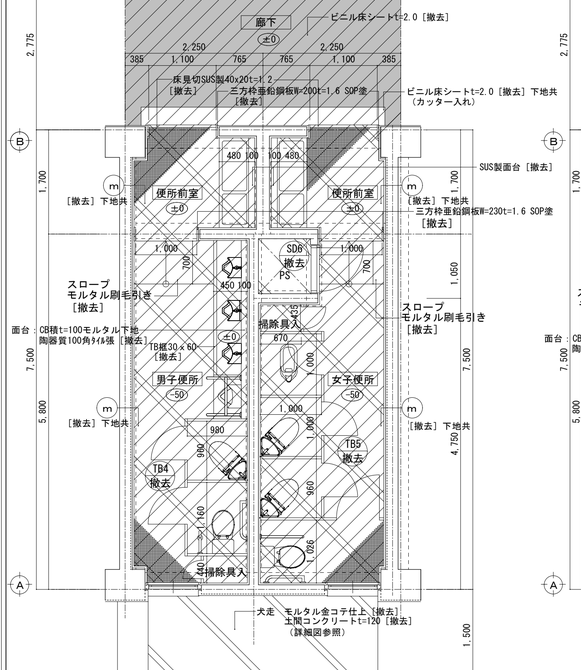
3階



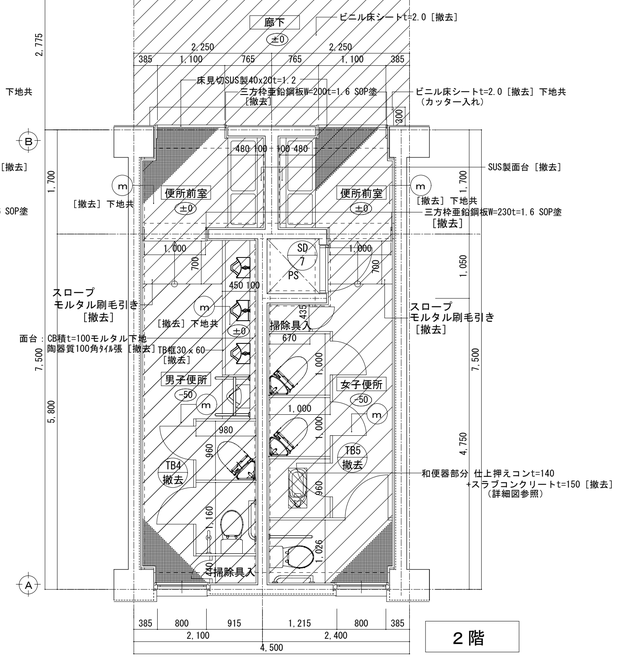
4階



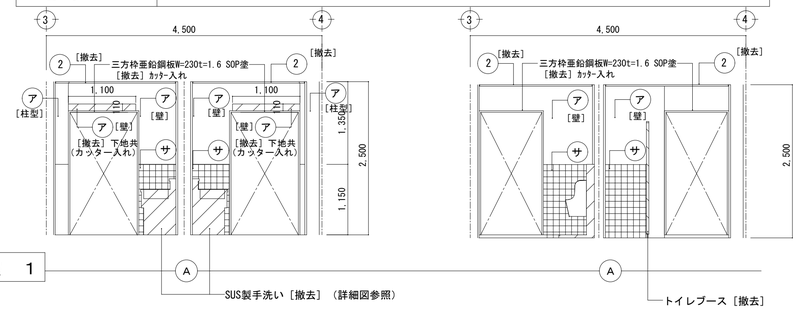
2階

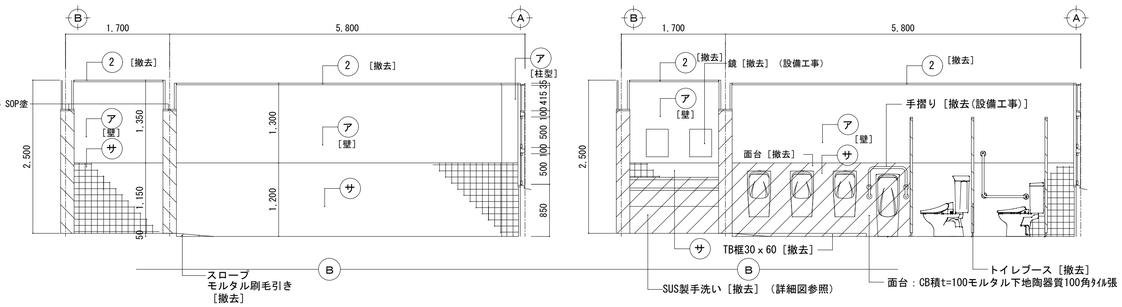


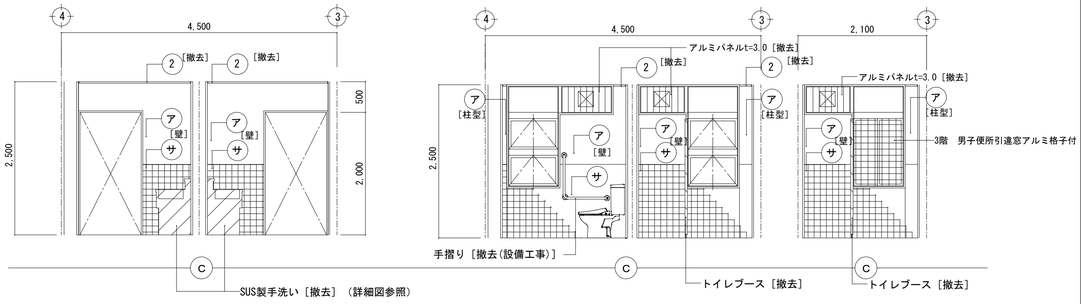
1階

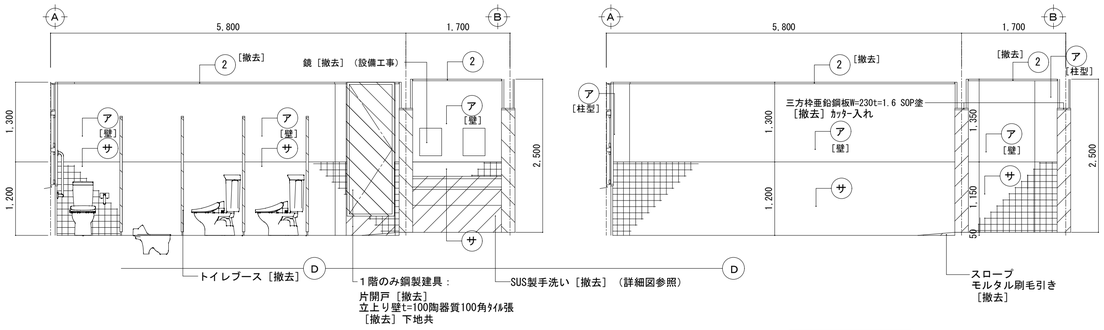


生徒用便所、前室　1









床仕上材撤去範囲を示す。

土間コンクリートt=120撤去範囲を示す。

工事対象外を示す。

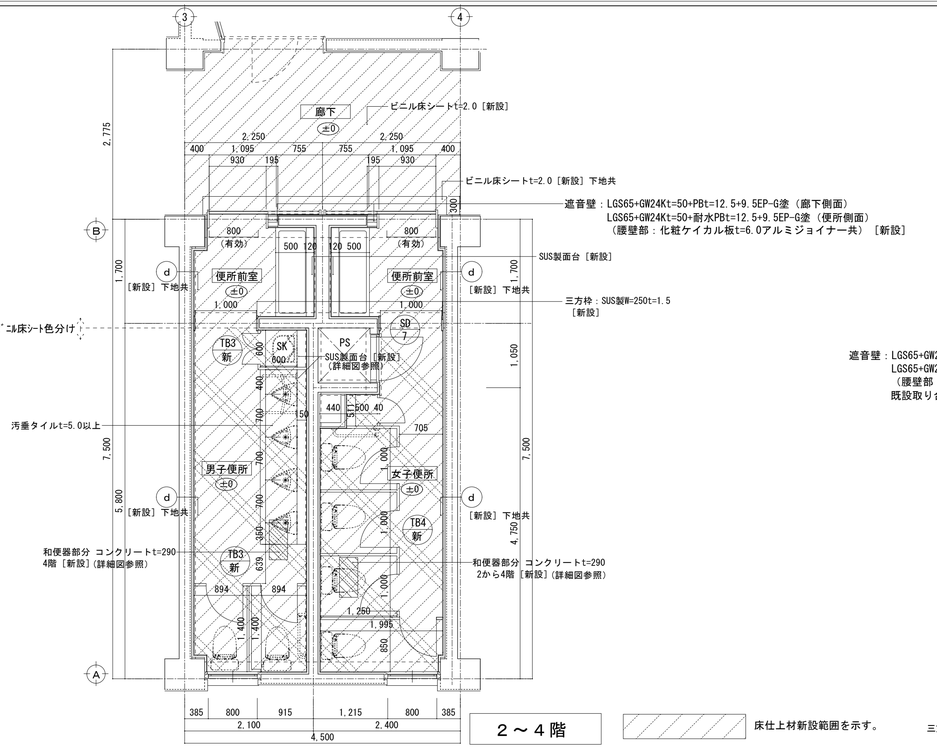
巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

生徒用便所、前室　1　平面詳細図（改修前）　1／50

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	生徒用便所・前室　1　平面詳細図　展開図（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－45

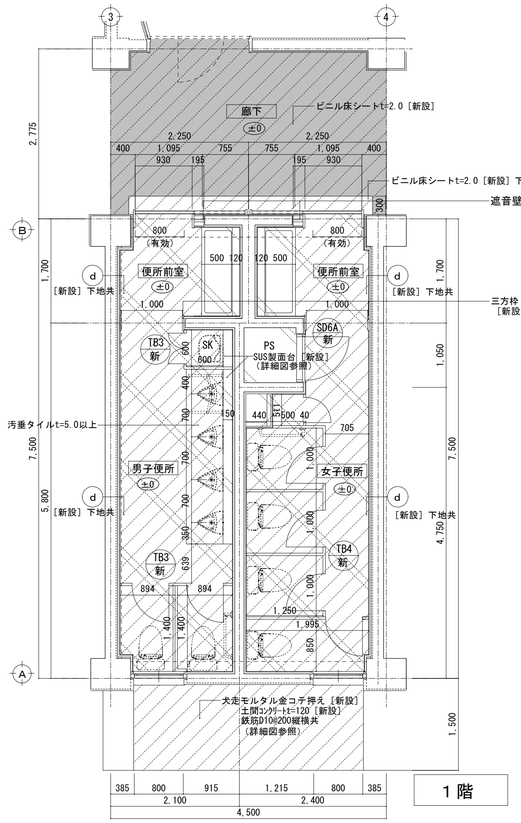
生徒用便所、前室　1		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	d	防汚・防滑ビニル床シートt=2.0（色分け）	１階：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上　２～４階：乾式二重床
巾　木	A	ビニル巾木H=100	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
	セ	化粧ケイカル板t=6.0接着張（アルミジョイナー共）	陶器質100角タイル
	ソ	化粧ケイカル板t=6.0	面台［新設］（詳細図参照）
柱型	ア	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	1	塩ビ廻縁	
	2	木製45×40　SOP塗替え	
天井高		便所前室2,500　便所2,450	
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　廊下前室のﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張替え範囲はﾎﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄにて下地処理を行うこと	



２～４階

床仕上材新設範囲を示す。

床下地乾式二重床新設範囲を示す。



１階

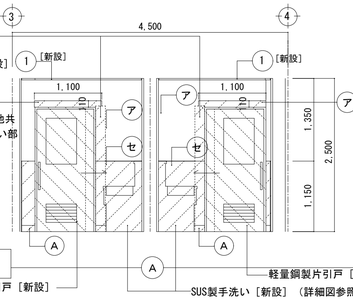
工事対象外を示す。

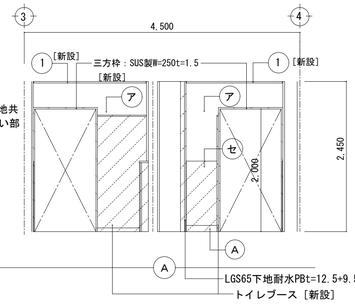
床仕上材新設範囲を示す。

砕石（RC-40）t=100+ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt=0.15（壁際250埋込不要）+土間ｺﾝｸﾘｰﾄt=120金ｺﾃ仕上
（溶接金網φ6 150x150端部差筋アンカーD10@300L400）［新設］範囲を示す。

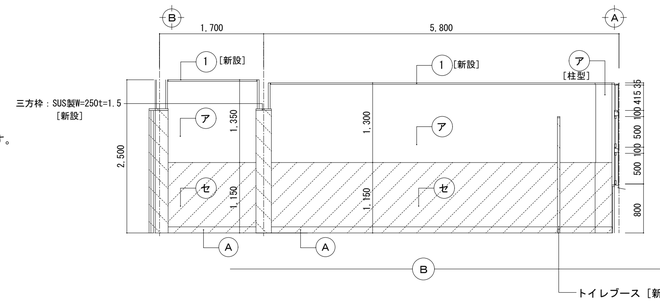
生徒用便所・前室　1　平面詳細図（改修後）　１／50

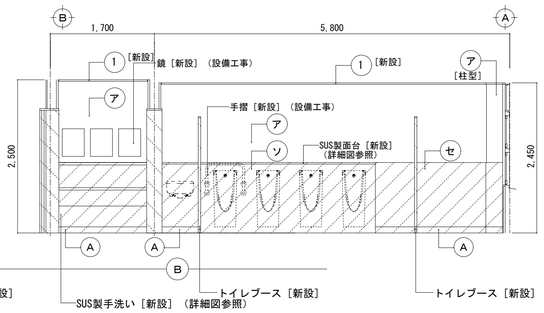
遮音壁：LGS65+GW24Kt=50+PBt=12.5+9.5EP-G塗（廊下側面）
LGS65+GW24Kt=50+耐水PBt=12.5+9.5EP-G塗（便所側面）
（腰壁部：化粧ケイカル板t=6.0アルミジョイナー共）［新設］
既設取り合い部ｼｰﾘﾝｸﾞPU-2

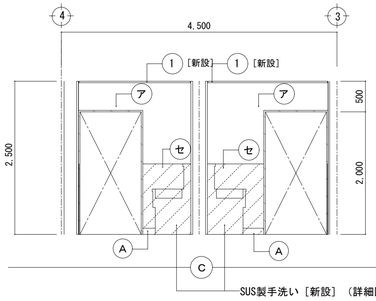


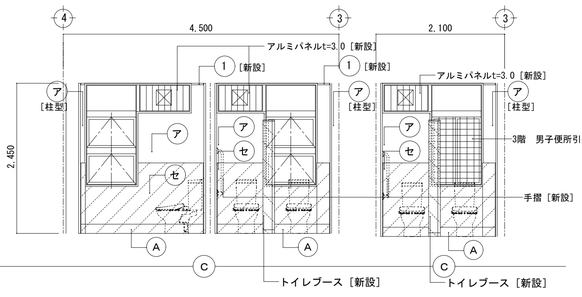


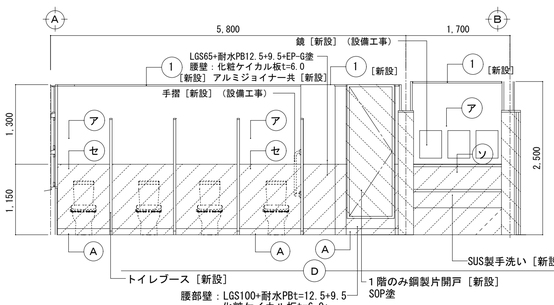
生徒用便所、前室　1

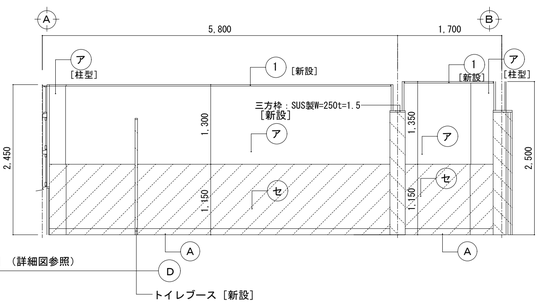








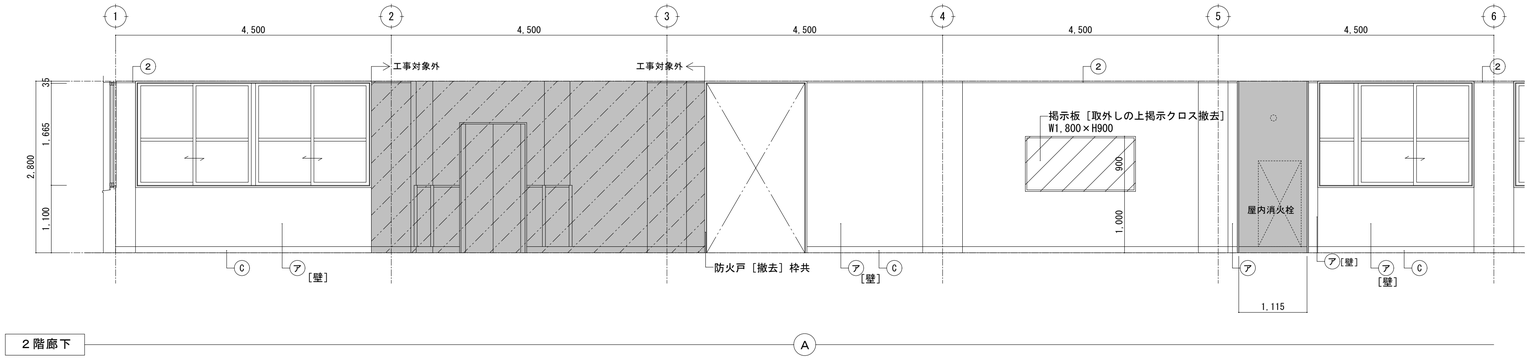




巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	生徒用便所・前室　1　平面詳細図　展開図（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４６



2階廊下

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

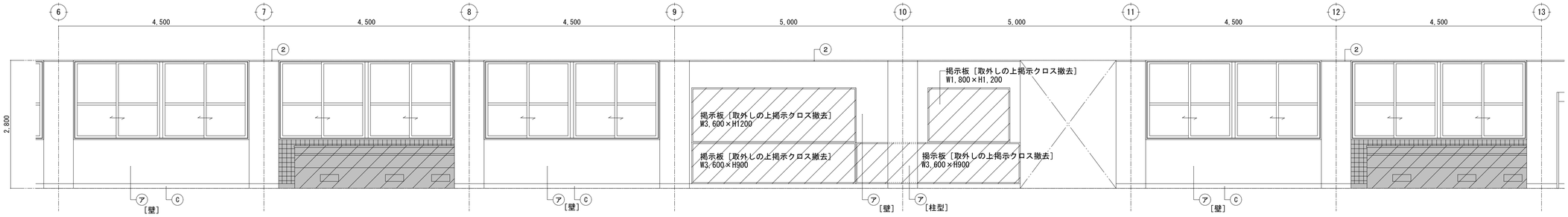
※　★印はアスベスト含有材

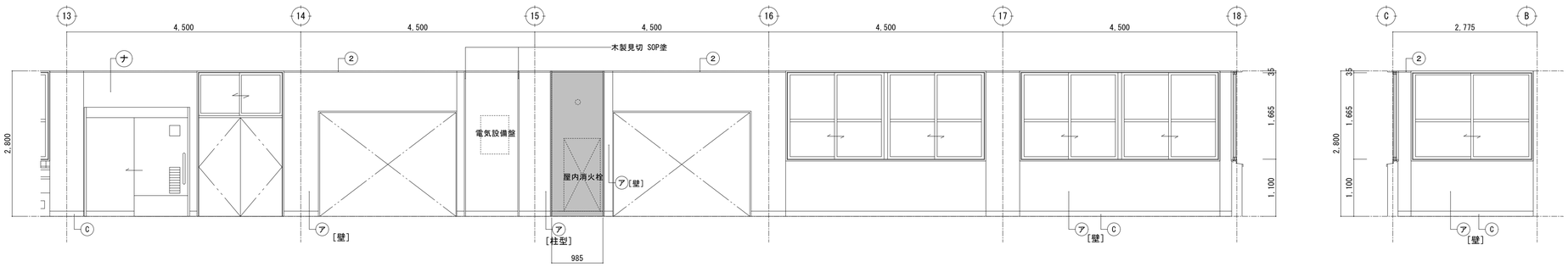
2階廊下		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	エ	ラワン合板t=5.5目透張　SOP塗	木製：間柱45×90@450　胴縁45×45@450
	ナ	ケイカル板t=8下地　EP-G塗	LGS
	ニ	EP-G塗	LGS+強化石膏ボードt=12.5+硬質石膏ボードt=9.5
柱　型	ア	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製廻縁45x40　SOP塗［撤去］	
天井高		2,800	
備　考		―	

巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

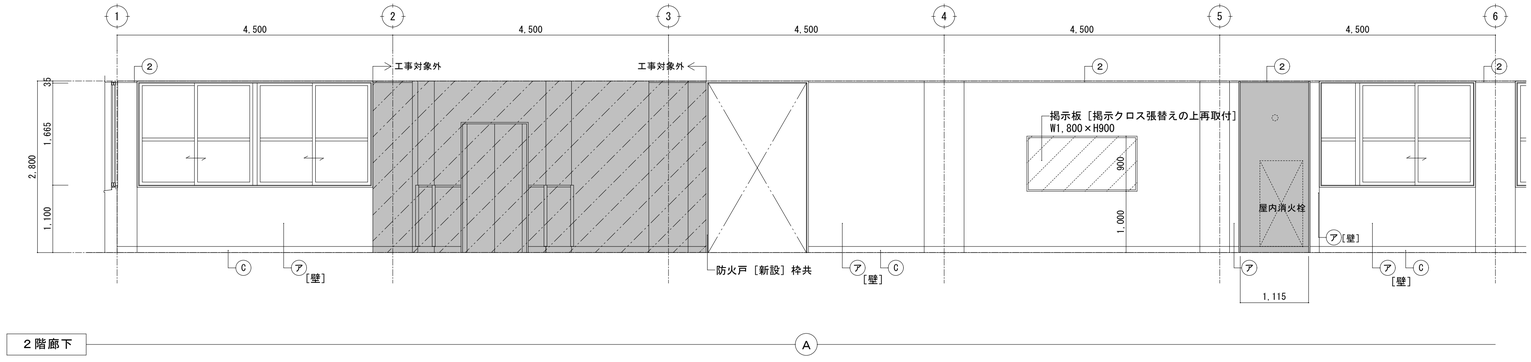
工事対象範囲外を示す。





工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	2階廊下　展開図１（改修前） ★	A1：1:50 A3：1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４７



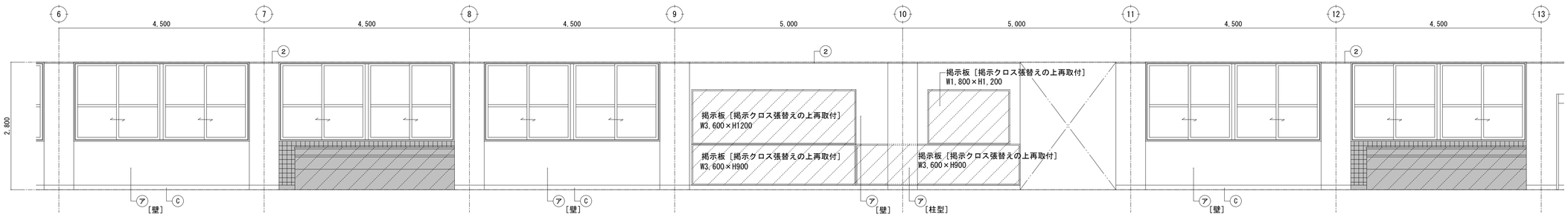
2階廊下

2階廊下		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	ⓑ	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	Ⓒ	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
	エ	シナ合板t=5.5目透張　SOP塗替え	木製：間柱45×90@450　胴縁45×45@450
	ナ	EP-G塗替え	LGS
柱　型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	2	塩ビ製廻縁［新設］	
天井高		2,800	
備　考		―	

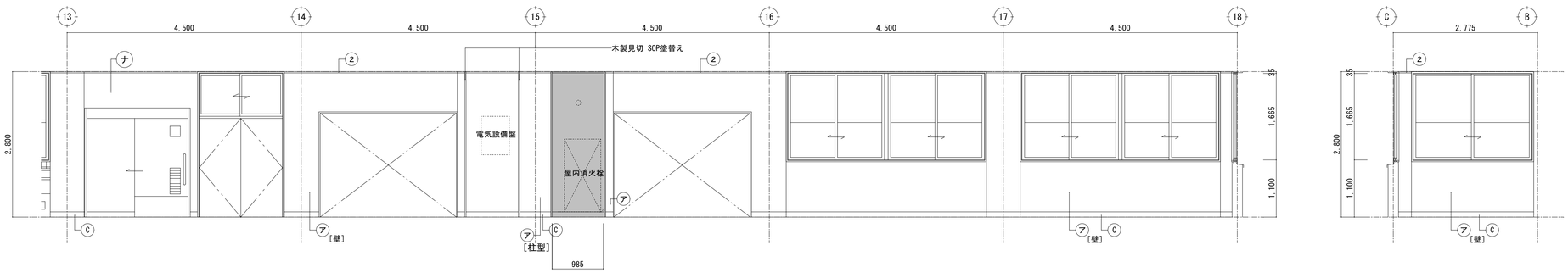
巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

工事対象範囲外を示す。

建具新設範囲を示す。



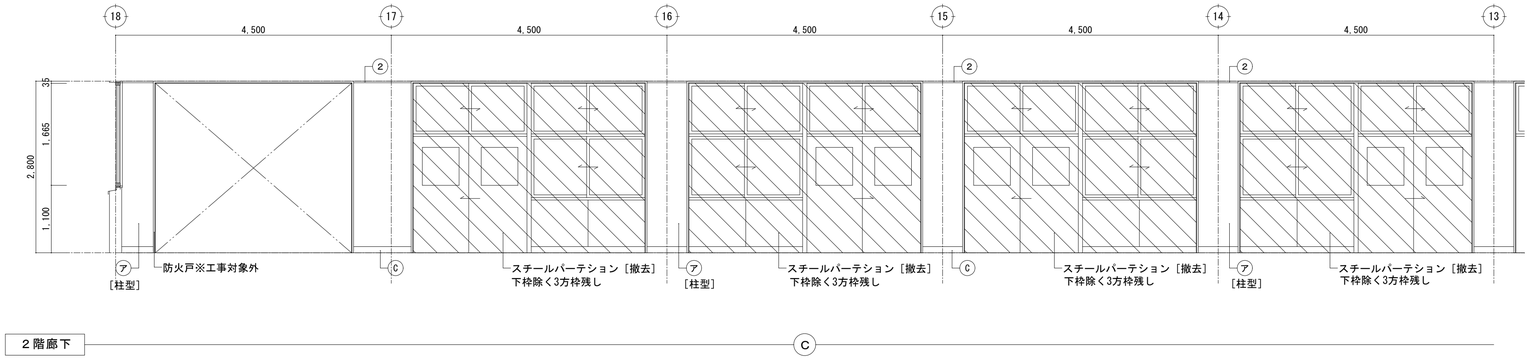
2階廊下



2階廊下

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	2階廊下　展開図１（改修後）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－４８



※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

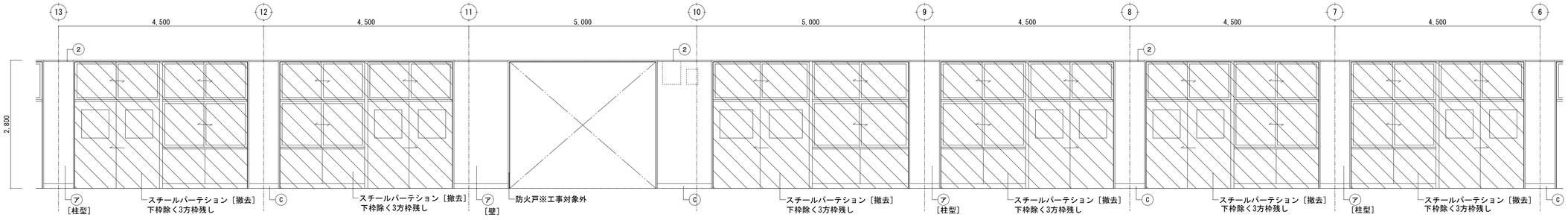
※　★印はアスベスト含有材

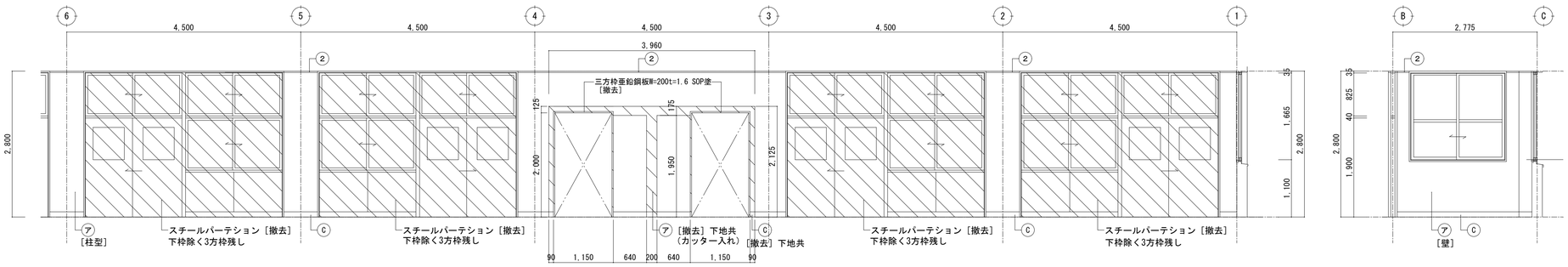
2階廊下		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	C	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	エ	ラワン合板t=5.5目透張 SOP塗	木製：間柱45×90@450 胴縁45×45@450
	ナ	ケイカル板t=8下地 EP-G塗	LGS
	ニ	EP-G塗	LGS+強化石膏ボードt=12.5+硬質石膏ボードt=9.5
柱　型	ア	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗［撤去］	
天井高		2,800	
備　考		－	

巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

工事対象範囲外を示す。

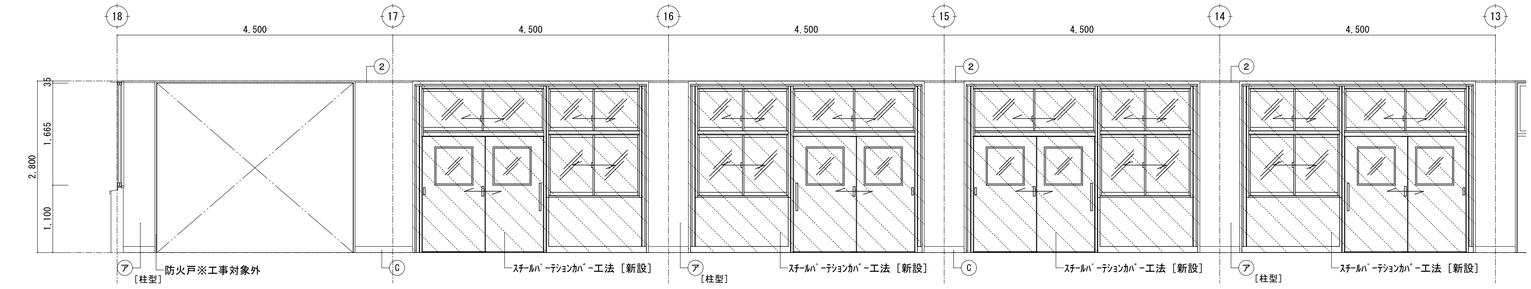




工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	2階廊下　展開図2（改修前）★	A1: 1:50 A3: 1:100 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

A－49



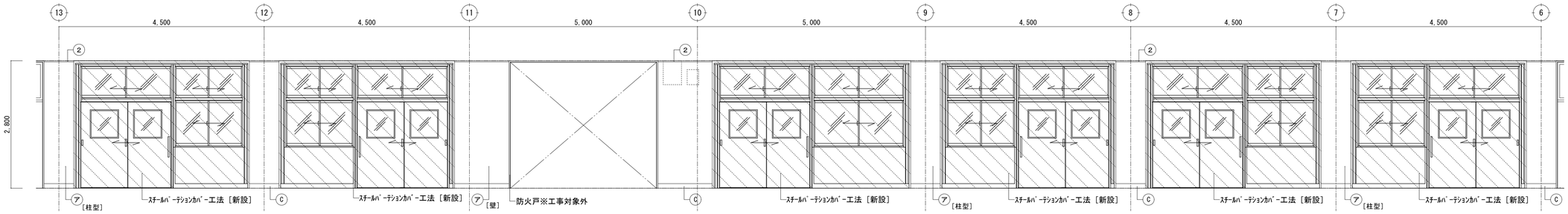
2階廊下 C

2階廊下		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾木	C	木製巾木H=100 SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
	エ	シナ合板t=5.5目透張 SOP塗替え	木製：間柱45×90@450 胴縁45×45@450
	ネ	EP-G塗	遮音壁：LGS65+GW24Kt=50+耐水PBt=12.5+9.5
柱型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
廻縁	2	塩ビ製廻縁［新設］	
天井高		2,800	
備考		―	

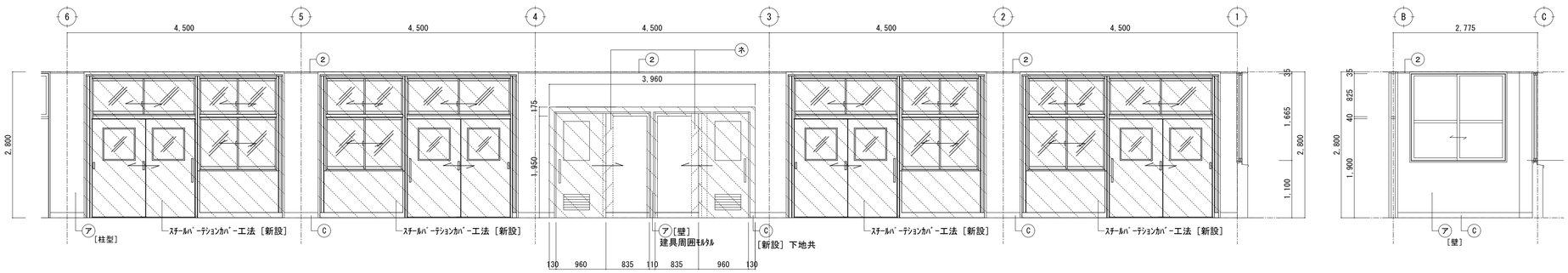
巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

工事対象範囲外を示す。

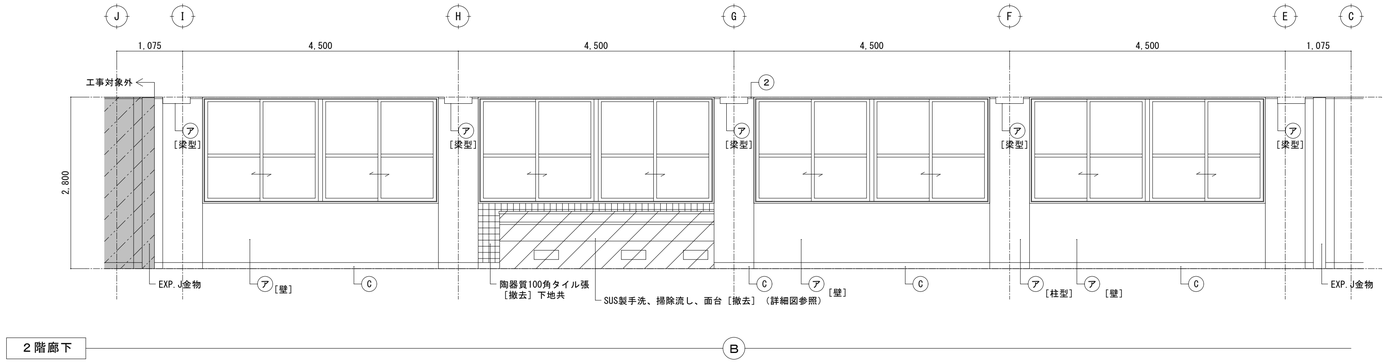


2階廊下 C

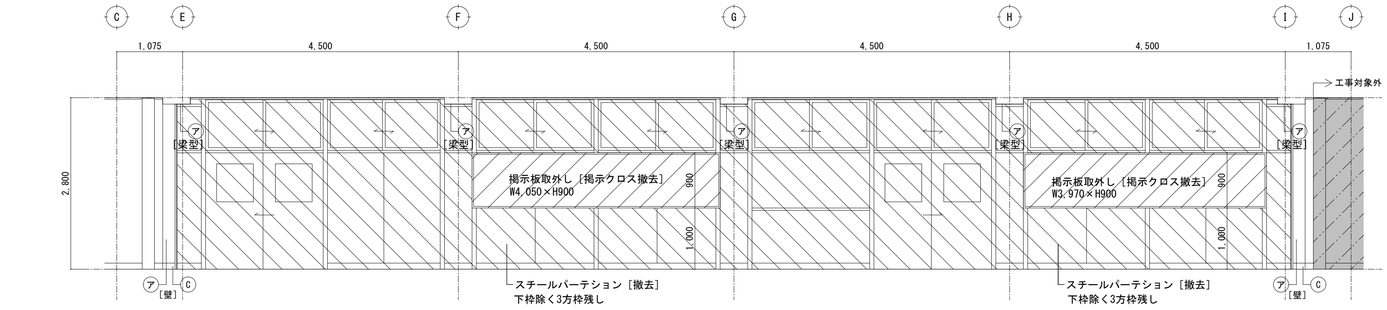


2階廊下 C D

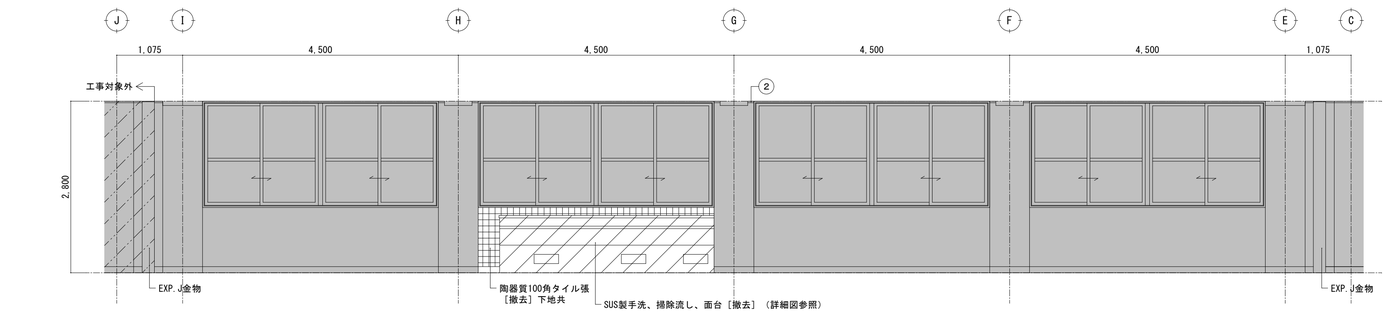
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	2階廊下 展開図2（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A-50



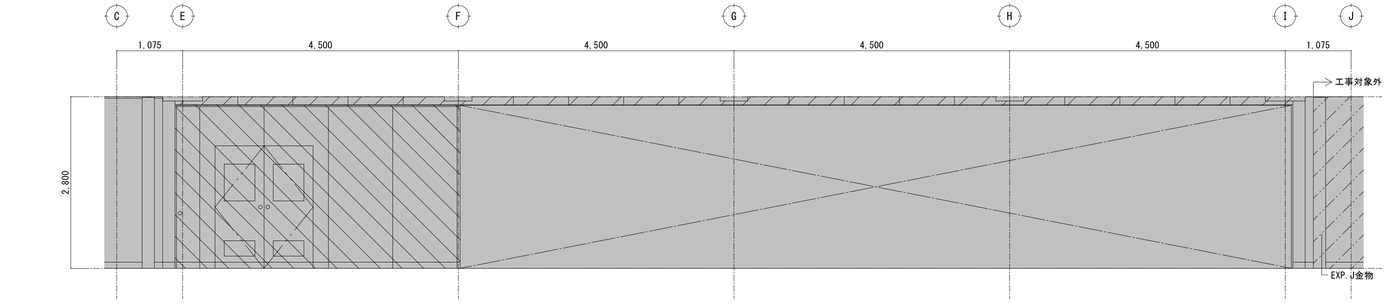
2階廊下 — B



2階廊下 — D



3階廊下 — B



3階廊下 — D

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

2階廊下		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	c	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
柱　型	ア	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗［撤去］	
天井高		2,800	
備　考		―	

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。

※　★印はアスベスト含有材

3階廊下		仕上表（改修前）	
	記号	仕上	下地
床	b	★ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	c	木製巾木H=100　SOP塗	
壁	ア	AEP塗	モルタル
	ス	PBt=12.5 AEP塗	LGS
柱　型	ア	AEP塗	モルタル
梁・中央梁型	ア	AEP塗	モルタル
廻　縁	2	木製廻縁45x40 SOP塗	
天井高		2,800	
備　考		―	

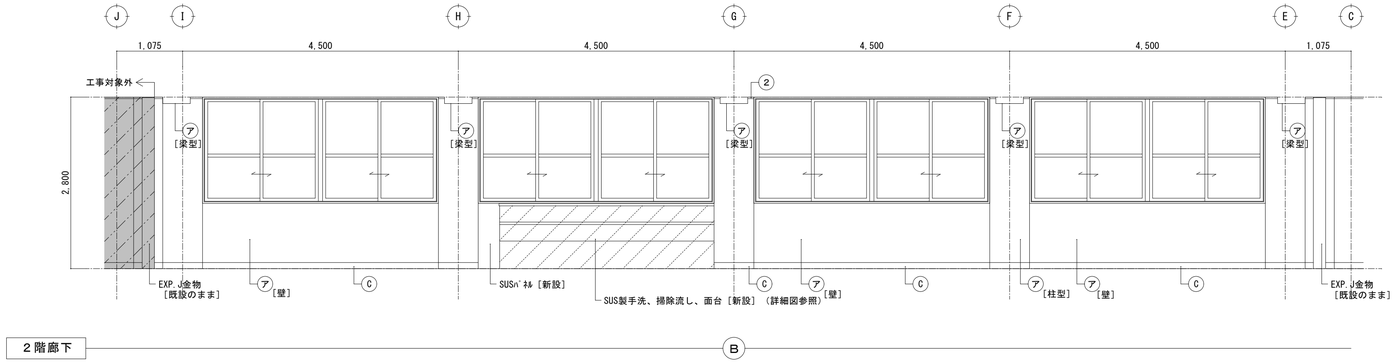
巾木、壁、廻縁、家具撤去範囲を示す。

建具撤去範囲を示す。

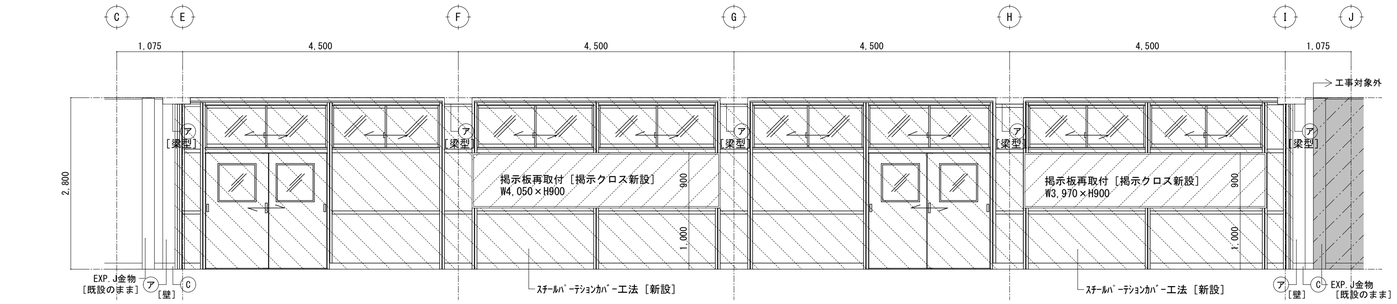
工事対象範囲外を示す。

工事対象外を示す。

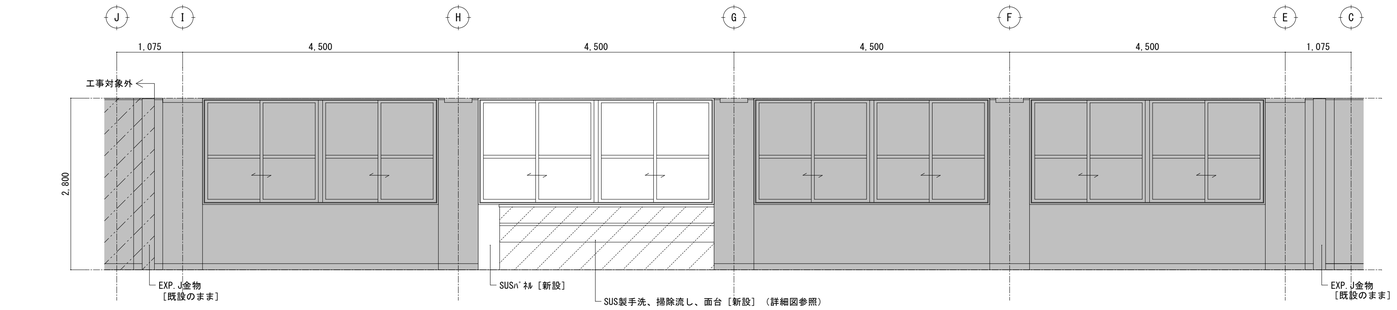
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	昇降口棟　2・3階廊下　展開図（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100						藤川設計株式会社	A－51
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	



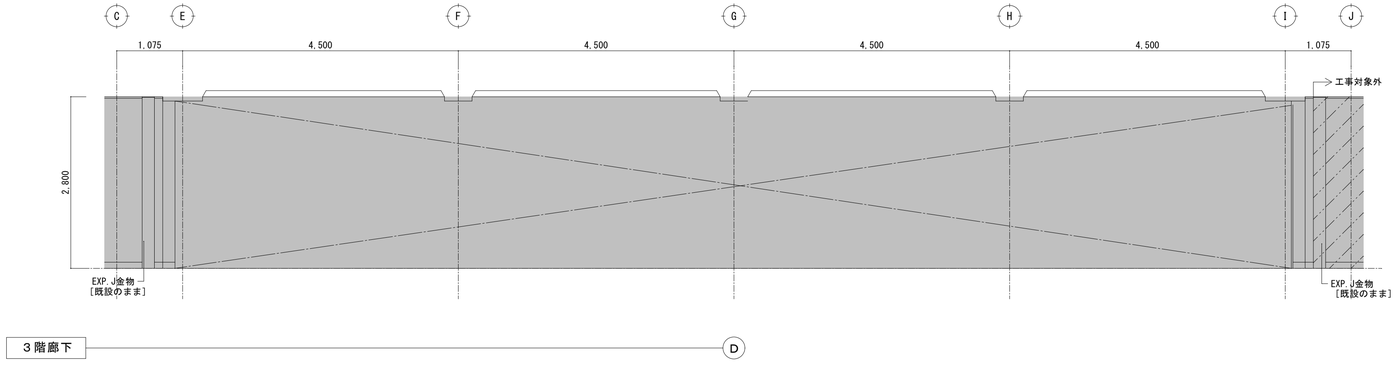
2階廊下



2階廊下



3階廊下



3階廊下

2階廊下		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	c	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	2	塩ビ製廻縁［新設］	
天井高		2,800	
備　考		―	

3階廊下		仕上表（改修後）	
	記号	仕上	下地
床	b	ビニル床シートt=2.0	モルタル
巾　木	c	木製巾木H=100　SOP塗替え	
壁	ア	EP-G塗替え	モルタル
柱　型	ア	EP-G塗替え	モルタル
梁・中央梁型	ア	EP-G塗替え	モルタル
廻　縁	2	塩ビ製廻縁［新設］	
天井高		2,800	
備　考		―	

巾木、壁、廻縁、家具新設範囲を示す。

建具新設範囲を示す。

工事対象範囲外を示す。

工事対象外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	昇降口棟　2・3階廊下　展開図（改修後）	A1: 1:50 A3: 1:100						藤川設計株式会社	A－52
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455)	LGS
	う	★PBt=9.0下地岩綿吸音板t=9.0張	LGS
	え	★ケイカル板t=6.0張複層塗材E	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS
	か	PBt=9.5張 AEP塗	LGS
	き	梁型 NAD塗	モルタル
	く	コンクリート打放+パーライト吹付（★下地調整材）	
	け	コンクリート打放	
	こ	梁型 AEP塗	モルタル
	さ	梁型 シナベニア SOP塗	
	し	コンクリート打放し+外装薄塗材E(★下地調整材)	
	な	★ケイカル板t=6.0張 VP塗	LGS
	に	コンクリート打放複層塗材E吹付	
	ぬ	PBt=12.5張 AEP塗	LGS
	ね	化粧PBt=9.0張（910x910）	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗(校長室のみﾁｰｸ同等練付 PU塗)	

木製廻縁 SOP塗［撤去］

塩ビ製廻縁［撤去］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※　仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

ブ　ブラインド撤去

ア　暗幕カーテン撤去

カ　カーテン撤去

レ　カーテンレール撤去

工事対象外を示す。

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。

１階天井伏図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	１階天井伏図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５３

工事対象外を示す。
仕上新設（下地共）を示す。
仕上新設を示す。

天井仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）面EP塗替え	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455）面EP塗替え	LGS
	う	既設のまま	LGS
	え	ケイカル板t=6.0張複層塗材E	LGS
	お	ケイカル板t=6.0張EP塗替え	LGS
	か	既設のまま	LGS
	き	既設のまま	モルタル
	く	下地調整+EP塗替え	
	け	既設のまま	
	こ	梁型 下地調整+EP-G塗替え	モルタル
	す	水洗い+下地調整+NAD塗替え	
	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455)	LGS
	た	PBt=9.5下地岩綿吸音板t=9.0	LGS
	ち	ケイカル板t=6.0張EP塗替え	LGS
	に	既設のまま	
	ぬ	既設のまま	LGS
	ね	既設のまま	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗(校長室のみﾁｰｸ同等練付 UC塗)	

木製廻縁 SOP塗［新設］
塩ﾋﾞ製廻縁［新設］
天井点検口（450x450）
天井点検口（600x600）

ブ　ブラインド新設
ア　暗幕カーテン新設
カ　カーテン新設
レ　SUS製カーテンレール新設

※破線部分は既設天井点検口、実線部分は新設を示す。

１階天井伏図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	１階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	A－５４

一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455）[撤去]	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS
	く	コンクリート打放+パーライト吹付（★下地調整材）	
	こ	梁型 AEP塗	モルタル
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗	

木製廻縁 SOP塗［撤去］

塩ビ製廻縁［撤去］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※　仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

ブ　ブラインド撤去

ア　暗幕カーテン撤去

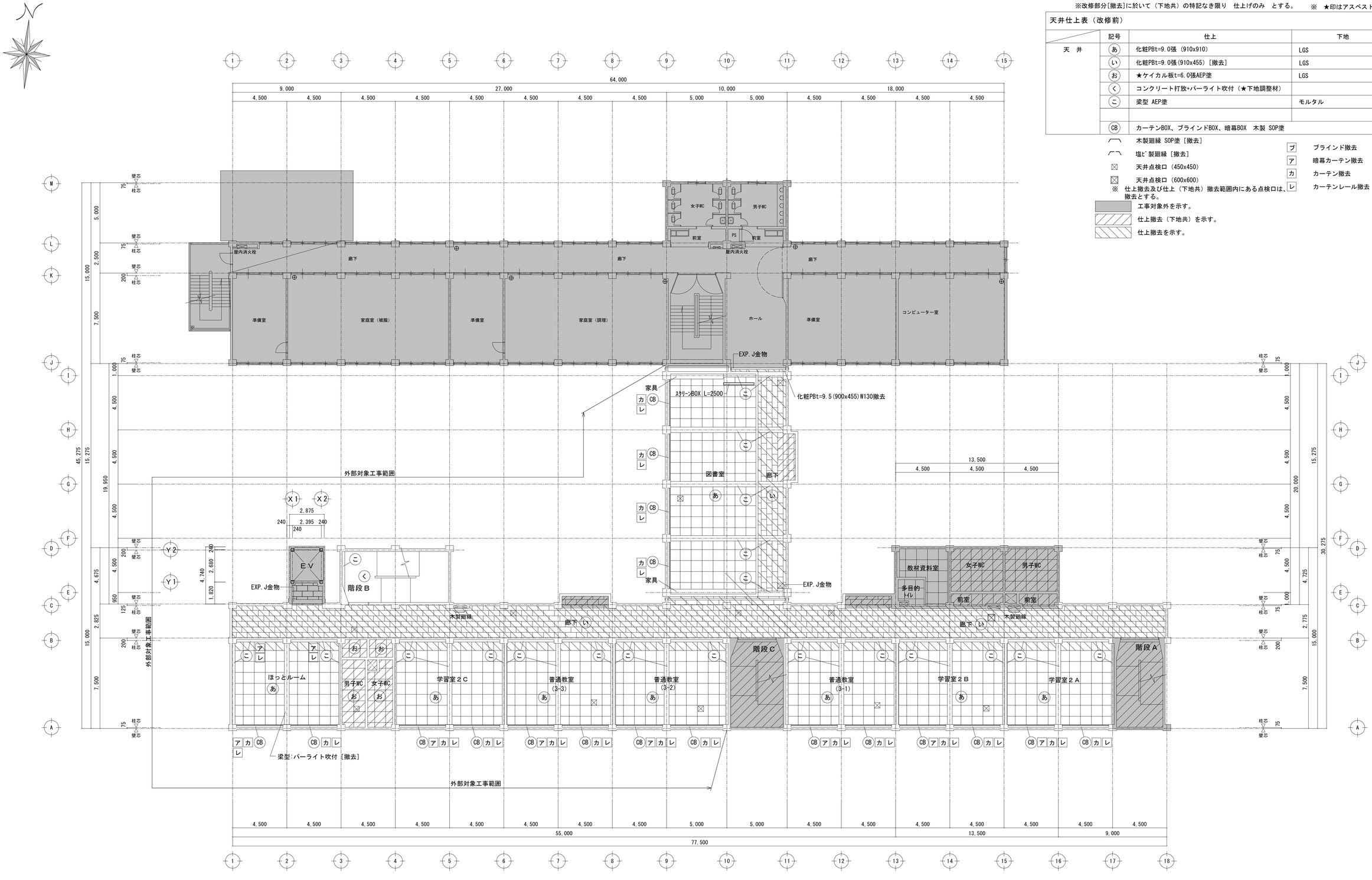
カ　カーテン撤去

レ　カーテンレール撤去

工事対象外を示す。

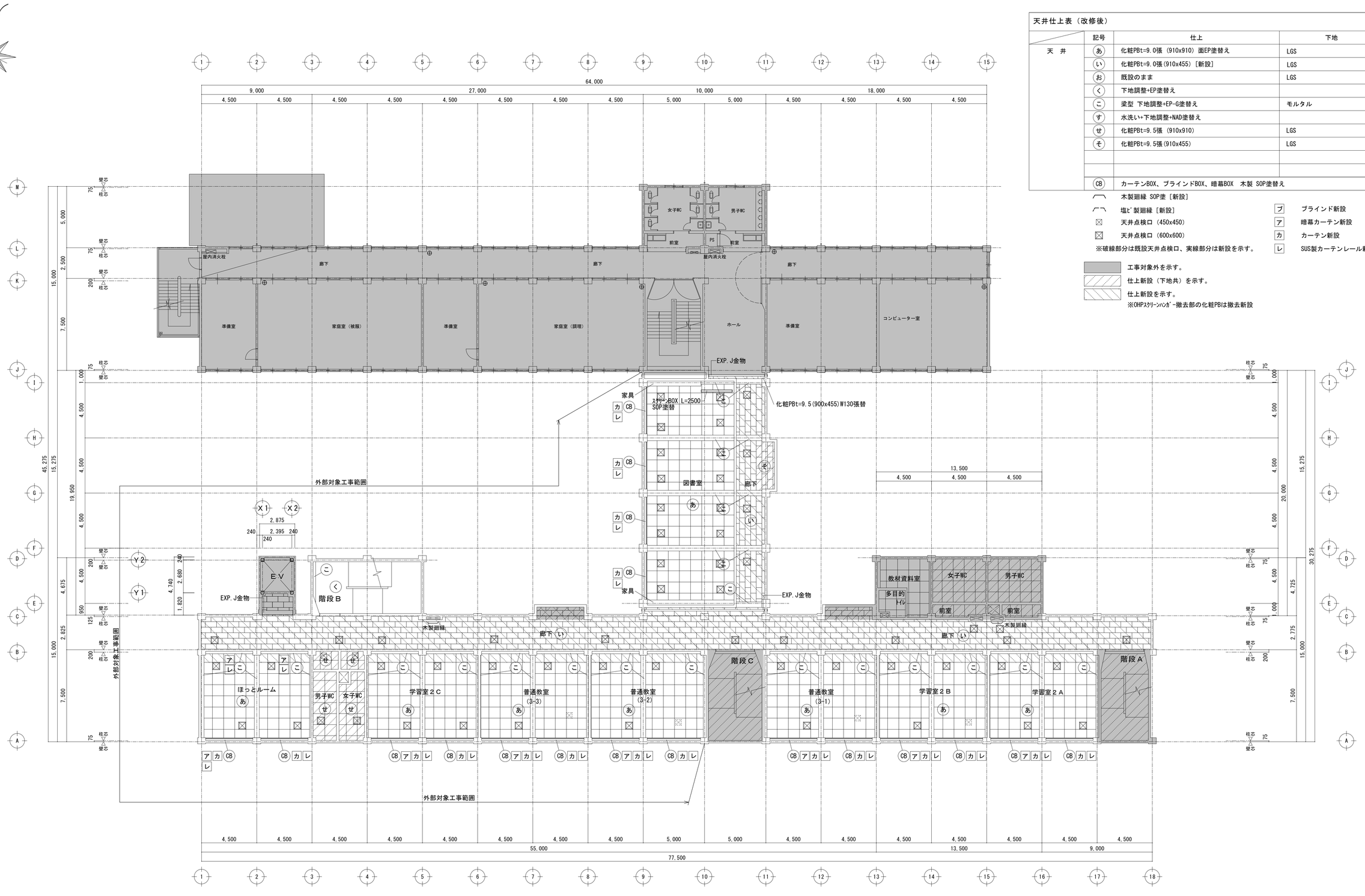
仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。



２階天井伏図（改修前）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	２階天井伏図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－55



天井仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）面EP塗替え	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455)［新設］	LGS
	お	既設のまま	LGS
	く	下地調整+EP塗替え	
	こ	梁型 下地調整+EP-G塗替え	モルタル
	す	水洗い+下地調整+NAD塗替え	
	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455)	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗替え	

- 木製廻縁 SOP塗［新設］
- 塩ビ製廻縁［新設］
- 天井点検口（450x450）
- 天井点検口（600x600）
- ※破線部分は既設天井点検口、実線部分は新設を示す。

- ブ　ブラインド新設
- ア　暗幕カーテン新設
- カ　カーテン新設
- レ　SUS製カーテンレール新設

- 工事対象外を示す。
- 仕上新設（下地共）を示す。
- 仕上新設を示す。
  ※OHPスクリーンハンガー撤去部の化粧PBは撤去新設

２階天井伏図（改修後）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	２階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５６

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455) ［撤去］	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS
	く	コンクリート打放+パーライト吹付（★下地調整材）	
	け	コンクリート打放	
	こ	梁型 AEP塗	モルタル
	し	コンクリート打放し外装薄塗材E吹付	
	つ	PBt=12.5 AEP塗	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗	

木製廻縁 SOP塗［撤去］

塩ビ製廻縁［撤去］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※ 仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

ブ ブラインド撤去

ア 暗幕カーテン撤去

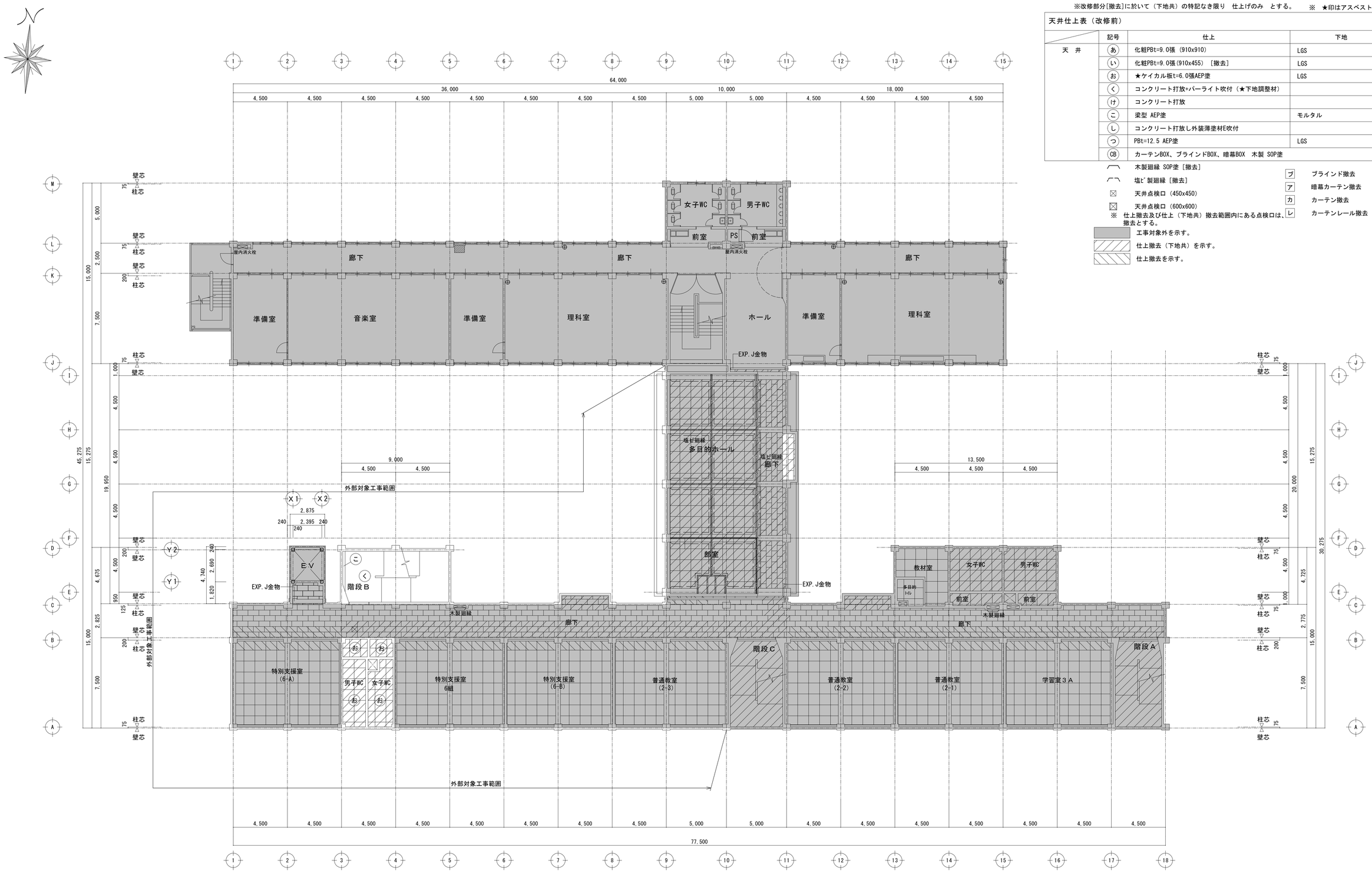
カ カーテン撤去

レ カーテンレール撤去

工事対象外を示す。

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。



３階天井伏図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	３階天井伏図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－５７
★	★	★								

天井仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）面EP塗替え	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455）面EP塗替え	LGS
	お	既設のまま	LGS
	く	下地調整+EP塗替え	
	こ	梁型 下地調整+EP-G塗替え	モルタル
	す	水洗い+下地調整+NAD塗替え	
	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455)	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗替え	

木製廻縁 SOP塗［新設］

塩ビ製廻縁［新設］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※破線部分は既設天井点検口、実線部分は新設を示す。

ブ　ブラインド新設

ア　暗幕カーテン新設

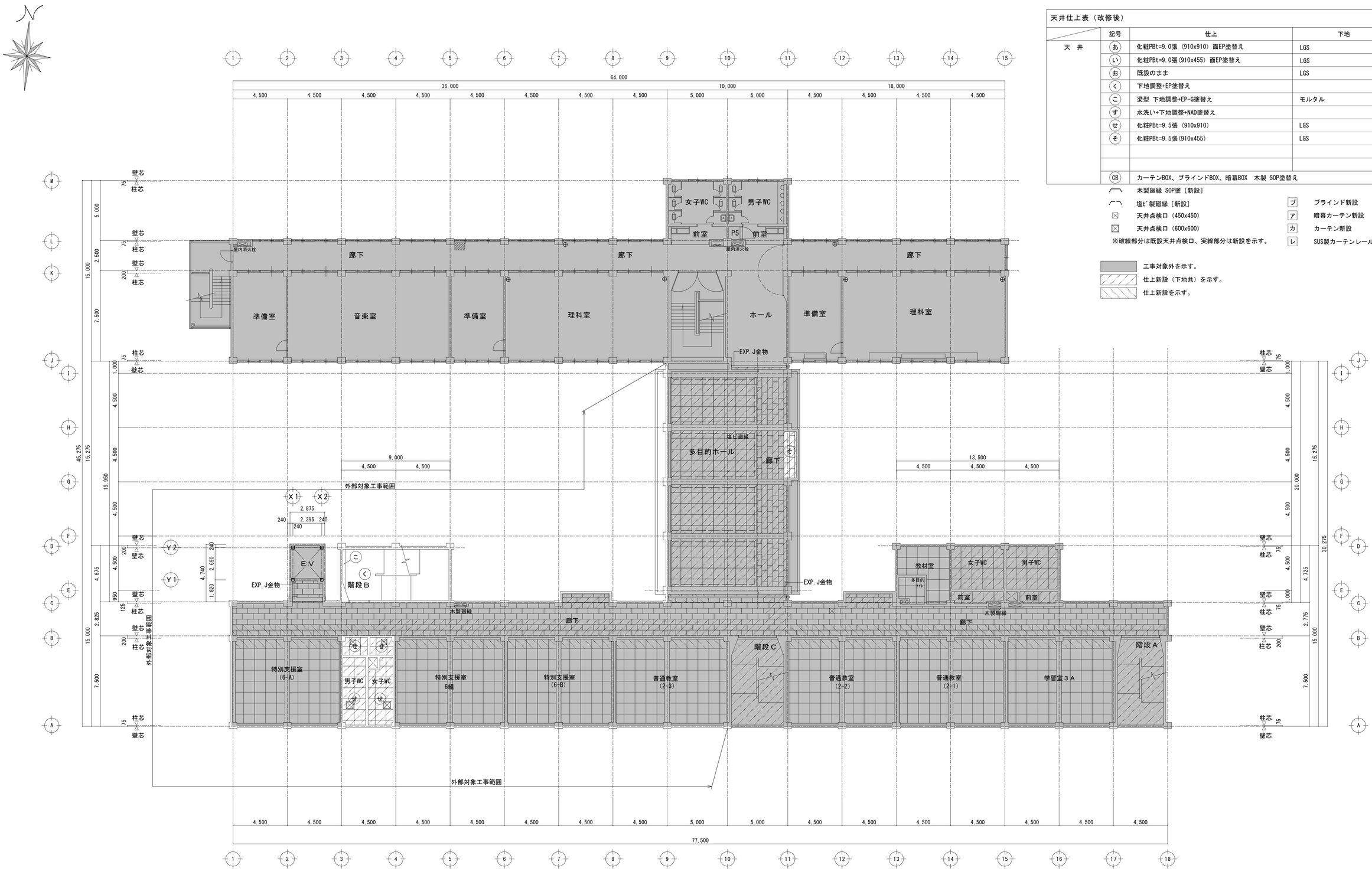
カ　カーテン新設

レ　SUS製カーテンレール新設

工事対象外を示す。

仕上新設（下地共）を示す。

仕上新設を示す。



３階天井伏図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	３階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫

A－５８

※改修部分[撤去]に於いて（下地共）の特記なき限り　仕上げのみ　とする。　※　★印はアスベスト含有材

天井仕上表（改修前）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455）［撤去］	LGS
	お	★ケイカル板t=6.0張AEP塗	LGS
	く	コンクリート打放+バーライト吹付（★下地調整材）	
	け	コンクリート打放	
	こ	梁型 AEP塗	モルタル
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗	

木製廻縁 SOP塗［撤去］

塩ビ製廻縁［撤去］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※　仕上撤去及び仕上（下地共）撤去範囲内にある点検口は、撤去とする。

ブ　ブラインド撤去

ア　暗幕カーテン撤去

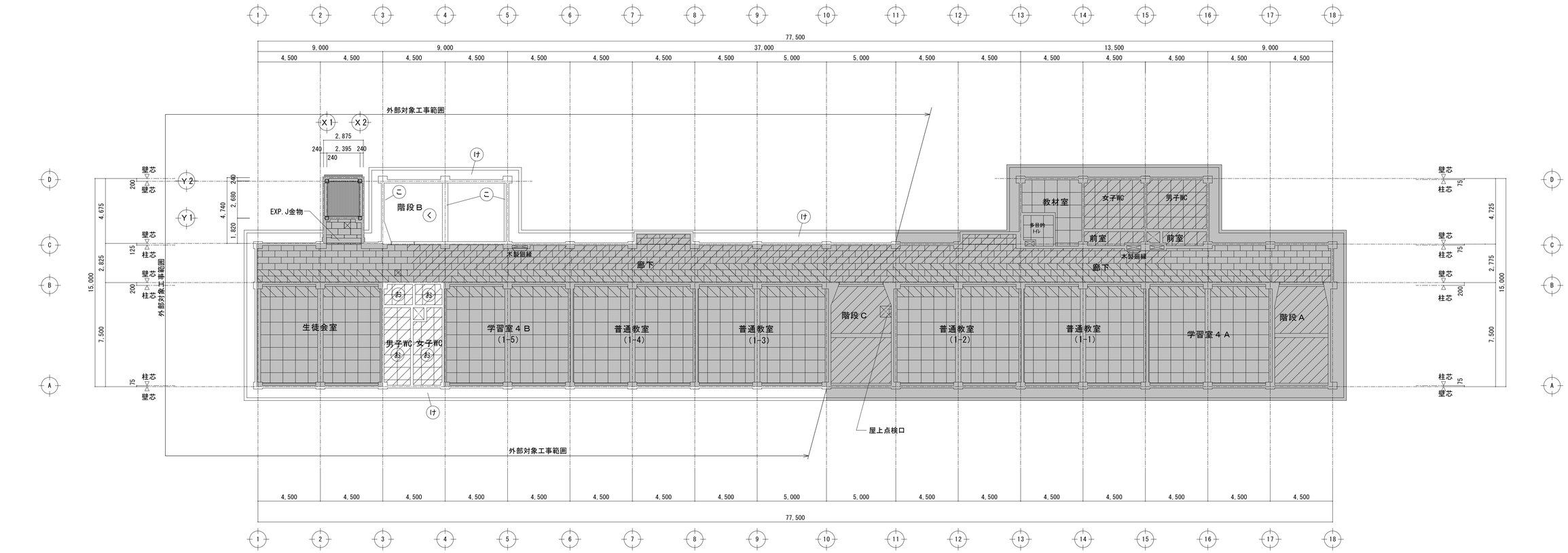
カ　カーテン撤去

レ　カーテンレール撤去

工事対象外を示す。

仕上撤去（下地共）を示す。

仕上撤去を示す。



４階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	４階天井伏図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A-59
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	

天井仕上表（改修後）

	記号	仕上	下地
天　井	あ	化粧PBt=9.0張（910x910）面EP塗替え	LGS
	い	化粧PBt=9.0張(910x455）面塗EP替え	LGS
	お	既設のまま	LGS
	く	下地調整+EP塗替え	
	こ	梁型 下地調整+EP-G塗替え	モルタル
	す	水洗い+下地調整+NAD塗替え	
	せ	化粧PBt=9.5張（910x910）	LGS
	そ	化粧PBt=9.5張(910x455）	LGS
	CB	カーテンBOX、ブラインドBOX、暗幕BOX　木製 SOP塗替え	

木製廻縁 SOP塗［新設］

塩ビ製廻縁［新設］

天井点検口（450x450）

天井点検口（600x600）

※破線部分は既設天井点検口、実線部分は新設を示す。

ブ　ブラインド新設

ア　暗幕カーテン新設

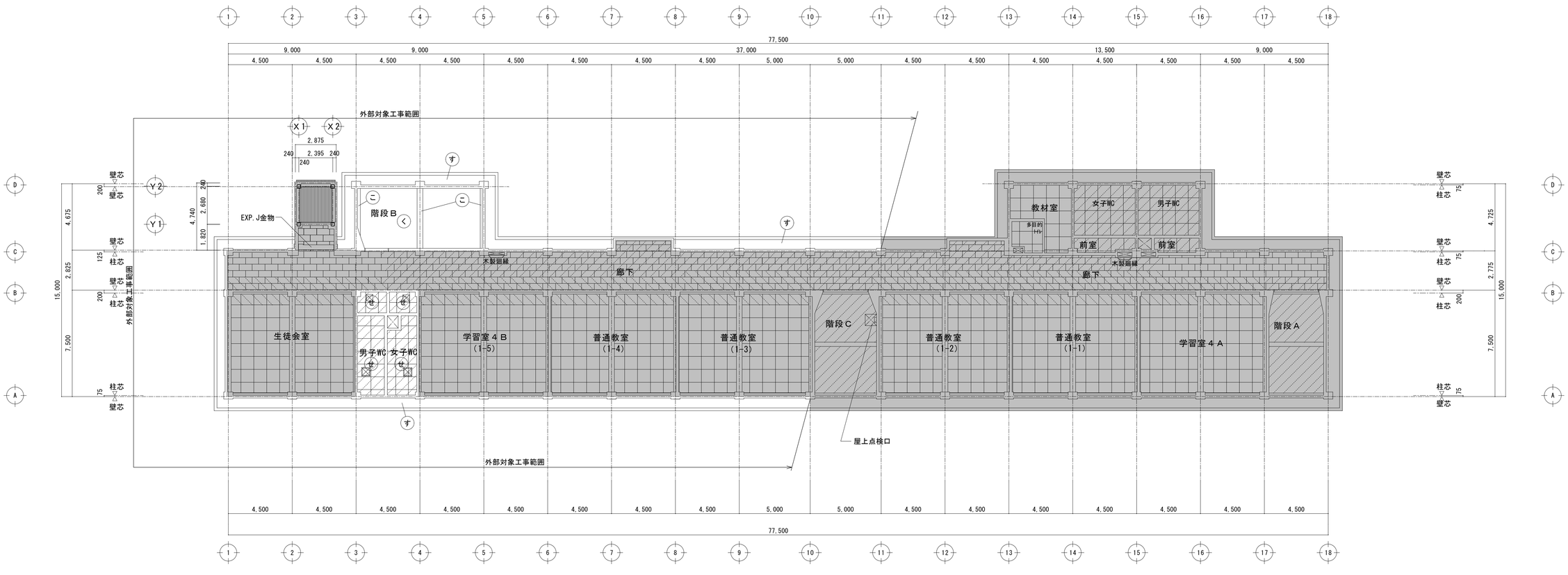
カ　カーテン新設

レ　SUS製カーテンレール新設

工事対象外を示す。

仕上新設（下地共）を示す。

仕上新設を示す。

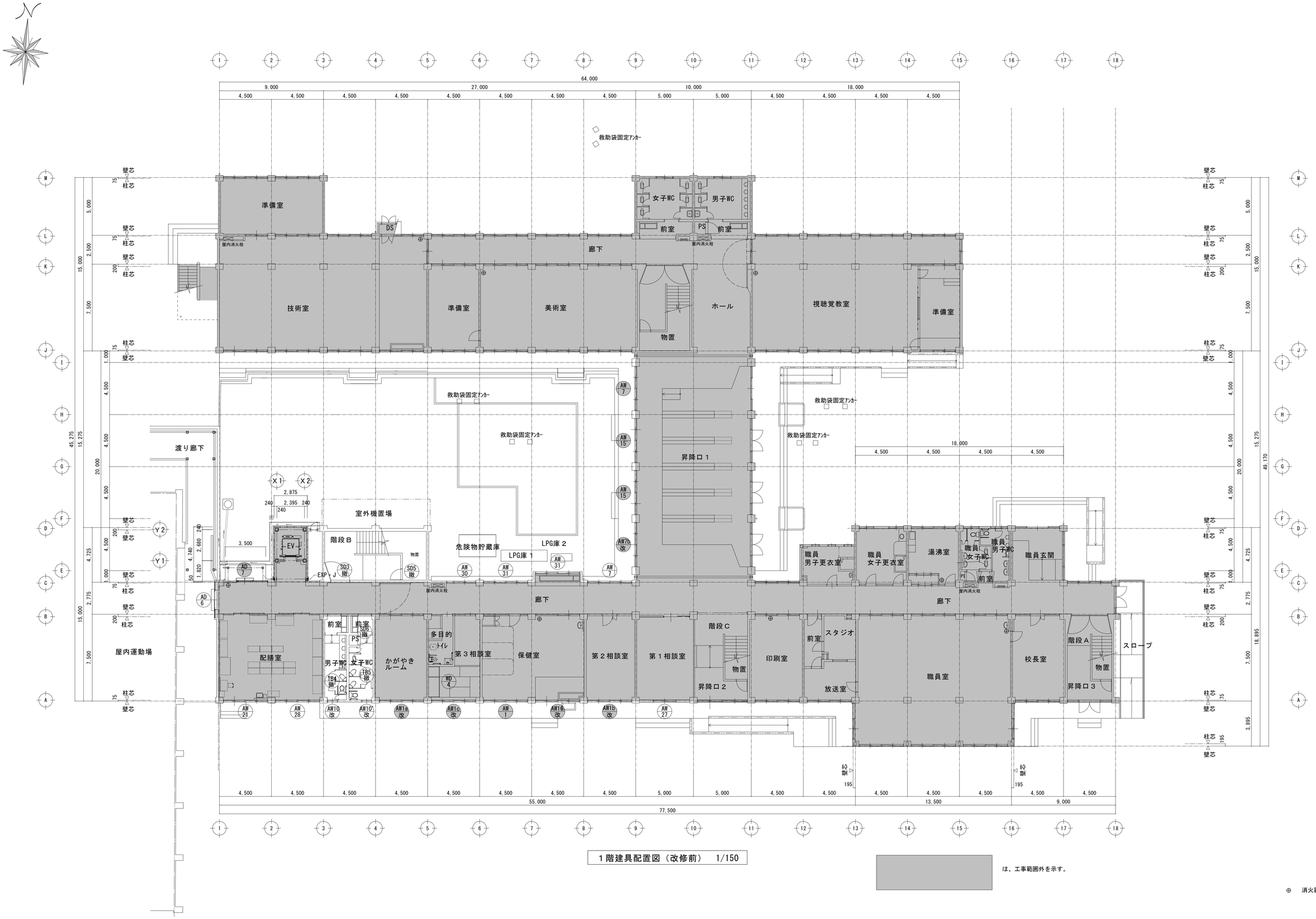


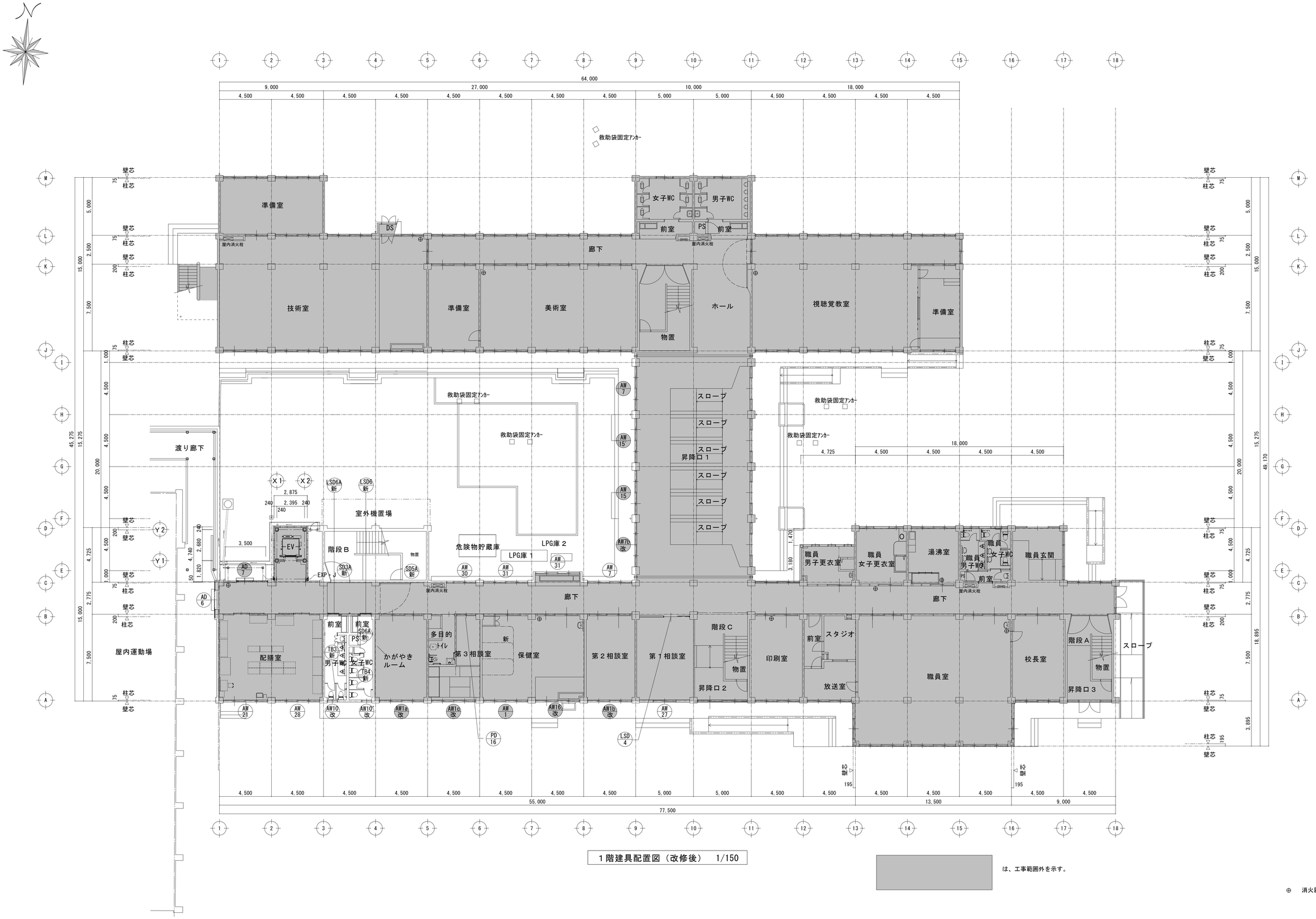
４階平面図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	４階天井伏図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－６０


救助袋固定ｱﾝｶｰ
準備室
女子WC
男子WC
前室
PS
前室
DS
屋内消火栓
廊下
屋内消火栓
技術室
準備室
美術室
ホール
視聴覚教室
準備室
物置
救助袋固定ｱﾝｶｰ
救助袋固定ｱﾝｶｰ
救助袋固定ｱﾝｶｰ
救助袋固定ｱﾝｶｰ
AW 7
AW 15
AW 15
AW7b 改
昇降口１
渡り廊下
X1
X2
EV
室外機置場
階段Ｂ
物置
危険物貯蔵庫
LPG庫２
LPG庫１
AW 30
AW 31
AW 31
AW 7
AD 7
SD3 撤
SD5 撤
EXP・J
屋内消火栓
廊下
廊下
職員
男子更衣室
職員
女子更衣室
湯沸室
職員
女子WC
職員
男子WC
職員玄関
前室
屋内消火栓
AD 6
屋内運動場
前室
前室
PS
SD6 撤
男子WC
女子WC
TB5 撤
TB4 撤
配膳室
かがやき
ルーム
多目的
トイレ
第３相談室
保健室
第２相談室
第１相談室
階段Ｃ
物置
昇降口２
印刷室
前室
スタジオ
放送室
職員室
校長室
階段Ａ
物置
昇降口３
スロープ
AW 21
AW 28
AW10 改
AW10' 改
AW1a 改
AW1c 改
AW 1
AW1d 改
AW1b 改
AW 27
WD 4
Y1
Y2
AD 7
2,875
240
2,395
240
240
3,500
4,740
2,660
240
1,820
50
64,000
9,000
27,000
10,000
18,000
4,500
5,000
15,000
5,000
2,500
7,500
1,000
4,500
4,500
45,275
15,275
20,000
4,500
4,725
1,000
2,775
15,000
7,500
18,000
4,500
4,500
4,500

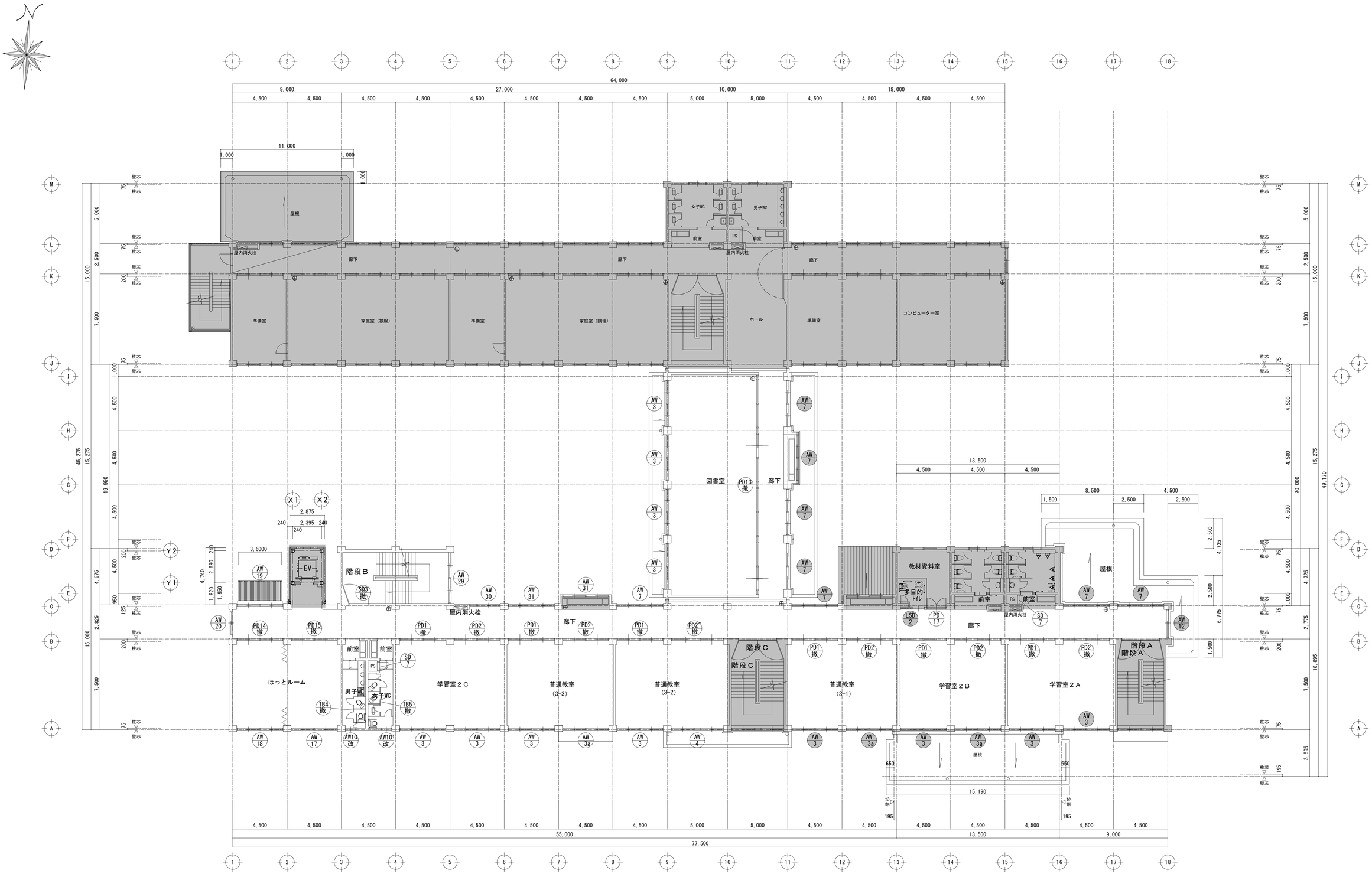


１階建具配置図（改修後）　1/150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	１階建具配置図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６２

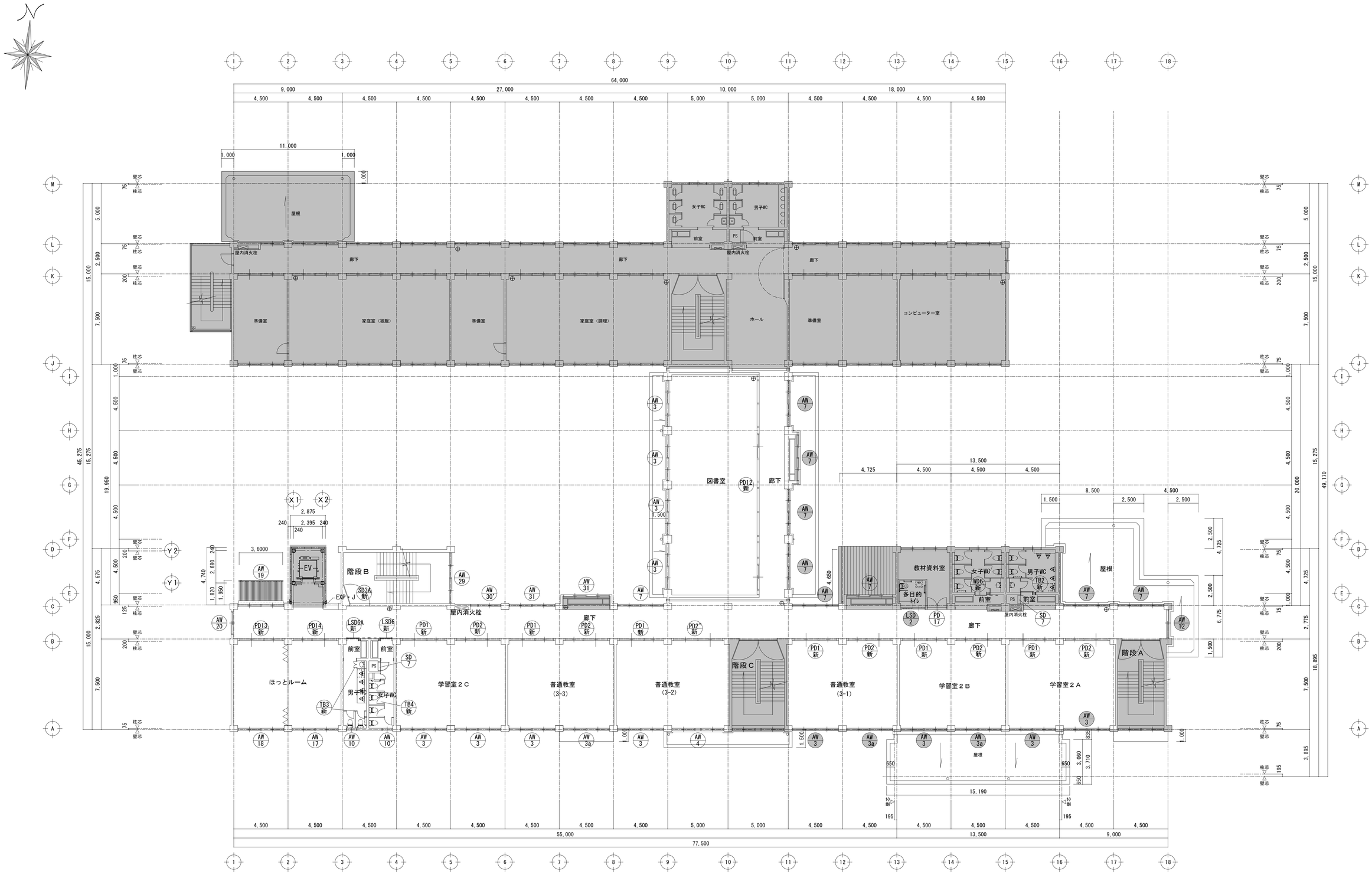


２階建具配置図（改修前）　1/150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	２階建具配置図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６３



２階建具配置図（改修後）　1／150

は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	２階建具配置図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－６４

３階建具配置図（改修前）　1/150

は、工事範囲外を示す。

[既設のまま]
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
⊕　消火器ABC10型

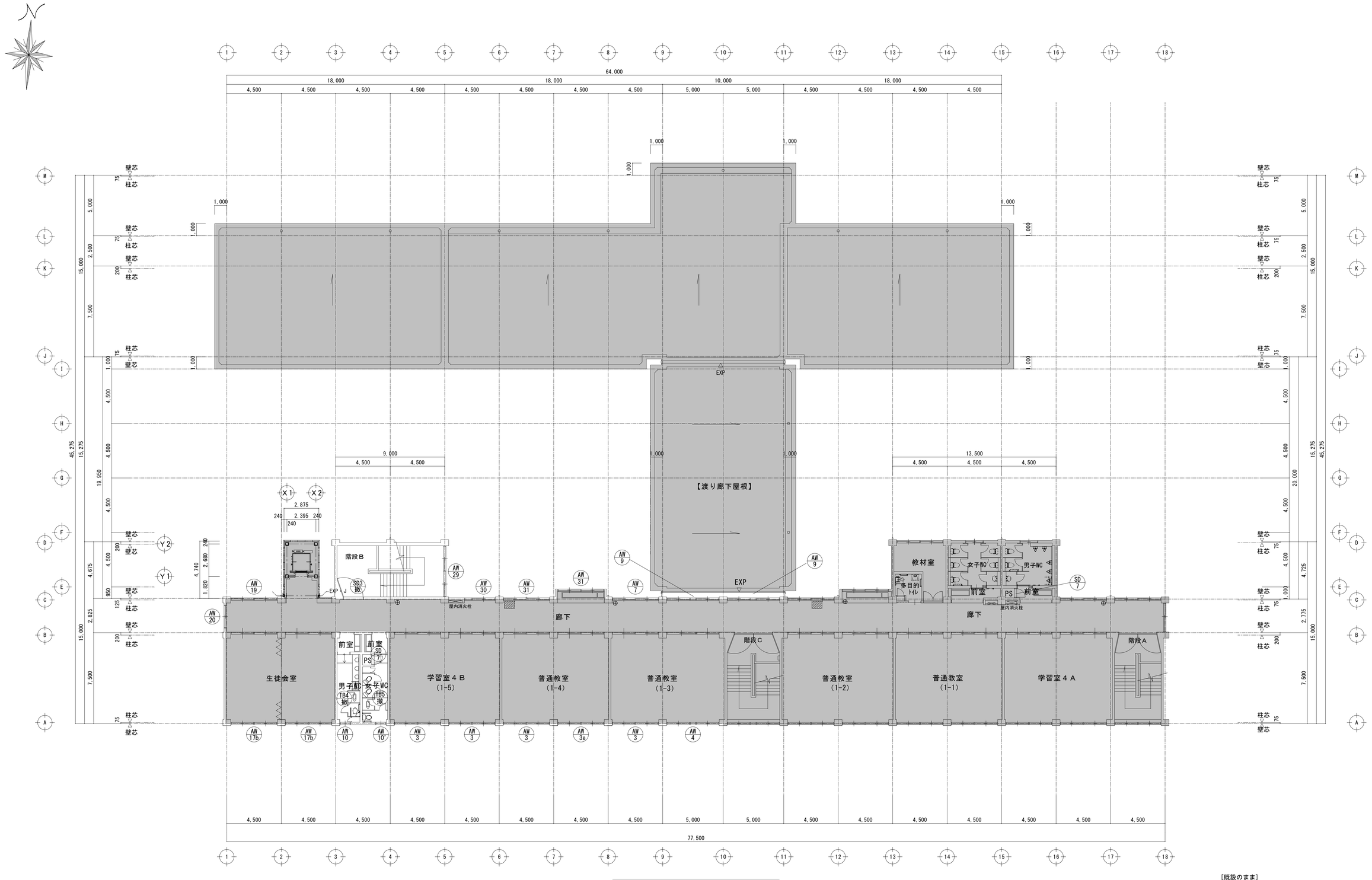
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	３階建具配置図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６５

３階建具配置図（改修後）　1/150

は、工事範囲外を示す。

[既設のまま]
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
※　取外し、再取付
⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	３階建具配置図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－６６

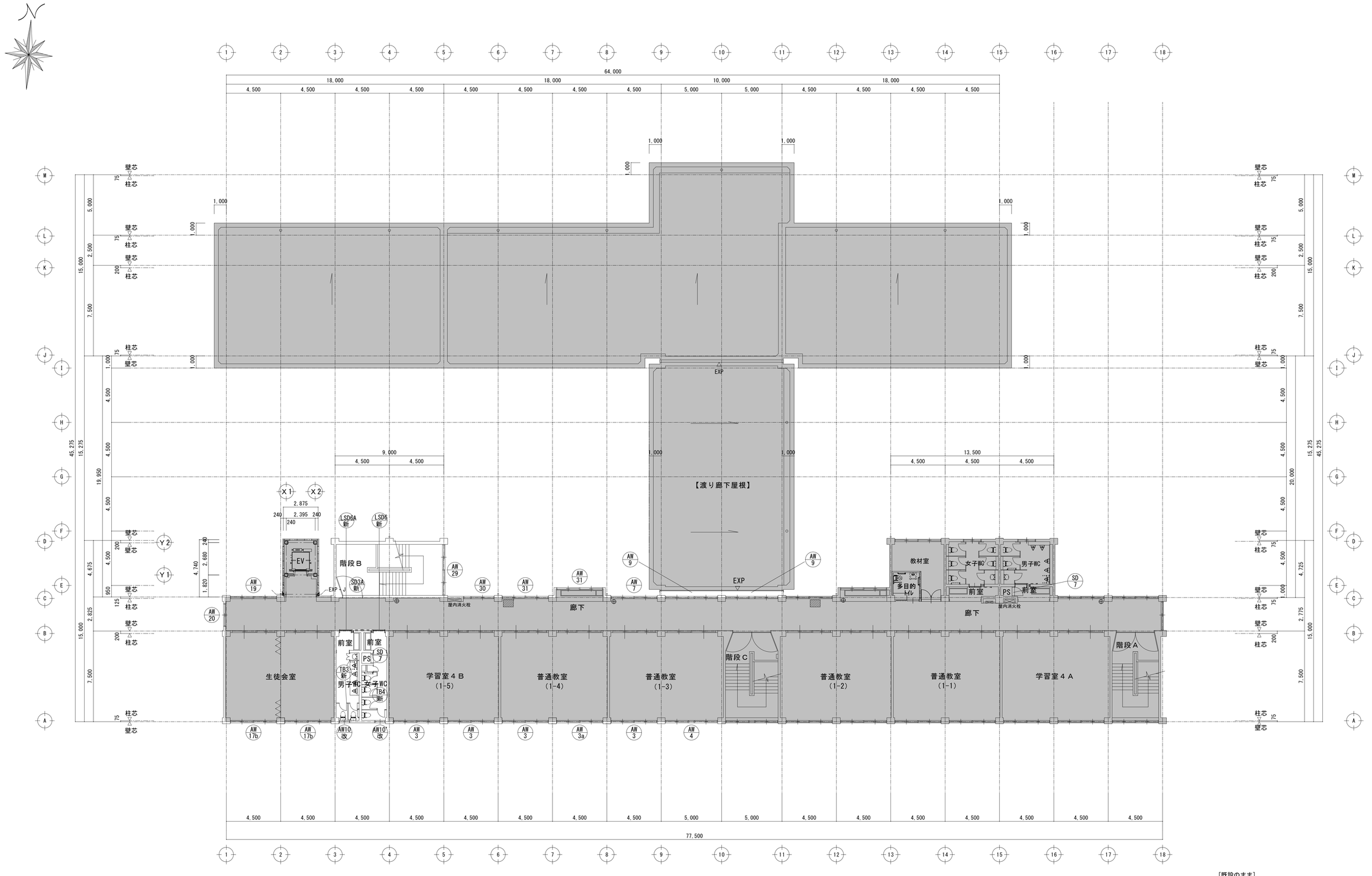


４階建具配置図（改修前）　1/150

は、工事範囲外を示す。

［既設のまま］
救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	４階建具配置図（改修前）	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A－６７
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	



４階建具配置図（改修後）　1/150

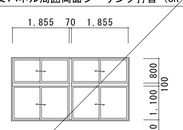
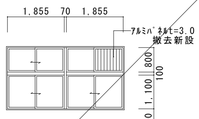
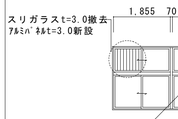
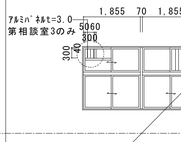
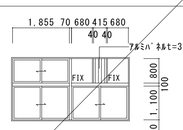
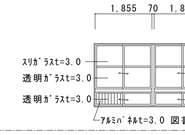
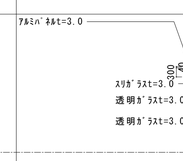
は、工事範囲外を示す。

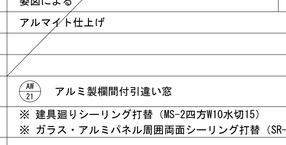
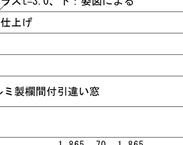
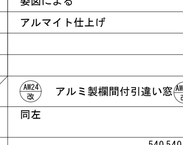
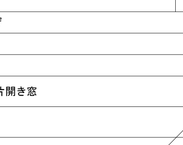
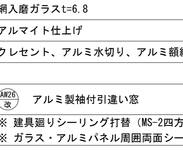
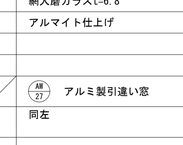
［既設のまま］
- 救助袋　斜降式　（アンカー及び地上用固定アンカー共）
- ※　取外し、再取付
- ⊕　消火器ABC10型

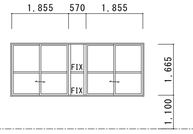
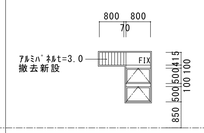
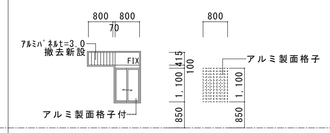
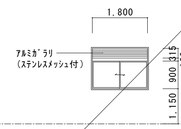
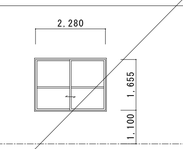
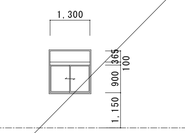
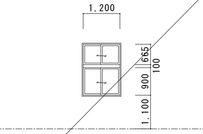
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	４階建具配置図（改修後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

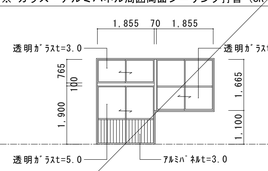
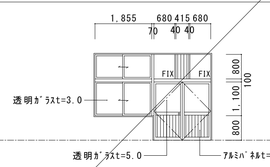
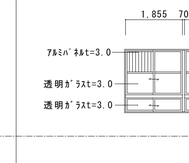
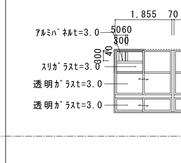
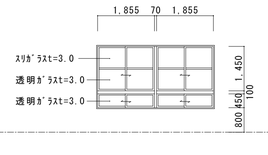
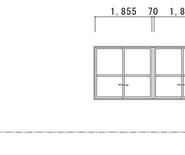
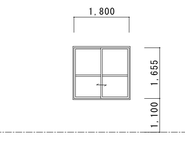
藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

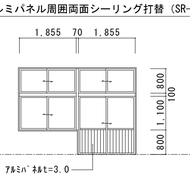
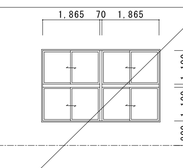
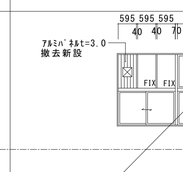
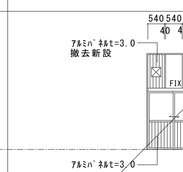
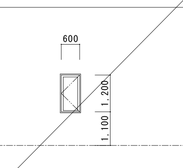
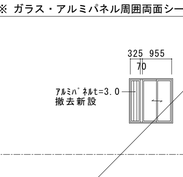
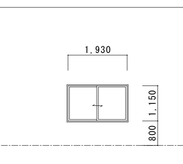
A－６８

符号	名称	AW 1 アルミ製欄間付引違い窓		AW1a 改 アルミ製欄間付引違い窓		AW1b 改 アルミ製欄間付引違い窓		AW 1c アルミ製欄間付引違い窓		AW2 改 アルミ製欄間付引違い窓		AW 3 アルミ製欄間付引違い窓		AW 3a アルミ製欄間付引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左	
姿図															
														2階学習室B；普通教室3-1、3-3 普通教室2-1、2-2；特別支援室6-B 普通教室1-1、1-2；1-4	3
位置	数量	保健室、印刷室、放送室	1	かがやきルーム	1	第２相談室	1	第３相談室	1	校長室	1	学習室、普通教室、特別支援室(6組、6-B) 図書室、多目的ホール、部室	20		
硝子	見込	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	姿図による	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物															
備考															

符号	名称	AW 4 アルミ製欄間付引違い窓		AW 5 アルミ製欄間付片引き窓		AW 6 アルミ製欄間付片引き窓		AW 7 アルミ製引違い窓		AW7a 改 アルミ製引違い窓		AW7b 改 アルミ製引違い窓		AW 8 アルミ製引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左	
姿図															
位置	数量	普通教室(3-2、2-3、1-3)	3	階段Ｃ	3	階段Ａ	3	廊下、昇降口、教材資料室、教材室(2.4F)	4	教材室(3F)	1	昇降口	1	湯沸室	1
硝子	見込	姿図による	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70	透明ガラスt=3.0	70	透明ガラスt=3.0	70	透明ガラスt=3.0	70	型ガラスt=4.0	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物															
備考															

符号	名称	AW 9 アルミ製引違い窓		AW10 改 アルミ製ﾆｺﾘ出し窓 AW10 改 アルミ製ﾆｺﾘ出し窓 左右反転を示す		AW10a 改 アルミ製引違窓		AW 11 アルミ製ガラリ付引違い窓		AW 12 アルミ製引違い窓		AW 13 アルミ製ガラリ付引違い窓		AW 14 アルミ製欄間付引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左	
姿図															
位置	数量	廊下(4F)	2	男子WC(西側)、女子WC(西側)	3、4	男子WC(西側3F)	1	男子WC(東側)、女子WC(東側)	6	廊下	3	職員女子WC	1	職員女子更衣室	2
硝子	見込	透明ガラスt=3.0	70	型ガラスt=4.0	70	型ガラスt=4.0	70	型ガラスt=4.0	70	透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：型ガラスt=4.0	70	型ガラスt=4.0	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物										クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁			
備考															

符号	名称	AW 15 アルミ製欄間付引違い窓 AW 15 アルミ製欄間付引違い窓 左右反転を示す		AW16 改 アルミ製欄間付引違い窓		AW 17 アルミ製欄間付引違い窓 AW 18 アルミ製欄間付引違い窓 左右反転を示す		AW 17a アルミ製欄間付引違い窓 AW 18a アルミ製欄間付引違い窓 左右反転を示す		AW 17b アルミ製欄間付引違い窓		AW 19 アルミ製引違い窓		AW 20 アルミ製引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）	
姿図															
位置	数量	昇降口	1,1	保健室	1	ほっとルーム	1,1	特別支援室(6-A)	1,1	生徒会室	2	廊下	3	廊下	3
硝子	見込	姿図による	70	上：スリガラスt=3.0、下：姿図による	70	姿図による	70	姿図による	70	姿図による	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物												クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁			
備考															

符号	名称	AW 21 アルミ製欄間付引違い窓		AW 22 アルミ製欄間付引違い窓		AW23 改 アルミ製欄間付引違い窓		AW24 改 アルミ製欄間付引違い窓 AW24 改 アルミ製欄間付引違い窓 左右反転を示す		AW 25 アルミ製片開き窓		AW26 改 アルミ製袖付引違い窓		AW 27 アルミ製引違い窓	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左		同左		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左	
姿図															
位置	数量	配膳室	1	職員室	2	職員室	1	職員室	2	職員男子更衣室	3	職員男子WC	1	第１相談室	1
硝子	見込	上：網入型ガラスt=6.8、下：網入磨ガラスt=6.8	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	網入型ガラスt=6.8	70	強化型ガラスt=4.0	70	強化透明ガラスt=4.0	70
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁、アルミアングル スチンレス容摺		アルマイト仕上げ オペレーターハンドル、アルミアングル		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物												クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁	
備考															

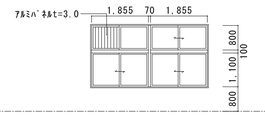
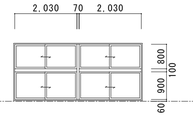
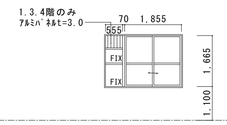
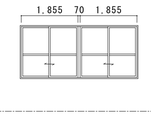
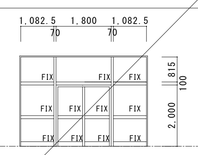
工事名称
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）

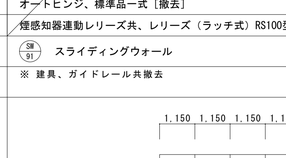
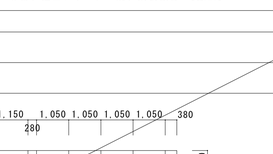
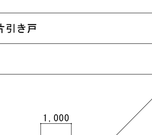
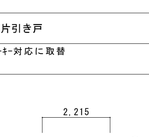
図面名称
★ 建具表１

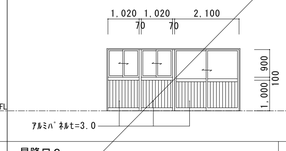
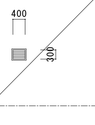
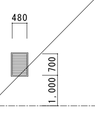
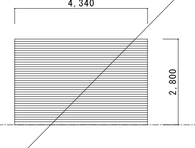
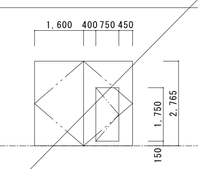
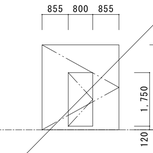
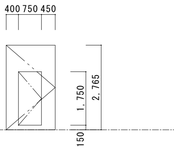
縮尺 ★ A1：1/100 A3：1/200　日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

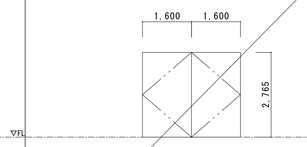
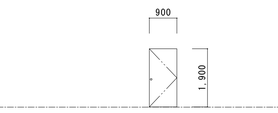
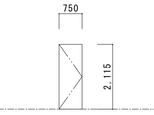
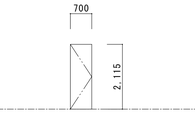
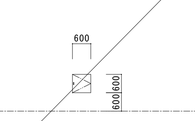
藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録 222551 田中 富士夫

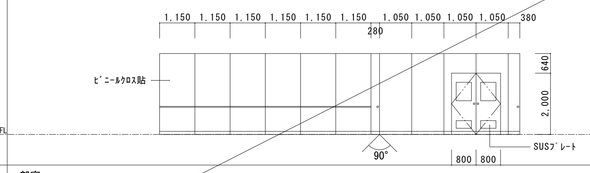
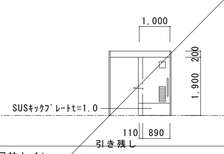
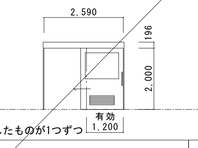
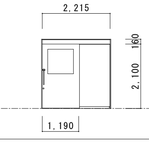
A－６９

符号	名称	AW 29 アルミ製欄間付引違い窓		AW 30 アルミ製欄間付引違い窓		AW 30 アルミ製袖付引違い窓		AW 31 アルミ製引違い窓		AW 32 アルミ製ＦＩＸ窓			
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左		同左		同左					
姿図													
位置	数量	配膳室	1	階段Ｂ	3	廊下	4	廊下	8	職員玄関	1		
硝子	見込	上：スリガラスt=3.0、下：透明ガラスt=3.0	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70	網入磨ガラスt=6.8	70	強化透明ガラスt=4.0	70		
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ			
金物		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		クレセント、アルミ水切り、アルミ額縁		アルミ額縁			
備考													

符号	名称	AD 1 改 アルミ製欄間･袖付両引分け戸		AD 2 アルミ製欄間･袖付引分け戸		AD 3 アルミ製袖付両開き戸		AD 4 アルミ製欄間･袖付両開き戸		ADS 改 ADS 改 アルミ製欄間･袖付両開き戸		AD 6 アルミ製引分け戸		AD 7 アルミ製欄間付片引き戸	
工事内容		※ ハッチング部両引分戸撤去 ガイドレールボックス共		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 自動ドア用錠及び二重錠マスターキー対応に取替		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 本締錠・シリンダー錠マスターキー対応に取替		同左		※ 両開戸撤去フロアーヒンジ共		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1）		同左	
姿図															
位置	数量	職員玄関	1	昇降口１	1	昇降口３	1	廊下	1	昇降口１	2、1	廊下	1	廊下	1
硝子	見込	姿図による	100	姿図による	100	網入磨ガラスt=6.8	100	上：透明ガラスt=5.0、下：網入磨ガラスt=6.8	100	上：透明ガラスt=5.0、下：網入磨ガラスt=6.8	100	網入磨ガラスt=6.8	70	強化透明ガラスt=4.0	100
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ	
金物		ハンガーレール、ガイドレール、引戸ドアクローザー、棒引き手 自動ドア用錠及び二重錠 ［撤去］													
備考															

符号	名称	AD 8 アルミ製袖引違い窓付引違い戸		AG 1 アルミ製ガラリ		AG 2 アルミ製ガラリ		SS1 鋼製 鋼製防火シャッター（煙感知器連動）		SD1 鋼製 鋼製潜戸付防火戸		SD2 鋼製 鋼製潜戸付防火戸		SD3 鋼製 鋼製潜戸付防火戸	
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 本締錠・シリンダー錠マスターキー対応に取替		※ 既設のまま		※ 工事範囲外		※ 防火シャッター撤去（単相100対応品）		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］	
姿図															
位置	数量	昇降口２	1	スタジオ、前室	3	ＥＶシャフト	1	階段Ｃ	1	階段Ａ、Ｃ	6	廊下	1	階段Ｂ	4
硝子	見込	強化透明ガラスt=4.0	70		70		70				40		60		40
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ		焼付塗装		SOP塗装		SOP塗		SOP塗	
金物								マグサ、座板、ガイドレール、手動開閉器 ［撤去］		オートヒンジ、標準品一式 ［撤去］		オートヒンジ、標準品一式 ［撤去］		オートヒンジ、標準品一式 ［撤去］	
備考										煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型 ［撤去］		煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型 ［撤去］		煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型 ［撤去］	

符号	名称	SD4 撤 鋼製防火戸		SD5 撤 鋼製片開きフラッシュ戸（防火設備、遮煙性能付）		SD6 撤 鋼製片開きフラッシュ戸		SD 7 鋼製片開きフラッシュ戸		SD 8 鋼製片開きフラッシュ戸					
工事内容		※ 鋼製潜戸付防火戸［撤去枠共］		※ 鋼製片開きフラッシュ戸［撤去枠共］		※ SD-6建具［撤去枠共］		※ 建具、袖共SOP塗替（女子WC(西側)3か所） ※ シリンダー錠マスターキー対応に取替 （男子WC(東側)3か所、女子WC(西側)3か所）		※ 工事範囲外					
姿図															
位置	数量	階段Ａ	1	物置	1	職員女子WC、女子WC（西側）	1	男子WC(東側)、女子WC(西側)	3、3	多目的トイレ	3				
硝子	見込		40		40		40		40						
塗装・仕上		SOP塗		SOP塗		SOP塗		SOP塗		EP-G塗					
金物		オートヒンジ、標準品一式 ［撤去］		蝶番、握玉シリンダー錠、鋼製額縁 ［撤去］		蝶番、シリンダー本締錠、鋼製額縁 ［撤去］				蝶番、平面ハンドル錠錠					
備考		煙感知器連動レリーズ共、レリーズ（ラッチ式）RS100型 ［撤去］													

符号	名称	SW 91 スライディングウォール		LSD 1 鋼製軽量片引き戸		LSD 2 鋼製軽量片引き戸		LSD 3 鋼製軽量片引き戸		LSD 4 鋼製軽量片引き戸			
工事内容		※ 建具、ガイドレール共撤去		※ 工事範囲外		※ 工事範囲外		※ 工事範囲外		※ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠ﾏｽﾀｰｷｰ対応に取替			
姿図													
位置	数量	部室	1	多目的トイレ	1	多目的トイレ	1	配膳室	2	第１相談室	1		
硝子	見込	強化透明ガラスt=4.0		強化型ガラスt=4.0	40(扉)	強化型ガラスt=4.0	40(扉)	強化型ガラスt=4.0	80 40(扉)	強化型ガラスt=4.0	130		
塗装・仕上		化粧鋼板、一部ビニールクロス貼		扉：化粧鋼板　枠･点検カバー：焼付塗装		扉：化粧鋼板　枠･点検カバー：焼付塗装		扉：化粧鋼板　点検カバー：化粧鋼板		扉：化粧鋼板　点検カバー：化粧鋼板			
金物		ハンガーレール、ケースハンドル、蝶番、丸落し						姿図は左右反転したものが1つずつ		ハンガーレール、ガイドローラー、シリンダー錠、サムターン 引手棒(SUS304 L=450)			
備考													

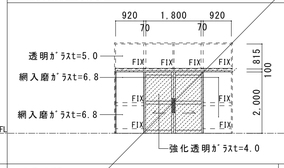
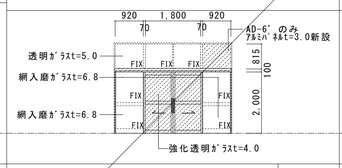
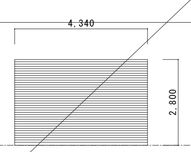
工事名称
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）

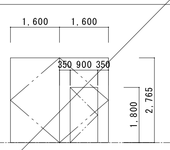
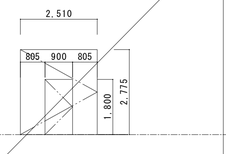
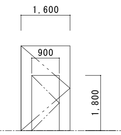
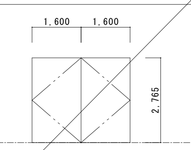
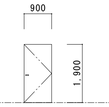
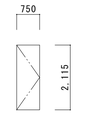
図面名称
建具表２

縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
A1：1/100 A3：1/200	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

A－７０

符号	名称	AD1A 改 アルミ製欄間･袖付両引分け戸		AD5A 改 AD5A 改 アルミ製欄間･袖付両引分け戸			SS1A 新 電動式防火防煙シャッター（特定防火設備 ※遮煙機能付）			
工事内容		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 両引分戸［新設］		※ 建具廻りシーリング打替（MS-2四方W10水切15） ※ ガラス・アルミパネル周囲両面シーリング打替（SR-1） ※ 両引分戸［新設］			※ 新設（単相100対応品）			
姿 図	▽FL									
位置	数量	職員玄関	1	昇降口１	2，1		階段Ｃ	1		
硝子	見込	姿図による	40	姿図による	40					
塗装・仕上		アルマイト仕上げ		アルマイト仕上げ			スラットスチールt=1.6 焼付塗装			
金 物		フラットレール、戸車、棒引き手（L=460）シリンダー錠 その他1式［新設］		フラットレール、戸車、棒引き手（L=460）シリンダー錠 その他1式［新設］			標準金物1式、電動開閉装置、SUS座板、SUSレール、SUSまぐさ			
備 考		カバー工法にて既設建具に外付		カバー工法にて既設建具に外付			煙感知器連動			

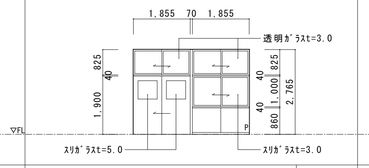
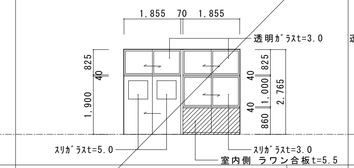
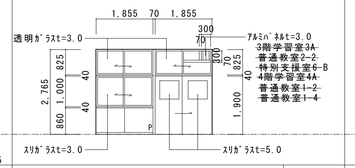
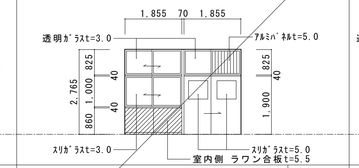
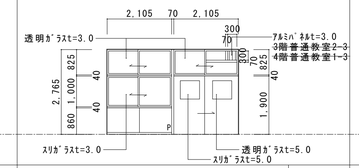
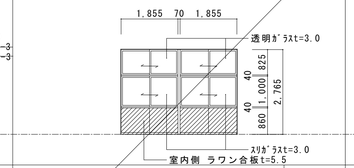
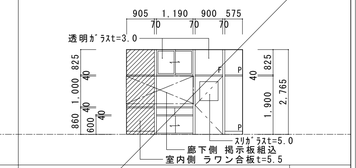
符号	名称	SD1A 新 鋼製潜戸付防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）		SD2A 新 鋼製潜戸付防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）		SD3A 新 鋼製潜戸付防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）		SD4A 新 鋼製防火戸（特定防火設備 ※遮煙機能付）		SD5A 新 鋼製片開きフラッシュ戸（防火設備、遮煙性能付）		SD6A 新 鋼製片開きフラッシュ戸（防火設備、遮煙性能付）	
工事内容		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）		※ 鋼製潜戸付防火戸［新設枠共］（常時開放式・煙感連動）		※ SD-5A建具［新設枠共］		※ SD-6A建具［新設枠共］	
姿 図	▽FL												
位置	数量	階段Ａ、Ｃ	6	廊下	1	階段Ｂ	4	階段Ａ	1	物置	1	職員女子WC、女子WC前室(西側)	1
硝子	見込		40		60		40		40		40		40
塗装・仕上		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装		溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 SOP塗装	
金 物		標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル		標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル		標準金物一式・自動閉鎖装置(設備工事)・ケースハンドル		標準金物一式・自動閉鎖装置・ケースハンドル		標準金物一式・丁番・ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ・CL		標準金物一式・丁番・ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ・CL	
備 考		潜り戸（下枠なし）		潜り戸（下枠なし）		潜り戸（下枠なし）、階数表示ｼｰﾄ張り		潜り戸（下枠なし）					

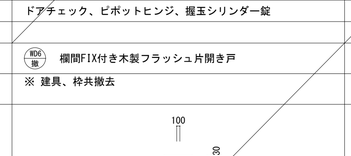
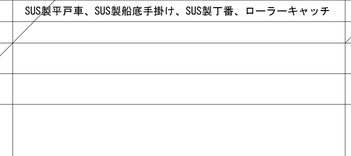
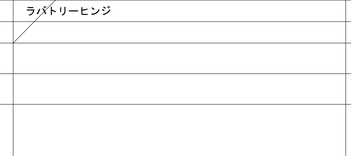
符号	名称												
工事内容													
姿 図	▽FL												
位置	数量												
硝子	見込												
塗装・仕上													
金 物													
備 考													

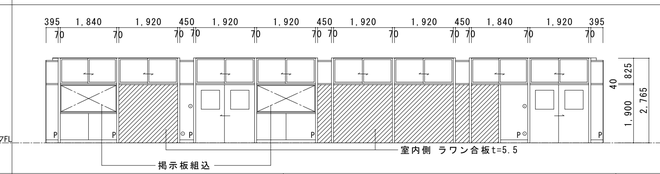
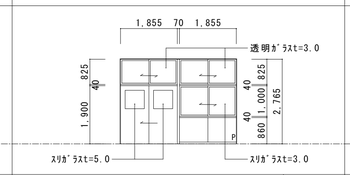
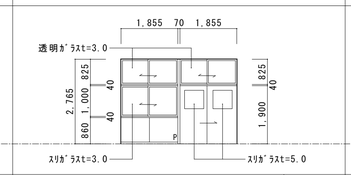
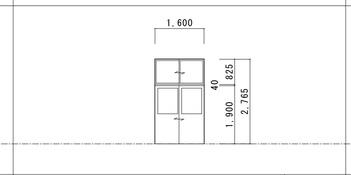
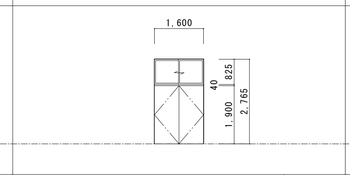
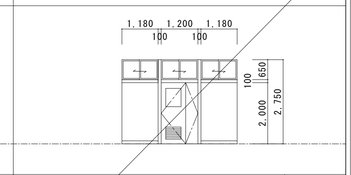
符号	名称												
工事内容													
姿 図	▽FL												
位置	数量												
硝子	見込												
塗装・仕上													
金 物													
備 考													

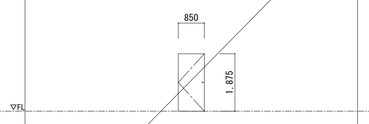
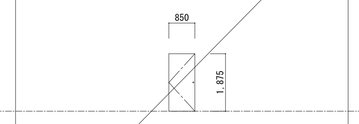
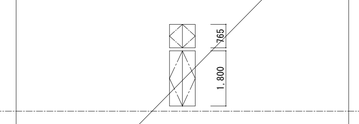
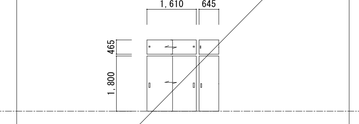
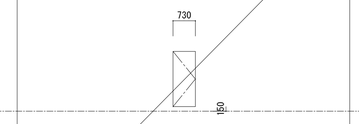
符号	名称												
工事内容													
姿 図	▽FL												
位置	数量												
硝子	見込												
塗装・仕上													
金 物													
備 考													

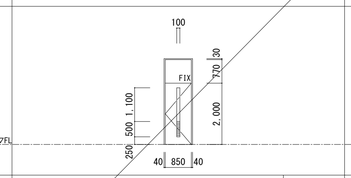
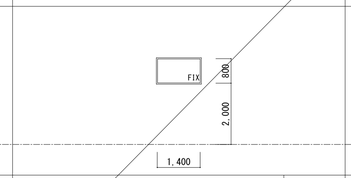
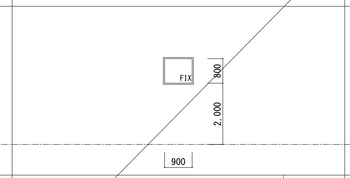
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	★ 建具表３	★ A1：1/100 A3：1/200	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫	Ａ－７１

符号	名称	PD1 撤 スチールパーテーション	PD1 撤 スチールパーテーション	PD2 撤 PD2-1 撤 スチールパーテーション	PD2 撤 スチールパーテーション	PD2 撤 PD2'-1 撤 スチールパーテーション	PD3 撤 スチールパーテーション	PD4 撤 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション撤去（下枠除く3方枠残し）	同左	同左	同左	同左	同左	同左
姿図								
位置	数量	印刷室、普通教室、学習室、特別支援室 6	職員室 1	普通教室、学習室、特別支援室 5、6	職員室 1	普通教室 1、2	職員室 1	保健室 1
硝子	見込	姿図による 80	姿図による 80	姿図による 80	姿図による 80	姿図による 80	姿図による 80	姿図による 80
塗装・仕上		スチール	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール
金物		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	引手、クレセント、戸車	ドアチェック、シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居、ステンレス沓摺
備考				教室後部出入口のみ額1枚透明ｶﾞﾗｽt=5.0 建具記号PT-2-1は、アルミパネルを示す。	建具記号SPT-72は、アルミパネルを示す。	建具記号PT-2'-1は、アルミパネルを示す。		

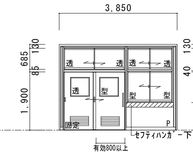
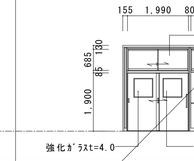
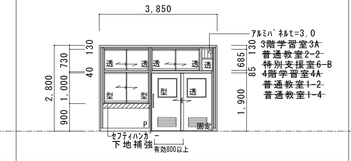
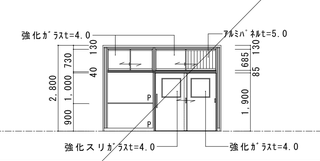
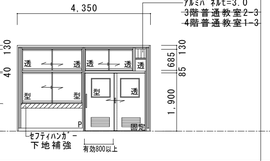
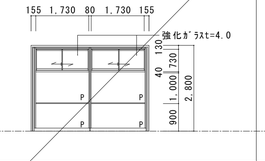
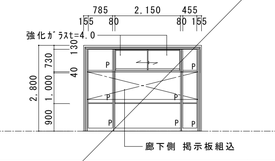
符号	名称	PD5 撤 スチールパーテーション	PD6 撤 スチールパーテーション	PD7 撤 スチールパーテーション	PD8 撤 スチールパーテーション	PD10 撤 スチールパーテーション	PD11 撤 スチールパーテーション	PD12 撤 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション撤去（下枠除く3方枠残し）	同左	同左	同左	同左	同左	同左
姿図								
位置	数量	保健室 1	かがやきルーム 1	校長室 1	スタジオ前室 1	湯沸室 1	職員女子更衣室 1	湯沸室 1
硝子	見込	姿図による 80	姿図による 80	透明ｶﾞﾗｽt=3.0 80	ー 80	姿図による 80	ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 80	透明ｶﾞﾗｽt=3.0 80
塗装・仕上		スチール	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール
金物		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	ドアチェック、握玉シリンダー錠、フランス落し、引手、クレセント、戸車、アームストッパー	ドアチェック、握玉シリンダー錠、フランス落し、アームストッパー	ドアチェック、握玉シリンダー錠、ステンレス沓摺、引手、クレセント、戸車	ドアチェック、握玉シリンダー錠、ステンレス沓摺	引手、クレセント、戸車
備考				室内側パネルはチークOS塗装		アルミガラリ300×600	アルミガラリ300×600	

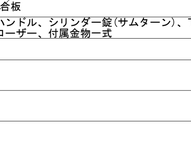
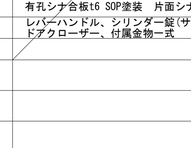
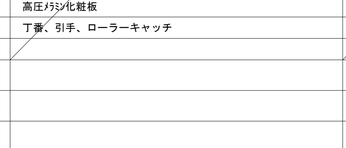
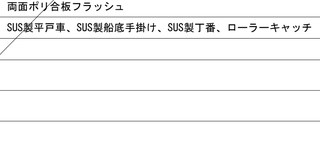
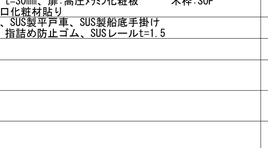
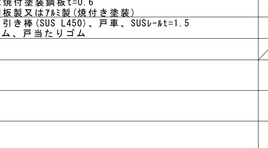
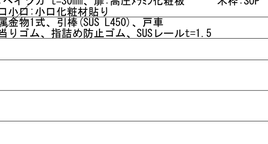
符号	名称	PD13 撤 スチールパーテーション	PD14 撤 スチールパーテーション	PD15 撤 スチールパーテーション	PD 16 スチールパーテーション	PD 17 スチールパーテーション	WPT1 撤 木製パーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション撤去（下枠除く3方枠残し）	同左	同左	※ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠ﾏｽﾀｰｷｰ対応に取替	同左	※ 木製パーテーション撤去
姿図							
位置	数量	図書室 1	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室 1	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室 1	第３相談室 1	教材資料室、教材室 1	第２相談室 1
硝子	見込	欄間：透明ｶﾞﾗｽt=3.0 額：ｽﾘｶﾞﾗｽt=5.0 80	姿図による 80	姿図による 80	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0 80	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0 80	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0 100
塗装・仕上		スチール	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	木製
金物		シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	シリンダー引違用錠、引手、クレセント、戸車、ステンレス敷居	両面スチール額縁、シリンダー錠、ステンレスレール 手づめ防止パッキン、戸車、クレセント、他附属金物一式	両面スチール額縁、握玉シリンダー錠、フランス落、ドアチェック 蝶番、ステンレス沓摺、戸車、クレセント、戸当り、他附属金物一式	握玉シリンダー錠、フランス落、ドアチェック、ガラリ 蝶番、ステンレス沓摺、戸車、クレセント、戸当り、他附属金物一式
備考		⊙ 印位置＝コンセント取付(4ヶ所)					

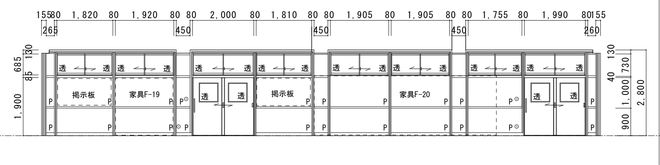
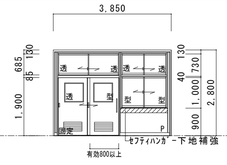
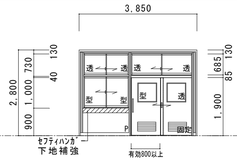
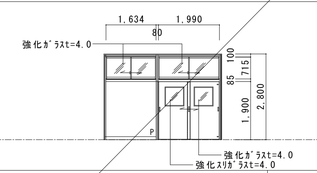
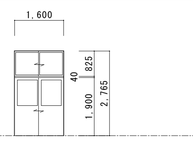
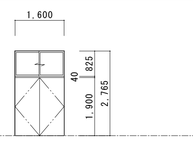
符号	名称	WD1 改 木製フラッシュ片開き戸	WD2 改 木製フラッシュ片開き戸	WD3 撤 木製フラッシュ両開き戸	WD 4 木製フラッシュ片開き戸、引違戸	WD5 撤 木製フラッシュ片開き戸		
工事内容		※ 枠以外撤去	※ 枠以外撤去	同左	※ 工事範囲外	※ 扉、枠共撤去		
姿図								
位置	数量	校長室 1	スタジオ、放送室 2	保健室 1	第３相談室 1	職員男子WC、職員女子WC 2		
硝子	見込	ー 40	ー 40	ー 30	ー 36	ー 40		
塗装・仕上		無垢練付PU程度　片面シナ合板t6 SOP塗装	有孔シナ合板t6 SOP塗装　片面シナ合板t6 SOP塗装	シナ合板t6 SOP塗装	両面ポリ合板フラッシュ	シナ合板フラッシュ SOP塗装		
金物		ドアチェック、ピボットヒンジ、握玉シリンダー錠	ドアチェック、ピボットヒンジ、握玉シリンダー錠、木製沓摺、ステンレス沓摺	蝶番、引手、ローラーキャッチ	SUS製平戸車、SUS製船底手掛け、SUS製丁番、ローラーキャッチ	ラバトリーヒンジ		
備考								

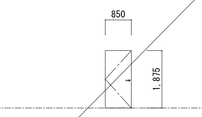
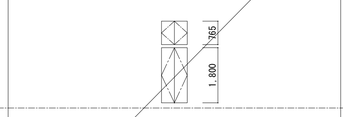
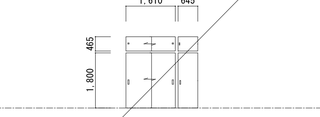
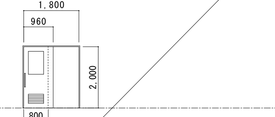
符号	名称	WD6 撤 欄間FIX付き木製フラッシュ片開き戸	RS1 撤 木製FIX窓	RS2 撤 木製FIX窓				
工事内容		※ 建具、枠共撤去	同左	同左				
姿図								
位置	数量	職員男子更衣室 1	職員男子更衣室 1	職員男子更衣室 1				
硝子	見込	型ガラスt=4.0 40	型ガラスt=4.0 145	型ガラスt=4.0 145				
塗装・仕上		ポリ合板　戸口：米栂SOP塗装	米栂SOP塗装	米栂SOP塗装				
金物		蝶番、握玉サムターン、本締錠、D.Cストッパー						
備考		木製ガラリSOP塗装						

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	建具表４	A1：1/100 A3：1/200						藤川設計株式会社 一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A－７２
★	★	★	★	★	★	★	★		

符号	名称	PD1 新 スチールパーテーション	PD1 新 スチールパーテーション	PD2 PD2-1 新 スチールパーテーション	PD2 スチールパーテーション	PD2 PD2-2 新 スチールパーテーション	PD3 新 スチールパーテーション	PD4 新 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左	同左 建具記号PT-2-1は、アルミパネルを示す。	同左	同左 建具記号PT-2''-1は、アルミパネルを示す。	同左	同左
姿　図								
位置	数量	印刷室、普通教室、学習室、特別支援室 6	職員室 1	普通教室、学習室、特別支援室 5,-6-	職員室 1	普通教室 1,-2-	職員室 1	保健室 1
硝子	見込	強化透明t=4.0 強化型板t=4.0 80	姿図による 80	強化透明t=4.0 強化型板t=4.0 80	姿図による 80	強化透明t=4.0 強化型板t=4.0 80	姿図による 80	姿図による 80
塗装・仕上		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	化粧鋼板	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	化粧鋼板	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	化粧鋼板	化粧鋼板
金　物		標準品一式、引き棒（SUS L450）、堀込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、クレセント、戸車 ステンレスレール	標準品一式、引き棒（SUS L450）、堀込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、クレセント、戸車 ステンレスレール	標準品一式、引き棒（SUS L450）、堀込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	引手、クレセント、戸車	引手、クレセント、戸車
備　考		指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ600×300、出入口扉窓600角	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ600×300、出入口扉窓600角	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ600×300、出入口扉窓600角		

符号	名称	PD5 新 スチールパーテーション	PD6 新 スチールパーテーション	PD7 新 スチールパーテーション	PD8 新 スチールパーテーション	PD9 新 スチールパーテーション	PD10 新 スチールパーテーション	PD11 新 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左	同左	同左	※ スチールパーテーション新設	※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左
姿　図								
位置	数量	保健室 1	かがやきルーム 1	校長室 1	スタジオ前室 1	職員男子更衣室 1	湯沸室 1	職員女子更衣室 1
硝子	見込	姿図による 80	姿図による 80	強化ｶﾞﾗｽt=4.0 80	ー 80	ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 80	姿図による 80	姿図による 80
塗装・仕上		化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板（室内側パネルは木目鋼板）	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板
金　物		シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、クレセント、戸車 ステンレスレール	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、クレセント、戸車 ステンレスレール	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、クレセント、戸車 ステンレスレール	ドアチェック、レバーハンドルシリンダー錠、アームストッパー	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、戸車 ステンレスレール、アルミガラリ300×600	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、戸車 ステンレスレール、アルミガラリ300×600	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、戸車 ステンレスレール、アルミガラリ300×600
備　考		指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	放送中ランプ	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定

符号	名称	PD12 新 スチールパーテーション	PD13 新 スチールパーテーション	PD14 新 スチールパーテーション	PD15 新 スチールパーテーション	PD 16 スチールパーテーション	PD 17 スチールパーテーション
工事内容		※ スチールパーテーション新設（カバー工法）	同左	同左	※ スチールパーテーション新設	※ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠ﾏｽﾀｰｷｰ対応に取替	同左
姿　図							
位置	数量	図書室 1	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室 1	ほっとルーム、特別支援室(6-A)、生徒会室 1	第２相談室 1	第３相談室 1	教材資料室、教材室 1
硝子	見込	強化透明t=4.0 強化型板t=4.0 80	強化透明t=4.0 強化型板t=4.0 80	強化透明t=4.0 強化型板t=4.0 80	姿図による 80	80	80
塗装・仕上		化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	化粧鋼板		
金　物		標準品一式、引き棒（SUS L450）、堀込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引き棒（SUS L450）、堀込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	標準品一式、引き棒（SUS L450）、堀込引手、引違戸錠ｸﾚｾﾝﾄ、戸車 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUSﾚｰﾙt=1.5	シリンダー引違用錠、SUS引手（L450）、クレセント、戸車 ステンレスレール		
備　考		指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定 ◎ 印位置＝コンセント、スイッチ取付(4ヶ所)	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ600×300、出入口扉窓600角	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ600×300、出入口扉窓600角	指詰め防止ゴム、戸当たりゴム、片側簡易固定		

符号	名称	WD1 改 木製フラッシュ片開き戸	WD2 改 木製フラッシュ片開き戸	WD3 新 木製フラッシュ両開き戸	WD 4 木製フラッシュ片開き戸、引違戸	WD5 新 木製フラッシュ片引き戸 WD5A 新 木製フラッシュ片引き戸 左右反転を示す	LSD5 新 鋼製軽量片引き戸 LSD5A 新 鋼製軽量片引き戸 左右反転を示す	WD7 新 木製フラッシュ片引き戸 WD7A 新 木製フラッシュ片引き戸 左右反転を示す
工事内容		※ 枠以外新設	同左	同左	※ 工事範囲外	※ 扉、枠共新設	※ 扉、枠共新設	※ 扉、枠共新設
姿　図								
位置	数量	校長室 1	放送室 2	保健室 1	第３相談室 1	職員男子WC、職員女子WC 各1	男子WC、女子WC（西側） 各4	男子WC、女子WC（東側） 各3
硝子	見込	ー 40	ー 40	ー 30	ー 36	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0（W580xH650） 扉：40 枠：200	強化型板t=4.0（W500xH750） 扉：40 枠：315	強化型ｶﾞﾗｽt=4.0（W500xH750） 扉：40 枠：315
塗装・仕上		扉:ポリ合板	有孔シナ合板t6 SOP塗装　片面シナ合板t6 SOP塗装	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	両面ポリ合板フラッシュ	枠:ペイツガ t=30mm、扉:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　木枠:SOP 開口小口:小口化粧材貼り	化粧鋼板又は焼付塗装鋼板t=0.6 ※窓障子は鋼板製又はｱﾙﾐ製（焼付き塗装）	枠:ペイツガ t=30mm、扉:高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　木枠:SOP 開口小口:小口化粧材貼り
金　物		レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)、丁番 ドアクローザー、付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠(サムターン)、丁番 ドアクローザー、付属金物一式	丁番、引手、ローラーキャッチ	SUS製平戸車、SUS製船底手掛け、SUS製丁番、ローラーキャッチ	付属金物1式、SUS製平戸車、SUS製船底手掛け 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5	標準品一式、引き棒（SUS L450）、戸車、SUSﾚｰﾙt=1.5 指詰め防止ゴム、戸当たりゴム	付属金物1式、引棒（SUS L450）、戸車 戸当りゴム、指詰め防止ゴム、SUSレールt=1.5
備　考								

符号	名称							
工事内容								
姿　図								
位置	数量							
硝子	見込							
塗装・仕上								
金　物								
備　考								

工事名称
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）

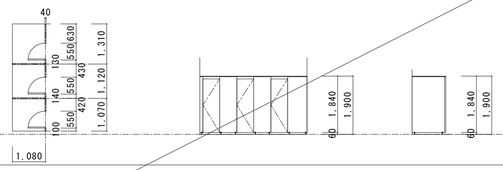
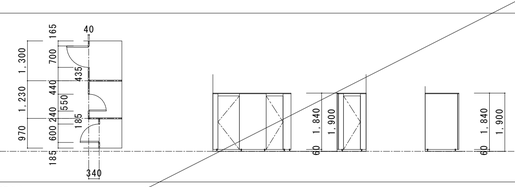
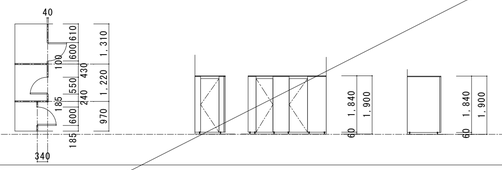
図面名称
★ 建具表５

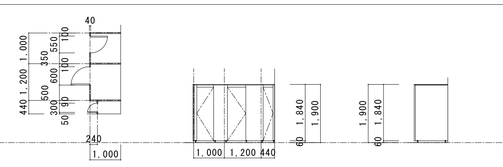
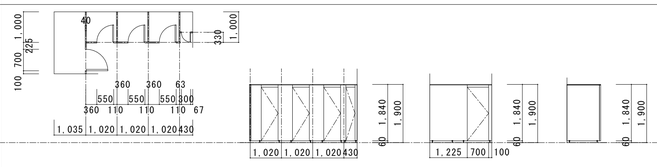
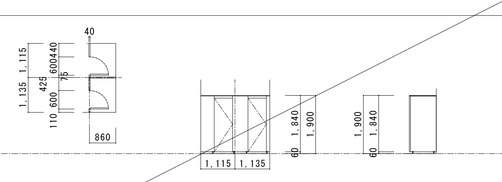
縮尺 A1：1/100 A3：1/200 ★

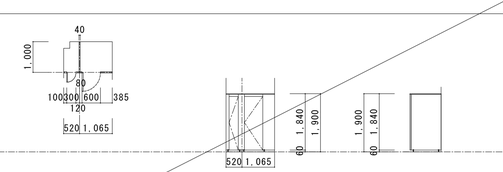
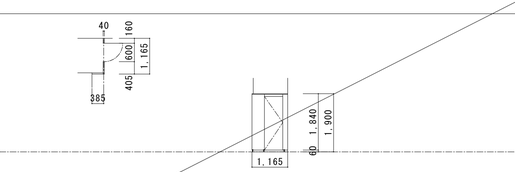
日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

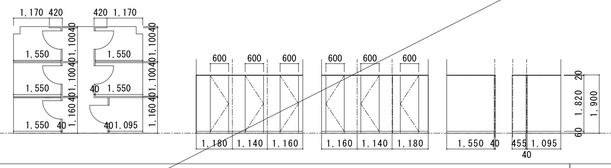
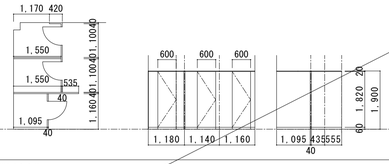
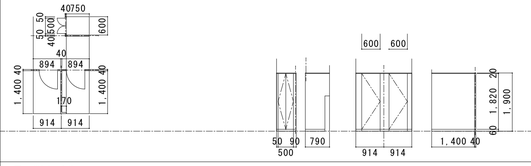
藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

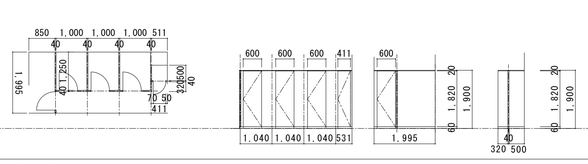
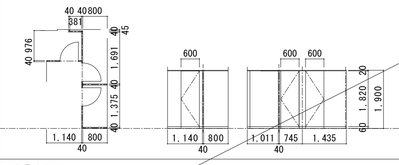
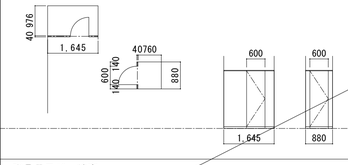
A－７３

符号	名称	TB1 撤 トイレブース	TB2 撤 トイレブース	TB3 撤 トイレブース
工事内容		※ トイレブース撤去	同左	同左
姿　図				
位置	数量	女子WC(東側) 3	女子WC(東側) 3	男子WC(東側) 3
硝子	見込	姿図による 40	姿図による 40	姿図による 40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
金　物		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付
備　考			掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所	掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所

符号	名称	TB4 撤 トイレブース	TB5 撤 トイレブース	TB6 撤 トイレブース
工事内容		※ トイレブース撤去	同左	※ トイレブース撤去
姿　図				
位置	数量	男子WC(西側) 4	女子WC(西側) 4	職員女子WC 1
硝子	見込	姿図による 40	姿図による 40	姿図による 40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
金　物		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所	掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所	

符号	名称	TB7 撤 トイレブース	TB8 撤 トイレブース	
工事内容		※ トイレブース撤去	同左	
姿　図				
位置	数量	職員女子WC 1	職員男子WC 1	
硝子	見込	姿図による 40	姿図による 40	
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	
金　物		ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	ステンレス頭ツナギ　SUS304　天端蓋共、ステンレス足金物　SUS304、グレビティーヒンジ　中心吊り、表示付スライドボルト（非常開放装置付）、戸当たり、壁取り合い部壁レールにて取り付け　コの字型　アルミ又はSUS製、ブース下端小口エッジアルミ（水抜き穴付）を取付	
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所	掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所	

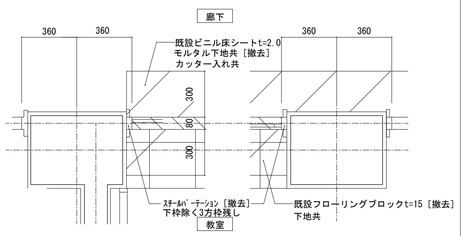
符号	名称	TB1A 新 TB1B 新 トイレブース	TB2 新 トイレブース	TB3 新 トイレブース
工事内容		※ トイレブース新設	※ トイレブース新設	※ トイレブース新設
姿　図				
位置	数量	女子WC(東側) 各3	男子WC(東側) 3	男子WC(西側) 4
硝子	見込	40	40	40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
金　物		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工	付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工	付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工
備　考		SK内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付	SK内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付	掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　非常開放装置付

符号	名称	TB4 新 トイレブース	TB5 新 トイレブース	TB6 新 TB7 新 トイレブース
工事内容		※ トイレブース新設	※ トイレブース新設	※ トイレブース新設
姿　図				
位置	数量	女子WC(西側) 4	職員女子WC 1	職員男子WC　前室 各1
硝子	見込	40	40	40
塗装・仕上		高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
金　物		付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工	付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工	付属金物一式、SUS巾木、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け ﾌﾞｰｽ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工、ﾄﾞｱ角部ｱﾙﾐｴｯｼﾞ加工
備　考		掃除用具入れ内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　非常開放装置付	SK内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付	SK内　SUSフック　6箇所、及びSUS雑巾掛けL=270　4箇所　　非常開放装置付

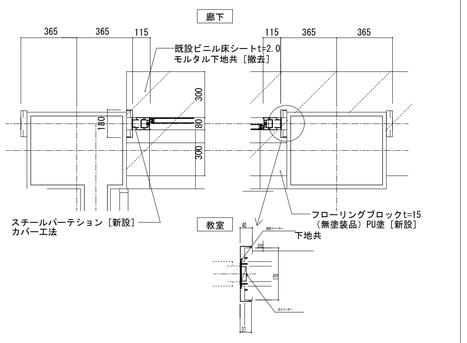
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	建具表６	A1：1/100 A3：1/200						藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫
★	★	★	★	★	★	★	★		A－７４

スチールパーテション（カバー工法）詳細図　S=1/20

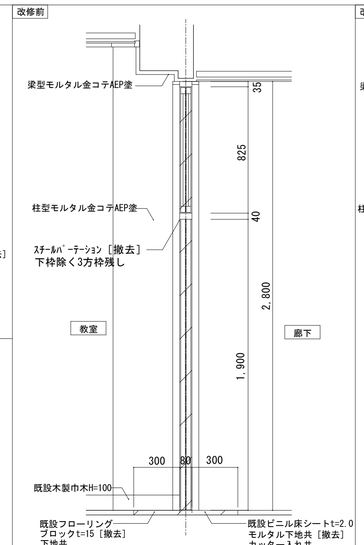
改修前



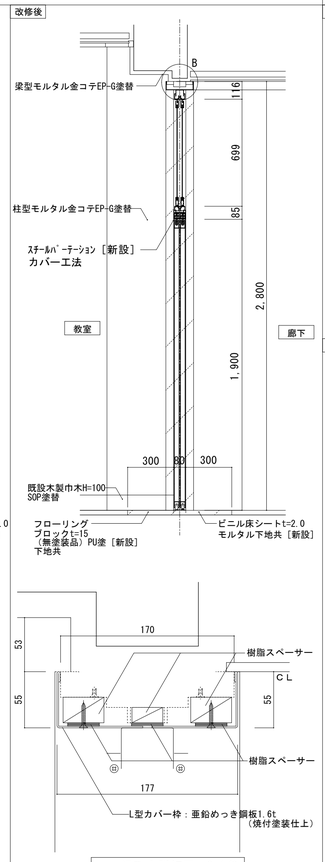
改修後



改修前



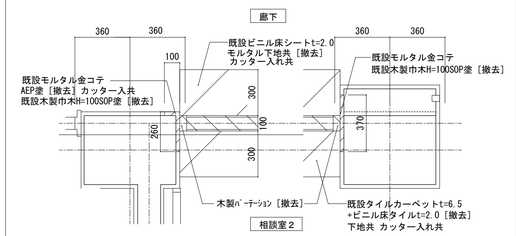
改修後



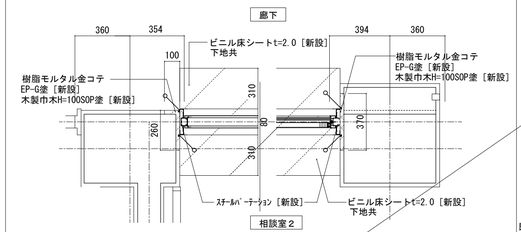
B：梁取合詳細図　S=1/3

スチールパーテション詳細図　S=1/20

改修前

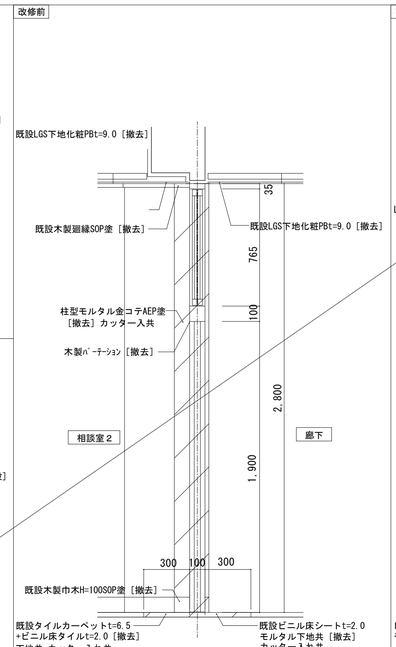


改修後

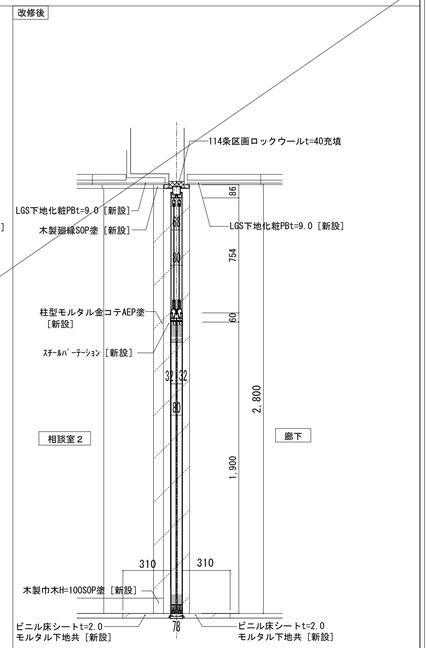


シーリング(MS-2 W10)を示す

改修前

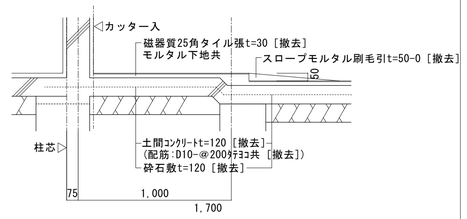


改修後

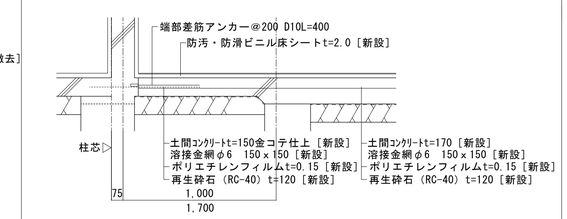


1階 生徒用便所前室-便所部 土間詳細図　S=1/20

改修前

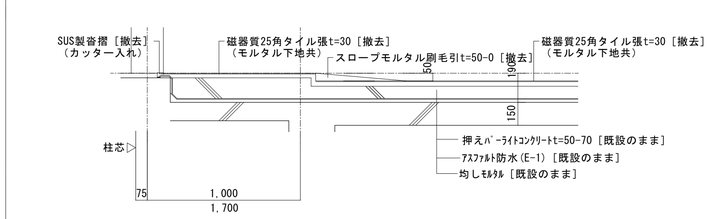


改修後

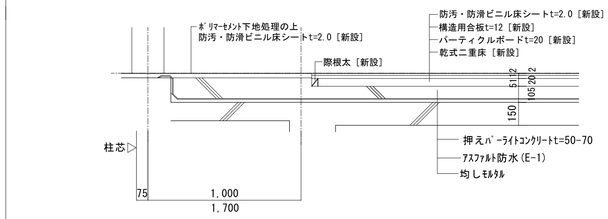


2～4階 東側便所前室-便所部 土間スラブ詳細図　S=1/20

改修前

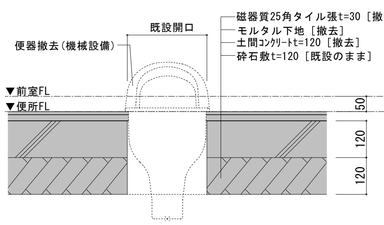


改修後

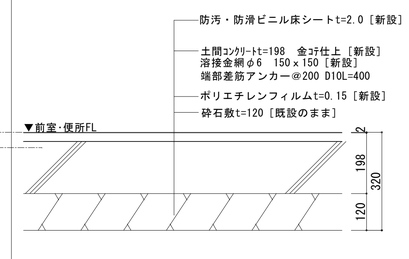


便所 和便器撤去部（１階）　S=1/10

改修前

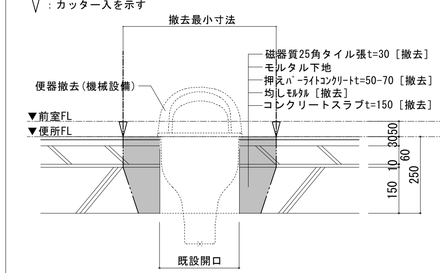


改修後

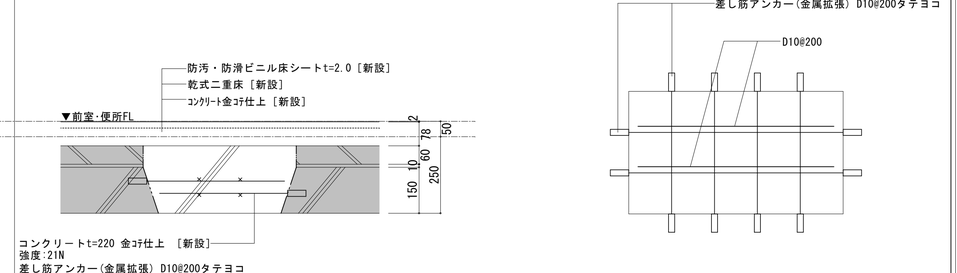


便所 和便器撤去部（２・３階）　S=1/10

改修前



改修後



※汚垂れタイル下、面台下はビニル床シート(防汚防滑性)無しとする

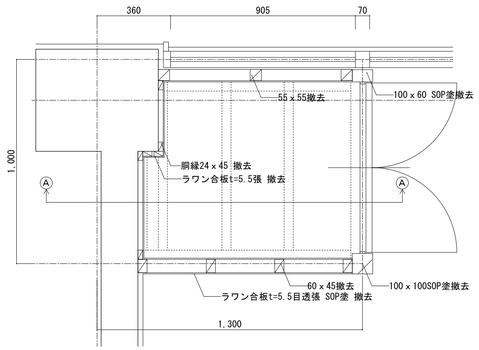
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	詳細図（１）★	A1: 1:20 1:5 A3: 1:40 1:10 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

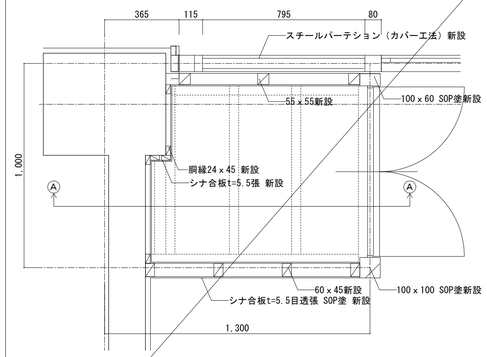
A－７５

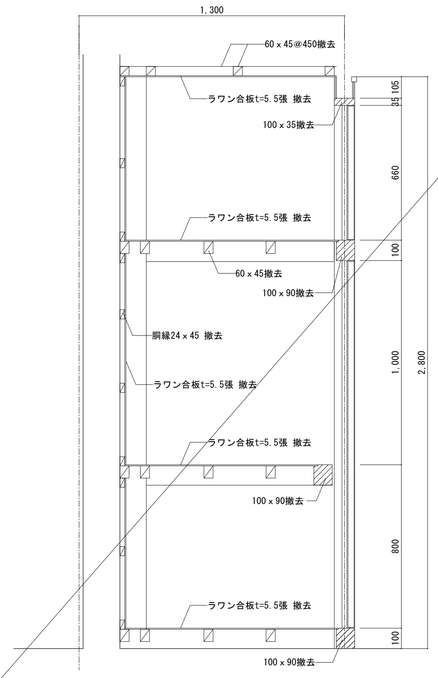
保健室物入詳細図　S=1/5

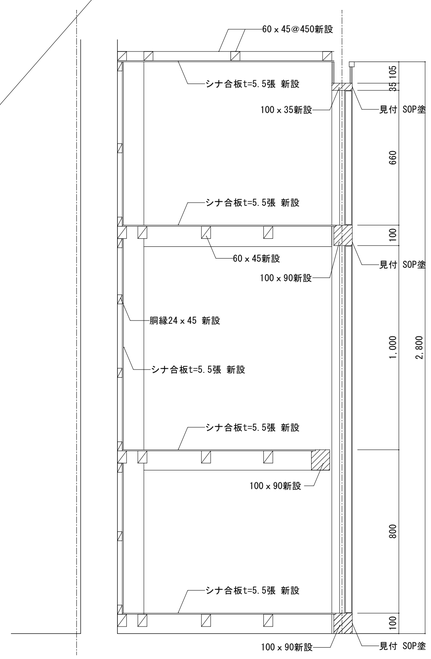
改修前



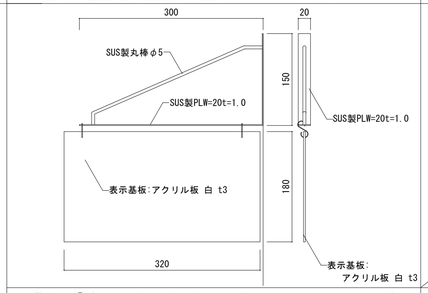
改修後



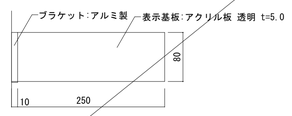




［撤去］①室名札(突出型)詳細図　S=1/5　　8ヶ所

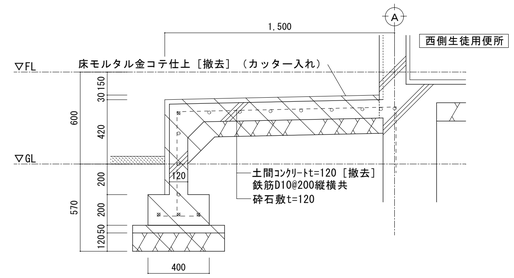


［撤去］②室名札(突出型)詳細図　S=1/5　1ヶ所

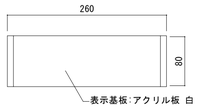


西側生徒用便所前犬走　詳細図　S=1/10

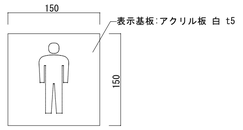
改修前



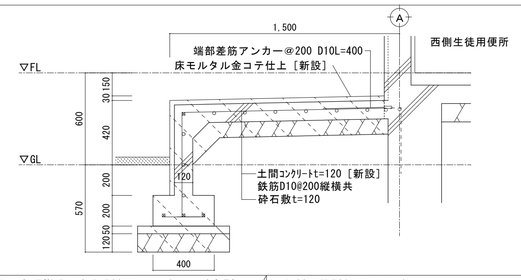
［撤去］③室名札(平付)詳細図　S=1/5　　1ヶ所



［撤去］④ピクトサイン(平付)詳細図　S=1/5　8ヶ所

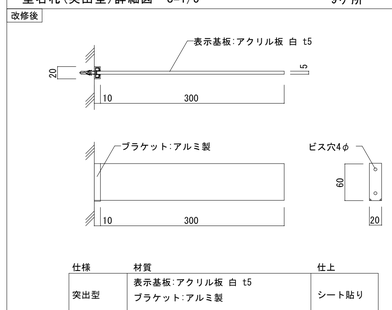


改修後



室名札(突出型)詳細図　S=1/5　　9ヶ所

改修後

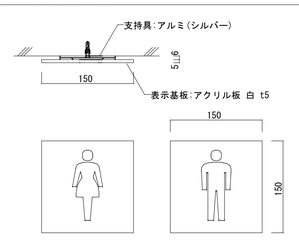


仕様	材質	仕上
突出型	表示基板:アクリル板 白 t5 ブラケット:アルミ製	シート貼り

※施工図にて監督職員の承諾を得ること。

ピクトサイン(平付型)詳細図　S=1/5　　8ヶ所

改修後

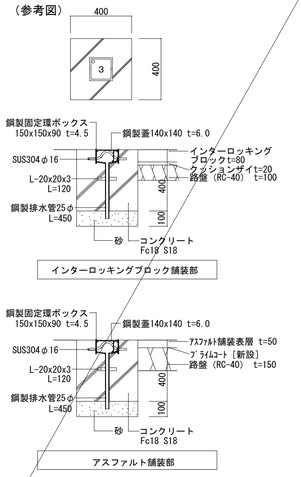


仕様	材質	仕上
平付型	表示基板 :アクリル板 白 t5 支持具　:アルミ(シルバー)	UV印刷

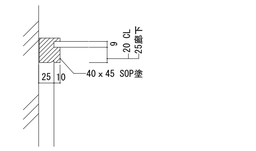
※施工図にて監督職員の承諾を得ること。

救助袋固定環撤去、新設詳細図 S=1/20　8カ所

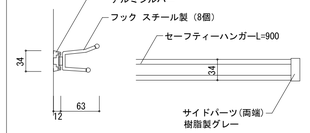
（参考図）



木製廻縁詳細図　S=1/5

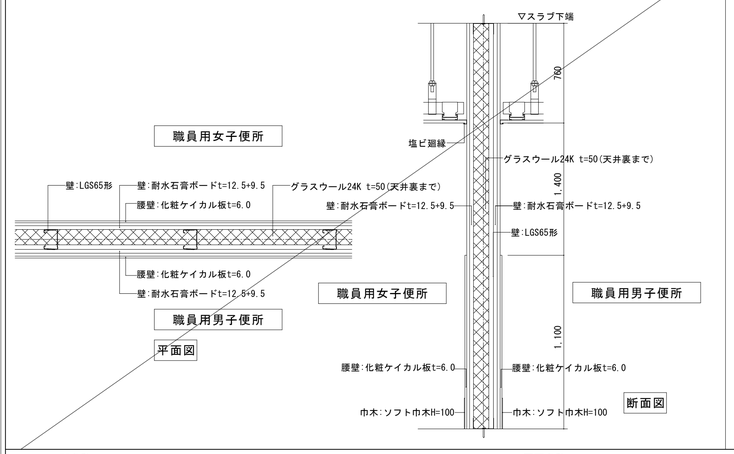


フック(セーフティハンガー)新設詳細図 S=1/5

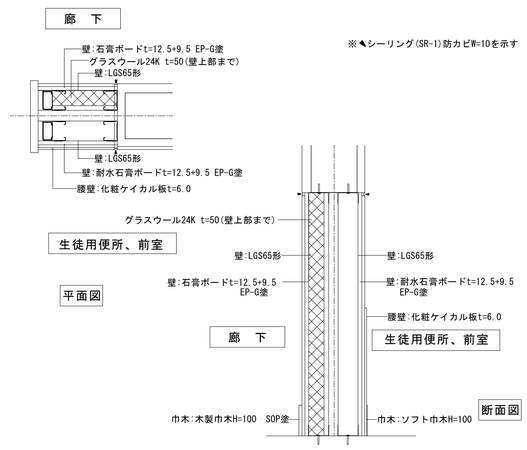


杉田エース㈱ マイティレイル
日本軽工㈱135　同等品以上
※スクールパーティション取付部に補強板を設置のこと

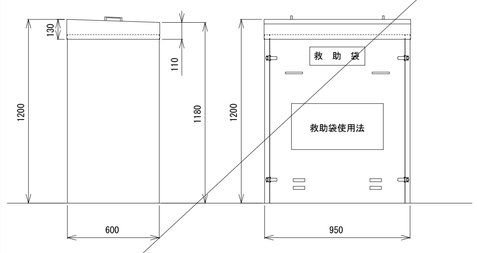
職員用便所　遮音壁詳細図　S=1/10



生徒用便所（西側）　遮音壁詳細図　S=1/10



救助袋外箱撤去、新設詳細図 S=1/20　（参考図）　　1カ所

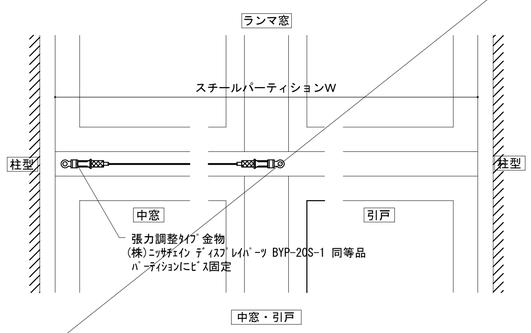


分解型格納箱寸法図

ポンデ鋼板ｔ1.2粉体塗装仕上

標準色：N-90 ホワイト

掲示物吊下げワイヤー金物　S=1/5



※スクールパーティション取付部に補強板を設置のこと

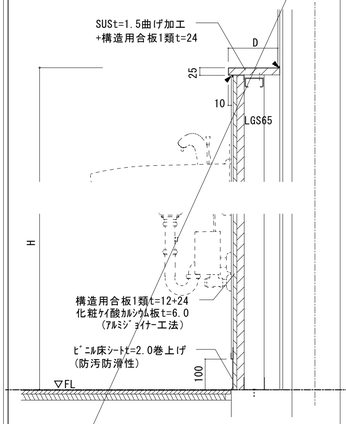
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	詳細図（２）★	A1: 1:15 1:5 A3: 1:30 1:10 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

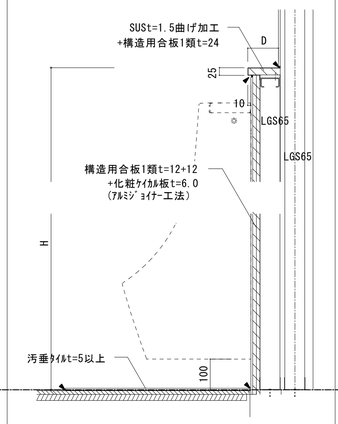
A－７６

新設面台詳細図　1/10　　※面台側面小口部分は、同材にて蓋すること　　※D・H：寸法は各平面詳細図、展開図による　　※◥シーリング(SR-1)防カビW=10を示す

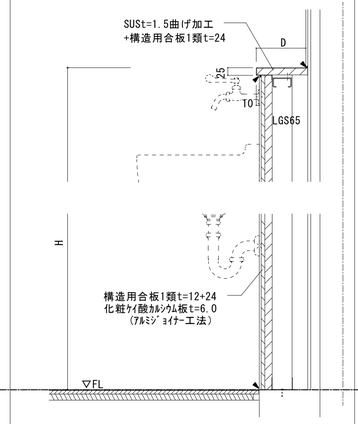
<職員便所：手洗い台>



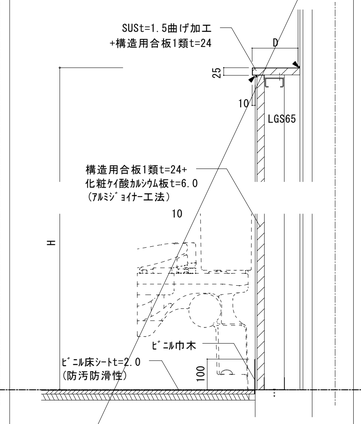
<生徒用便所：小便器面台>



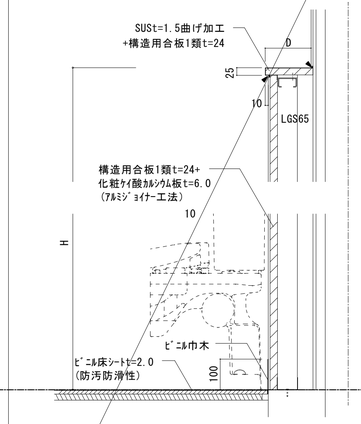
<生徒用便所：SK面台>



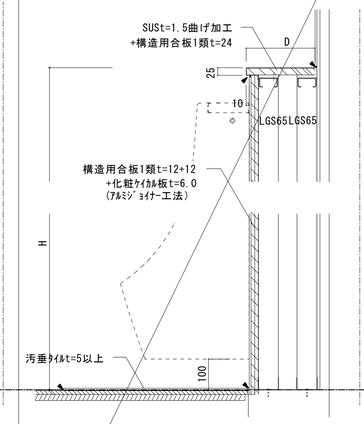
<職員便所便器：洋便器面台>



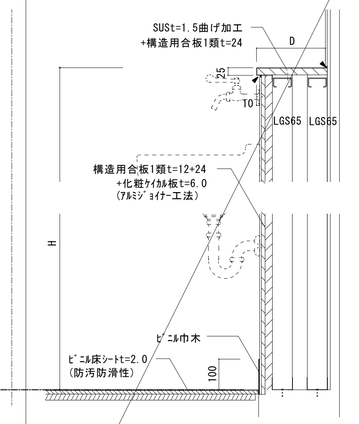
<2、3、4階便所：洋便器面台>



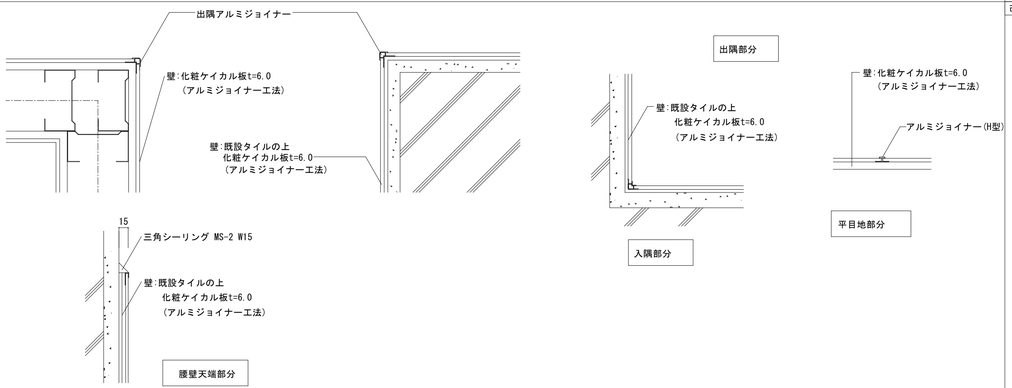
<2、3、4階便所：小便器面台>



<2、3、4階便所：SK面台>

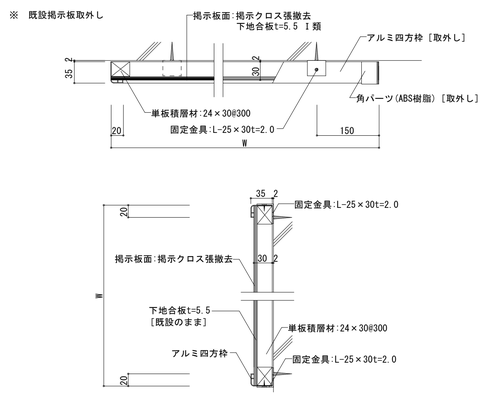


便所 化粧ケイカル板 目地詳細図　S=1/5

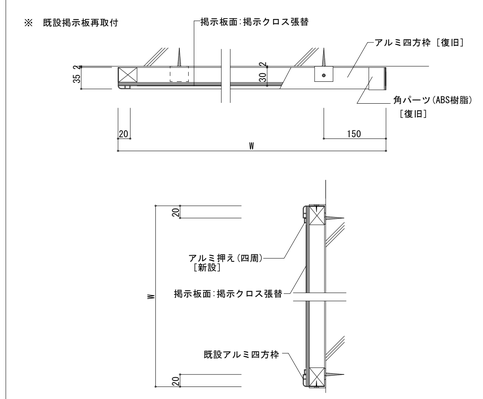


廊下掲示板詳細図　S=1/5

改修前

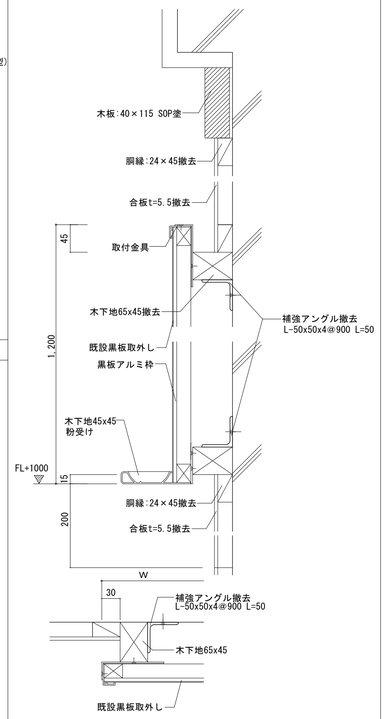


改修後

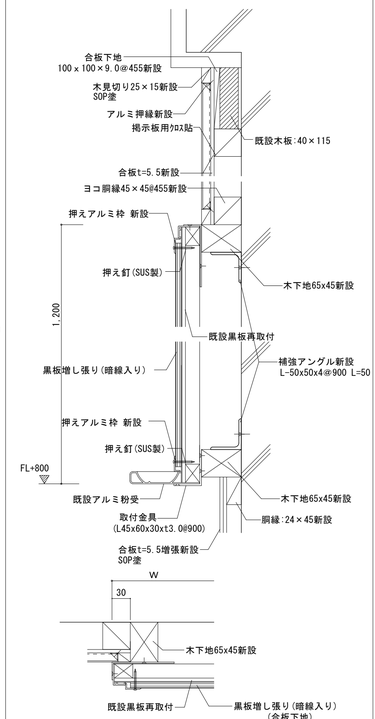


黒板詳細図　S=1/20

改修前

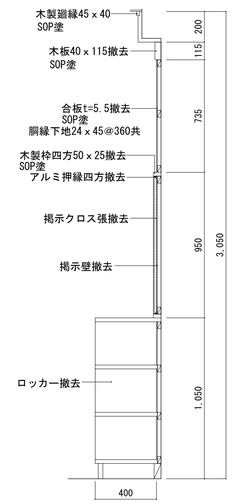


改修後

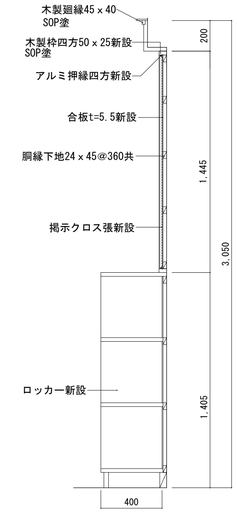


生徒用ロッカー・掲示壁詳細図　S=1/20

改修前

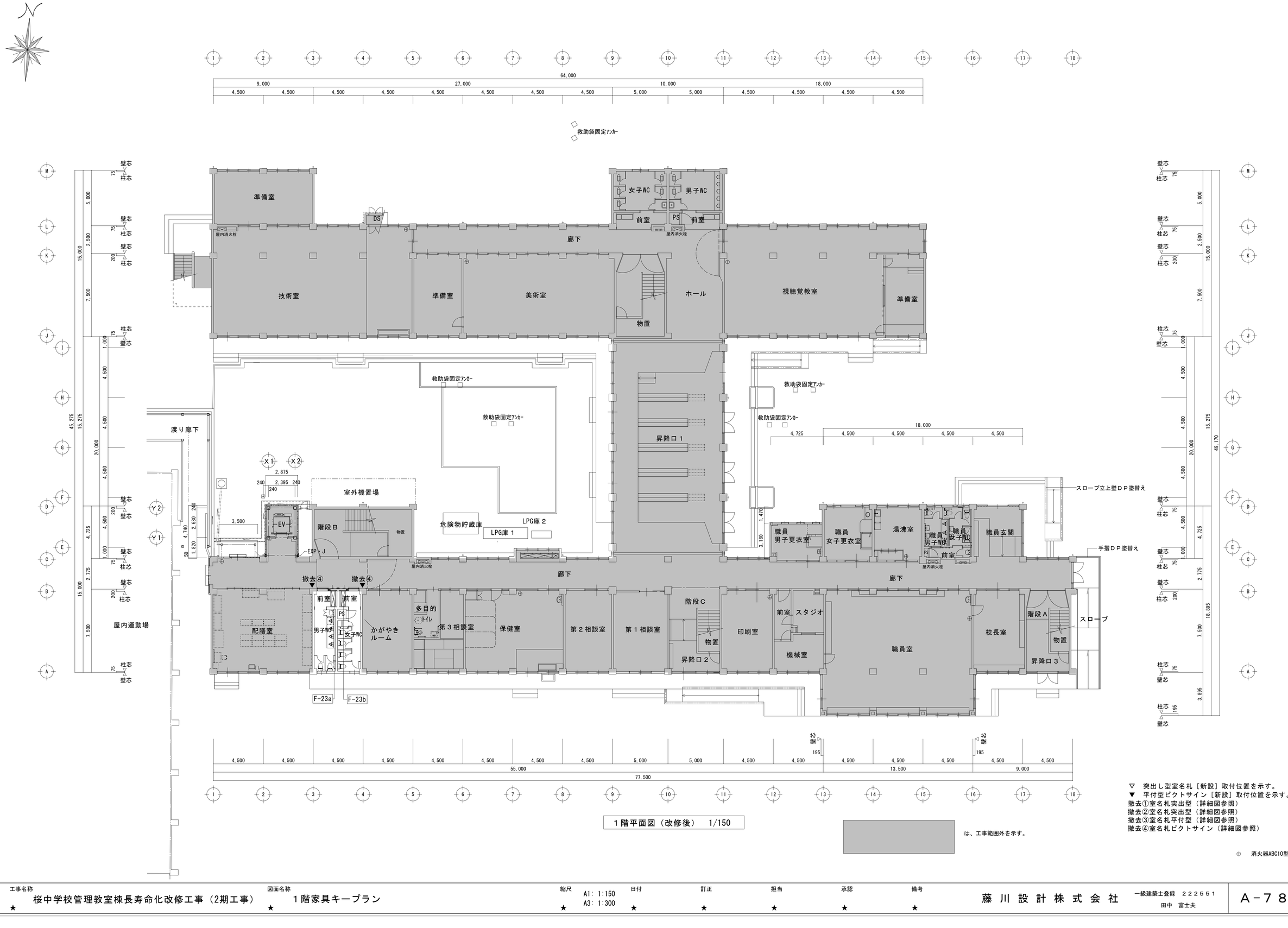


改修後



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	★ 詳細図（３）	★ A1: 1:20 1:5 A3: 1:40 1:10	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫

A－７７



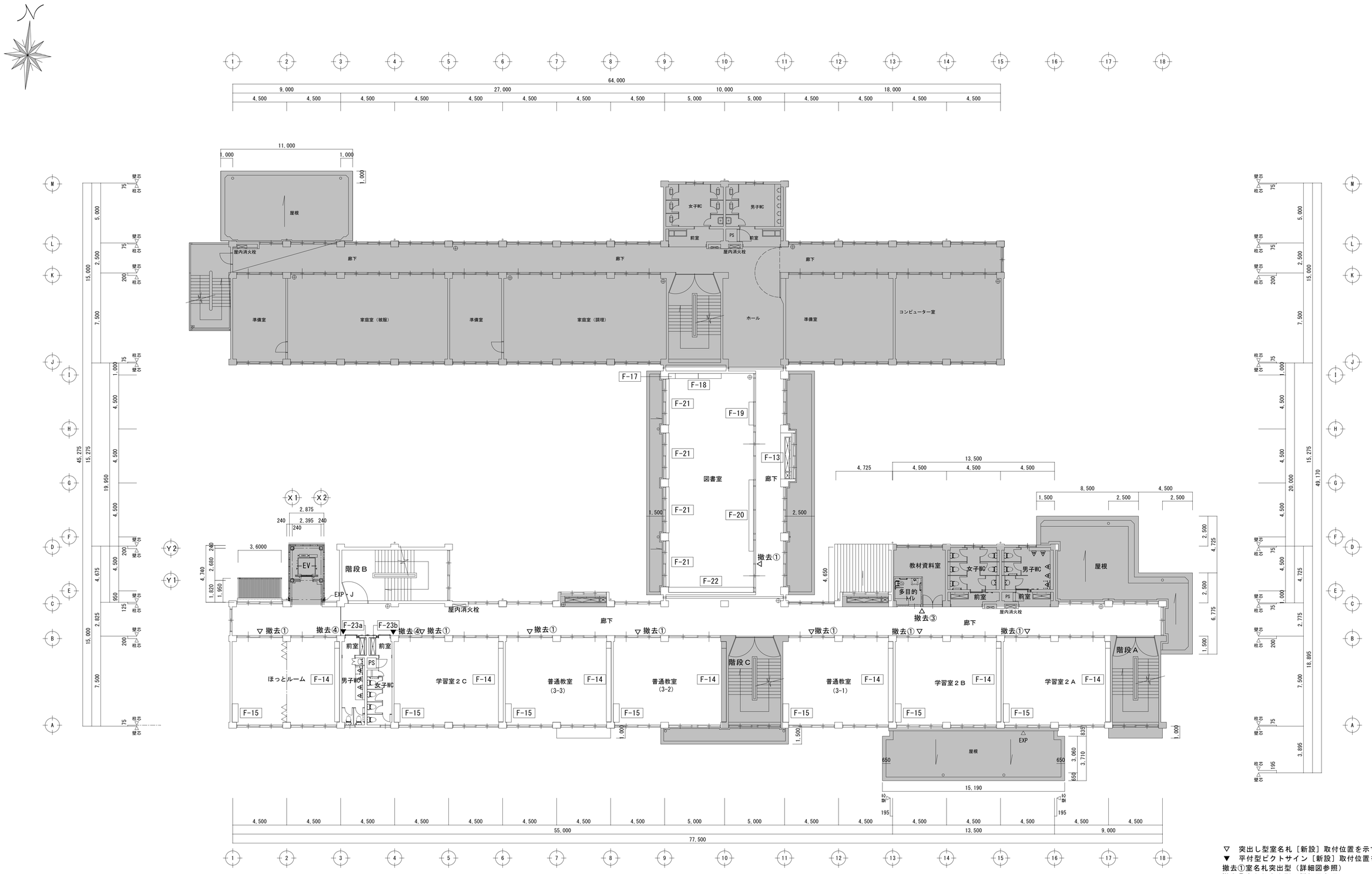
１階平面図（改修後）　1/150

は、工事範囲外を示す。

▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）

⊕　消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	１階家具キープラン★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	A－78

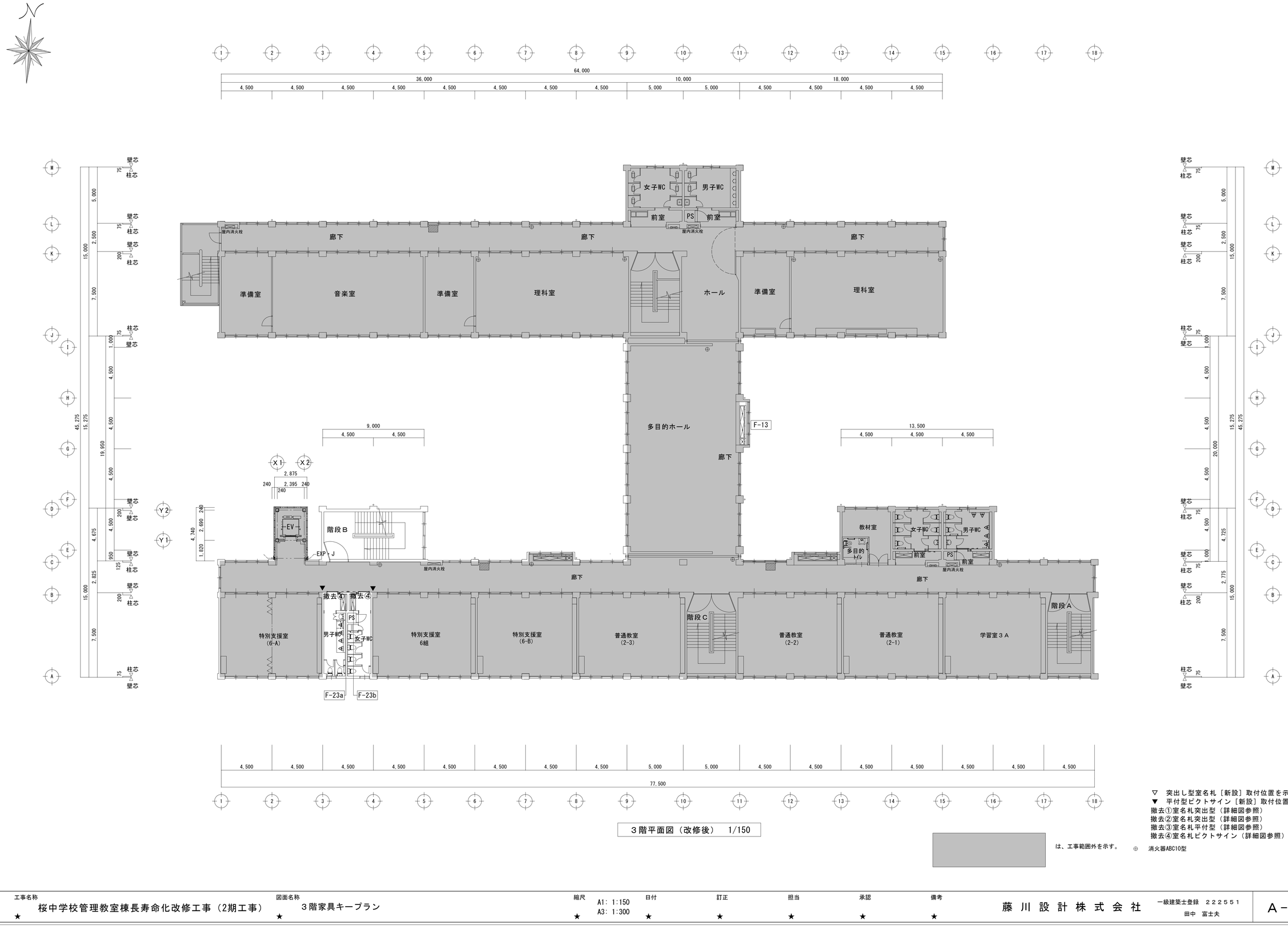


▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）
は、工事範囲外を示す。

⊕　消火器ABC10型

２階平面図（改修後）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	２階家具キープラン	A1: 1:150 A3: 1:300						藤川設計株式会社	A－７９
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	

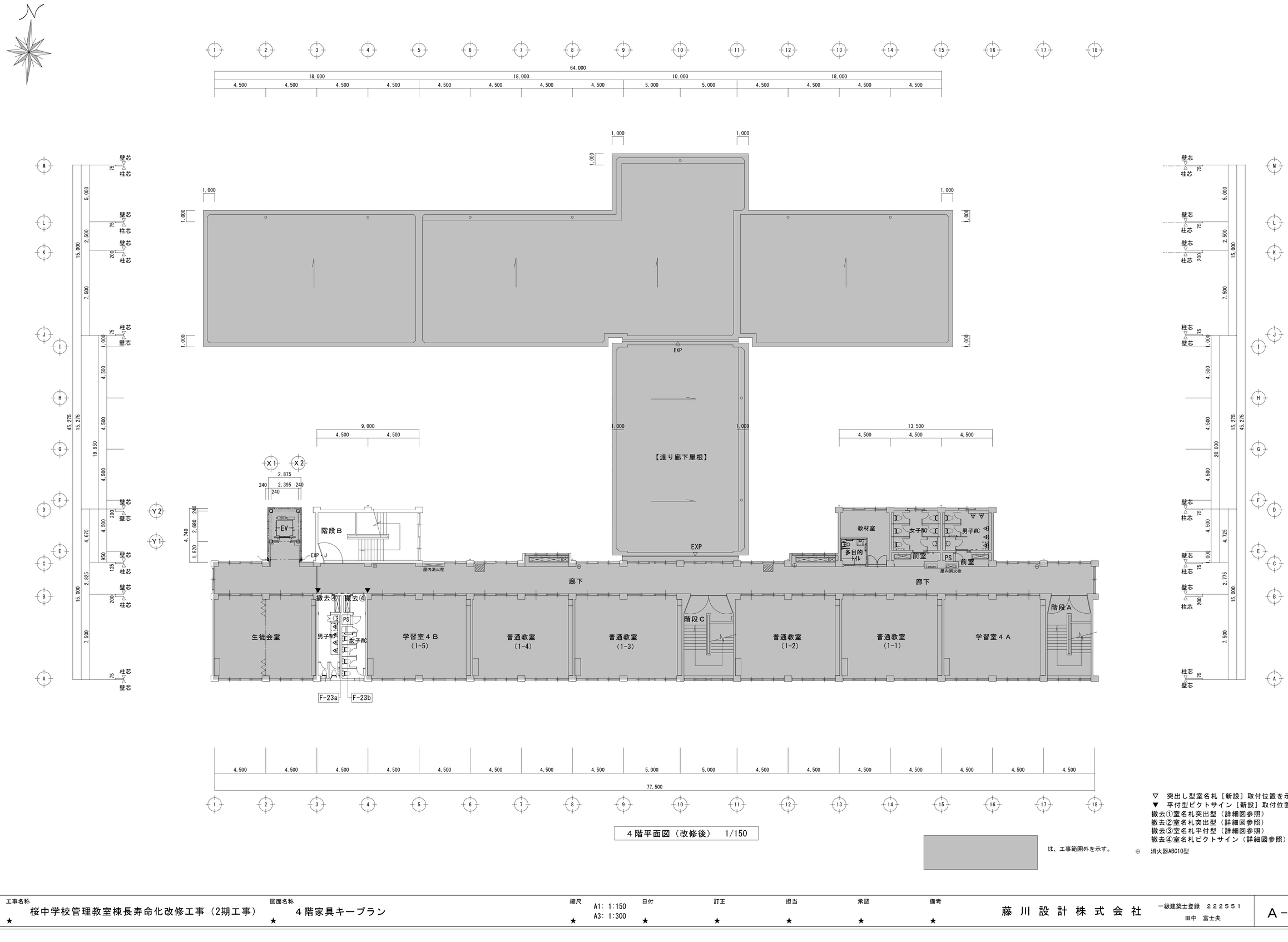


３階平面図（改修後）　1/150

▽　突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼　平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）

は、工事範囲外を示す。　⊕ 消火器ABC10型

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	３階家具キープラン★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	A－８０



４階平面図（改修後） 1/150

▽ 突出し型室名札［新設］取付位置を示す。
▼ 平付型ピクトサイン［新設］取付位置を示す。
撤去①室名札突出型（詳細図参照）
撤去②室名札突出型（詳細図参照）
撤去③室名札平付型（詳細図参照）
撤去④室名札ピクトサイン（詳細図参照）
⊕ 消火器ABC10型

は、工事範囲外を示す。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	４階家具キープラン ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	A－８１

家具共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板　両面メラミン化粧パーティクルボード厚さ２０mm、F☆☆☆☆を使用する。

2 木口処理　躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ 樹脂製　ホットメルト練付 ）加工程度とする。
開き扉・抽斗前板・天板はセフティーエッジ（ 樹脂製　ホットメルト練付 ）加工程度とする。

3 裏板　ポリエステル化粧合板　F☆☆☆☆　厚さ４mmを使用し、
片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

4 巾木・台輪　ポリエステル化粧合板仕上げ　F☆☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

5 建具　板戸・戸枠は、くるいやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし1枚物とする。
引違戸の鴨居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。

6 把手・蝶番　樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）の把手・引手を使用する。
蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きぜンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。

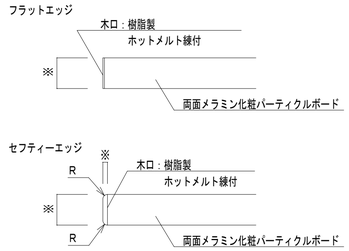
7 鴨居・敷居　メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ＡＢＳ製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ＡＢＳ製 ）程度とする。

8 棚板受け　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ又はステンレス製レールを使用する。
棚板に外れ止めシャクリ加工を施すか、滑り止めの金物を使用する。

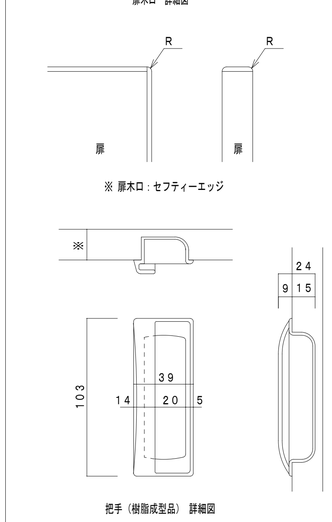
9 特記事項　その他詳細については、施工図を提出の上、監督職員の承諾を得ること。

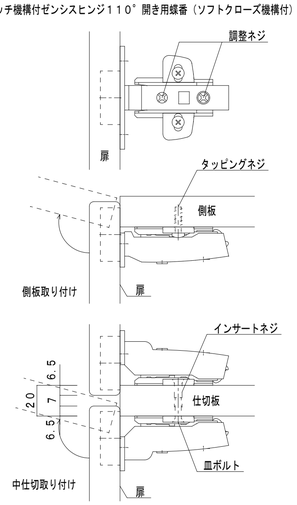
10 施工　家具取付は、安全のため壁や床に固定を施す。

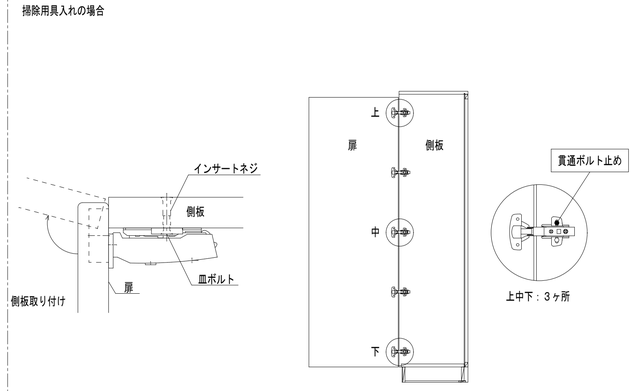
［ 木口詳細 ］



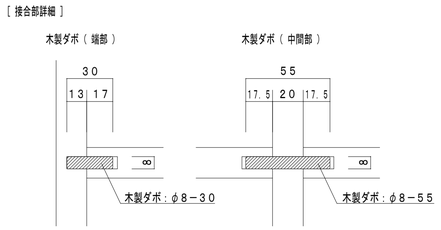
［ 開き扉詳細 ］



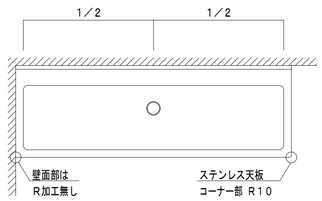




［ 接合部詳細 ］

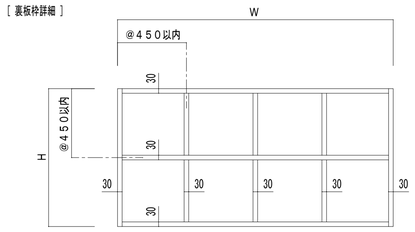


［ ステンレス納まり詳細 ］

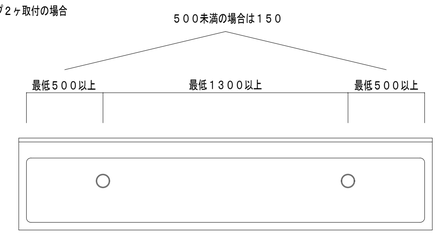


※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

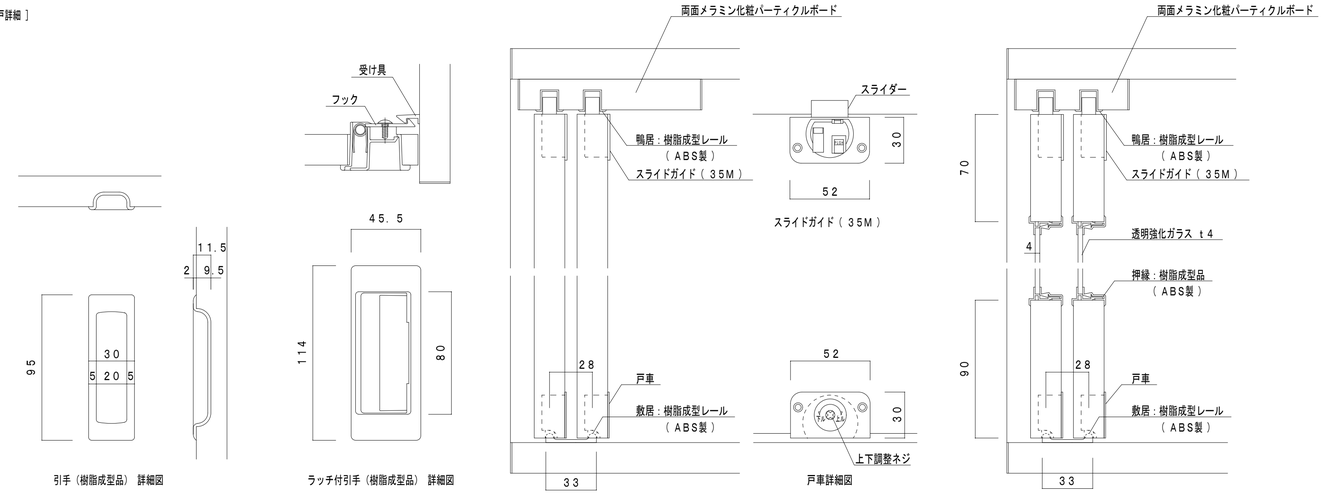
［ 裏板枠詳細 ］



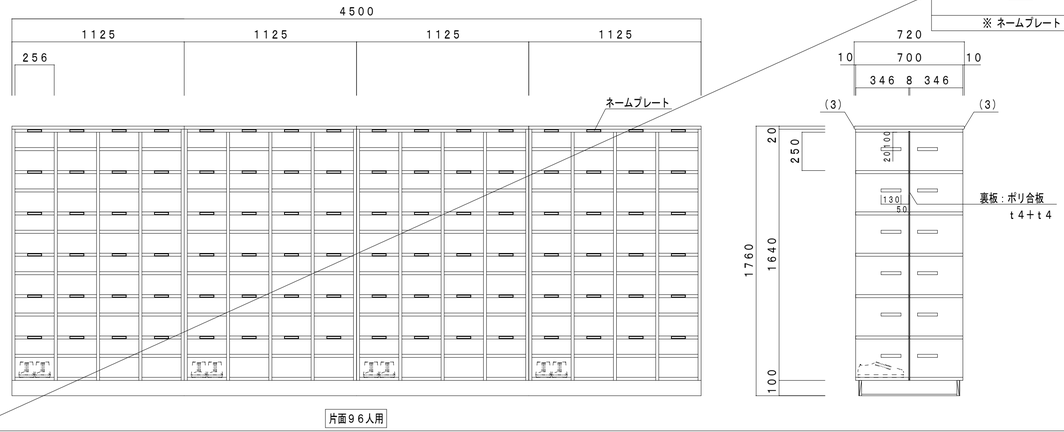
排水トラップ２ヶ取付の場合

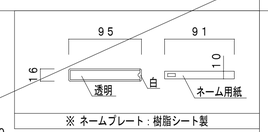


［ 引違戸詳細 ］

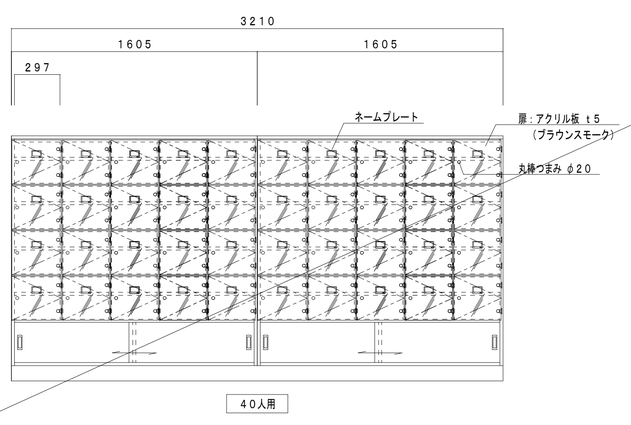


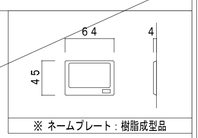
F－１	生徒用下足入れ	計５ヶ所	１階　昇降口１

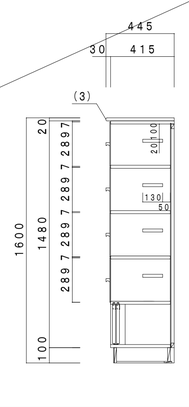




F－２	職員用下足入れ	１ヶ所	１階　職員玄関







工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	家具詳細図（１）★	A1: 1:20 A3: 1:40 ★	★	★	★	★	★

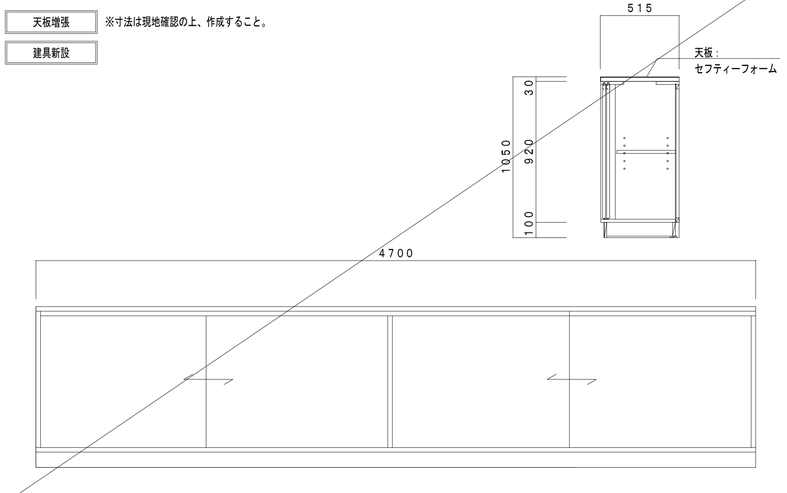
藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－８２

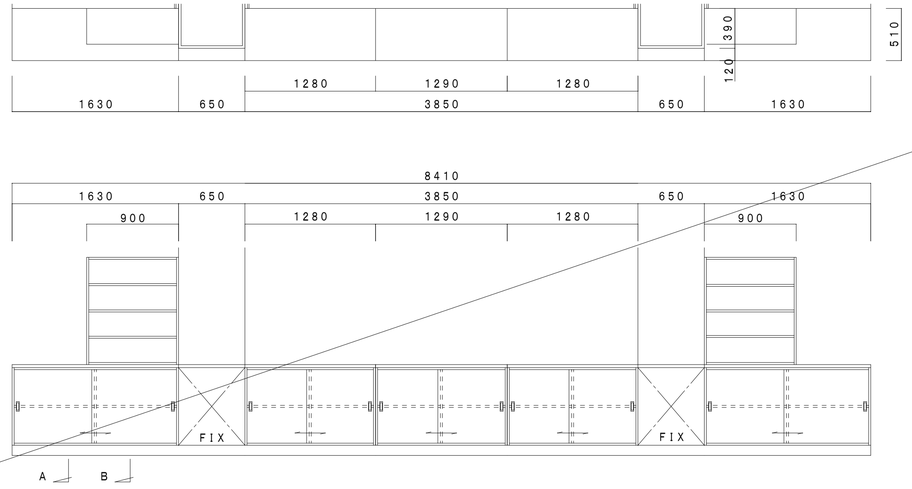
F－8　腰下戸棚　1ヶ所　1階　職員室

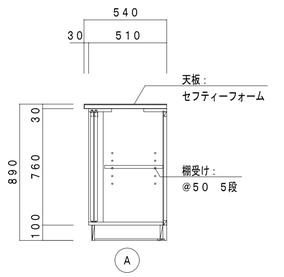
天板増張
建具新設

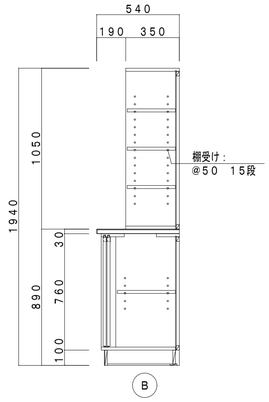
※寸法は現地確認の上、作成すること。



F－9　窓下戸棚　1ヶ所　1階　職員室　【同程度既存家具、撤去あり】

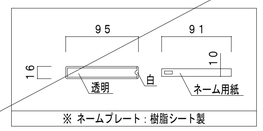


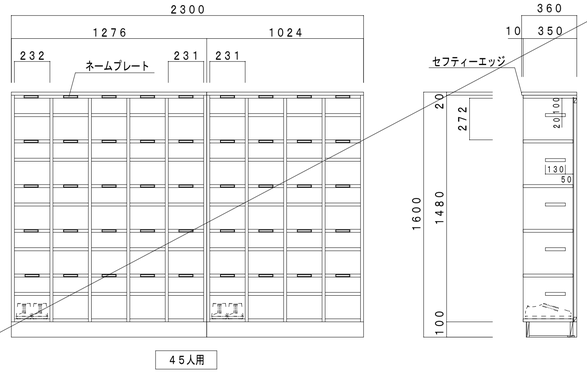




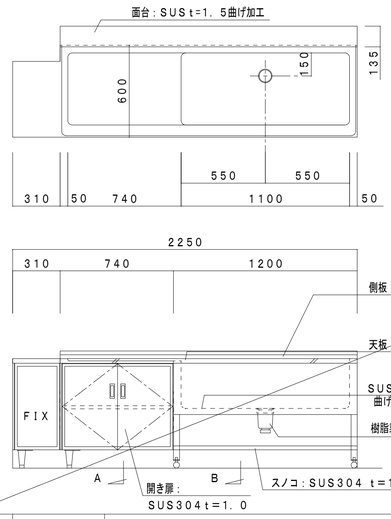
F－10　生徒用下足入れ　1ヶ所　1階　昇降口2　【同程度既存家具、撤去あり】

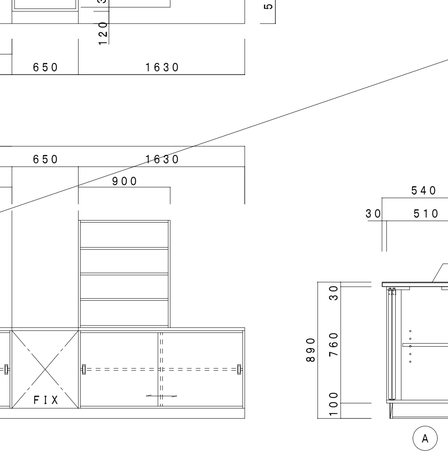
※ 見付木口：セフティーエッジ



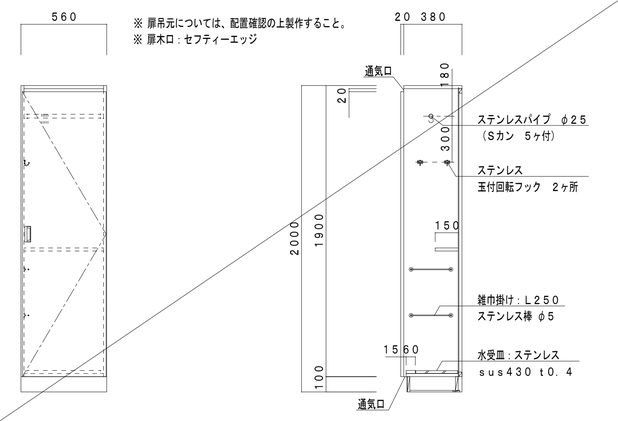


F－11　オールステンレス窓下戸棚・流し台　1ヶ所　1階　保健室　【人研ぎ・既存流し、撤去あり】

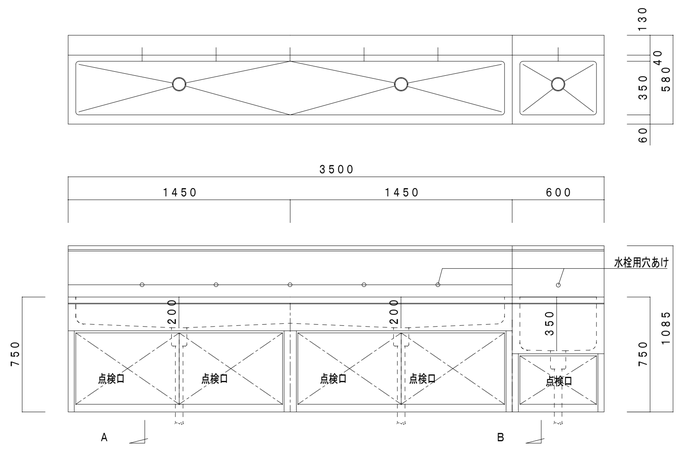


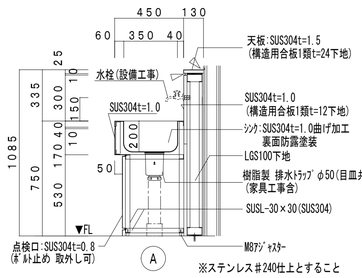


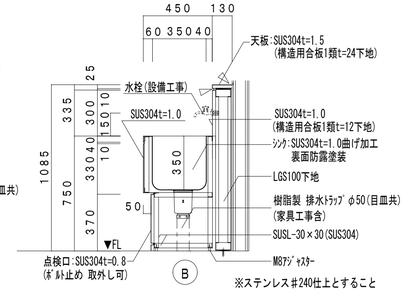
F－12　掃除用具入れ　1ヶ所　1階　保健室



F－13　流し台・深流し台　計2ヶ所　各廊下







室　名	ヶ所
1階　廊下	1ヶ所
2階　廊下	1ヶ所
3階　廊下	1ヶ所
4階　廊下	2ヶ所

シーリング　SR-1（防カビ）W=10

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事） ★	家具詳細図（２） ★	A1：1:20 A3：1:40 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－８３

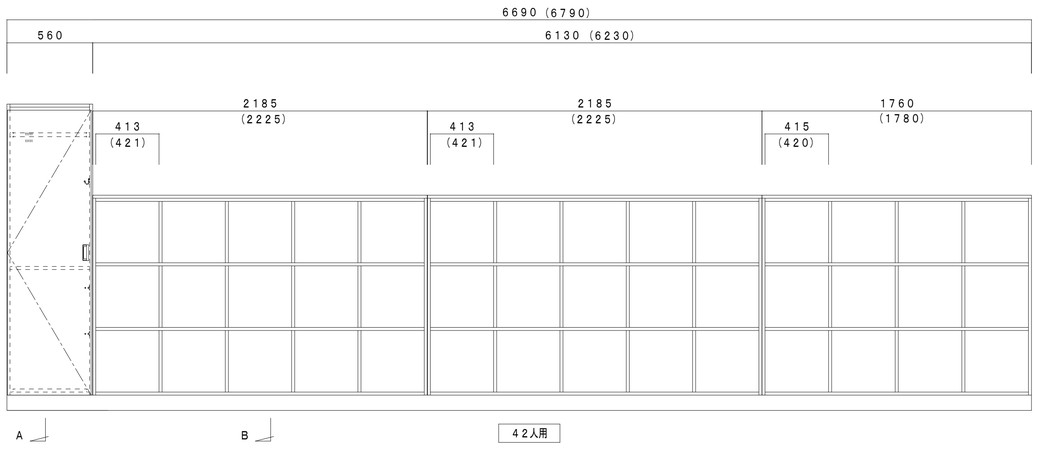
F－１４　掃除用具入れ・個人ロッカー　計７ヶ所　各　室

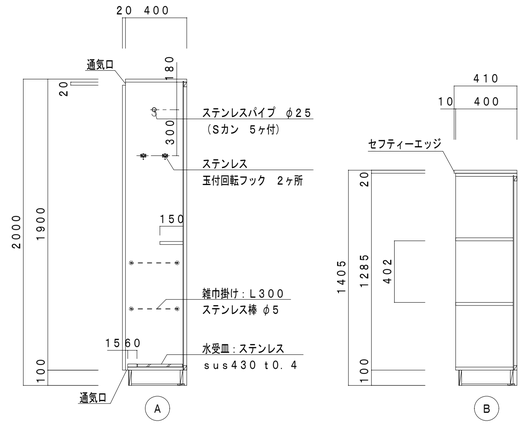
【既存家具撤去あり、下図参照】

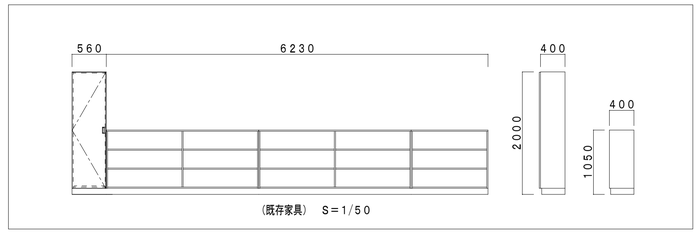
室　名	W	ヶ所
2階　学習室2A・2B・2C	6690	3ヶ所
2階　普通教室	6690	3ヶ所
2階　ほっとルーム	6690	1ヶ所
3階　学習室3A	6790	1ヶ所
3階　普通教室	6790	3ヶ所
3階　特別支援室	6790	3ヶ所
4階　学習室4A・4B	6790	2ヶ所
4階　普通教室	6790	4ヶ所
4階　生徒会室	6790	1ヶ所

※扉吊元については、配置確認の上製作すること。
※扉木口：セフティーエッジ

天板：ランバーコア下地　メラミンｔ=0.95貼
側板：外側＝ポリ化粧　内側＝シナ
小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
フラッシュ心材は150以下とする



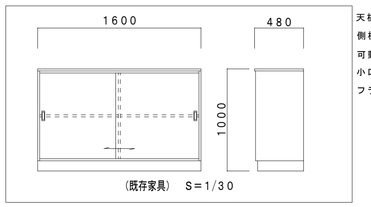


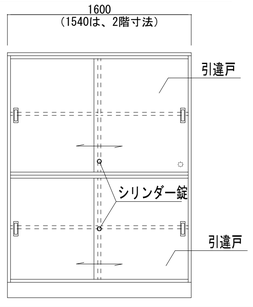


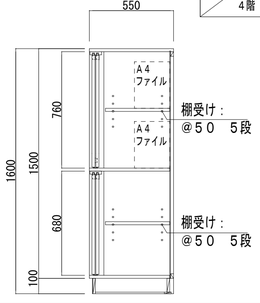
F－１５　教師用戸棚　計７ヶ所　各　室　【既存家具撤去あり、下図参照】

天板：ランバーコア下地　メラミンｔ=0.95貼
側板：外側＝ポリ化粧　内側＝シナ
可動棚：シナ合板（ｔ=4.0）フラッシュｔ=30
小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
フラッシュ心材は150以下とする

室　名	ヶ所
2階　学習室2A・2B・2C	3ヶ所
2階　普通教室	3ヶ所
2階　ほっとルーム	1ヶ所
3階　学習室3A	1ヶ所
3階　普通教室	3ヶ所
3階　特別支援室	3ヶ所
4階　学習室4A・4B	2ヶ所
4階　普通教室	4ヶ所
4階　生徒会室	1ヶ所

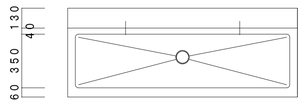


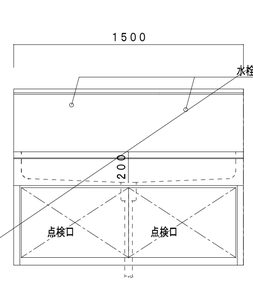


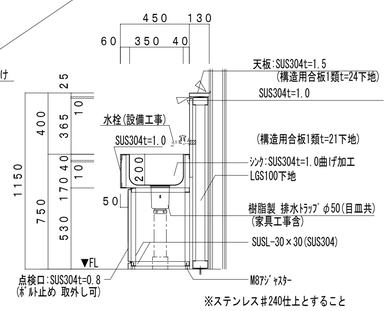


F－１６　流し台　計６ヶ所　各　室

室　名	ヶ所
2～4階　男子WC前室	3ヶ所
2～4階　女子WC前室	3ヶ所





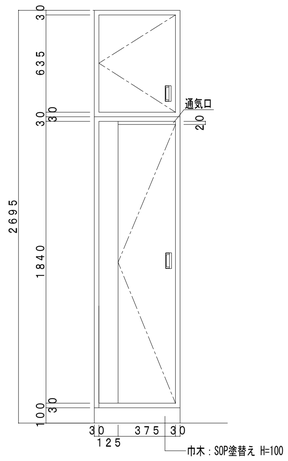


※ステンレス#240仕上とすること

F－１７　掃除用具入れ　１ヶ所　２階　図書室

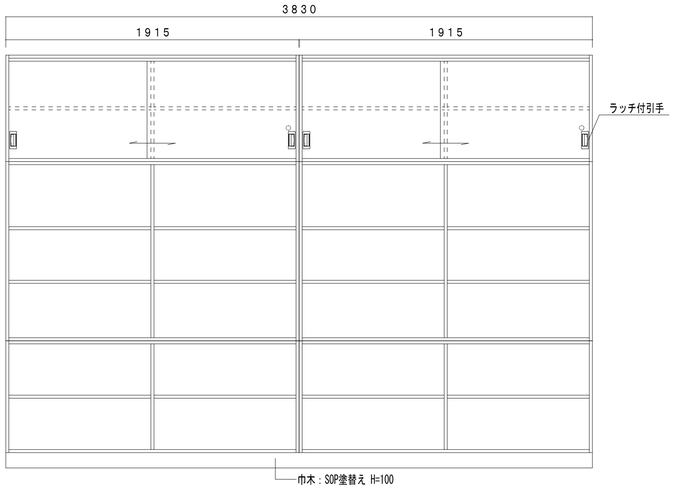
建具新設

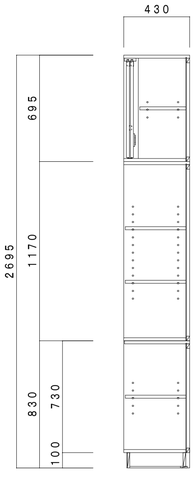
天板：ランバーコア下地　メラミンｔ=0.95貼
側板：外側＝ポリ化粧　内側＝シナ
小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
フラッシュ心材は150以下とする



F－１８　書架　１ヶ所　２階　図書室

建具新設
UC塗替



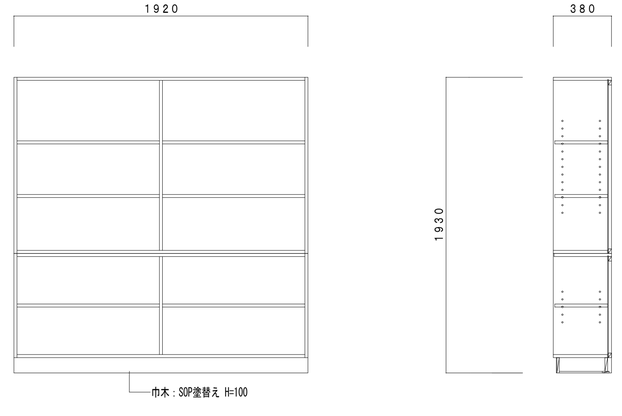


天板：ランバーコア下地　メラミンｔ=0.95貼
側板：外側＝ポリ化粧　内側＝シナ
小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
フラッシュ心材は150以下とする
ＵＣ塗替えについては内部全面塗替え（扉ある場合は扉のみで内部は塗替え不要）

F－１９　書架　１ヶ所　２階　図書室

UC塗替

天板：ランバーコア下地　メラミンｔ=0.95貼
側板：外側＝ポリ化粧　内側＝シナ
小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
フラッシュ心材は150以下とする
ＵＣ塗替えについては内部全面塗替え（扉ある場合は扉のみで内部は塗替え不要）



工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	家具詳細図（３）	A1：1:20 A3：1:40	★	★	★	★	★

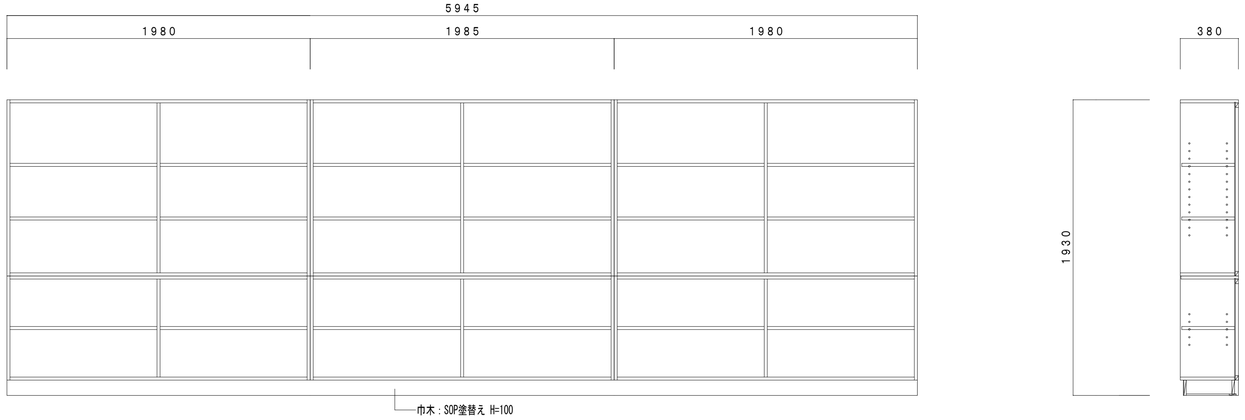
藤川設計株式会社　一級建築士登録　222551　田中　富士夫

A－８４

F－20　書架　1ヶ所　2階　図書室

UC塗替

小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
ＵＣ塗替えについては内部全面塗替え（扉ある場合は扉のみで内部は塗替え不要）

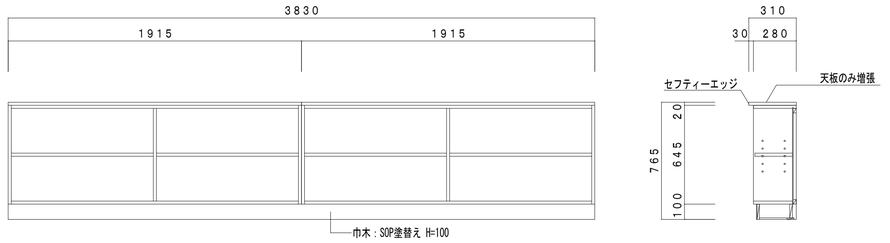


F－21　書架　4ヶ所　2階　図書室

天板新設　※寸法は現地確認の上、作成すること。

UC塗替

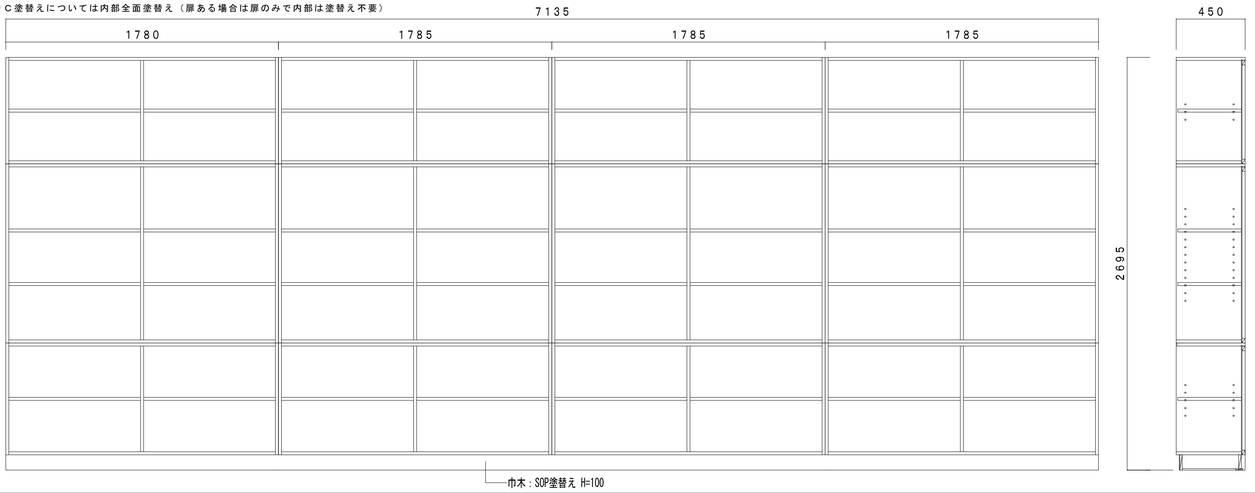
天板：ランバーコア下地　メラミンｔ=0.95貼
小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
ＵＣ塗替えについては内部全面塗替え（扉ある場合は扉のみで内部は塗替え不要）



F－22　書架　1ヶ所　2階　図書室

UC塗替

小口（見え掛り）：無垢材ｔ=6.0接着貼りの上ＵＣ塗装
ＵＣ塗替えについては内部全面塗替え（扉ある場合は扉のみで内部は塗替え不要）

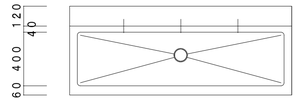


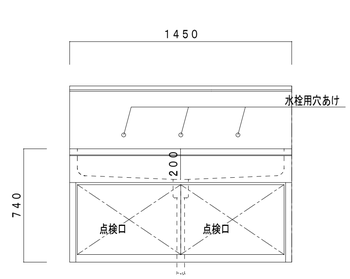
F－23　流し台・深流し台　8ヶ所　1～4階　男子・女子WC前室

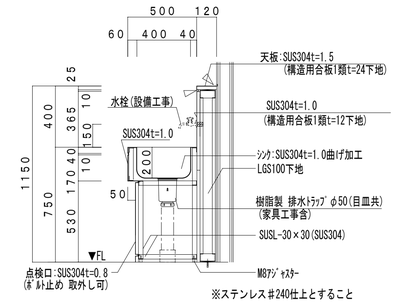
	室　名	ヶ所
a	1～4階　男子WC前室	4
b	1～4階　女子WC前室	4

※ bは逆勝手とする

シーリング　SR-1（防カビ）W=10





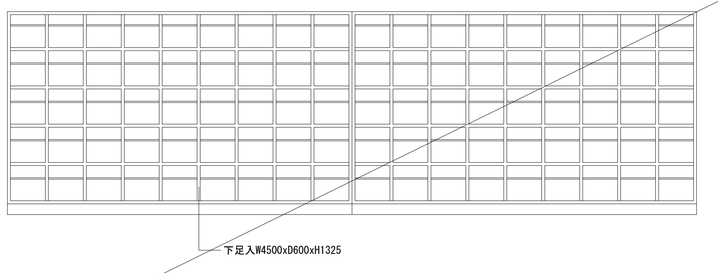


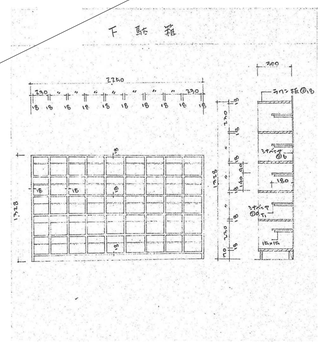
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	家具詳細図（４）★	A1: 1:20 A3: 1:40 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

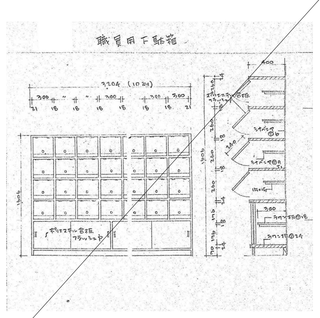
A－８５

F－1	生徒用下足入れ	1階　昇降口１　W4500xD600xH1325	計５ヶ所	F－１０	1階　昇降口２　W2250xH1410xD300	計１ヶ所

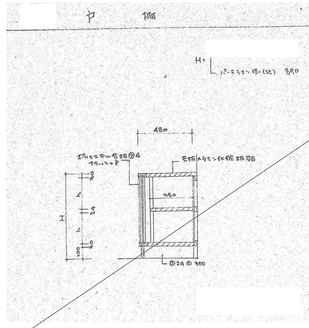




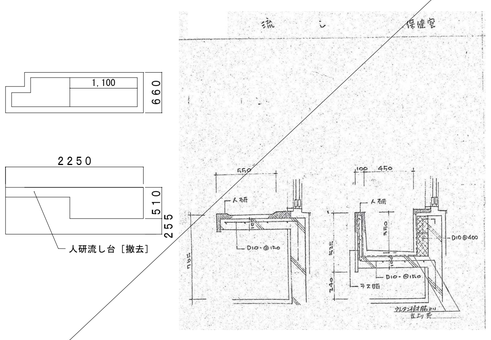
F－２	職員用下足入れ	１ヶ所	1階　職員玄関



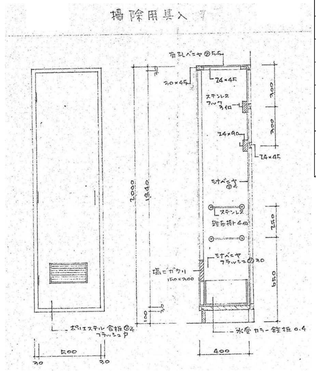
F－９	窓下戸棚	１ヶ所	1階　職員室



F－１１	窓下戸棚・流し台	１ヶ所	1階　保健室

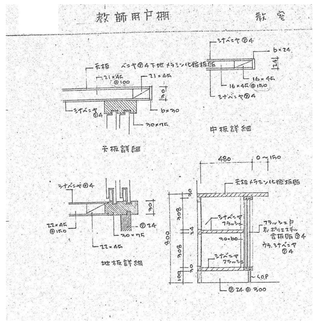


F－１２	掃除用具入れ	７ヶ所	1階　保健室　職員室

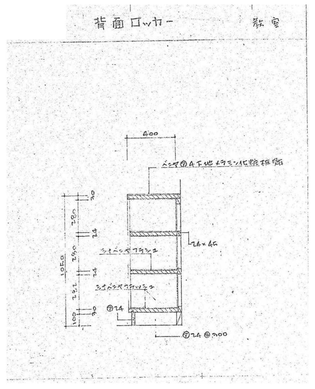


室　名	ヶ所
2階　学習室２A・２B・２C	３ヶ所
2階　普通教室	３ヶ所
2階　ほっとルーム	１ヶ所
3階　学習室３A	１ヶ所
3階　普通教室	３ヶ所
3階　特別支援室	３ヶ所
3階　多目的ホール	１ヶ所
4階　学習室４A・４B	２ヶ所
4階　普通教室	４ヶ所
4階　生徒会室	１ヶ所

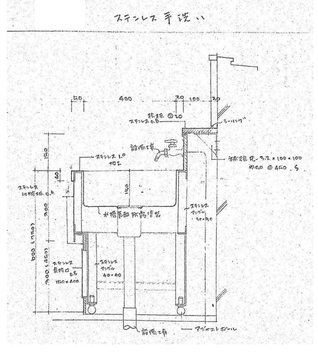
F－１５	教師用戸棚	計７ヶ所	各　室



F－１４	個人ロッカー	計７ヶ所	各　室

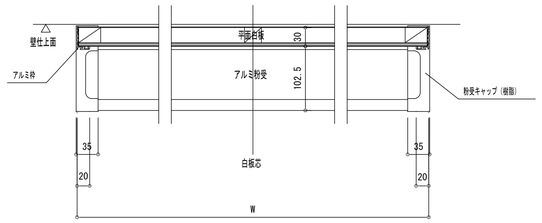


F－１３	流し台・深流し台	計２ヶ所	各　室

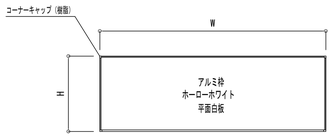

ステンレス手洗い
400
70
100
150
50
150
100
600
1500
1800
1500
1200
300
450
450
150
150
150

新設　アルミ枠 ホーローホワイト 平面白板

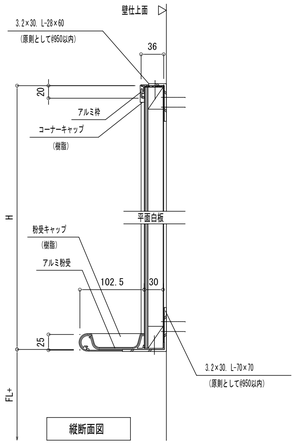
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	職員室	3600×1100	1	新線入
		1900×1200	1	
		1800×950	1	新線入
		2900×950	1	
		600×900	3	
		580×900	5	
	C階段	2100×1000	1	新線入
	図書室	2700×900	1	



横断面図



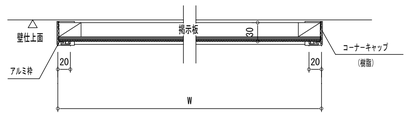
展開図 s=1／50



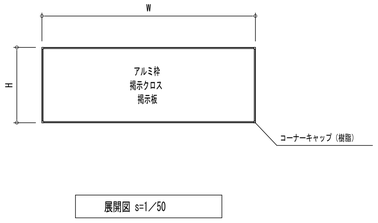
縦断面図

新設　アルミ枠 掲示板

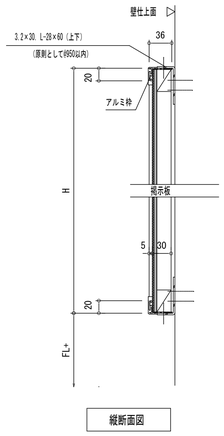
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	図書室	1800×900	2	
	C階段	1800×900	2	



横断面図



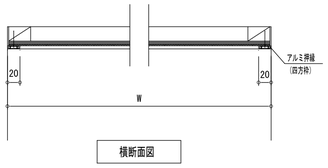
展開図 s=1／50



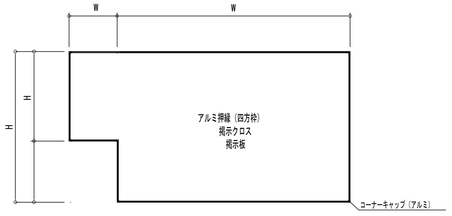
縦断面図

新設　アルミ押縁 スポンジエース 掲示板（全面）

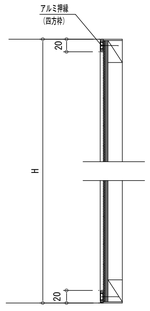
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	ほっとルーム	6075×1320･560×700	1	背面
		5145×700･1490×1100	1	正面
2	普通教室	6075×1320･560×700	3	背面
		5145×700･1490×1100	3	正面
	学習室	6075×1320･560×700	3	背面
		5145×700･1490×1100	3	正面
3	特支	6175×1345･560×750	2	背面
		5195×800･1550×1150	2	正面
	特支 6-A	6175×1345･560×750	1	背面
		5195×800･1550×1150	1	正面
3,4	普通教室	6175×1345･560×750	7	背面
		5195×800･1550×1150	7	正面
	学習室	6175×1345･560×750	3	背面
		5195×800･1550×1150	3	正面
4	生徒会	6175×1345･560×750	1	背面
		5195×800･1550×1150	1	正面



横断面図



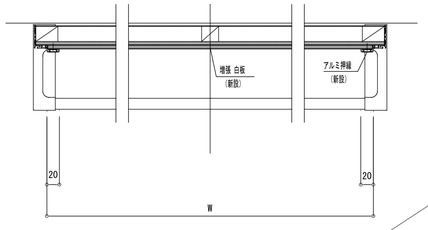
展開図 s=1／50



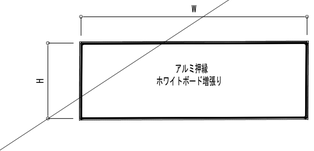
縦断面図

増張　ホワイトボード　増張り（アルミ押縁共）

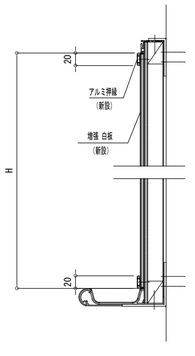
ホーローホワイト				
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
	職員室	3900×1500	1	行事入
	保健室	1800×900	1	
ナノホワイト（低反射）				
階	室 名	寸 法（W×H）	数 量	備 考
4	生徒会	3900×1200	1	増線入
		1585×1200	1	行事入



横断面図



展開図 s=1／50



縦断面図

：既存（再利用）

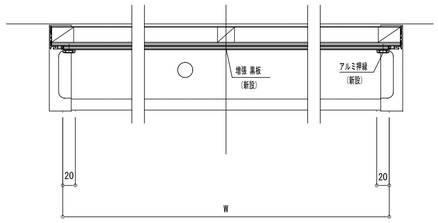
ナノホワイト（低反射）仕様

表面	低反射・ライトグレー色
材質	ホーロー製
色彩	色相（H）5.8PB
	明度（V）8.2
	彩度（C）1.1

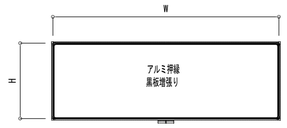
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	黒板他詳細図（1）	A1：1:5 A3：1:10						藤川設計株式会社	A－８７
★	★	★	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	

増張　黒板　増張り（アルミ押縁共）

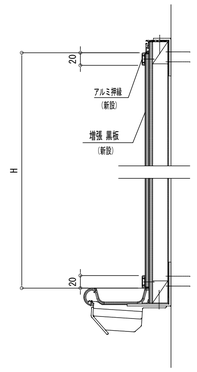
階	室名	寸法(W×H)	数量	備考
	ほっとルーム	3600×1200	1	暗線入
		1540×1200	1	行事入
2	普通教室	3600×1200	3	暗線入
		1540×1200 (3-2のみ1585×1200)	3	行事入
	学習室	3600×1200	3	暗線入
		1540×1200	3	行事入
3	特支	3600×1200	2	暗線入
		1580×1200	2	行事入
	特支 6-A	3600×1200	1	暗線入
		1580×1200	1	行事入
3.4	普通教室	3600×1200	7	暗線入
		1580×1200	7	行事入
	学習室	3600×1200	3	暗線入
		1580×1200	3	行事入



横断面図



展開図 s=1／50

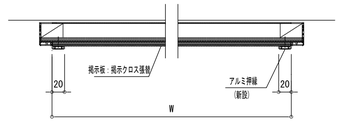


縦断面図

階	室名	寸法(W×H)	数量	備考

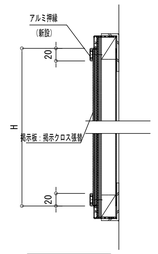
貼替　掲示板　張替（アルミ押縁共）

階	室名	寸法(W×H)	数量	備考
	校長室	1875×900	1	
1	廊下	3800×920	2	
2	廊下	1800×900	1	
		1800×1200	1	
		3600×1200	1	
		3600×900	2	
	図書館前廊下	4050×900	1	
		3970×900	1	
3	廊下	1800×900	2	
		3600×900	1	
4	廊下	1800×900	1	
		3600×900	1	



横断面図

展開図 s=1／50



縦断面図

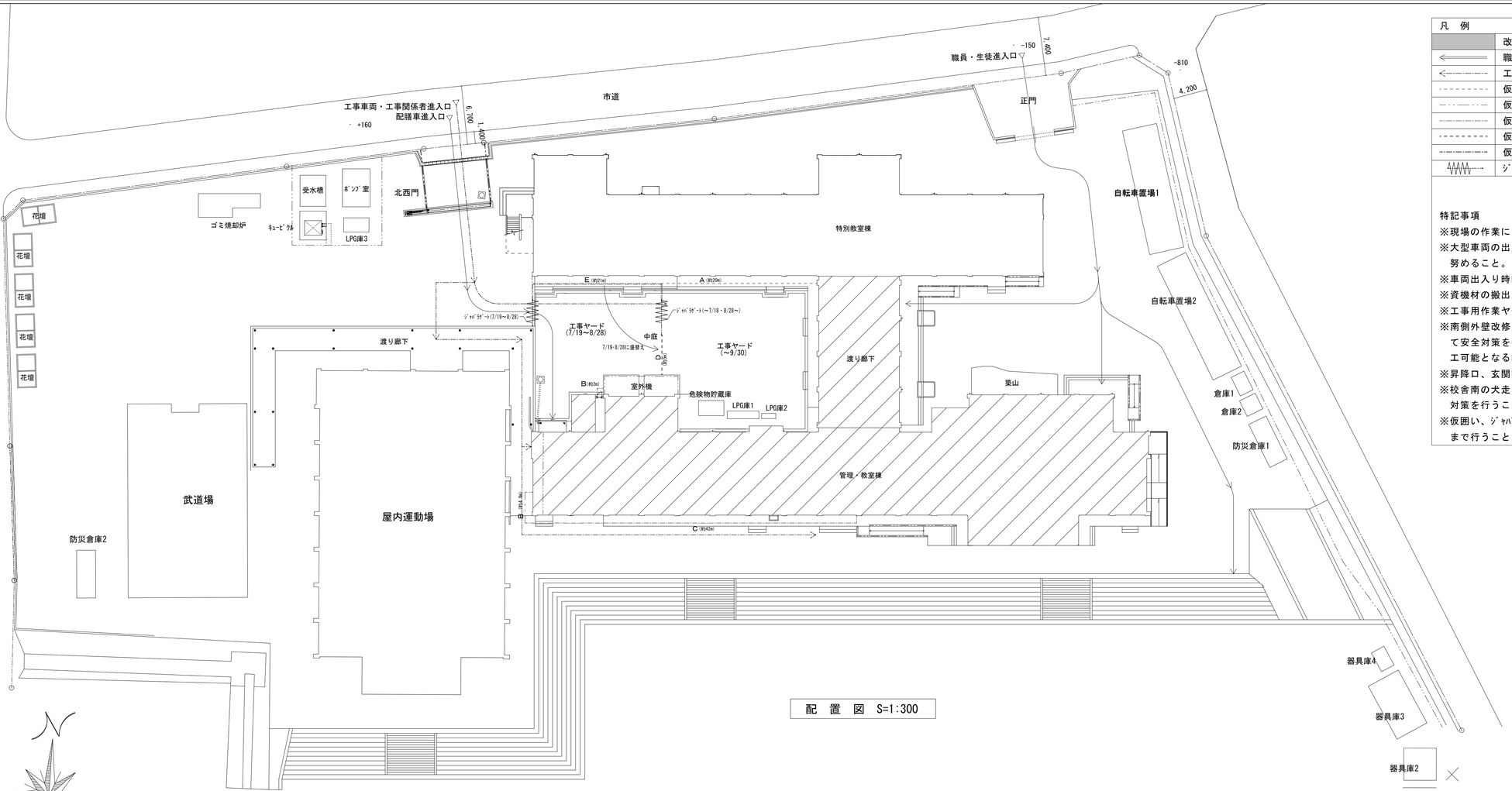
階	室名	寸法(W×H)	数量	備考

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	黒板他詳細図（2）	A1: 1:5 A3: 1:10	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社

一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

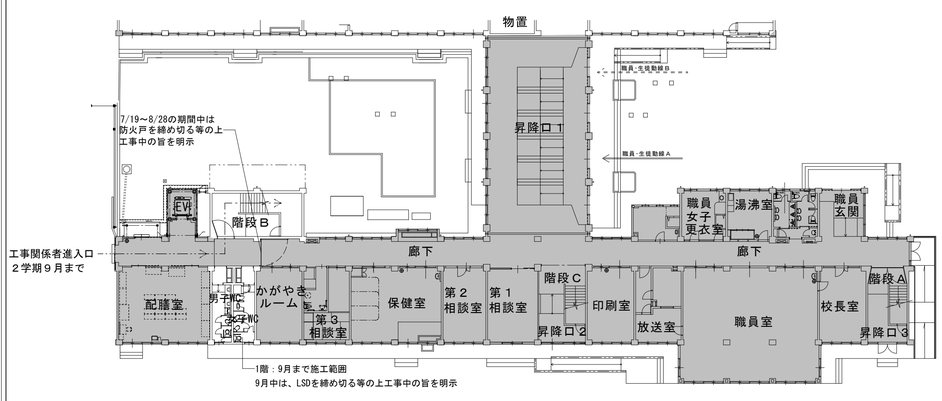
A－８８



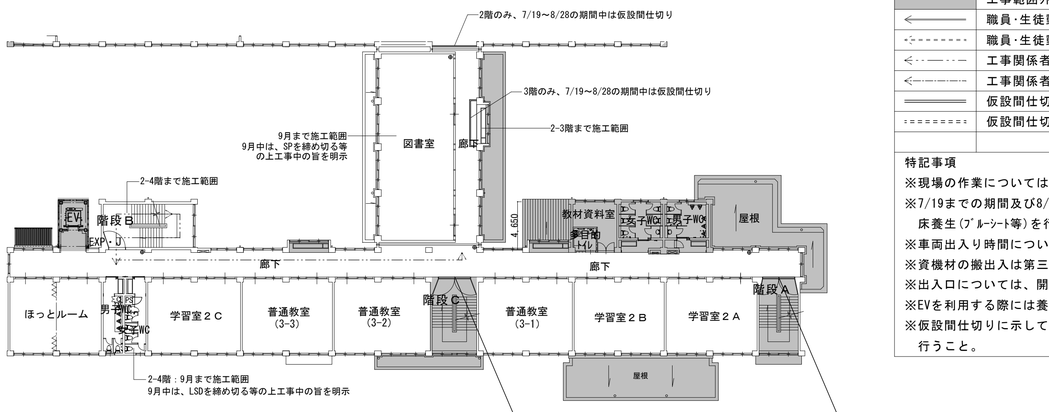
配　置　図　S=1:300

凡　例	
	改修範囲を示す。
⟸	職員・生徒進入口・配膳車進入経路を示す。
<---·---	工事車両・工事関係者進入経路を示す。
- - - - - -	仮囲いA（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付）（～9/30）
—·—·—	仮囲いB（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付）（～8/28）※足場に緊結
—·—·—·—	仮囲いC（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付）（7/19～8/28）※足場に緊結
----------	仮囲いD（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付）（～9/30）※位置替有
—··—··—	仮囲いE（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH=1800 巾木付）（7/19～8/28）
～～～～	ｼﾞｬﾊﾞﾗｹﾞｰﾄ W3000 H1800　※盛替えを行う。

特記事項
※現場の作業については、施設利用者等の安全に留意すること。
※大型車両の出入り時は、必要に応じて誘導員等を配置し、歩行者等の安全確保に努めること。
※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
※工事用作業ヤード及び搬入経路については、工事完了後に整地を行うこと。
※南側外壁改修については夏休み中の施工ですが、協議の上、受注者の責任において安全対策を行い、学校運営に支障のない作業内容に限定すれば、１学期から施工可能となる場合があります。
※昇降口、玄関等の出入口に足場を設置する場合、開口養生を行うこと。
※校舎南の犬走り及び昇降口東側の外構工事の際には、通行に支障がないよう安全対策を行うこと。
※仮囲い、ｼﾞｬﾊﾞﾗｹﾞｰﾄに示している日付は、設置可能期間とし、指定期間内に完了まで行うこと。



１階　平面図　S=1:300



２階　平面図　S=1:300

凡　例	
	工事範囲外を示す。
⟸	職員･生徒動線Ａ（～7/18・8/29～）
- - - - - -	職員･生徒動線Ｂ（7/19～8/28）
<---·---	工事関係者動線Ａ（～9/30）
<---·---·---	工事関係者動線Ｂ（～7/18・8/29～）
═══	仮設間仕切Ａ（7/19～9/30）
==========	仮設間仕切Ｂ（7/19～8/28）

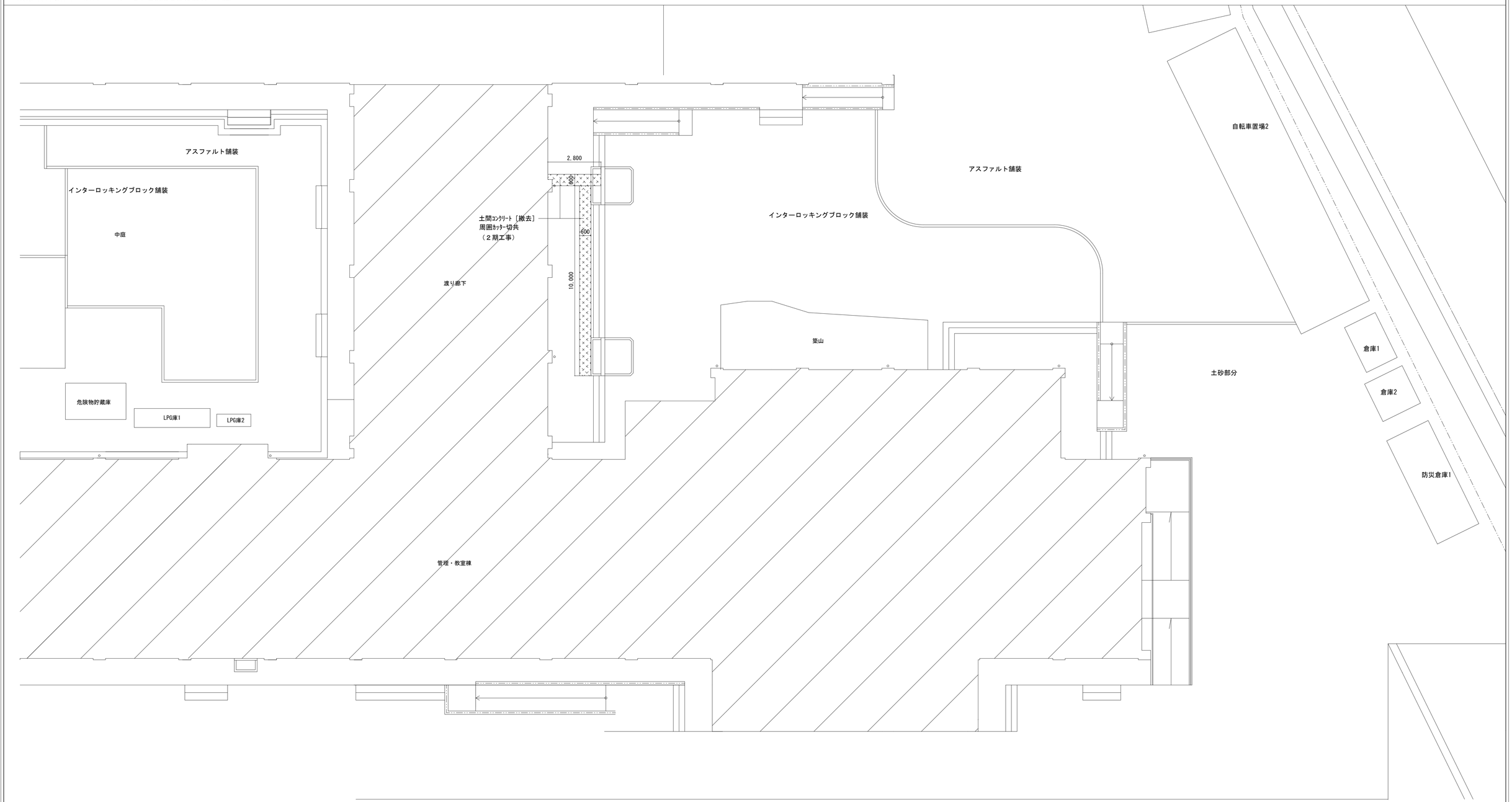
特記事項
※現場の作業については、施設利用者等の安全に留意すること。
※7/19までの期間及び8/29以降の期間について、工事関係者が通行する部分は床養生(ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ等)を行うこと。
※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
※出入口については、開口養生を行うこと。
※EVを利用する際には養生を行うこと。
※仮設間仕切りに示している日付は、設置可能期間とし、指定期間内に完了まで行うこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）	仮設図	A1: 1:300 A3: 1:600	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－８９

改修前外構図 （昇降口１前　地中埋設配管部分舗装　中庭）　S=1/100



工事対象外を示す。

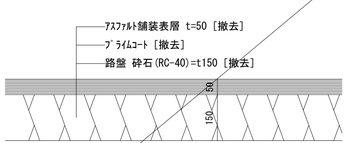
アスファルト舗装［撤去］（カッター入れ）共

インターロッキングブロック［撤去］

土間コンクリート［撤去］（カッター入れ）共

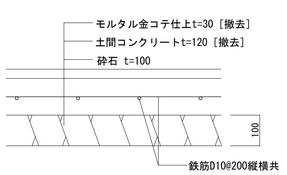
地先境界ブロックW120xH120［撤去］

アスファルト舗装　撤去詳細図　S=1/10

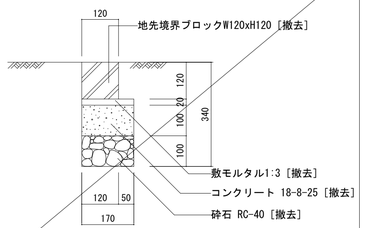


インターロッキングブロック舗装　撤去詳細図　S=1/10

土間コンクリート　撤去詳細図　S=1/10



地先境界ブロック　撤去詳細図　S=1/10

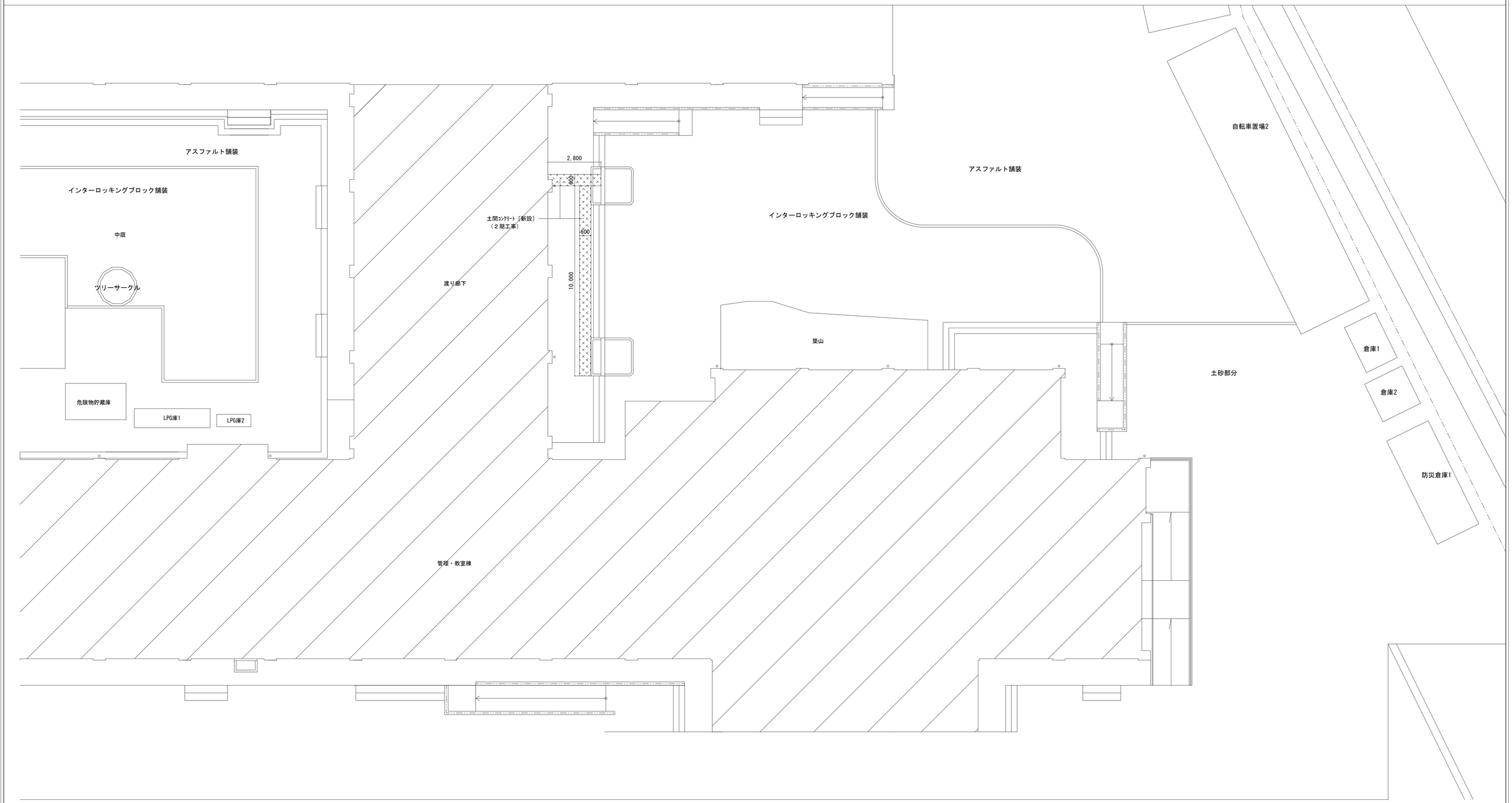


工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	外構図（改修前）★	A1: 1:200 A3: 1:400 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－９０

改修後外構図 （昇降口１前　地中埋設配管部分舗装　中庭）　S=1/100



工事対象外を示す。

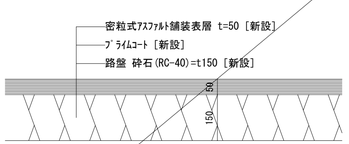
アスファルト舗装［新設］

インターロッキングブロック［新設］

土間コンクリート［新設］

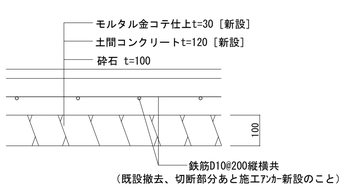
地先境界ブロックW120xH120［新設］

アスファルト舗装　新設詳細図　S=1/10

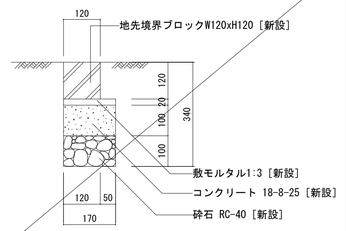


インターロッキングブロック舗装　新設詳細図　S=1/10

土間コンクリート　新設詳細図　S=1/10



地先境界ブロック　新設詳細図　S=1/10

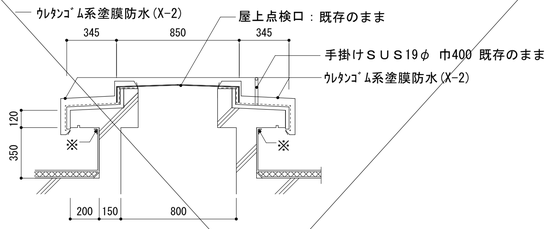


工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（2期工事）★	外構図（改修後）★	A1: 1:200 A3: 1:400 ★	★	★	★	★	★

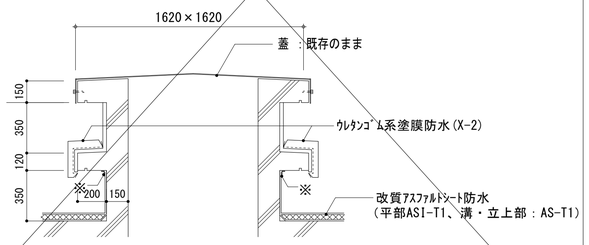
藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

A－９１

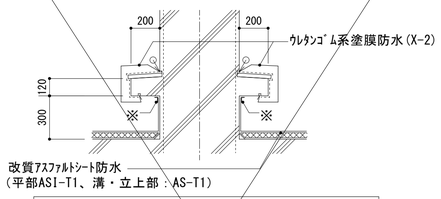
現　況



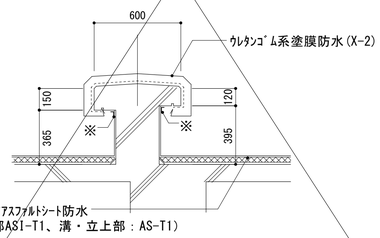
屋上点検口部分　　S=1：30



屋上ＰＳ部分　　S=1：30

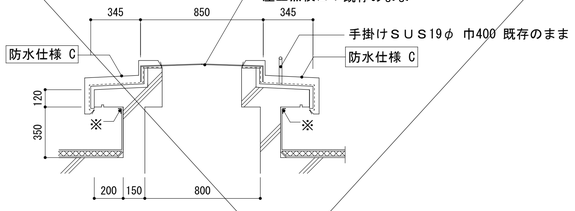


高架水槽架台柱型立上り部分　　S=1：30

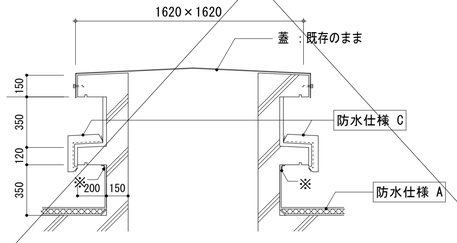


屋上 ◇a－a◇ 部分　　S=1：30

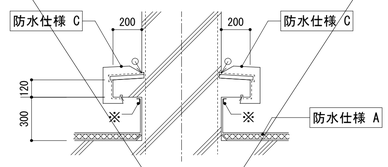
改修後



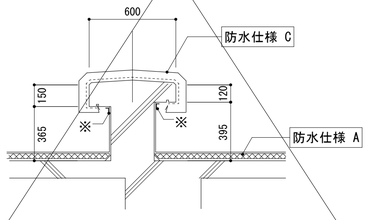
屋上点検口部分　　S=1：30



屋上ＰＳ部分　　S=1：30



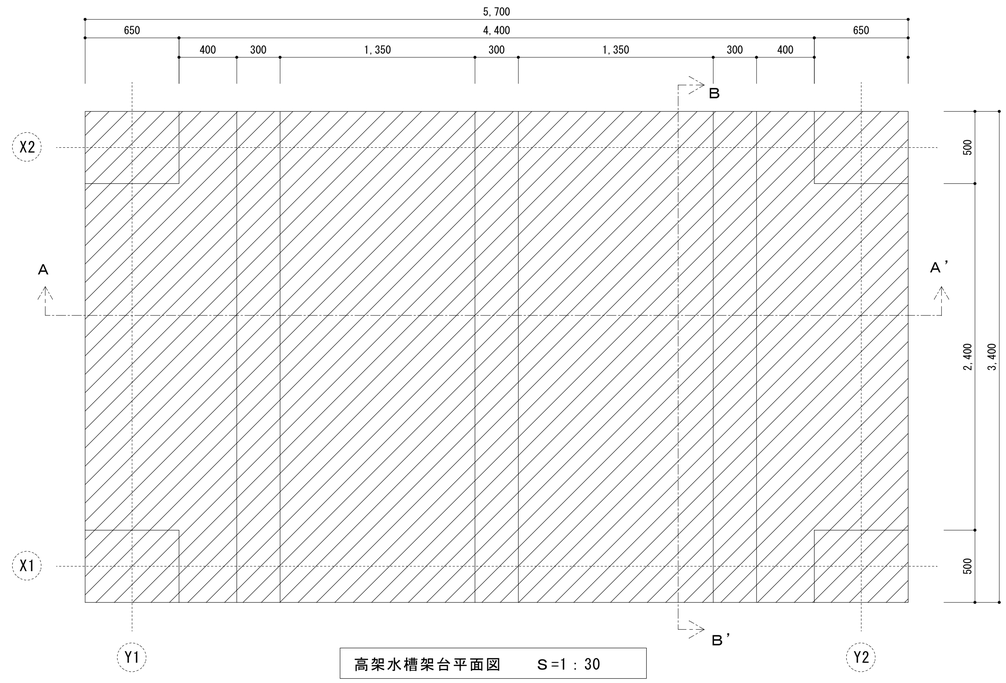
高架水槽架台柱型立上り部分　　S=1：30



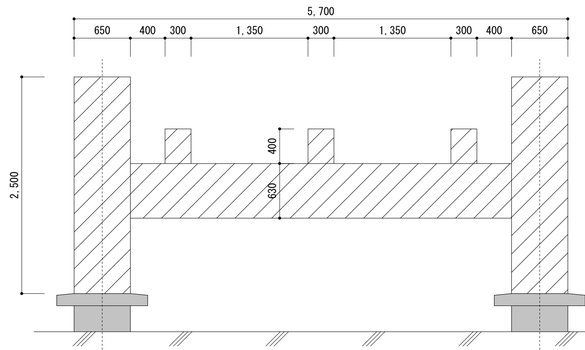
屋上 ◇a－a◇ 部分　　S=1：30

水洗いの上、防水型外装薄塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)　　工事対象外

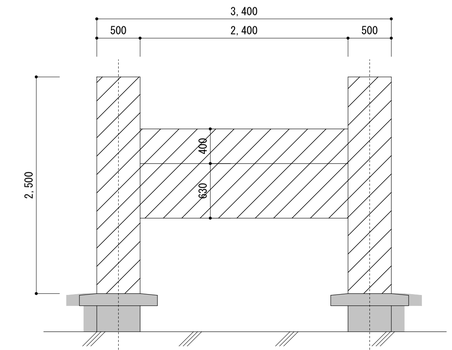
架台内部壁面及び見上げ部並びに外部に取りつく金物及びSUS手摺りについては工事対象外とする



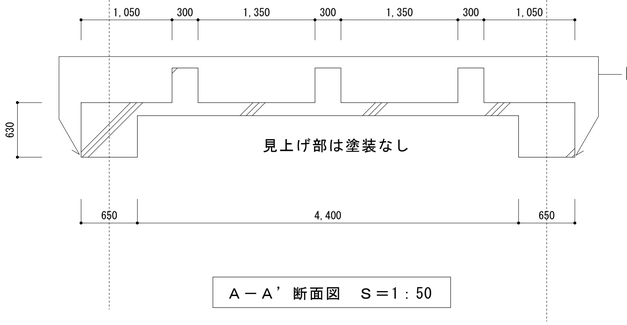
高架水槽架台平面図　　S=1：30



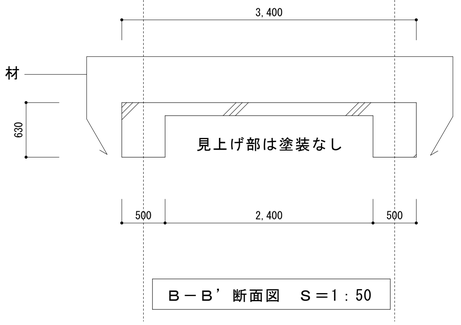
高架水槽架台立面図(北，南) S=1：50



高架水槽架台平面図(東，西) S=1：50



Ａ－Ａ’断面図　Ｓ＝1：50



Ｂ－Ｂ’断面図　Ｓ＝1：50

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）

日付	図面名	縮尺	図面番号
年　月	屋上詳細図	—	A-92 /

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）　設計図

仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事場所　　四日市市　桜町　地内

２．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
桜中学校	RC造（一部S造）	地上４階建	4,329.00	7項	

３．工事種目（○印の付いたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工事種別	管理教室棟						
⊙ 電灯設備	改修　一式						
⊙ 動力設備	改修　一式						
・ 電気自動車用充電設備							
・ 電熱設備							
・ 雷保護設備							
・ 受変電設備							
・ 発電設備							
⊙ 構内情報通信網設備	改修　一式						
⊙ 構内交換設備	改修　一式						
・ 情報表示設備							
・ 映像・音響設備							
⊙ 拡声設備	改修　一式						
⊙ 誘導支援設備	改修　一式						
⊙ テレビ共同受信設備	改修　一式						
⊙ 防犯カメラ設備	改修　一式						
・ 駐車場管制設備							
・ 防犯・入退室管理設備							
⊙ 火災報知設備	改修　一式						
・ 中央監視制御設備							
・ 構内配電線路	改修　一式						
・ 構内通信線路	改修　一式						
・ テレビ電波障害除去工事							
⊙ 撤去工事	改修　一式						

４．指定部分　⊙無　・有（　部位：　　）指定部分工期　令和　年　月　日

Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

⊙ 公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（令和７年版）　（以下、「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和７年版）　（以下、「改修標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（令和７年版）　（以下、「標準図」という。）

２．特記仕様

項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。なお、上位事項に○印がない下位事項は適用しない。

項目	特記事項
１　適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速　（V0=34m/s） 地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　） ・ 積雪荷重 垂直積雪量（　・　0.3m　・　0.4m）
２　他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
３　週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・ 週休2日制工事対象 ・ 週休2日制工事（受注者希望型）対象 ・ 週休2日制対象外工事（　・　工事の実働日数が30日未満の工事　・ 現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事（受注者希望型含む）の現場閉所日については下記による。 ・土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。） ・土日以外閉所 土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
④ 施工条件	施工可能日　⊙ 土、日曜日、祝日施工有り　・　指定無し ・ その他（⊙ E-03 ⊙ M-03 ⊙ A-01 ・　　）による 施工可能時間帯　・ 指定無し　⊙ 指定有り（・ E-03 ⊙ M-03 ・ A-01 ・　　）による 現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 高さ５ｍを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用する。 完成確認及び完成検査時等の電源確保 機器の動作確認、電圧、極性、相回転、導通、通信等が確認できる電源等を確保する。 完成時の操作説明 総合盤、発電設備、中央監視設備、自動制御設備、電話設備等、操作の必要な機器は、施設管理者へ使用開始前に操作説明を行うものとする。 操作説明にあたって、操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えること。 工期内の保安管理 電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等に掛かる費用は本工事に含まれる。 在来設備の一時停止に係る調整 電気設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。
５　監督職員事務所	監督職員事務所を設けること。
６　工事用電力・水・その他	・ 工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。 ・ 市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。
７　工事用仮設物	工事用仮設物を構内につくることができる。
８　足場その他	・ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場等　（・　　） ・ 外部足場等　（・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　）
９　交通安全管理	交通誘導員　・ 配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない ・ 交通誘導警備員Ａ　・ 交通誘導警備員Ｂ

項目	特記事項
⑩ 施工調査	⊙ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。 （定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。） ・ 既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。
11　非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。
⑫ 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
13　耐震安全性の分類と耐震施工	設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所）による。・ すべて　・（　　）以外 ⑩100kg以上の機器を対象とする。 （１）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 設置場所 / 機器種別 / ・特定の施設（重要機器／一般機器）/ ・一般の施設（重要機器／一般機器） 上層階・屋上及び塔屋 / 機器 / 2.0 / 1.5 / 1.5 / 1.0 上層階・屋上及び塔屋 / 防振支持の機器 / 2.0 / 2.0 / 2.0 / 1.5 上層階・屋上及び塔屋 / 水槽類 / 2.0 / 1.5 / 1.5 / 1.0 中間階 / 機器 / 1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6 中間階 / 防振支持の機器 / 1.5 / 1.5 / 1.5 / 1.0 中間階 / 水槽類 / 1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6 地階・１階 / 機器 / 1.0 / 0.6 / 0.6 / 0.4 地階・１階 / 防振支持の機器 / 1.0 / 1.0 / 1.0 / 0.6 地階・１階 / 水槽類 / 1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 重要機器は次による。 ・ 配電盤　・ 発電装置　・ 直流電源装置　・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機　・ 火災報知受信機　・ 中央監視制御装置 ・ キュービクル　・ その他（　　） （２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。
14　建設発生土の処理	・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 構外搬出適切処理とする。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
15　埋戻し土・盛土	地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。
⑯ 材料・機材の品質等	（１）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （２）主要機器の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （３）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。
⑰ 環境への配慮	（１）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
⑱ 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・ 建設副産物を搬出する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・ 再生資材を利用する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. 砕石500t以上 3. 加熱アスファルト200t以上

項目	特記事項
19　工事の保険	・ 建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・ 請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）
20　建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・ 法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出） ・ 建設業退職金共済制度　（掛金収納書を提出） 共済証紙購入額　請負額の0.5／1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 増額の契約変更があった場合は、不足分を追加購入すること。
21　工事実績情報登録	工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（コリンズ）に登録すること。
22　施工体制台帳提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。
23　資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。
24　工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真（埋設部、隠ぺい部、施工、材料等）及び完成写真 Ａ４用紙に印刷し、提出すること。 撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「営繕工事写真撮影要領（令和５年版）」を参考にすること。 ○工事日報、納品伝票、出荷証明 工事日報、納品伝票の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。
㉕ 完成時の提出図書	下記のものを提出すること。 ○ 工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○ 完成図　CADデータ（JW CAD）　PDFデータ　（DVD）（２）枚 ○ 盤図データ　CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ　（DVD）（2）枚 ○ 完成図　（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り製本したもの）（３）部 ○ 工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成図データと同一媒体とする。 ○ 保全に関する資料等　（２）部 ● 監督職員の指示により提出するもの。⊙ 完成図（A4版に製本したもの）　・（　　）
㉖ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
27　地中埋設標等	埋設深さは原則0.6m以下とし、それにより難い場合は監督職員と協議し決定すること。 （１）地中埋設標　・ 要（図示による。）　・ 不要 （２）埋設表示用テープ（２倍折込）　・ 要　・ 不要
㉘ 既設との取合い	本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。
㉙ 電源周波数	６０Ｈｚとする。
㉚ 電気工作物の種類と電気保安技術者	⊙ 事業用電気工作物　・　一般用電気工作物 電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。 電気保安技術者　事業用電気工作物：電気主任技術者　一般用電気工作物：電気工事士
㉛ 電気工事士	契約電力５００ｋW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
32　仮設備工事	仮設備期間（　・　図示　・　　） 仮電源等　（　・　受変電設備　・　発電設備　・　電灯設備　・　図示　）
㉝ 発生材の処理	・ 引渡しを要するもの ・ 金属類（　・ 機器　・ ダクト　・　その他の金物　） ⊙ 引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。 ・ 特別管理産業廃棄物 ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 （ＰＣＢ使用機器　　） ・ 蓄電池 広域認定事業者による処理を行い、管理票の写しを提出すること。 ・ イオン化式感知器 放射性同位元素等の規制に関する法律に基づき収集運搬、廃棄を行うこと。 ・ 再使用又は再資源化を図るもの

項目	特記事項
㉞ 電線本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線等は、経路、電線太さ、電線本数、管径、開閉器のトリップ値は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床埋設配管は図面上 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。 呼び線として、長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 メタルモールは立ち下がり部分にコーナーボックスを利用すること。
㉟ ｹｰﾌﾞﾙ行先表示	本工事で施工するケーブル等については行先表示札を取り付けること。 記載内容は電源（GC3φ200V等）、受注者名、施工者名等とし、詳細は監督職員の指示による。
㊱ 盤	盤を改修した際には盤内の単結図も修正すること。
㊲ 合成樹脂製配線	合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、ＰＦ管（単層管）の波付管以上を使用する。
㊳ 金属製電線管の塗装・仕上げ	下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。 ⊙ 屋外（内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所：全て（塗装箇所除く） ・ 屋内（　内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所　地階、ピット階　） ・ 塗装（　・　屋内　・　屋外　・　全て　・　図示　）
㊴ 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。
㊵ フラッシュプレート	図面に特記なき場合は、⊙ 金属製（ステンレス、新金属も含む）　・　樹脂製　とする。
㊶ タンプラスイッチ	タンプラスイッチはネーム付とする。
㊷ 配線器具等	配線器具（ｽｲｯﾁ､ｺﾝｾﾝﾄ他）の現場納り等による仕様、数量については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
㊸ 位置ボックス	図面に特記なき場合は、⊙ 金属製　・　樹脂製　とする。 位置ボックスで金属製を使用する場合、電力用には接地を施す。 ただし、耐火又は準耐火構造の壁等に用いる場合は、上記によらず金属製とする。
44　二重床内器具	二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。
㊺ 機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督職員の承諾を得れば可とする。
㊻ 施工者銘板	新設、改造する盤の扉表面に施工者銘板を設置すること。 記載内容は施工年度、工事名称、ケーブル番号、ケーブルの種類（EM-CE2mm²-3C等）とした（改造した場合はその内容を記載したものを含む）施工者銘板を設置すること。
㊼ 照明設備の照度測定	一般照明及び非常照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。
48　自家発電設備の配管工事等	原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督職員の承諾を受けて図面と多少相違しても差し支えない。
49　天井仕上げ表示	図面において、室名に（　）を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。
50　インバータ装置の規約効率	三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。 電動機出力（kW）：0.4 / 0.75 / 1.5 / 2.2 / 3.7 / 5.5 / 7.5 / 11 / 15 / 18.5 / 22 / 30 / 37 / 45 規約効率（%）：86.0 / 88.5 / 92.0 / 93.0 / 94.0 / 94.0 / 94.5 / 94.5 / 95.0 / 95.5 / 95.5 / 95.5 / 95.5 / 95.5 備考（１）規約効率は、JET-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。 （２）規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

図面名	縮尺	設計番号	工事名	図面番号
特記仕様書 建築電気設備１	1:NO （A2）	作図 令和７年１１月	桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）　設計図	E-01
四日市市都市整備部営繕工務課			１級建築士　登録第　号 四日市市諏訪町１番５号	/

令和7年11月版

項　目	特　記　事　項

(51) 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名　　称	測　　点	取付高さ　[mm]
ブラケット（一般）	床上 ～ 中心	2,100
〃　（踊場）	〃	2,500
〃　（鏡上）	鏡上端 ～ 中心	150
スイッチ　（一般）	床上 ～ 中心	1,200
〃　（多機能便所用）	〃	1,200
自動スイッチ（操作スイッチ）　照明、換気扇用等	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ，電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ，ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	〃	300
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台上 ～ 中心	150
コンセント（土間）	床上 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント（電動車いす充電用）	〃	900
引込開閉器箱（低圧）	床上 ～ 上端	1,500
分電盤，制御盤，実験盤	床上 ～ 中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上，床上 ～ 中心	500
試験用接続端子箱	床上 ～ 下端	800
接地極埋設標	地上 ～ 中心	600
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上 ～ 下端	300
中間端子盤（ＥＰＳ・電気室）	床上 ～ 中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500（上端1,900以下）
子時計，スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アッテネータ	〃	1,200
表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,200
外部受付用インターホン（子機）	〃	標準図による
壁付インターホン　（上記以外）	〃	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	〃	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,300
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下 ～ 上端	200
火報受信機（複合盤）	床上 ～ 操作部	800 ～ 1,500
副受信機	床上 ～ 中心	1,500
機器収容箱（火災報知設備）	〃	800 ～ 1,500
発信機	〃	800 ～ 1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯（火災報知設備）	〃	（天井高）×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	〃	300
ガス漏れ検知器（軽ガス）	天井面 ～ 中心	（天井高）－200
扇風機	天井下 ～ 上端	（天井高）－200

（参考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

52 接 地 極

接地極の材料は下記による。なお接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1,500mm 以上とし、10φは
Ｗ＝30 Ｌ＝900mm 以上、14φは、Ｗ＝40 Ｌ＝1,200mm 以上としても差し支えない。

接 地 の 種 類	記　　号	接地抵抗値	接　地　極　（ 参　考 ）
・ 共 同 接 地	E_{ABDC}	Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－ 組
・ 共 同 接 地	E_{BDC}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－3組
・ Ａ　　種	E_A	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－2組
・ Ｂ　　種	E_B	Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－2組
・ Ｄ　　種	E_D	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×1　（Ｌ＝1,000mm）
・ Ｃ　　種	E_C	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－2組
・ 高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－3組
・ 低圧避雷器用	E_{LL}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－2組
・ 構造体接地			
・ 交 換 機 用	E_T	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－3組
・ 通　　信	E_{AT}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×3連－3組
・ 通　　信	E_{DT}	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×1　（Ｌ＝1,000mm）
・ 電話引込口の保安器用	E_{LT}	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×1　（Ｌ＝1,000mm）
・ 測　　定　　用	E_S		ＥＢ（10φ）×1　（Ｌ＝1,000mm）

項　目	特　記　事　項

53 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電　動　機	器具容量、コンデンサ回路の配線								
定格出力 [kW]	定格電流（参考値） [A]	配線用遮断器等 [A]			電流計 [A]	コンデンサ回路		コンデンサ [μF]	
		直入始動	Y-Δ始動	インバータ入力側 [A]		接続する電線(IV-1C)の最小太さ[mm²]			
		MCCB	MCCB			長さ8m以下	長さ8m以下	50Hz	60Hz
0.2	1.8	15	—	15	3	2	2	15	10
0.4	3.2	15	—	15	5	2	2	20	15
0.75	4.6	15	—	15	5	2	2	40	30
1.5	8	30	—	15	10	2	2	75	40
2.2	11.1	40	—	20	15	2	2	100	50
3.7	16.8	60	—	30	20	2	2	150	75
5.5	24.6	75	60	50	30	2	2	200	100
7.5	34	125	75	60	40	5.5	2	250	150
11	48	125	125	75	60	5.5	3.5/2	300	200
15	64	125	150	125	100	5.5	3.5	400	250
18.5	79	150	175	125	100	8	5.5/3.5	500	300
22	92	175	200	150	100	14	8/5.5	800	400
30	124	225	300	200	150	22	14/8	900	500
37	152	300	350	225	200	22	22/14	1,200	700

400V三相誘導電動機回路の器具容量等

電　動　機	器具容量、コンデンサ回路の配線								
定格出力 [kW]	定格電流（参考値） [A]	配線用遮断器等 [A]			電流計 [A]	コンデンサ回路		コンデンサ [μF]	
		直入始動	Y-Δ始動	インバータ入力側 [A]		接続する電線(IV-1C)の最小太さ[mm²]			
		MCCB	MCCB			長さ8m以下	長さ8m以下	50Hz	60Hz
0.2	0.9	15	—	—	3	2	2	5	5
0.4	1.6	15	—	15	3	2	2	5	5
0.75	2.3	15	—	15	5	2	2	10	7.5
1.5	4	15	—	15	5	2	2	20	10
2.2	5.5	20	—	15	10	2	2	25	15
3.7	8.4	30	—	15	10	2	2	30	20
5.5	12.3	40	30	30	15	2	2	50	30
7.5	17	60	40	30	20	2	2	50	40
11	24	75	60	50	30	2	2	75	50
15	32	100	75	60	40	3.5	2	100	50
18.5	39.5	125	100	75	60	5.5	2	125	75
22	46	125	100	100	60	5.5	3.5/2	200	100
30	62	125	150	125	100	5.5	3.5	200	125
37	76	150	175	125	100	8	3.5	200	150
45	95	175	225	150	100	14	8/5.5	300	200
55	114	225	250	175	150	14	8/5.5	300	200
75	155	300	350	225	200	22	14/8	500	300
90	180	350	400	300	200	38	38/14	700	400
110	220	400	500	350	250	38	38/22	800	500

アスベスト含有物の取扱い

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　第9章

図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）」（以下「改修標仕」という。）による。
特記事項に記載の［　．　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

① 一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
・ アスベスト除去に係う官公署等への届出申請を行うこと。
　石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
・ 石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
・ アスベスト除去に係う作業計画の作成を行うこと。
・ アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

② アスベスト含有建材の処理工事

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　・行わない　［9.1.1］
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　・行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　・行わない
施工箇所及び工法　※図示

③ アスベストの含有調査

事前調査（有資格者）　・行う　・行わない　［9.1.2］
調査結果報告書等の貸与　・有　・無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　・行わない
・定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

④ アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付材の有無　・有　・無　［9.1.3］
除去吹付材（　　）含有場所（　　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う

表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測　定　場　所	測　定　点　（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	１点	空気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置 の排出口 （処理作業室外の場合）	１点	（注）２
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	－
処理作業後 （隔離シート撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
　　300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測　定　3	測定1，2，4，6，7，8	測　定　5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑤ アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　・有　・無　［9.1.4］
除去保温材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥ アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　○有　・無　［9.1.5］
除去成形板（　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ，ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ，ｹｲｶﾙ板　）含有場所（　建築図による　）
作業場の区画　・行う　○行わない
処分方法
石綿含有石膏ボード
※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
○埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
○中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑦ アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。　［9.1.6］
アスベスト含有仕上塗材の有無　○有　・無
除去仕上塗材（　外装薄塗材E，ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付　）含有場所（　外壁、ほっとﾙｰﾑ・階段室　）
撤去の範囲　・全面撤去　・図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
・水洗い工法　・手工具ケレン工法
・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
作業場の隔離及び養生
・隔離養生不要　・隔離養生必要（負圧不要）・その他（　　）
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑧ アスベスト含有配管接続部シール材の除去

アスベスト含有シール材の有無　・有　・無
除去シール材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
除去工法
湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。
処分方法　・埋立処分
・アスベストの中間処理に適する溶融施設
・認定を受けた無害化処理施設

⑨ 特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）
※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
　又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項
１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

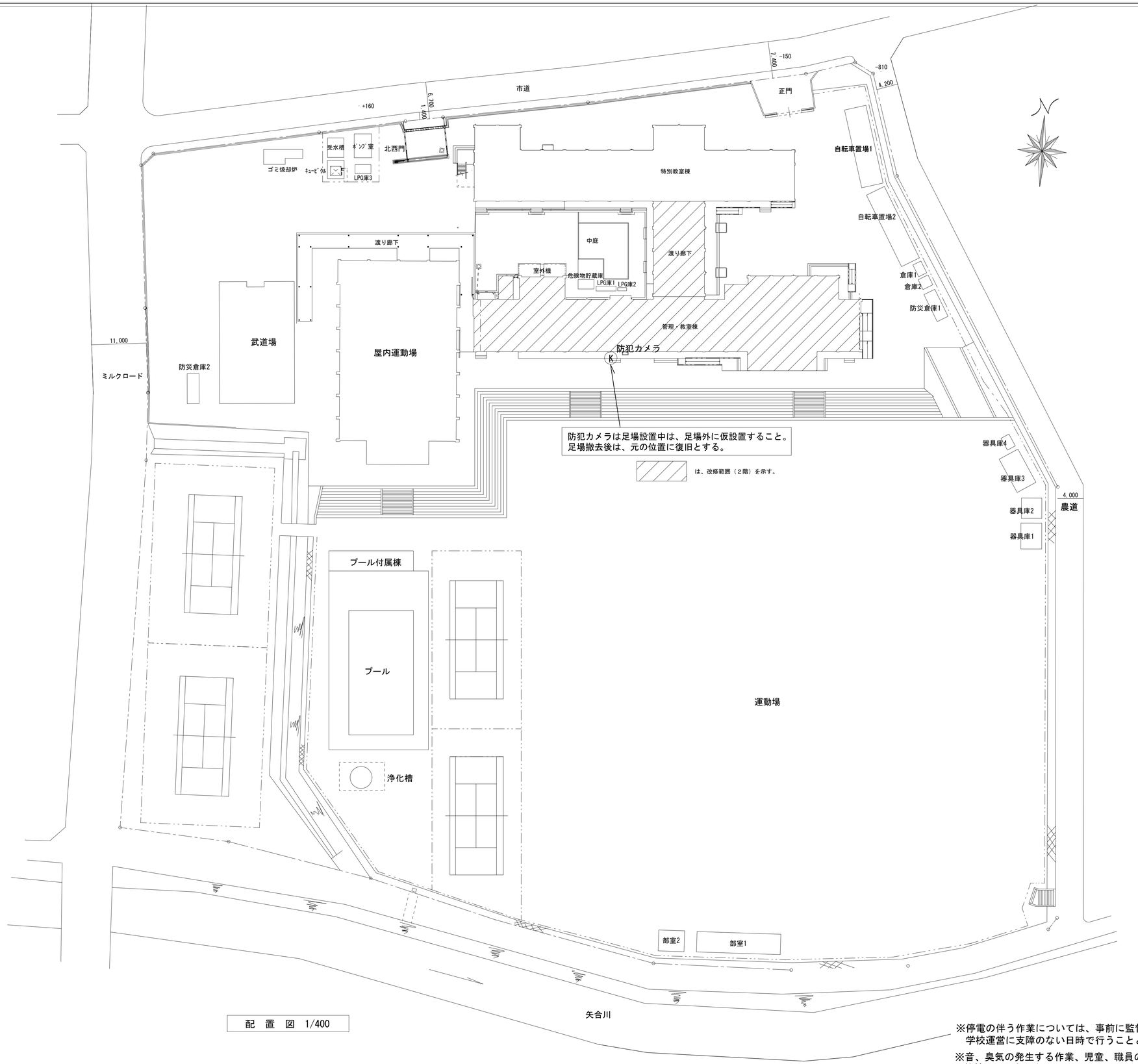
＜喫煙に関する事項＞
　学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
　工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
　設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項
（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及びこと、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、この従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項
１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるものほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

図面名	特記仕様書 建築電気設備２	縮尺	1:NO (A2)	設計番号	工事名	図面番号
				作図 令和７年１１月	桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）　設計図	E-02
四日市市都市整備部営繕工務課					１級建築士　登録第　　号 四日市市諏訪町１番５号	/ 令和7年11月版



配　置　図　1/400

※停電の伴う作業については、事前に監督職員及び学校関係者と協議し、
学校運営に支障のない日時で行うこととし、必要に応じ、仮設をすること。

※音、臭気の発生する作業、児童、職員の通行の妨げとなる作業は原則として
休校日に行うこと。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事) ★	配置図 ★	A1: 1:400 A3: 1:800 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

E-03

既設
電灯盤　1L-2 露出型 上部ダクト　鋼板製

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)							
*A		防火戸制御機	A				
MCB3P 50/30		L-1T（将来トイレコンセント用）	B		C		MCB3P 50/30
MCB3P 50/30		L-3T（将来トイレコンセント用）	D		E		MCB3P 50/30

X MCCB3P 100/75A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		かがやき、保健室、第3相談室、第2相談室照明	1	2	昇降口照明		*A
*A		かがやきコンセント	3	4	保健室コンセント		*A
*A		保健室、第2相談室コンセント	5	6	配膳室照明		*A
*B		配膳室コンセント	7	8	校舎南屋外水銀投光器		*A
*A		多目的便所電灯	9	10	配膳室冷蔵庫コンセント		*B
*B		多目的便所コンセント	11	12	予　備		*B
*B		EV内コンセント	13	14	予　備		*C
*A		EV照明	15	16	予　備		*C
*A		1～4階 EVホール照明	17	18	予　備		*B
*B		保健室コンセント	19	20	配膳室温水器		*B
*B		予　備	21				

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A
*C---ELCB2P50/30A

改修後（回路名称変更）
電灯盤　1L-2 露出型 上部ダクト　鋼板製

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)							
*A		防火戸制御機	A				
MCB3P 50/30		L-1T	B		C	L-2T	MCB3P 50/30
MCB3P 50/30		L-3T	D		E	L-4T	MCB3P 50/30

X MCCB3P 100/75A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		かがやき、保健室、第3相談室、第2相談室照明	1	2	昇降口照明		*A
*A		かがやきコンセント	3	4	保健室コンセント		*A
*A		保健室、第2相談室コンセント	5	6	配膳室照明		*A
*B		配膳室コンセント	7	8	校舎南屋外水銀投光器		*A
*A		多目的便所電灯	9	10	配膳室冷蔵庫コンセント		*B
*B		多目的便所コンセント	11	12	予　備		*B
*B		EV内コンセント	13	14	予　備		*C
*A		EV照明	15	16	予　備		*C
*A		1～4階 EVホール照明	17	18	予　備		*B
*B		保健室コンセント	19	20	配膳室温水器		*B
*B		予　備	21				

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A
*C---ELCB2P50/30A

新設
西側電灯盤 L-1T　鋼板製　露出型

1φ3W210/105V
X MCCB3P50/30A

750	女子便所コンセント	1	2	女子便所コンセント	700
400	男子便所コンセント	3	4	男子便所コンセント	400
	予備	5	6	予備	

ELCB2P50/20A×6

新設
西側電灯盤 L-2T　鋼板製　露出型

1φ3W210/105V
X MCCB3P50/30A

750	女子便所コンセント	1	2	女子便所コンセント	700
400	男子便所コンセント	3	4	男子便所コンセント	400
	予備	5	6	予備	

ELCB2P50/20A×6

新設
西側電灯盤 L-3T　鋼板製　露出型

1φ3W210/105V
X MCCB3P50/30A

750	女子便所コンセント	1	2	女子便所コンセント	700
400	男子便所コンセント	3	4	男子便所コンセント	400
	予備	5	6	予備	

ELCB2P50/20A×6

新設
西側電灯盤 L-4T　鋼板製　露出型

1φ3W210/105V
X MCCB3P50/30A

750	女子便所コンセント	1	2	女子便所コンセント	700
400	男子便所コンセント	3	4	男子便所コンセント	400
	予備	5	6	予備	

ELCB2P50/20A×6

既設
電灯盤　2L-1 埋込型　鋼板製

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)							
ﾛｯｸ付	*A		防火ｼｬｯﾀｰ電源（将来用）	A			

X MCCB3P 60/60A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	図書室照明		*A
*A		資料室 便所 廊下照明	5	6	西－１，２教室コンセント		*A
*A		西－３，４教室コンセント	7	8	西－５，６教室コンセント		*A
*A		図書室コンセント	9	10	教材室コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	11	12	増設教室照明		*A
*B		多目的便所コンセント	13	14	女子便所コンセント		*B
*B		女子便所コンセント	15	16	男子便所コンセント		*B
*B		予　備	17	18	予　備		*B
*B		予　備	19	20	予　備		*B

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A

改修後（回路名称変更）
電灯盤　2L-1 埋込型　鋼板製

1φ3W210/105V

負荷容量(VA)							
ﾛｯｸ付	*A		予備	A			

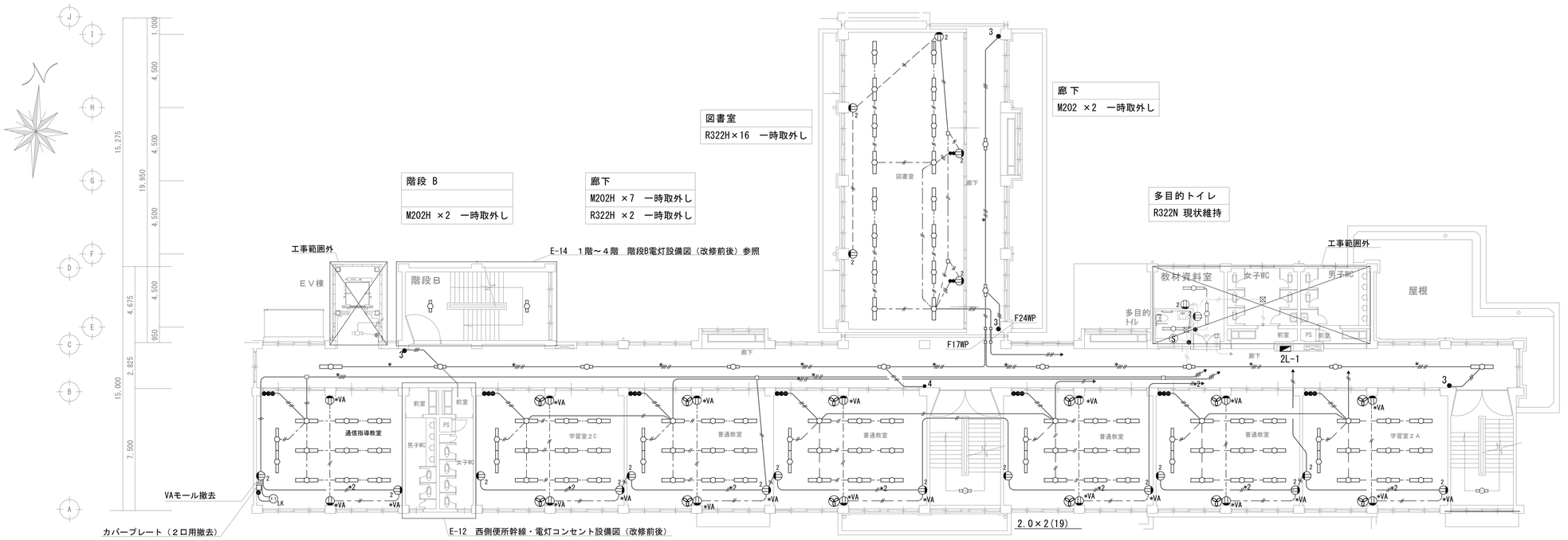
X MCCB3P 60/60A

負荷容量(VA)						負荷容量(VA)	
*A		西－１，２教室照明	1	2	西－３，４教室照明		*A
*A		西－５，６教室照明	3	4	図書室照明		*A
*A		資料室 便所 廊下照明	5	6	学習室2Cコンセント		*A
*A		普通教室(3-3)コンセント	7	8	普通教室(3-2)コンセント		*A
*A		図書室コンセント	9	10	教材室、廊下コンセント		*A
*A		増設教室コンセント	11	12	増設教室照明		*A
*B		多目的便所コンセント	13	14	女子便所コンセント		*B
*B		女子便所コンセント	15	16	男子便所コンセント		*B
*B		普通教室(3-1)コンセント	17	18	学習室2B		*B
*B		学習室2A	19	20	予　備		*B

*A---MCCB2P50/20A
*B---ELCB2P50/20A

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	電灯盤結線図(改修前後) ★	A1: N:S A3: N:S ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-04

改修前



２階平面図（改修前）　1／150

ほっとルーム
R322N+ｶﾞｰﾄﾞ付 ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

学習室２C
R322N ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

普通教室(3-3)
R322N ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

普通教室(3-2)
R322N ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

階段 C
M202H ×1　現状維持

普通教室(3-1)
R322N ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

学習室２B
R322N ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

学習室２A
R322N ×9　一時取外し
C322H ×2　一時取外し

階段 A
M202H ×1　現状維持

凡例

記号	名　称	備　考
	LEDベースライト	
	天井埋込換気扇	
●	タンプラスイッチ	1P15A×1
●	タンプラスイッチ	1P15A×2
●	タンプラスイッチ	1P15A×3
●	タンプラスイッチ	1P15A×1+PL×1
●3	タンプラスイッチ	3W15A×1
●L	パイロットスイッチ	
	壁付けコンセント	2P15A×1
	電灯分電盤	
	壁付扇風機	
LX	抜け止めコンセント	2P15A×1

記入なき配線は下記による。

———	IV 1.6×2 (19)	
—//	IV 2.0×2 (19)	
—///	IV 2.0×3 (19)	
—////	IV 2.0×4 (25)	
—/////	IV 2.0×5 (25)	
—//*2	IV 2.0×2 (19)	床埋設
— - —	VVF 1.6-2C	天井ころがし
—// —	VVF 2.0-2C	天井ころがし
—/// —	VVF 2.0-3C	天井ころがし
·····	既設流用	

器具類及び配線は撤去とする。但し、*印は配管も撤去とする。
破線の器具は既設流用とする。
*VA　立下りVAモール

照明器具表

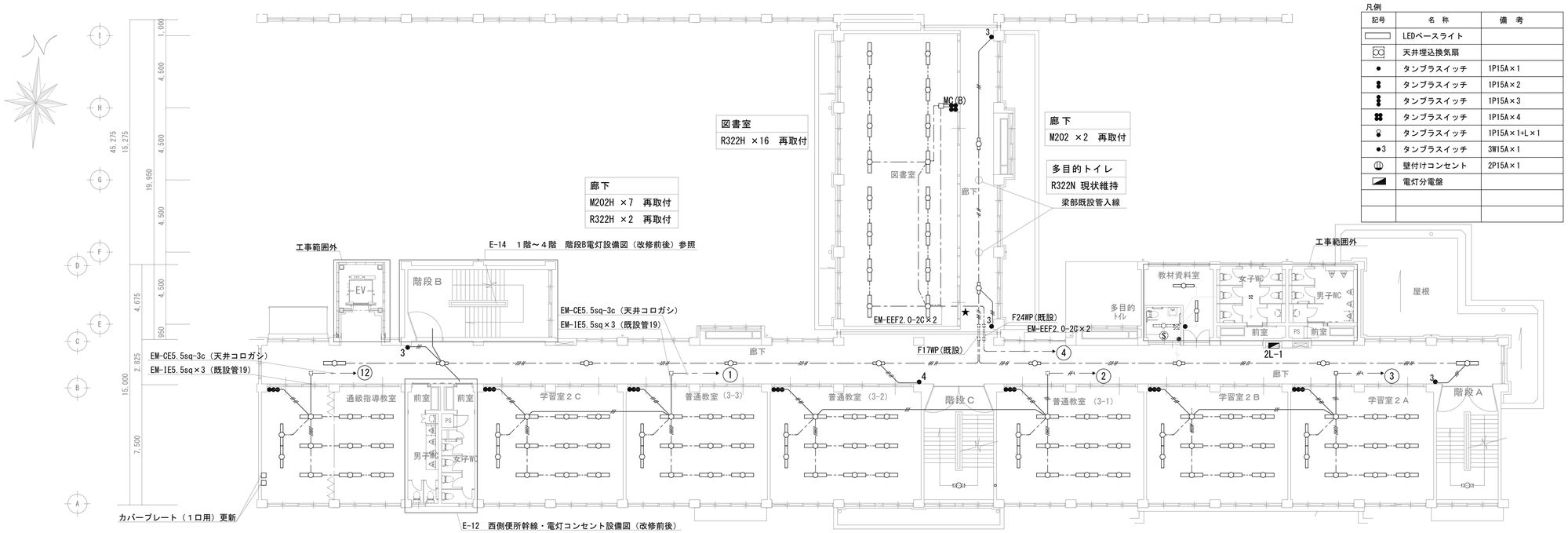
記号	品番	光束(lm)	消費電力(W)
C322H	直付XLX460BSNT LE9	4,600	43.1
M202	直付XLX210AENC LE9	1,600	11.6
R322N	直付XLX459DEN LE9	5,900	31.9
M202H	直付XLX230AENC LE9	3,200	21.8
R322H	直付XLX460AENP LE9	6,900	43.1

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	２階　電灯コンセント設備平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

E-05

改修後



凡例

記号	名 称	備 考
	LEDベースライト	
	天井埋込換気扇	
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
●2	タンブラスイッチ	1P15A×2
●3	タンブラスイッチ	1P15A×3
●	タンブラスイッチ	1P15A×4
●	タンブラスイッチ	1P15A×1+L×1
●3	タンブラスイッチ	3W15A×1
	壁付けコンセント	2P15A×1
	電灯分電盤	

記入なき配線は下記による。

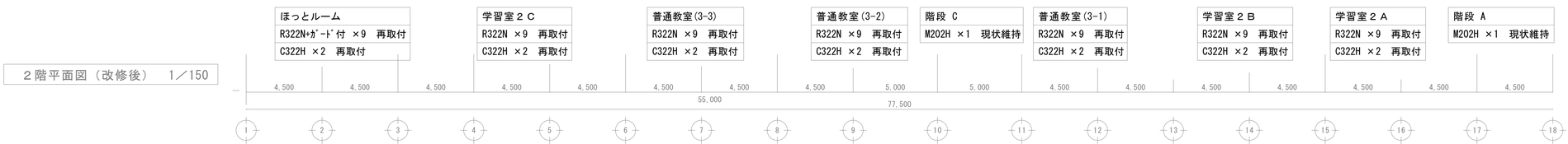
——//——	EM-IE 2.0×2（既設管19）
————	EM-IE 1.6×2（既設管19）
——///——	EM-IE 2.0×3（既設管19）
——////——	EM-IE 1.6×4（既設管25）
——/\——	EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ
—— - ——	EM-EEF 1.6-3C 天井内コロガシ
——//——	EM-EEF 1.6-2C×2 天井内コロガシ
——///——	EM-EEF 1.6-3C+2C 天井内コロガシ
——////——	EM-EEF 1.6-3C×2 天井内コロガシ
·····（既設流用）	既設流用

器具の破線は既設流用とする。
天井内配線はコロガシとする。
壁内配線は既設配管を流用とする。
一点鎖線は天井内コロガシ。
実線は既設配管流用とする。

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
□MC メタルモールA型＋コーナーボックス使用。
□MJ メタルモールB型＋コーナーボックス使用。
★ 壁貫通補修

照明器具表

記号	品番	光束(lm)	消費電力(W)
C322H	直付XLX460BSNT LE9	4,600	43.1
M202	直付XLX210AENC LE9	1,600	11.6
R322N	直付XLX459DEN LE9	5,900	31.9
M202H	直付XLX230AENC LE9	3,200	21.8
R322H	直付XLX460AENP LE9	6,900	43.1



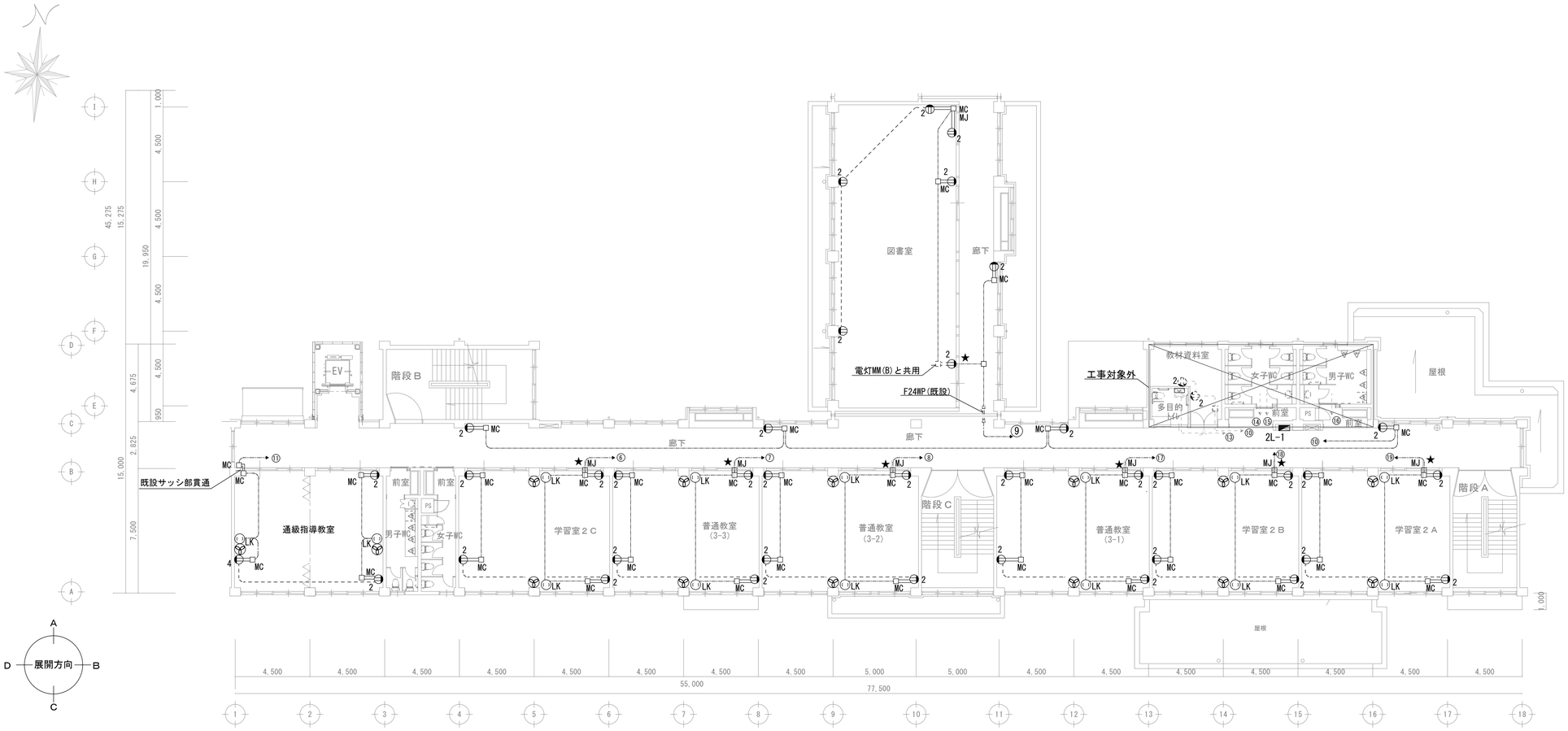
２階平面図（改修後） 1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	２階 電灯設備平面図（改修後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録 222551
田中 富士夫

E-06

改修後



凡例表

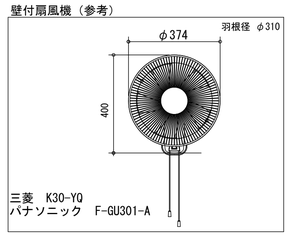
記　号	名　　称	備　　考
⊕2	壁付コンセント	2P15A×2
⊕4	壁付コンセント	2P15A×4
○LK	天井付抜け止めコンセント	2P15A×1
⊛	壁付扇風機	羽根径　φ300
◢	電灯分電盤	

記入なき配線は下記による。

- EM-EEF 2.0-3C 天井内コロガシ
- EM-IE 2.0×2 E1.6(19)　床埋設 既設管に入線
- EM-IE 2.0×2 E1.6(19)　天井内配管　既設管に入線
- EM-IE 2.0×2 E1.6(19)　天井内配管　既設管に入線

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
*A--メタルモールA型＋コーナーボックス使用。
★印は壁貫通補修、防火区画貫通処理を示す。

壁付扇風機（参考）



三菱　K30-YQ
パナソニック　F-GU301-A

２階平面図（改修後）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	２階　コンセント設備平面図（改修後） ★	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	E-07

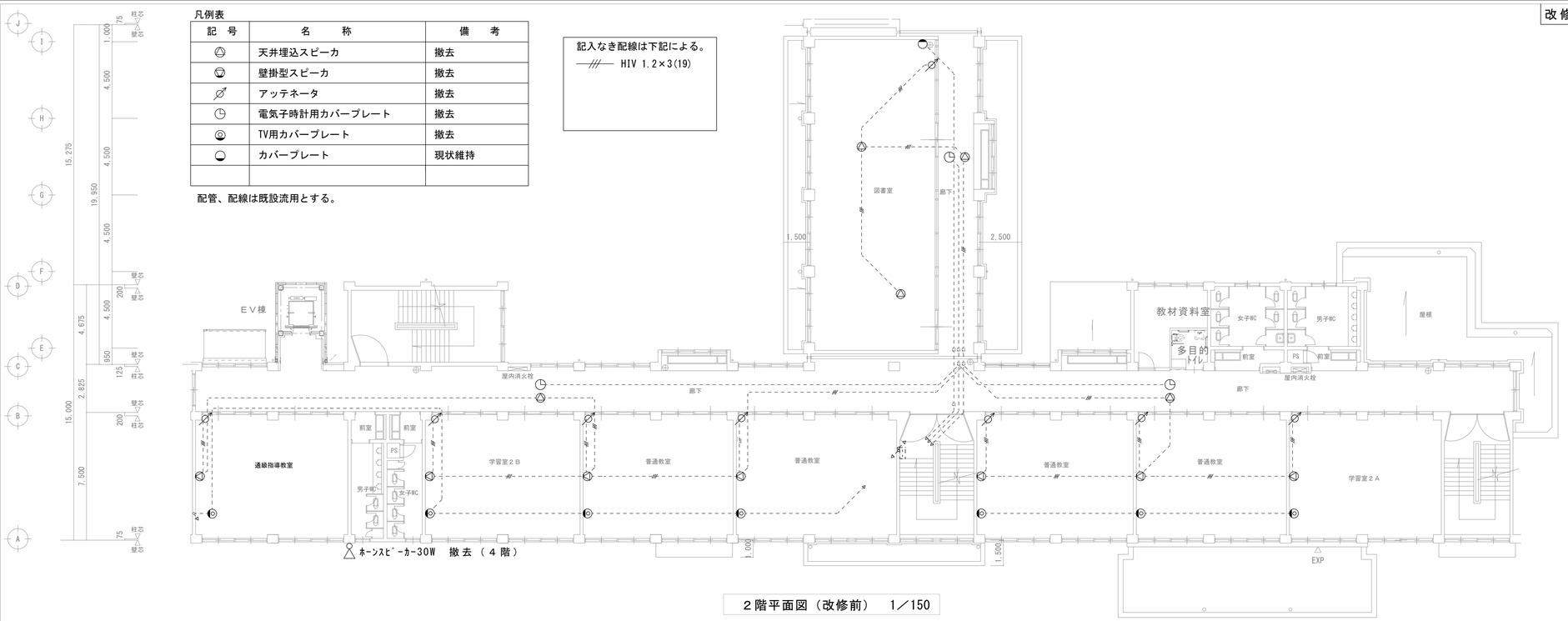
改修前

凡例表

記　号	名　　称	備　　考
△	天井埋込スピーカ	撤去
▽	壁掛型スピーカ	撤去
⌀	アッテネータ	撤去
◷	電気子時計用カバープレート	撤去
◎	TV用カバープレート	撤去
○	カバープレート	現状維持

配管、配線は既設流用とする。

記入なき配線は下記による。
HIV 1.2×3(19)



２階平面図（改修前） 1／150

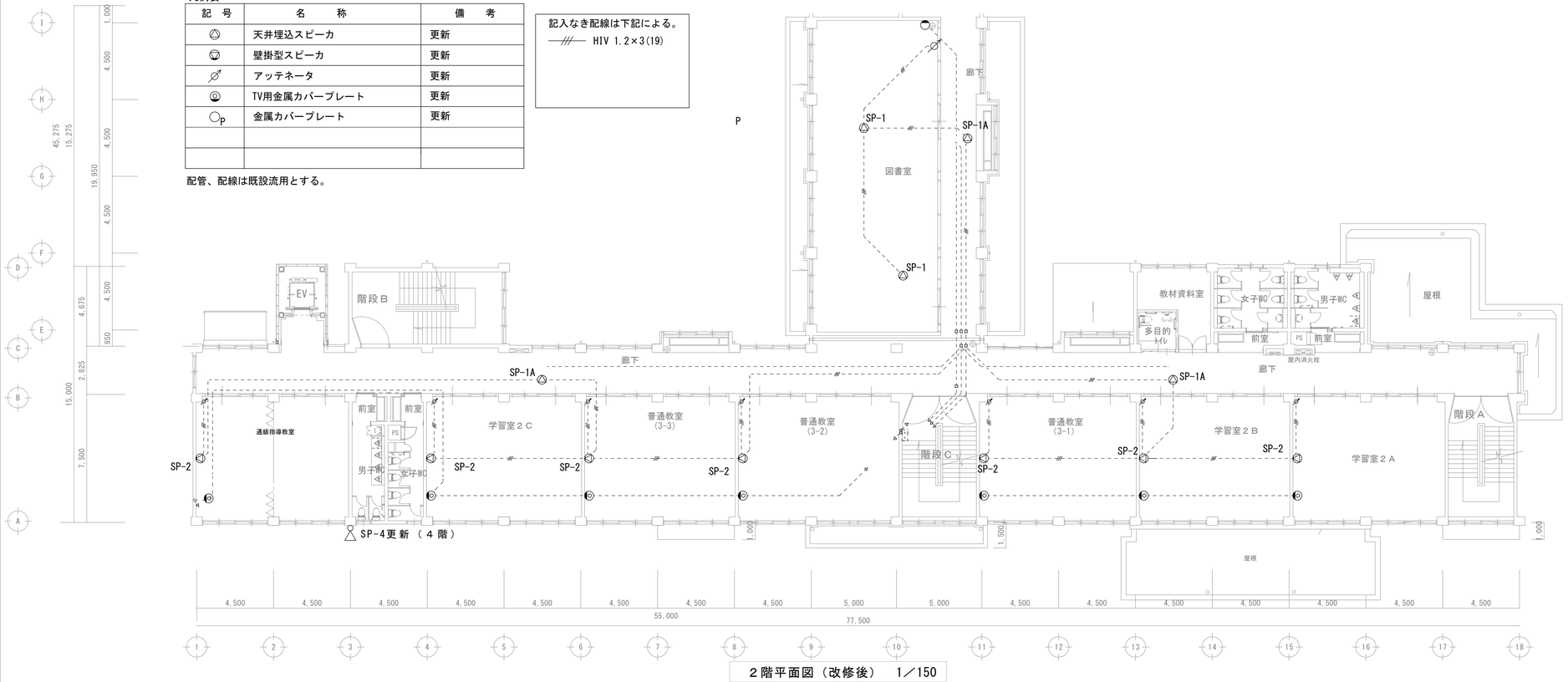
改修後

凡例表

記　号	名　　称	備　　考
△	天井埋込スピーカ	更新
▽	壁掛型スピーカ	更新
⌀	アッテネータ	更新
◎	TV用金属カバープレート	更新
○P	金属カバープレート	更新

配管、配線は既設流用とする。

記入なき配線は下記による。
HIV 1.2×3(19)

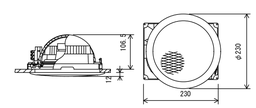


２階平面図（改修後） 1／150

拡声機器姿図（参考）

SP-1	天井埋込型スピーカー	SC6-Hi-1V0-M
SP-1A	天井埋込型スピーカー　ＡＴＴ付	SC6-Hi-1V3-M

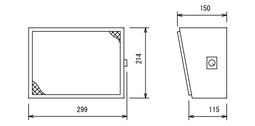
Ｌ級



定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１００Ｈｚ～１２ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕上	枠：アルミ　オフホワイト
その他	ネット：アルミ　オフホワイト
	スピーカカバー一体型

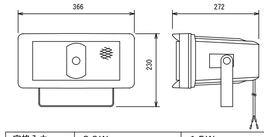
SP-2	木製壁掛型スピーカー	SW2Hi-1V0
SP-2A	木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付	SW2Hi-1V3

Ｌ級



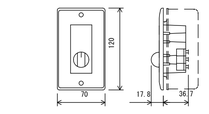
定格入力	３Ｗ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）
周波数特性	１５０Ｈｚ～１３ｋＨｚ
スピーカ等級	Ｌ級
音量調節	４段切換
仕上	ケース：木製　ライトグレー
	前面：ジャージネット　ライトグレー

SP-4	ホーンスピーカ　３０Ｗ	SH-30



定格入力	３０Ｗ	１５Ｗ
出力音圧レベル	９８ｄＢ（１Ｗ，１ｍ）	
周波数特性	１２０Ｈｚ～１５ｋＨｚ	
スピーカ	定指向性ホーン＋１２ｃｍコーン型	
水平指向性	定指向性ホーン　９０°	
スピーカ等級	Ｌ級	
仕上	ホーン、カバー：樹脂　オフホワイト	

⌀	音量調節器	V-1S



入力容量	0.5～3W
音量切換	５段階切換
仕上	プレート：アルミ

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	２階　拡声・電気時計・テレビ共聴設備平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300					
★	★	★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

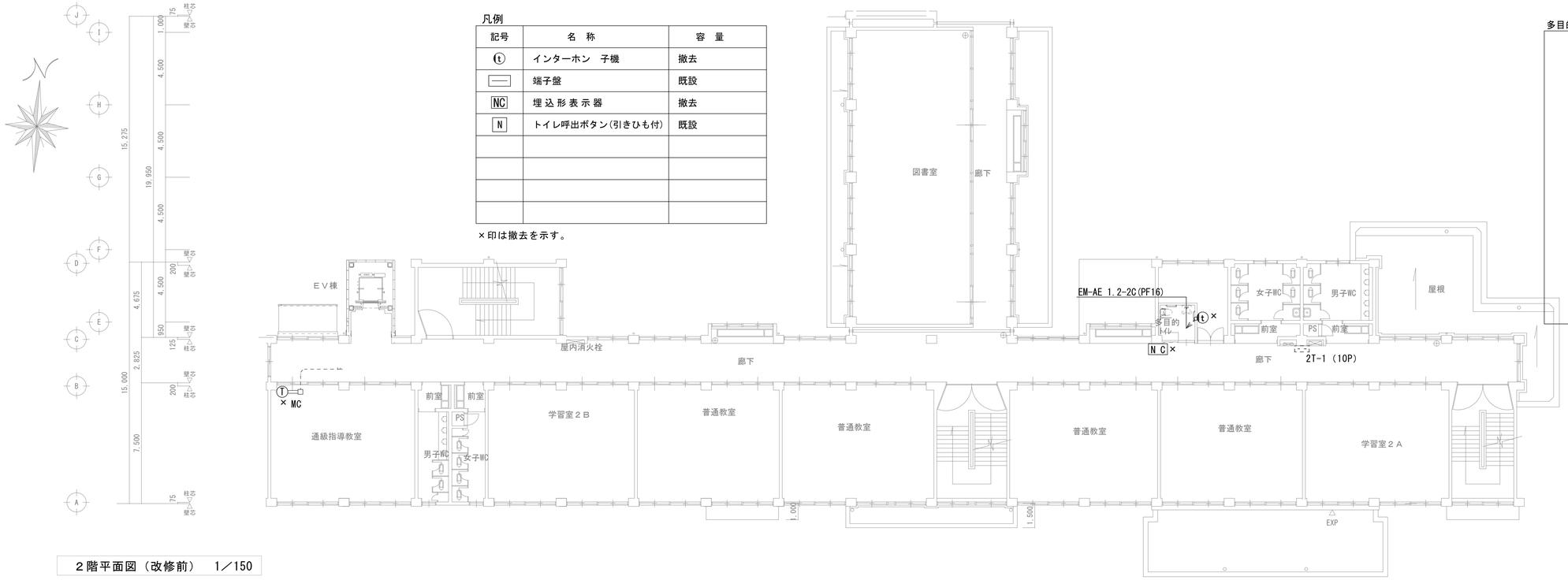
E-08

改修前

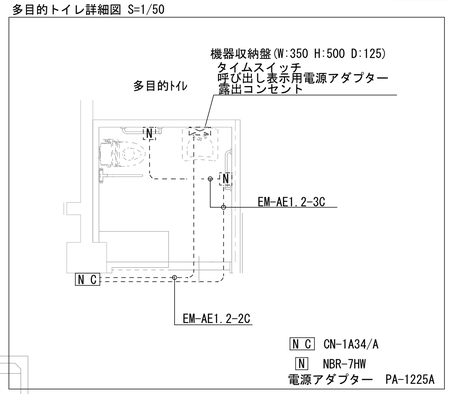
凡例

記号	名　称	容　量
ⓣ	インターホン　子機	撤去
―	端子盤	既設
NC	埋込形表示器	撤去
N	トイレ呼出ボタン(引きひも付)	既設

×印は撤去を示す。



多目的トイレ詳細図 S=1/50



NC　CN-1A34/A
N　NBR-7HW
電源アダプター　PA-1225A

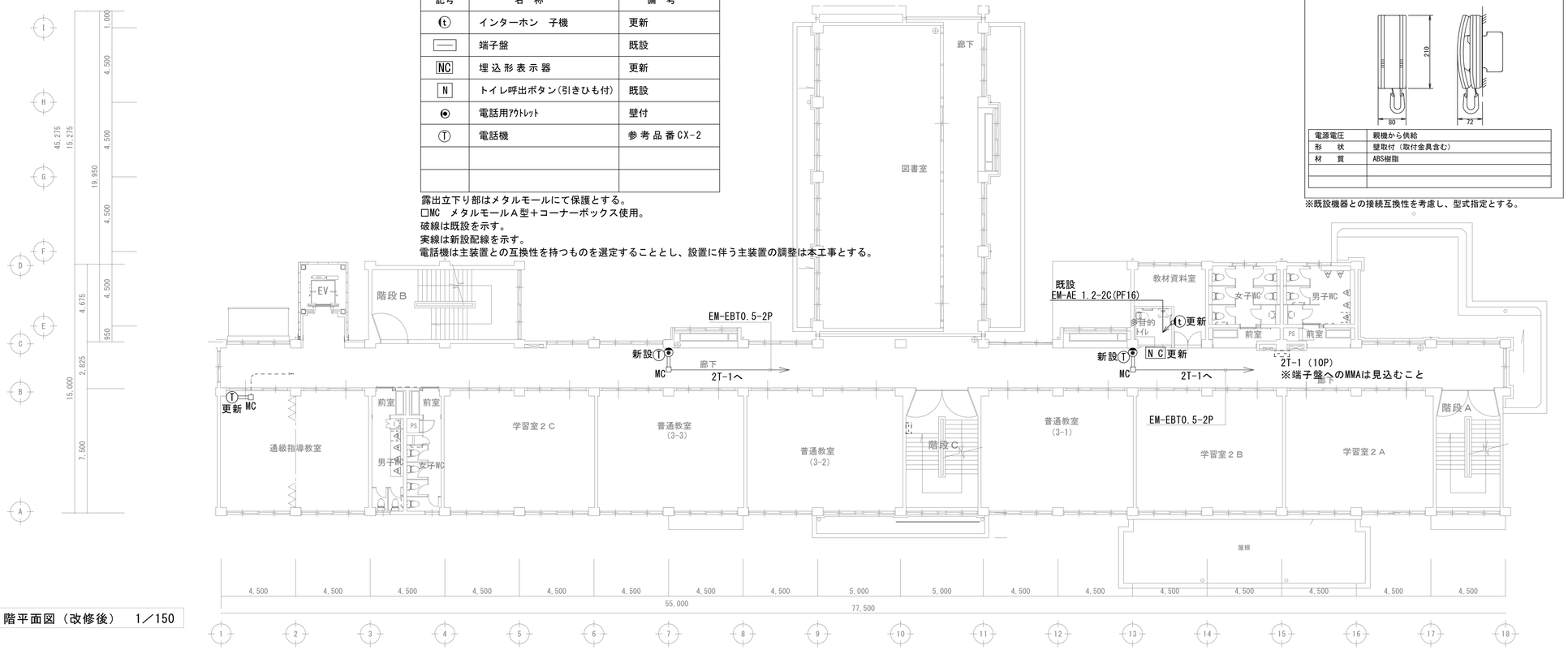
２階平面図（改修前）　1／150

改修後

凡例

記号	名　称	備　考
ⓣ	インターホン　子機	更新
―	端子盤	既設
NC	埋込形表示器	更新
N	トイレ呼出ボタン(引きひも付)	既設
◉	電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ	壁付
Ⓣ	電話機	参考品番CX-2

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
□MC　メタルモールＡ型＋コーナーボックス使用。
破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。
電話機は主装置との互換性を持つものを選定することとし、設置に伴う主装置の調整は本工事とする。



ⓣ　インターホン　子機

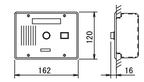
TB-SE（アイホン）

電源電圧	親機から供給
形　状	壁取付（取付金具含む）
材　質	ABS樹脂

※既設機器との接続互換性を考慮し、型式指定とする。

NC　埋込形表示器

CN-1A34/A（アイホン）



電源電圧	ＤＣ１２Ｖ（電源アダプタから供給）
形　状	埋込形（ＪＩＳ３個用スイッチボックス）
材　質	ステンレス
窓　数	１窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

※既設機器との接続互換性を考慮し、型式指定とする。

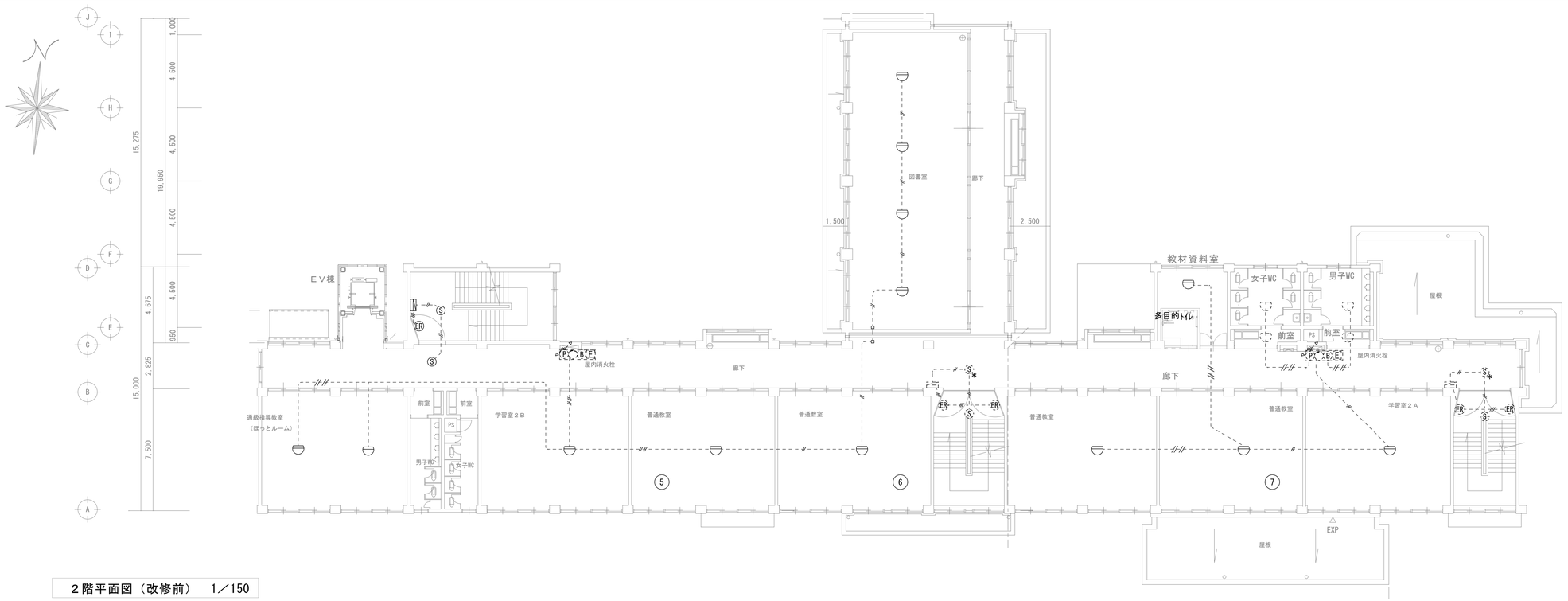
２階平面図（改修後）　1／150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	２階　弱電設備平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

E-09

改修前



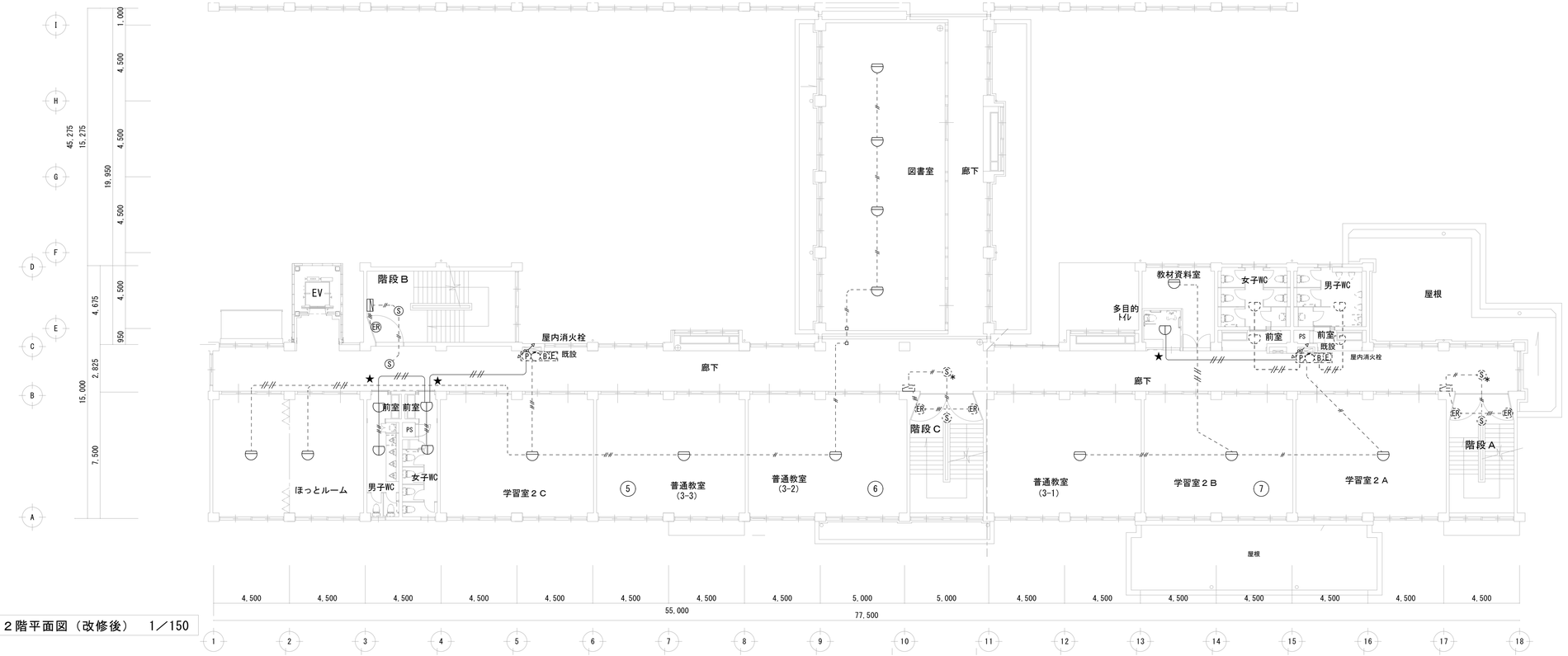
２階平面図（改修前）　1／150

凡例表

記号	名称	備考
P B E	消火栓組込	現状維持
P	P型1級発信機	現状維持
	表示灯	現状維持
B	ベル	現状維持
E	消火栓起動押ボタン	現状維持
S	煙感知器　２種	撤去
	差動式スポット型感知器　２種	撤去
	定温式スポット型感知器　１種防水	撤去
	定温式スポット型感知器　特種	撤去
⊠	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
NO	警戒区域番号	
ER	電磁レリーズ　扉用	撤去
ER SS	電磁レリーズ　シャッター用	撤去
S	煙感知器　３種	撤去
S*	煙感知器　３種	脱着
	連動制御器　１回線用	撤去

配管、配線は既設流用とする。

改修後



２階平面図（改修後）　1／150

凡例表

記号	名称	備考
P B E	消火栓組込	現状維持
P	P型1級発信機	現状維持
	表示灯	現状維持
B	ベル	現状維持
E	消火栓起動押ボタン	現状維持
S	煙感知器　２種	更新
	差動式スポット型感知器　２種	更新
	定温式スポット型感知器　１種防水	更新
	定温式スポット型感知器　特種	更新
⊠	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
NO	警戒区域番号	
ER	電磁レリーズ　扉用	更新
ER SS	電磁レリーズ　シャッター用	
S	煙感知器　３種	更新
S*	煙感知器　３種	脱着
	連動制御器　１回線用	更新

配管、配線は既設流用とする。
消火栓ﾎﾞｯｸｽへの新設配線ルートのために立ち下がり部のMMAを見込むこと。

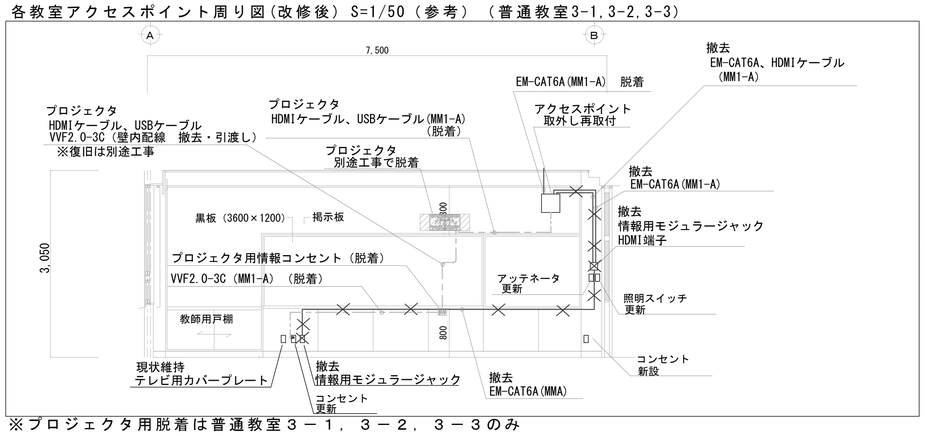
破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。
★　壁貫通補修
—###— EM-AE 1.2-4C 天井内

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）★	２階　自動火災報知設備平面図（改修前後）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

E-10

各教室アクセスポイント周り図(改修後) S=1/50（参考）（普通教室3-1,3-2,3-3）



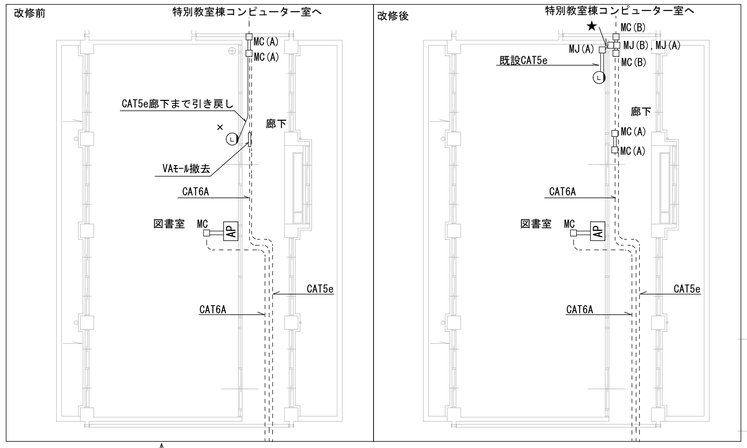
※プロジェクタ用脱着は普通教室３－１，３－２，３－３のみ

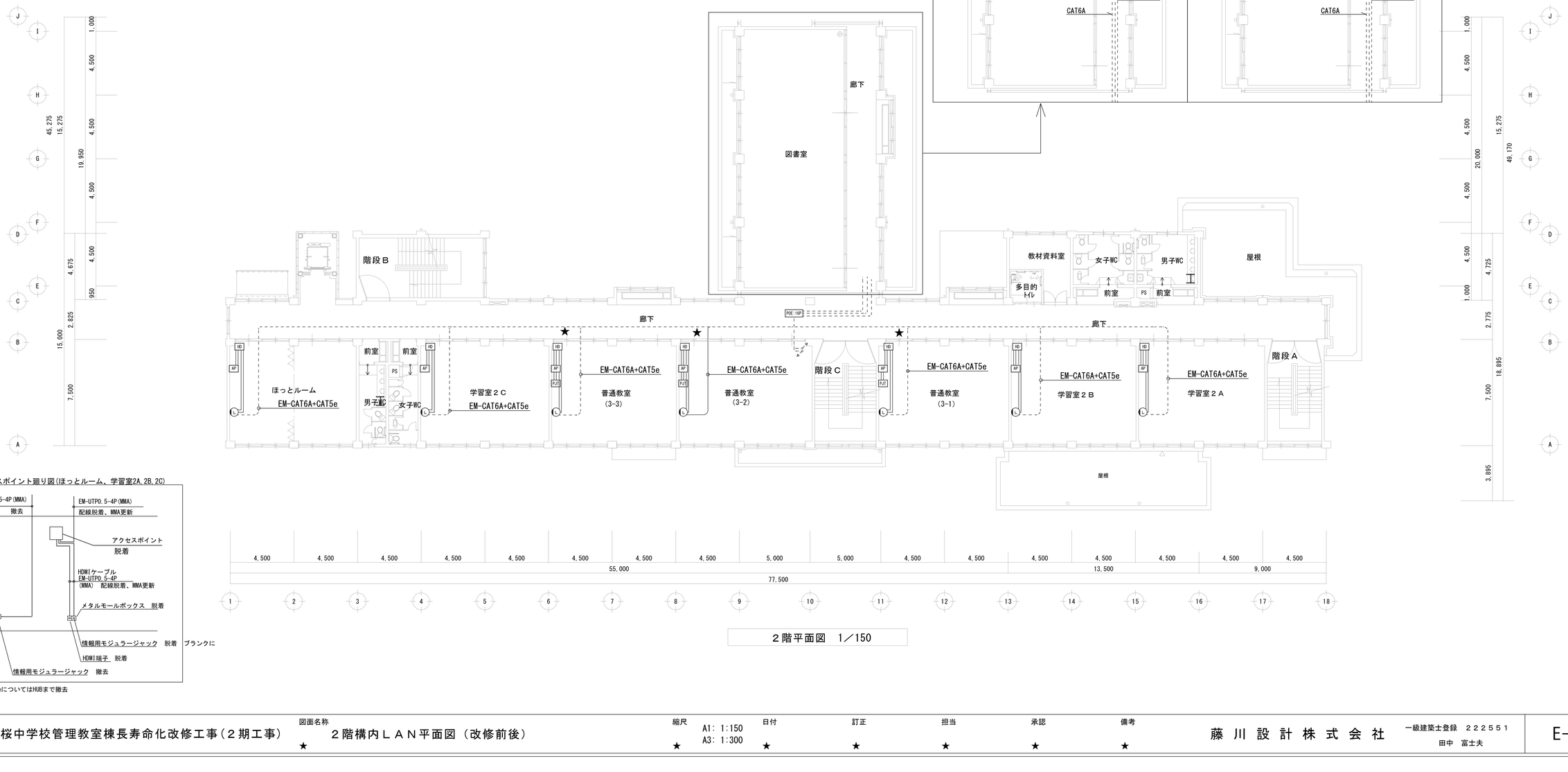
凡例表

記　号	名　　称	備　　考
L	ＬＡＮ受口　モジュラジャック８極８芯	
1D	ＬＡＮ受口＋ＨＤＭＩ受口＋ブランクキャップ	
PJT	プロジェクタ用情報コンセント(2E＋HDMI＋USB)	一時取外し再取付
AP	アクセスポイント	一時取外し再取付
POE 16P	POE　１６ポート	一時取外し再取付
★	壁貫通	

既設ケーブルは再使用とし、メタルモールは更新とする。

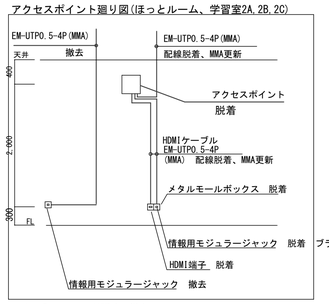
★ 区画貫通処理を示す。





２階平面図　1／150

アクセスポイント廻り図(ほっとルーム、学習室2A,2B,2C)



※Cate5eについてはHUBまで撤去

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	２階構内ＬＡＮ平面図（改修前後） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

E-11

凡例表

記号	名　　称	備　考
	LED直付照明器具	
	LED壁付照明器具	
S	人感センサー　親機　広角検知	子機を６台まで接続可能
S	人感センサー　子機　広角検知	
S N	人感センサー　子機	換気扇連動用
S	人感センサー　親機	
RAS	操作ユニット	1回路用
RAS	操作ユニット	2回路用
2EET	壁付コンセント	2P15A×2,E+ET
LK	天井付抜け止めコンセント	2P15A×1
MC	コーナーボックス	
	小便器用アウトレットボックス	
★	壁貫通補修	
☆	防火区画貫通処理	

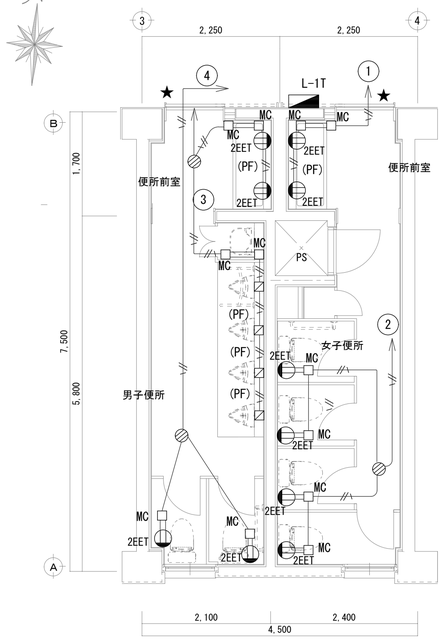
記入なき配線は下記による。

	EM-EEF 2.0-3C(1C接地)天井内
(PF)	EM-EEF 2.0-3C(1C接地)(PF22)
(MMA)	EM-EEF 2.0-3C(1C接地)(MMA)

露出立下り部はメタルモールにて保護とする。

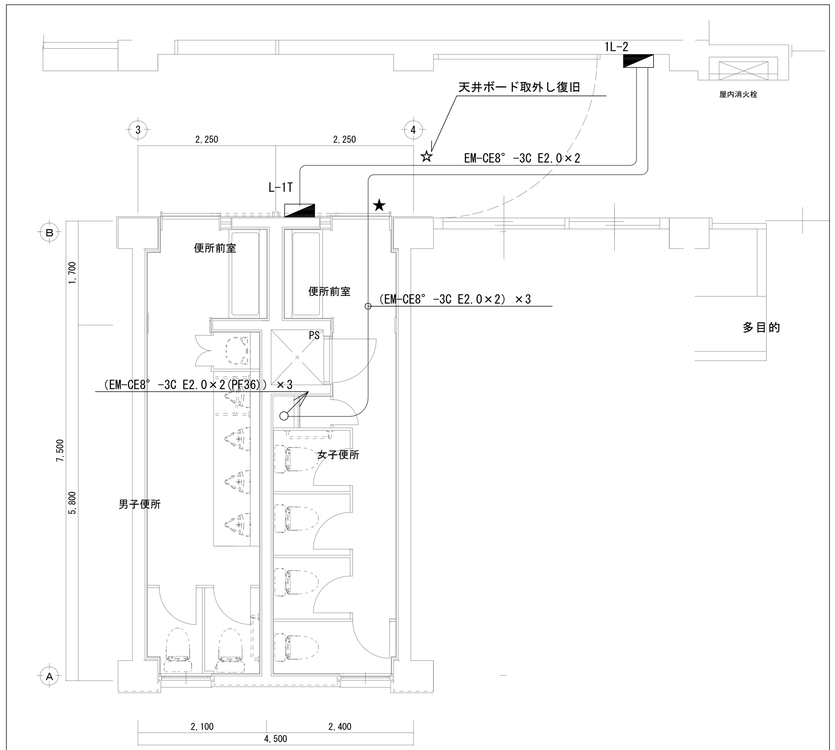
照明器具表

記号	品番	光束(lm)	消費電力(W)
M202H	直付XLX210AENC LE9	1,600	11.6
R321H	直付XLX439DEN LE9	3,200	20.6



1 ～ 4 階

生徒用便所、前室１　平面詳細図（改修後）１／50



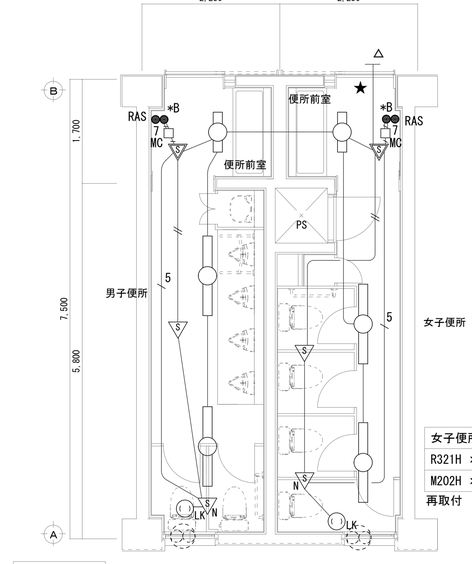
1 階

生徒用便所、前室１　平面詳細図（改修後）１／50

記入なき配線は下記による。

	EM-EEF 2.0-3C(1C接地)
	EM-EEF 1.6-2C
	EM-EEF 1.6-3C(1C接地)
5	EM-EEF 1.6-2C+1.6-3C(1C接地)
7	EM-EEF 1.6-2C×2+1.6-3C(1C接地)

△ 既設配線と接続
露出立下り部はメタルモールにて保護とする。
*B--メタルモールＢ型使用。



女子便所
R321H ×2
M202H ×1

再取付

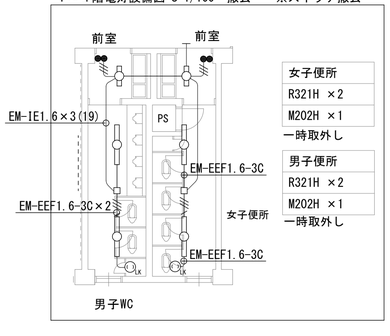
男子便所
R321H ×2
M202H ×1

再取付

1 ～ 4 階

生徒用便所、前室１　平面詳細図（改修後）１／50

1 ～ 4 階電灯設備図 S=1/100　撤去　※スイッチ撤去

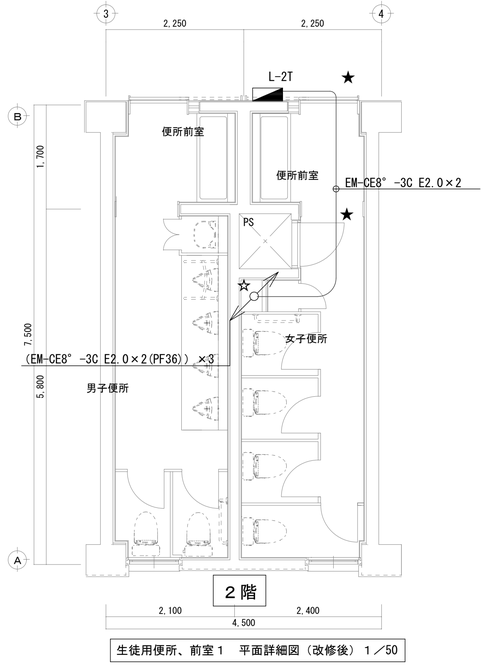


女子便所
R321H ×2
M202H ×1

一時取外し

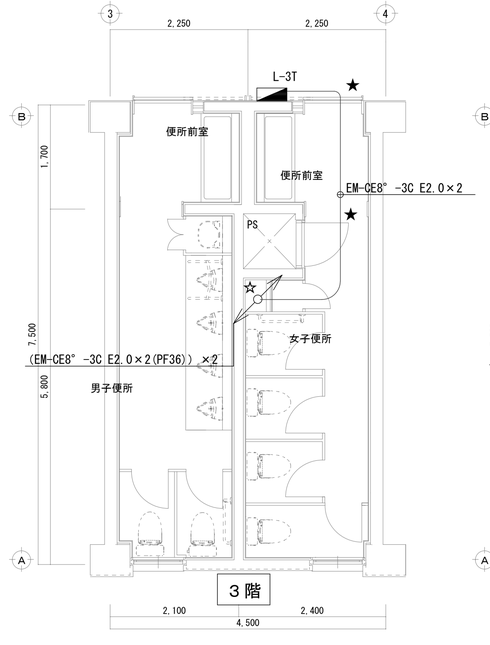
男子便所
R321H ×2
M202H ×1

一時取外し



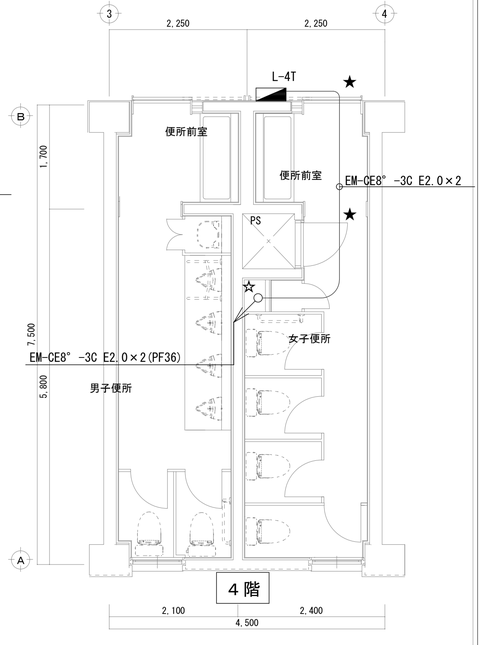
2 階

生徒用便所、前室１　平面詳細図（改修後）１／50



3 階

生徒用便所、前室１　平面詳細図（改修後）１／50



4 階

生徒用便所、前室１　平面詳細図（改修後）１／50

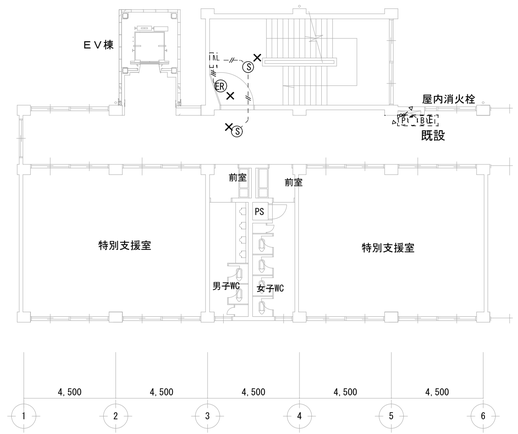
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	西側便所 幹線・電灯コンセント設備平面図（改修前後）	A1: 1:50 A3: 1:71 A1: 1:100 A3: 1:200	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

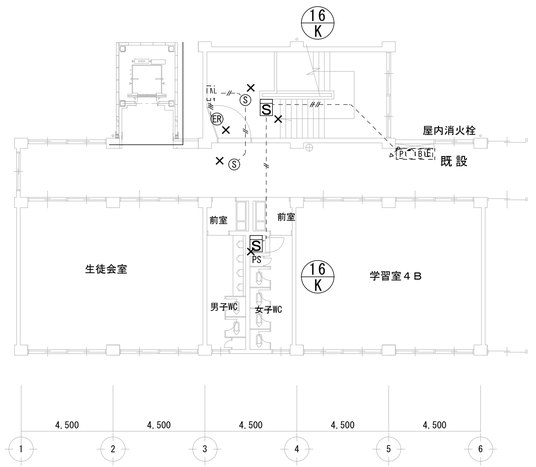
E-12

改修前

１階平面図（改修前）　1/150



３階平面図（改修前）　1/150



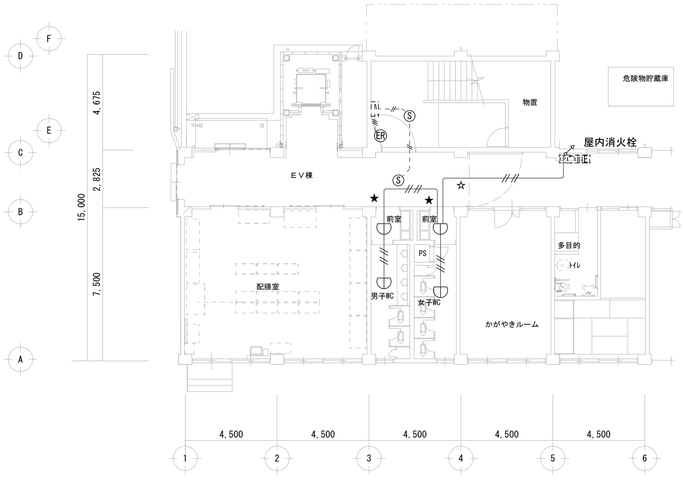
４階平面図（改修前）　1/150

凡例表

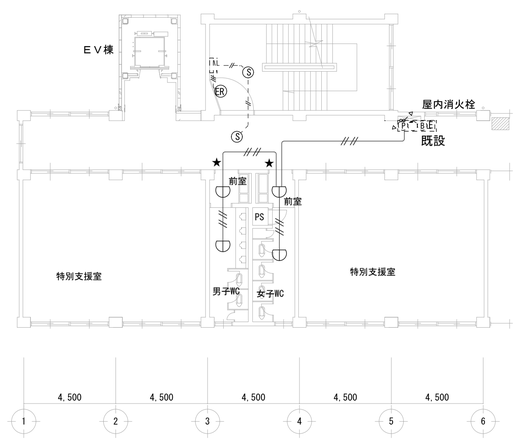
記号	名称	備考
P/B	消火栓組込	
P	P型1級発信機	
	表示灯	
B	ベル	
E	消火栓起動押ボタン	
S	煙感知器　２種	
	差動式スポット型感知器　２種	
	定温式スポット型感知器　１種防水	
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
NO	警戒区域番号	
ER	電磁レリーズ　扉用	
ERSS	電磁レリーズ　シャッター用	
S	煙感知器　３種	
	連動制御器　１回線用	

配管、配線は既設流用とする。
×印は撤去を示す。

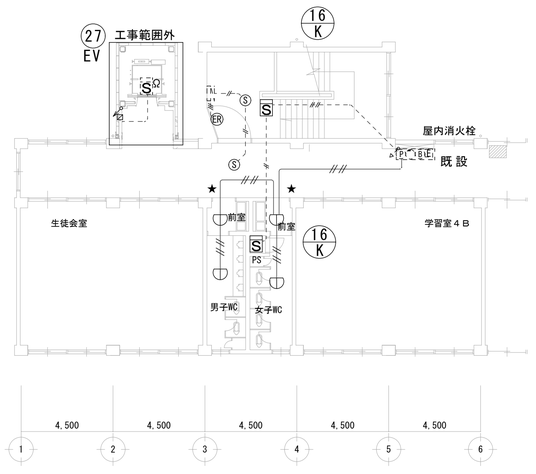
改修後



１階平面図（改修後）　1/150



３階平面図（改修後）　1/150



４階平面図（改修後）　1/150

凡例表

記号	名称	備考
P/B	消火栓組込	
P	P型1級発信機	既設
	表示灯	既設
B	ベル	既設
E	消火栓起動押ボタン	既設
S	煙感知器　２種	更新
	差動式スポット型感知器　２種	更新
	定温式スポット型感知器　１種防水	更新
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
NO	警戒区域番号	
ER	電磁レリーズ　扉用	更新
ERSS	電磁レリーズ　シャッター用	
S	煙感知器　３種	更新
	連動制御器　１回線用	更新

配管、配線は既設流用とする。
消火栓ﾎﾞｯｸｽへの新設配線ルートのために立ち下がり部のMMAを見込むこと。

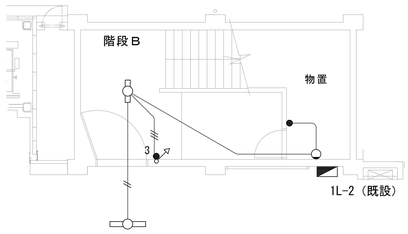
破線は既設を示す。
実線は新設配線を示す。
★　壁貫通補修
☆　区画貫通処理
—//— EM-AE 1.2-4C 天井内

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	１階、３階、４階	A1: 1:150						藤川設計株式会社	E-13
★	★ 自動火災報知・防火戸設備平面図（改修前後）	★ A3: 1:300	★	★	★	★	★	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	

改修前

階段 B
M202H ×1 一時取外し

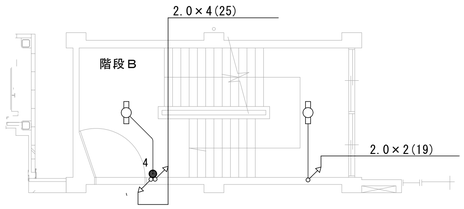
物置
JJ202H ×1 一時取外し



廊下
R322H ×1 一時取外し

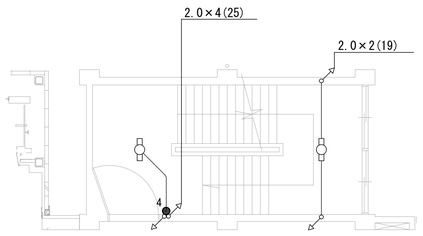
１階平面図（改修前） 1/100

階段 B
R322H ×1 一時取外し
M202H ×1 一時取外し



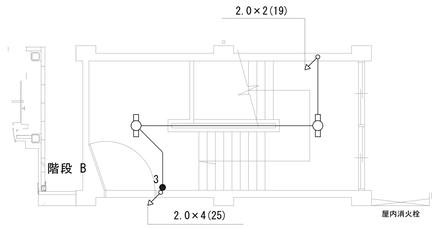
２階平面図（改修前） 1/100

階段 B
R322H ×1 一時取外し
M202H ×1 一時取外し



３階平面図（改修前） 1/100

階段 B
R322H ×1 一時取外し
M202H ×1 一時取外し



４階平面図（改修前） 1/100

記入なき配線は下記による

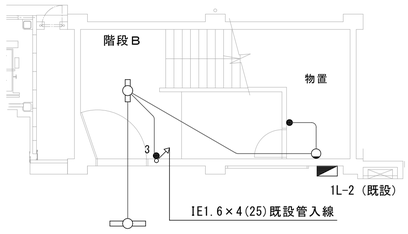
————	IV1.6×2(19)
——//——	IV2.0×2(19)
——///——	IV2.0×3(19)

配線のみ撤去
スイッチ撤去

改修後

階段 B
M202H ×1 再取付

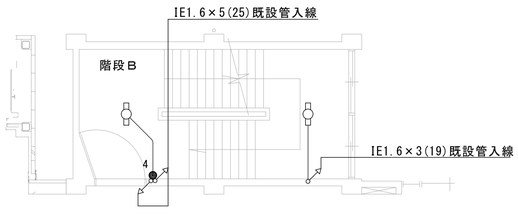
物置
JJ202H ×1 再取付



廊下
R322H ×1 再取付

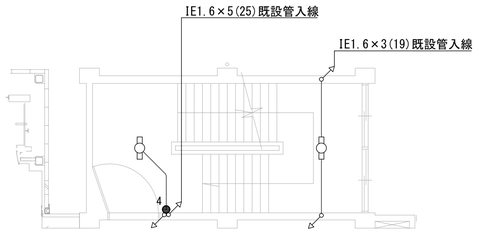
１階平面図（改修後） 1/100

階段 B
R322H ×1 再取付
M202H ×1 再取付



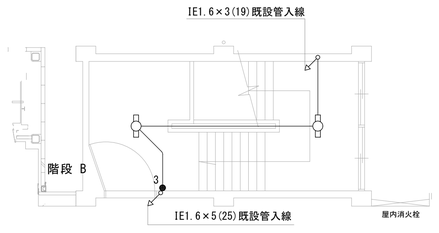
２階平面図（改修後） 1/100

階段 B
R322H ×1 再取付
M202H ×1 再取付



３階平面図（改修後） 1/100

階段 B
R322H ×1 再取付
M202H ×1 再取付



４階平面図（改修後） 1/100

記入なき配線は下記による

————	IE1.6×3(19) 既設管入線

スイッチ更新

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	１階～４階 階段Ｂ電灯設備設備平面図（改修前後） ★	★ A1: 1:100 A3: 1:200	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録 ２２２５５１
田中 富士夫

E-14

桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)　　設計図

仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　四日市市　桜町　地内

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
桜中学校	RC造(一部S造)	地上４階建	4,329.00	7項	

3．工事種目（○印の付いたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別						
(○) 空気調和設備	改修　一式						
(○) 換気設備	改修　一式						
・ 排煙設備							
・ 自動制御設備							
(○) 衛生器具設備	改修　一式						
(○) 給水設備	改修　一式						
(○) 排水設備	改修　一式						
・ 給湯設備							
・ 消火設備							
・ 厨房設備							
・ ガス設備							
・ 雨水利用設備							
・ 排水処理設備							
・ し尿浄化槽設備							
(○) 撤去工事	改修　一式						

4．指定部分　(○) 無　・有（ 部位：　　）
指定部分工期　令和　年　月　日

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

(○) 公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）（ 令和７年版 ）（以下「標準仕様書」という。）
(○) 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（ 令和７年版 ）（以下「改修標準仕様書」という。）
(○) 公共建築設備工事標準図　（機械設備工事編）（ 令和７年版 ）（以下「標準図」という。）

2．特記仕様

章、項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。なお、上位事項に○印がない下位事項は適用しない。

項目		特記事項
一般共通事項	1 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速　(V0＝34m/s) 地表面粗度区分（ ・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ ） ・ 積雪荷重 垂直積雪量（ 0.3m ）
	2 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
	3 週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・ 週休2日制工事対象 ・ 週休2日制工事(受注者希望型）対象 ・ 週休2日制対象外工事（ ・工事の実働日数が30日未満の工事　・現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。 ・土日閉所（ただし、 /　～　/　については土日作業とすること。） ・土日以外閉所 土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
	④ 施工条件	施工可能日　・ 土、日曜日、祝日施工有り　・ 指定無し (○) その他（(○) M-03　(○) E-03　(○) A-01　・　　）による 施工可能時間帯　・ 指定無し　(○) 指定有り（ ・M-03　・E-03　(○) A-01　・　　）による 現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 高さ５ｍを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用する。 完成確認及び完成検査時等の給排水・ガス確保 機器の動作確認、運転確認できるように給排水・ガスを確保すること。 完成時の操作説明 空調設備、自動制御設備、ポンプ、ろ過機、浄化槽設備等、操作の必要な機器は、施設管理者へ使用開始前に操作説明を行うものとする。 操作説明にあたって、操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えること。 在来設備の一時停止に係る調整 機械設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電、断水計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。
	5 監督職員事務所	監督職員事務所を設けること。
	6 工事用電力･水･その他	・ 工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。 ・ 市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。
	7 工事用仮設物	工事用仮設物を構内につくることができる。
	8 足場その他	・ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場等　（・　　） ・ 外部足場等　（・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　）
	9 交通安全管理	交通誘導員　・ 配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない ・ 交通誘導警備員Ａ　・ 交通誘導警備員Ｂ
	10 施工調査	・ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。 ・ 既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。

項目		特記事項
一般共通事項	11 非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。
	⑫ 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
	13 耐震安全性の分類と耐震施工	設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。　・ すべて　・（　　）以外　の100kg以上の機器を対象とする。 （1）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の
上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の
場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器は次による。
・ 消火ポンプ　・ 充水槽　・ 受水槽　・高架水槽
・ 揚水ポンプ　・ その他（　　）
水槽類にはオイルタンクを含む。
（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

	⑭ 建設発生土の処理	(○) 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 構外搬出適切処理とする。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
	15 埋戻し土・盛土	地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。
	⑯ 材料・機材の品質等	（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （3）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。
	⑰ 環境への配慮	（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑱ 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・ 建設副産物を搬出する際の計画 1. 土砂500m3以上　2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・ 再生資材を利用する際の計画 1. 土砂500m3以上　2. 砕石500t以上　3. 加熱アスファルト200t以上
	19 工事の保険	・ 建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・ 請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）
	20 建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・ 法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出） ・ 建設業退職金共済制度　（掛金収納書を提出） 共済証紙購入額　請負額の0.5／1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 増額の契約変更があった場合は、不足分を追加購入すること。
	21 工事実績情報登録	工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（コリンズ）に登録すること。
	22 施工体制台帳提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。
	㉓ 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。

項目		特記事項
一般共通事項	㉔ 工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真（埋設部、隠ぺい部、施工、材料等）及び完成写真 Ａ４用紙に印刷し、提出すること。 撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「営繕工事写真撮影要領（令和５年版）」を参考にすること。 ○工事日報、納品伝票、出荷証明 工事日報、納品伝票、出荷証明の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。
	㉕ 完成時の提出図書	下記のものを提出すること。 ○工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成図　(JW-CADデータ及びPDFデータ)　(DVD)（２）枚 ○完成図　(A1またはA2サイズで電気設備図と併せて二つ折り製本したもの)（１）部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として、完成図データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等　（２）部 ●監督職員の指示により提出するもの　・ 完成図（A4版に製本したもの）　・（　　）
	㉖ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	㉗ 地中埋設標等	（１）地中埋設標　　(○) 要（図示による。）　・ 不要 （２）埋設表示用テープ（２倍折込み）(○) 要（排水管を除く。）　・ 不要
	㉘ 既設との取合い	本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。
	㉙ 電源周波数	６０Ｈｚとする。
	30 電気工作物の種類と電気保安技術者	・ 事業用電気工作物　・ 一般用電気工作物 電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。 電気保安技術者　事業用電気工作物：電気主任技術者　一般用電気工作物：電気工事士
	31 電線類	電気計装に使用する電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編 1.5.1 表4.1.11による。
	32 管溶接部の検査	標準仕様書第２編 2.5.15.12　の溶接部の非破壊検査を行う。
	33 管の防食	プラスチックテープ巻き 1/2 重ね１回巻きとする。（外面被覆ライニング鋼管及び排水管は除く）
	㉞ 吊り及び支持	（　・　槽内　(○)　土間）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。 屋内埋設配管についても、通常の配管支持方法に準じて行う。
	35 防振吊り金物及び防振支持金物	次の配管には、防振吊り金物（・　シングル　・　ダブル）または、防振支持金物を設ける。ただし、屋外及び地下ピットを除く。 ・ 口径 50A以上の配管（・　冷温水　・　冷却水　・　揚水　・　消火　・　　） ・ 次に示す配管 露出機材の塗装仕上げは下記による。
	㊱ 塗装、表示	・ 屋外：　・ ドレン管　（　・　指定色塗装　・　　） (○) 金属電線管　（(○) 内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ　・　指定色塗装） ・ 屋内：　・ EPS、ピット階を除く露出配管、電線管類（　・　指定色塗装　・　　） 下記の保温を施さない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ・ 機械室　・ 倉庫　・ 電気室 機械室、PS内、水槽廻り、その他必要な箇所に配管種別（「給水」等）、流向（矢印）を表示すること。 弁には常開、常閉、調整　等の札表示を行うこと。 ・系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは、約　　m2とする。
	37 絶縁継手	特記なき取付け箇所及び仕様は標準仕様書第２編 2.2.12による。
	38 防振継手	・ 合成ゴム製　・ ベローズ形
	39 可撓継手	・ 合成ゴム製　・ ベローズ形
	40 鋳鉄製弁類	ライニング弁類の使用範囲　・ 標準仕様書による　・ 使用しない
	41 スリーブ	・ 亜鉛鉄板　・ 紙チューブ　・ つば付鋼管　・ 塩化ビニル管
	㊷ 容量等の表示	（１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
	㊸ 試　験	（１）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （２）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。 給水管の水道用硬質塩化ビニル管はVP±0.75MPaでの耐圧試験とする。 給水、給湯用架橋ポリエチレン管はメーカー推奨圧力で行う。 上記（２）により難く、既設配管との接続の場合は、監督職員の承諾を得れば、漏れ、詰まりがない事を目視での確認で良いこととする。 既設配管は保温、埋設直前に、給水給湯系は24時間常圧耐圧確認、排水系は通水確認を行う。
	44 総合調整	・ 本工事　・ 別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ・ 風量調整　・ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定 ・ 飲料水の水質の測定（水道法第４条の水質基準の規定に基づくこと） ・ 検査項目は下記による 一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素(TOC)の量）、PH値、味、臭気、色度、濁度、遊離残留塩素 ・ その他（・　項目　・ 遊離残留塩素　・ 図示　）
	45 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和７年版）によるほか、監督職員の指示による。
(○) 撤去工事	① 撤去内容	(○) 図示による
	② 支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事にて撤去する。
	③ 冷媒の回収（フロン類）	冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は改修標準仕様書による。 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出すること。 （ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し　（イ）フロン類回収証明書
	④ 発生材の処理	・ 引渡しを要するもの ・ 金属類（ ・ 機器　・ ダクト　・ 配管　・ その他の金物 ）・ ルームエアコン　・（　　） (○) 引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。 ・ 特別管理産業廃棄物 （ＰＣＢ使用機器：　　） ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 ・ 再使用又は再資源化を図るもの

項目		特記事項
(○) 空気調和設備	1 設計用温湿度	

	外気（地区名：津）		屋内					
			一般系統		0A系統		一般系統(ACP系統)	
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	35.3℃	63.1%	28℃	50%	24℃	45%	28℃(参考)	50%(参考)
冬期	1.9℃	53.6%	19℃	40%	24℃	45%	19℃(参考)	40%(参考)

	2 鋼板製煙道	伸縮継手、捕脉口及びばいじん量測定口の位置は図示による。
	3 ダクト	・ 低圧ダクトの工法は下記とする。 （ ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分）　・ アングルフランジ工法 ） ・ 高圧１ダクトの適用範囲は図示による。 ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
	4 風量測定口	取付け箇所は図示による。
	5 チャンバー等	（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （２）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で清音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは図示による。 （３）外壁ガラリに直接取り付けるチャンバー類は雨水の滞留のないように施工する。 （４）空気調和機の吸い込み側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm 以上とする。 図示されたチャンバーには点検口を設ける。 寸法は図示されていない場合は（ ・ 400x500H ・ 500x600H ）とする。 （５）内貼りを施すチャンバー等の表示寸法は、外形寸法とする。 （６）アネモ形吹出口接続用ボックスは、吹出口のネック径200mm以下は、400×400×250H、200mmを越えるものは、500×500×300Hとする。
	6 ダンパー	（１）防煙ダンパー　　復帰方式（ ・ 遠隔 ・　　） （２）ピストンダンパー　復帰方式（ ・ 遠隔 ・　　）
	⑦ 配管材料	配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。 （１）冷温水管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 塩ビライニング鋼管（HVA） （２）冷却水管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 塩ビライニング鋼管（VA） （３）油管　・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） （４）蒸気管　給気管　・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（ ・ Sch40） 還　管　・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（ ・ Sch80） （５）高温水管　・ ステンレス鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白） （６）膨張管　空気抜き管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 膨張タンクよりボイラー等への補給水管 （７）冷媒管　(○) 断熱材被覆銅管 （８）ドレン管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　(○) ビニル管（VP） （屋外露出：VP　ｶﾗｰVP　屋内：保温付VP）
	8 弁　類	ＪＩＳ又はＪＶ（ ・ ５Ｋ ・ １０Ｋ（図示部分）） ６５Ａ以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ・ 銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	9 油面制御装置	油面制御盤には（ ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・　　）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
	⑩ 配管施工	○ 冷媒管は、製造者の標準仕様による。ただし、断熱材被覆銅管の断熱材厚さは、液管を10mm以上、ガス管を20mm以上とする。 冷媒管の耐圧試験は24時間メーカー推奨圧力で行う。 冷媒管の立て管は、垂直方向に5m以上ある場合、ガス管、液管共に銅管から直接1箇所以上固定すること。この場合支持金物にも保温を行うこととし、保温は保温工事の項の冷媒管(成形用)に準ずる。 ○ 冷水、ブライン及び冷温水配管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用すること。 ○ 冷媒管の支持受け材として保護プレートを断熱被膜銅管と吊り金物、支持金物、固定金物の間に設けること。
	11 ばい煙濃度計	・ 設ける　・ 設けない
	12 ばいじん量測定口	・ 設ける（口径８０φ以上）　・ 設けない ・ 本体は（ ・ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂）により保護を行う。
	13 吹出口・吸込口	・ 鋼製　・ アルミニウム製　・ 木製
	14 瞬間流量計	・ 設ける（検出部と指示部一体形）　・ 設けない 取付箇所は、（ ・ ユニット形空気調和機 ・ 冷温水ポンプ ・ ヘッダーの各送り管 ・ ヘッダーの各返り管 ）とする。 ・ 瞬間流量計を設けない場合は、ピトー管式流量計用タッピングのみを設ける。 取付箇所は前記による。
	15 圧力計・温度計	

機器名		計器取付箇所（○印の箇所）				温度計の種類
		機器入口側		機器出口側		
		圧力計	温度計	圧力計	温度計	
冷凍機	冷却水	○	○	○	○	ガード付
	冷水	○	○	○	○	L形又は円形
直たき吸収式冷温水機	冷却水	○	○	○	○	ガード付
	冷温水	○	○	○	○	L形又は円形
パッケージ形空気調和機	冷却水	○	○	○	○	ガード付
	温水	○	○	○	○	L形又は円形
	チャンバ		○		○	ブルドン管式
空気調和機	冷温水	○	○	○	○	L形又は円形
	チャンバ		○		○	ブルドン管式
温風暖房機	チャンバ		○		○	ブルドン管式
温水ボイラ	温水		○			L形又は円形
管寄せ			○			L形又は円形

	16 機器基礎	ポンプ　基礎施工要領（四）・ 標準基礎 ・ 防振基礎 遠心冷凍機　基礎施工要領（二）・ 標準基礎 往復動冷凍機　基礎施工要領（二）・ 標準基礎 パッケージ形空気調和機　基礎施工要領（三）・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 既製品基礎 ルームエアコン　基礎施工要領（三）・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 既製品基礎 ユニット形空気調和機　基礎施工要領（三）・ 標準基礎 ・ 防振基礎 遠心送風機　基礎施工要領（四）・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 防振基礎は市販の防振装置を使用してよい。
	17 形鋼振れ止め	ダクトに形鋼振れ止めを支持を行う。図面に特記なき場合、支持部材選定表による。
	⑱ 吊機器の振れ止め	室内機器等の吊り用ボルトには、ダブルナットで固定し、ボルト長さが100mm以上の場合には、振れ止めを施す。

図面名	特記仕様書 建築機械設備１	縮尺	1:NO (A2)	設計番号	図面番号 M-01
			作図 令和７年１１月	工事名 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事(2期工事)　設計図	
四日市市都市整備部営繕工務課				１級建築士　登録第　号 四日市市諏訪町１番５号	/

令和7年11月版

項目		特記事項
・ガス設備	1 ガス種別	・都市ガス ・液化石油ガス
	2 配管材料	・都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ・液化石油ガス　（１）一般：　・　配管用炭素鋼鋼管（白）※屋外露出部は指定色塗装 （２）地中：　・　ポリエチレン管　　・　外面被覆鋼管（ＶＬ）
	3 充てん容器	別途（　・　５０ｋｇ　・　　）×　（　）本
	4 集合装置	（　）本立て　　標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による。
	5 転倒防止等	標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（　・　（ａ）　・　（ｂ））による。
	6 メーター	・親メーター（貸与品）　（　・直読式　・パルス式（パルス発信器は　・　買い取り）） ・子メーター（買い取り）（　・直読式　・パルス式）
	7 ガス漏れ警報器	・本工事（図示による）　　・　別途工事
	8 漏洩検知装置	・要　・　不要
	9 電気防食	・要　・　不要
	10 引込負担金等	・要　・　不要
・雨水利用設備	1 仕様等	別図による。
・排水処理設備	1 仕様等	別図による。
	2 設備方式	・排水再利用　・厨房除害
・し尿浄化槽設備	1 処理種別及び構造	・合併処理（・接触ばっ気方式　・長時間ばっ気方式 ・回転板接触方式　・　）
	2 処理能力	処理対象人員　　人　容量　　㎥／日
	3 本体構造	・コンクリート製（　・現場施工形　・ユニット形）　・　ＦＲＰ製
	4 放流水質	ＢＯＤ　　ｍｇ／Ｌ以下
	5 マンホールふた	・製造者標準品　・　ＭＨＡ　・　ＭＨＢ
	6 スラブ負荷重	・土圧のみ　・　２００ｋｇｆ／ｍ²　・　３５０ｋｇｆ／ｍ²　・　８００ｋｇｆ／ｍ²
	7 排水方式	・自然流下 ・ポンプ排水 （ポンプ槽内（　　）ｍｍ．ＧＬよりの深さ（　　）ｍ以上 ただし深さが　１．２ｍ以上の場合はタラップ付とする。）
	8 送風機室	・不要　・　要（　・別途工事　・　本工事）
	9 槽内にある鋼管類の防食	・独立設置形（　・　地上式　・　地下式）　・　槽と一体形 ・タールエポキシ樹脂塗料３回塗りを行う。 ・土中埋設の鋼管類に準じた防錆処理を行う。
⊙保温工事	1 保温材	図面に記載のない保温工事は下記による。

保温対象		保温材 ガラスウール	保温材 ロックウール	保温材 ポリスチレンフォーム	外装材（露出部分） SUS製ラッキング	外装材（露出部分） 合成樹脂保温化粧カバー	外装材（露出部分） ケース（カラー亜鉛鉄板）	外装材（露出部分） その他
給水管	屋内	○				○		
	屋外			／	○			
排水管	屋内	○				○		
	屋外			／	○			
ドレン管	屋内	○				○		
	屋外			／	○			
消火管	屋内							
	屋外			／	○			
給湯管	屋内	○				○		
	屋外			／	○			
温水管	屋内	○				○		
	屋外			／	○			
冷水管	屋内	○						
	屋外			／	○			
冷温水管	屋内	○						
	屋外			／	○			
蒸気管	屋内	○		／				
	屋外			／	○			
冷媒管（成形用）	屋内	○		／		○		
	屋外			／	○			
長方形ダクト	屋内			／				
	屋外			／				
スパイラルダクト	屋内			／				
	屋外			／				
ヘッダー（冷水、冷温水）	屋内							
	屋外							
タンク（冷水、冷温水）	屋内							
	屋外							

機械室、書庫、倉庫の外装材は標準仕様書による。

原則として、蒸気管及び温水管等はフランジ等も保温を行うこと。

保温付架橋ポリエチレン管（保温厚10mm以上）を使用する場合は上記保温は不要。

サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管を使用する場合は上記保温は不要。

屋外露出消火管の保温は、標準仕様書第２編3.1.5の給水管の項による。

※空調設備

建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第２編3.1.4の温水管の項による。

還気ダクト（保温範囲は、　・　図示による　・　　）

外気取り入れダクト（保温範囲は、　・　図示による　・　　）

空調機及びﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄのﾄﾞﾚﾝ管の保温は、標準仕様書第２編3.1.5の排水管の項による。

膨張タンク、ボイラ等間の補給水管の保温は標準仕様書第２編3.1.4の温水管の項による。

外気取り入れダクトのうち暖房室、浴室及び厨房内を通るダクトは保温を行う。

空調ダクトのフランジ部（補強含む）は厚さ25mmの保温材を重ね巻きするか

隠ぺい部の保温厚さをフランジ高さ＋10mm以上とする。

空調設備のドレン管は保温付VPを使用する場合は上記保温は不要。

※換気設備

外気取り入れダクトの保温は標準仕様書第２編3.1.4の一般ダクトの項による。

範囲は（・すべて　・　　）とする。

排気ダクトの保温は標準仕様書第２編3.1.4の一般ダクトの項による。

範囲は（◎外壁から１ｍ　・　　）とする。

（　・　厨房　・　湯沸室　）用の隠ぺい部ダクト（仕様はｈ　・　（イ）　・　ⅨⅩ）とし範囲は図示による。

・厨房設備	1 システム	・ドライシステム
	2 機器の機能等	図示による。

項目		特記事項
⊙換気設備	① 風道種別	・長方形風道　⊙　スパイラルダクト　⊙　アルミフレキシブルダクト（接続部）
	2 ダクト	・ビニル管 ・低圧ダクトの工法は下記とする。 ・コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分）　・アングルフランジ工法 ・高圧１ダクトの適用範囲は図示による。 ・ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ・厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より１ランク厚いものを使用する。
	3 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
	4 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	5 排気ダクトのシール	・浴室（シャワー室、脱衣室を含む。）系統　　・（排気ガス）系統
	6 チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
・排煙設備	1 ダクト	・亜鉛鉄板　・（　　）
	2 排煙口の形式	・図示による。
	3 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）
	4 排煙風量測定	（一財）日本建築設備・昇降機センター発行 建築設備定期検査業務基準書2023年版及び追補（令和7年7月1日改正）　排煙風量の検査方法に準ずる。
・自動制御設備	1 システム構成ほか	別図による。
	2 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線又はＥＭケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。
⊙衛生器具設備	① 洗面器・手洗器	止水栓付とする。
⊙給水設備	① 配管材料	配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。 （１）給水引込管（水道直結部分）は水道事業者の指定による（　・水道配水用ポリエチレン管（HPPE）） （２）屋内地中埋設配管及びｺﾝｸﾘｰﾄ埋込　⊙ 塩ビライニング鋼管（VD）　・ ビニル管（HIVP） （３）屋外地中埋設配管　⊙ 塩ビライニング鋼管（VD）　・ ビニル管（HIVP） ・ 水道配水用ポリエチレン管（HPPE） （４）その他の一般配管　（上水・加湿）　・ ステンレス鋼管（SUS304）　・ ビニル管（HIVP） ・ 給水用架橋ポリエチレン管 ⊙ 塩ビライニング鋼管（VA） （雑用水）　・ 塩ビライニング鋼管（VA）
	2 水栓	・水抜栓を使用する場合、水栓は固定こまとする。
	3 量水器	・親メーター（貸与品）　（　・　直読式　・　パルス式　） ・子メーター（買い取り）（　・　直読式　・　パルス式　）遠隔表示器付
	4 量水器桝	・水道事業者指定品　　（　・　貸与品　・　買い取り（材質：　）　・　標準図ＭＣ形　）
	⑤ 弁類	JIS又はJV適合品　・直圧直結部分（・１０Ｋ　・　　）・ポンプ加圧部分（・１０Ｋ　・　　） ⊙ その他の部分（・１０Ｋ ⊙ ５Ｋ）
		逆止弁の衝撃吸収ゴムはライニング不要とする。
		ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	⑥ 管の地中埋設深さ	管の上端より原則として、一般敷地は（３０ｃｍ）構内道路は（６０ｃｍ）以上とする。
	7 水栓柱	・合成樹脂製　・人造石とぎ出し製　・不凍水栓　・ステンレス製
	8 建物導入部配管	・ポリエチレン配管の施工要領は図示による。
	9 引込納付金等	・要（別途）
⊙排水設備	1 配管材料	配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。 （１）屋内　汚水管　・排水用塩ビライニング鋼管　⊙ ビニル管(VP,露出部分はｶﾗｰ)　⊙ 耐火二層管 雑排水管　・排水用塩ビライニング鋼管　⊙ ビニル管(VP,露出部分はｶﾗｰ)　⊙ 耐火二層管 ・熱湯が流下する箇所は耐熱塩ビライニング鋼管、耐熱ビニル管(HTVP)とする。 通気管　・排水用炭素鋼鋼管（白）　⊙ ビニル管(VP,露出部分はｶﾗｰ)　⊙ 耐火二層管 ポンプアップ排水管　・排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 （２）屋外　第一桝まで　・排水用塩ビライニング鋼管　・ビニル管（VP,125A以上はVUでもよい） 桝間　・ビニル管（VP）　・リサイクルビニル管（RS－VU）
・給湯設備	1 配管材料	配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。 ・ステンレス鋼管　・塩ビライニング鋼管（HVA）　・給湯用架橋ポリエチレン管
	2 弁類	・ステンレス製を使用する場合の材質は、ステンレス製とする。 JIS又はJV適合品（　・１０Ｋ（図示部分）　・５Ｋ　）
・消火設備	1 配管材料	配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。 （１）屋内消火栓　一般　・ステンレス鋼管（SUS304）　・配管用炭素鋼鋼管（白） 屋内地中　・ステンレス鋼管（SUS316）　・外面被覆鋼管（VS） 屋外地中　・ステンレス鋼管（SUS316）　・外面被覆鋼管（VS） ・水道配水用ポリエチレン管（HPPE） （２）連結送水管　一般　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40） 屋内地中　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40） 屋外地中　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40） ・水道配水用ポリエチレン管（HPPE）
	2 建物導入部配管	・標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ）による。
	3 不活性ガス消火設備	別図による。
	4 泡消火設備	別図による。
	5 試験	施工前に既設屋内消火栓の放水試験を行うこと。 試験する箇所と個数は、・監督職員の指示　・ M-03【施工条件】 による。

アスベスト含有物の取扱い

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）第９章

図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和７年版）」（以下「改修標仕」という。）による。
特記事項に記載の［　．　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該頁による。

①	一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。 ⊙ アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。 石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。 ⊙ 石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。 ・ アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。 ・ アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。
②	アスベスト含有建材の処理工事	アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　・行わない　[9.1.1] アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　・行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　・行わない 施工箇所及び工法　※図示
③	アスベストの含有調査	事前調査（有資格者）　⊙ 行う　・　行わない　[9.1.2] 調査結果報告書等の貸与　⊙ 有　・　無 分析調査　・行う（対象箇所：　　）　⊙ 行わない ・定性分析　・定量分析 ※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。
④	アスベスト含有吹付け材の除去	アスベスト含有吹付材の有無　・有　・無　[9.1.3] 除去吹付材（　　）含有場所（　　） 吹付けアスベストの施工数量調査　※行う アスベスト粉じん濃度測定　※行う 表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｰﾌﾞｰﾝ入口	１点	空気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	１点	（注）２
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	－
処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	（注）１
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認
表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測定３	測定１．２．４．６．７．８	測定５
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑤	アスベスト含有保温材等の除去	アスベスト含有保温材の有無　⊙有　・無　[9.1.4] 除去保温材（　給水管エルボ　）含有場所（　３階渡り廊下　） 作業場の隔離　・行う　・行わない ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う
⑥	アスベスト含有成形板の除去	アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　[9.1.5] 除去成形板（　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ、ｹｲｶﾙ板　）含有場所（　建築図による　） 作業場の区画　・行う　⊙行わない 処分方法 石綿含有石膏ボード ※管理型最終処分場で埋立処分する。 石綿含有石膏ボード以外 ⊙埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ⊙中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。
⑦	アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。　[9.1.6] アスベスト含有仕上塗材の有無　⊙有　・無 除去仕上塗材（　外装薄塗材Ｅ、ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付　）含有場所（　外壁、ほっとﾙｰﾑ・階段室　） 撤去の範囲　・全面撤去　・図示による 除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする） ・水洗い工法　・手工具ケレン工法 ・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法　・風雨装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 除去工法の試験施工　・行う　※行わない 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。 作業場の隔離及び養生 ・隔離養生不要　・隔離養生必要（負圧不要）・その他（　　） 処分方法 ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。 ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う
⑧	アスベスト含有配管接続部シール材の除去	アスベスト含有シール材の有無　・有　・無 除去シール材（　　）含有場所（　　） 作業場の隔離　・行う　・行わない 除去工法 湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。 処分方法　・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設
⑨	特記事項	※本工事に配置管理させる者（有資格者） ※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者） 又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項

１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じた、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

＜喫煙に関する事項＞
学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項
（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公平な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第９において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及びこは、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及び毀損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又はこの従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項
１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する

撤去工事凡例

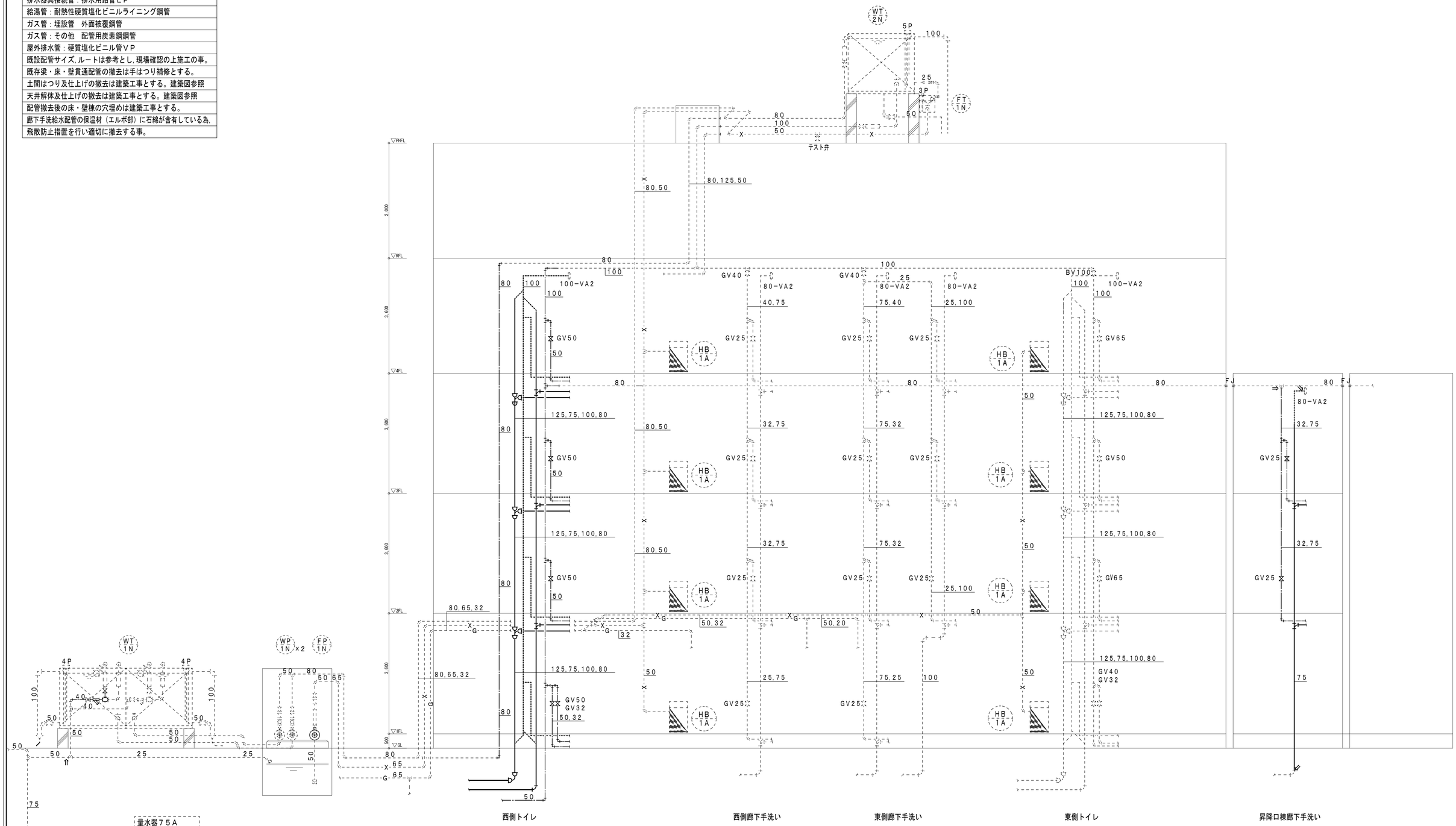
―――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト

給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

※給水断水、排水不可が発生する場合は、事前に監督職員及び学校関係者と協議し、
学校運営に支障のない日時で行うこと。

※音、臭気の出る作業及び児童、職員の通行の妨げとなる作業は原則として休校日に行うこと。



普通教室配管系統図（改修前）

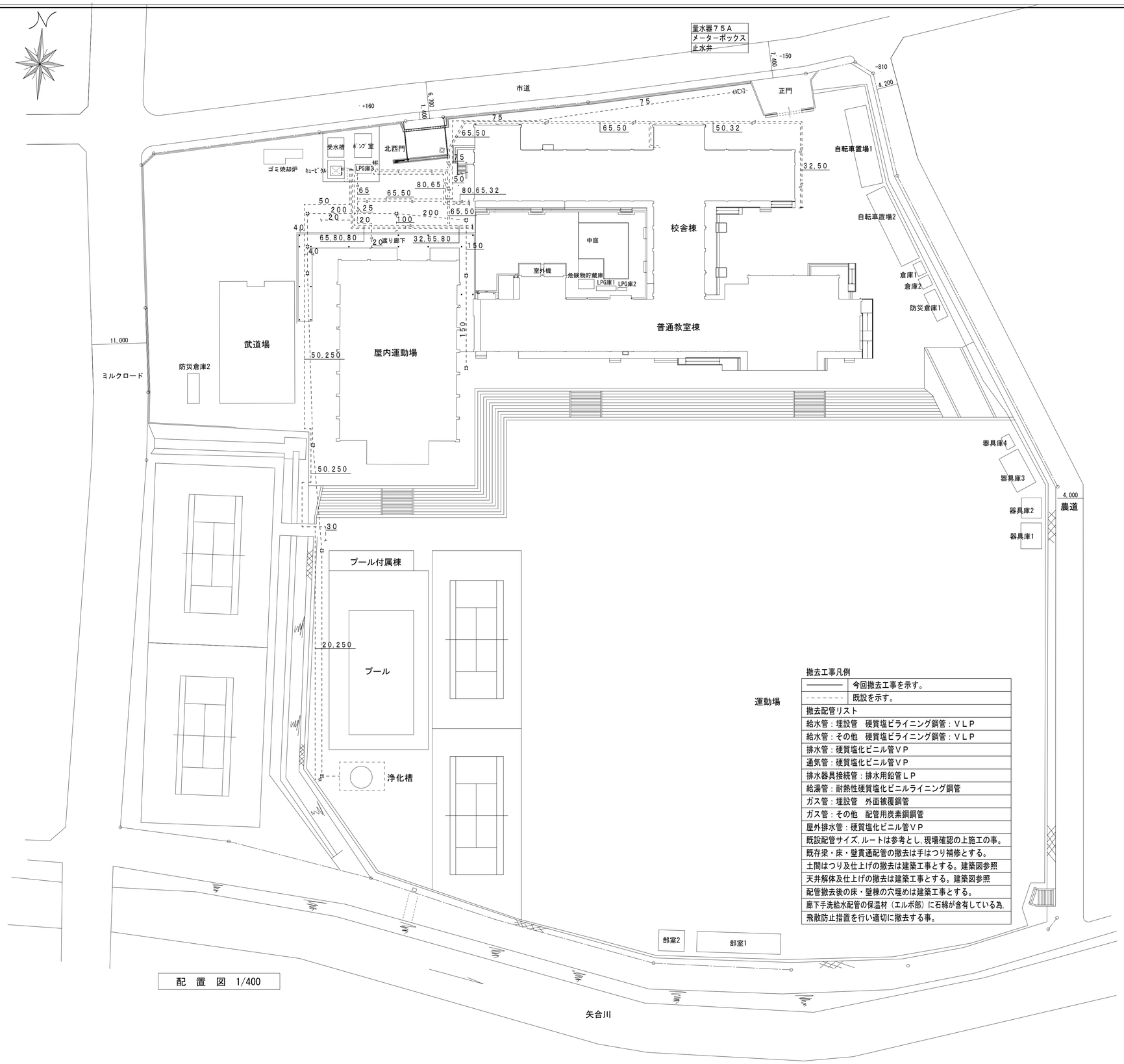
昇降口配管系統図（改修前）

特別教室棟

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）★	機械設備　給排水衛生設備 系統図（改修前）★	A1：N:S A3：N:S ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－０３



配　置　図　1/400

参考：桝リスト（既設）

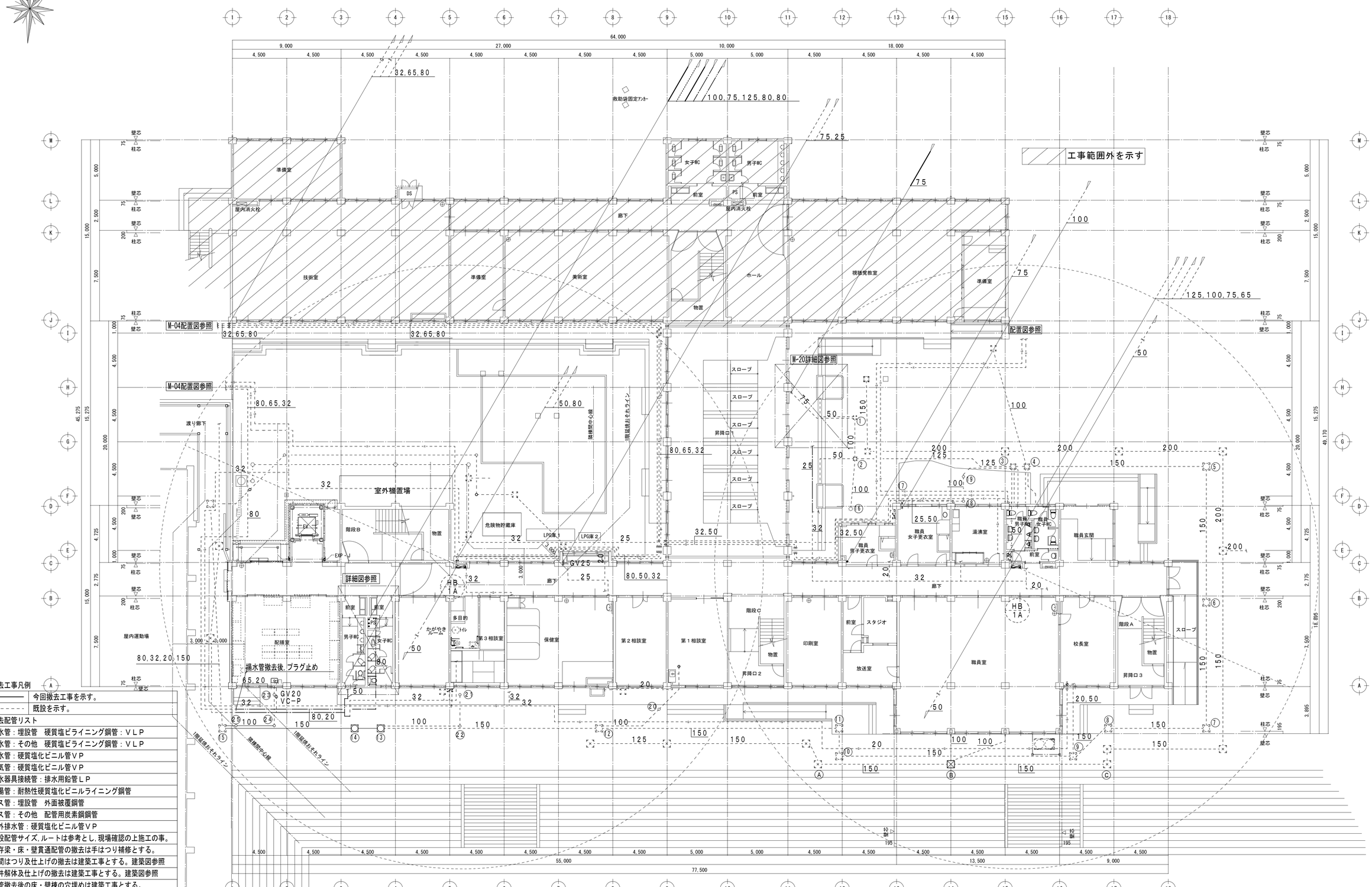
記号	名称		種別	現状地盤管底	備考
1	雑排水桝	現状のまま	ＲＣ桝３００×３００	－５３０	ＭＨＢ３００蓋
2	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝３００×３００	－５９０	ＭＨＢ３００蓋
3	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝４５０×４５０	－７３０	ＭＨＢ４５０蓋
4	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝４５０×４５０	－７５０	ＭＨＢ４５０蓋
5	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－８７０	ＭＨＢ６００蓋
6	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－９５０	ＭＨＢ６００蓋
7	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１０２０	ＭＨＢ６００蓋
8	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１１００	ＭＨＢ６００蓋
9	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１１５０	ＭＨＢ６００蓋
１０	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１３００	ＭＨＢ６００蓋
１１	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１３５０	ＭＨＢ６００蓋
１２	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１５３０	ＭＨＢ６００蓋
１３	汚水インバート桝	撤去	ＳＣ桝６００×６００	－１７１０	ＭＨＢ６００蓋
１４	汚水インバート桝	撤去	ＳＣ桝６００×６００	－１７４０	ＭＨＢ６００蓋
１５	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝７５０×７５０	－１９４０	ＭＨＢ６００蓋
１６	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　１００－３００	－５６０	塩ビ製蓋
１７	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－３００	塩ビ製蓋
１８	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝９０Ｙ　１００－２００	－５２０	塩ビ製蓋
１９	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＤＲ　１００－２００	－５１０	塩ビ製蓋
２０	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－５００	塩ビ製蓋
２１	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－５３０	塩ビ製蓋
２２	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－５６０	塩ビ製蓋
２３	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－３００	塩ビ製蓋
２４	汚水小口径桝	撤去	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－３３０	塩ビ製蓋
２５	汚水小口径桝	撤去	塩ビ製桝　ＤＲ　１００－２００	－３７０	塩ビ製蓋
Ａ	雨水桝	現状のまま	ＲＣ桝４５０×４５０	－７３０	ＭＨＢ４５０蓋
Ｂ	雨水桝	現状のまま	ＲＣ桝６００×６００	－９７０	ＭＨＢ６００蓋
Ｃ	雨水桝	現状のまま	ＲＣ桝６００×６００	－１１００	ＭＨＢ６００蓋

撤去工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。	
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，	
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

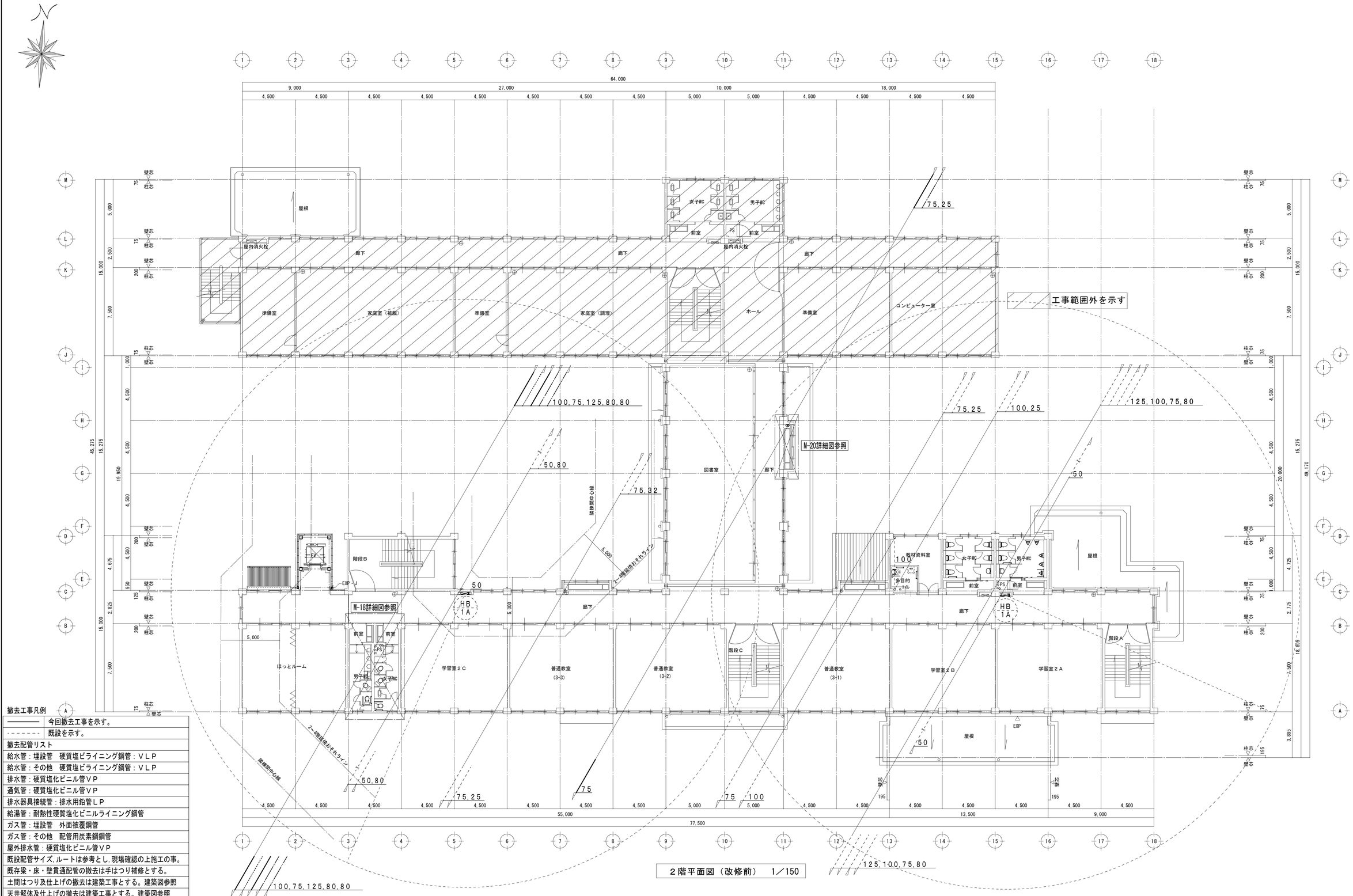
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　配置図（改修前）	A1：1:400 A3：1:800	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	Ｍ－０４

※屋外排水管及び桝の施工は原則として休校日に行うものとし、施設管理者と協議の上、監督職員の承諾を得ること。
掘削深さ1.5m以上の箇所については適切に土留めを行うものとし、施工計画書を作成のうえ、施工すること。
掘削した穴は当日中に埋め戻すか、侵入防止措置を施すこと。



１階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：１階平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－05



２階平面図（改修前）　1／150

撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。

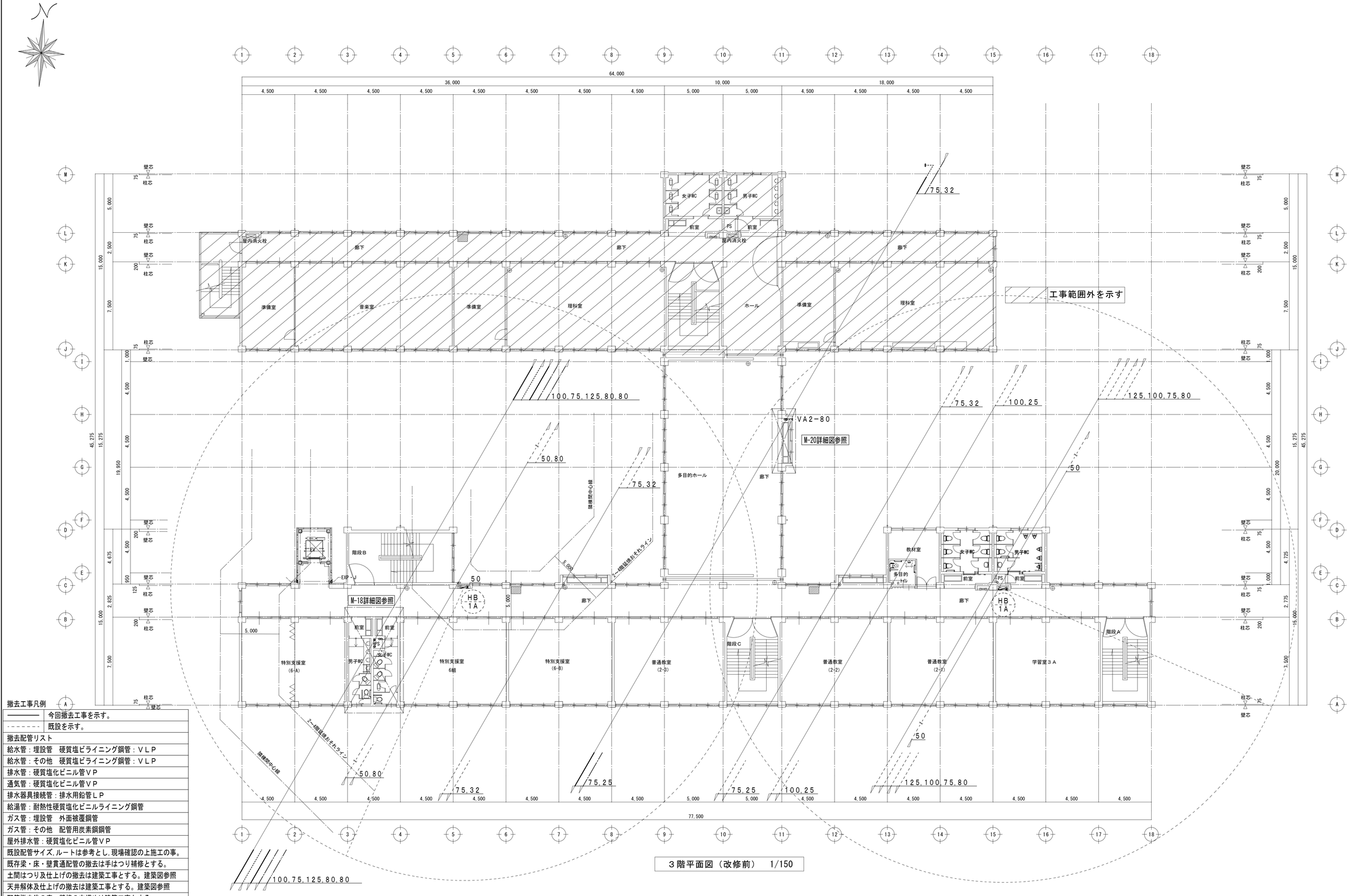
撤去配管リスト

- 給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
- 給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
- 排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
- 通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
- 排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
- 給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
- ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
- 屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
- 既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
- 既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
- 土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
- 天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
- 配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
- 廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
- 飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：２階平面図（改修前）★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－０６



撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

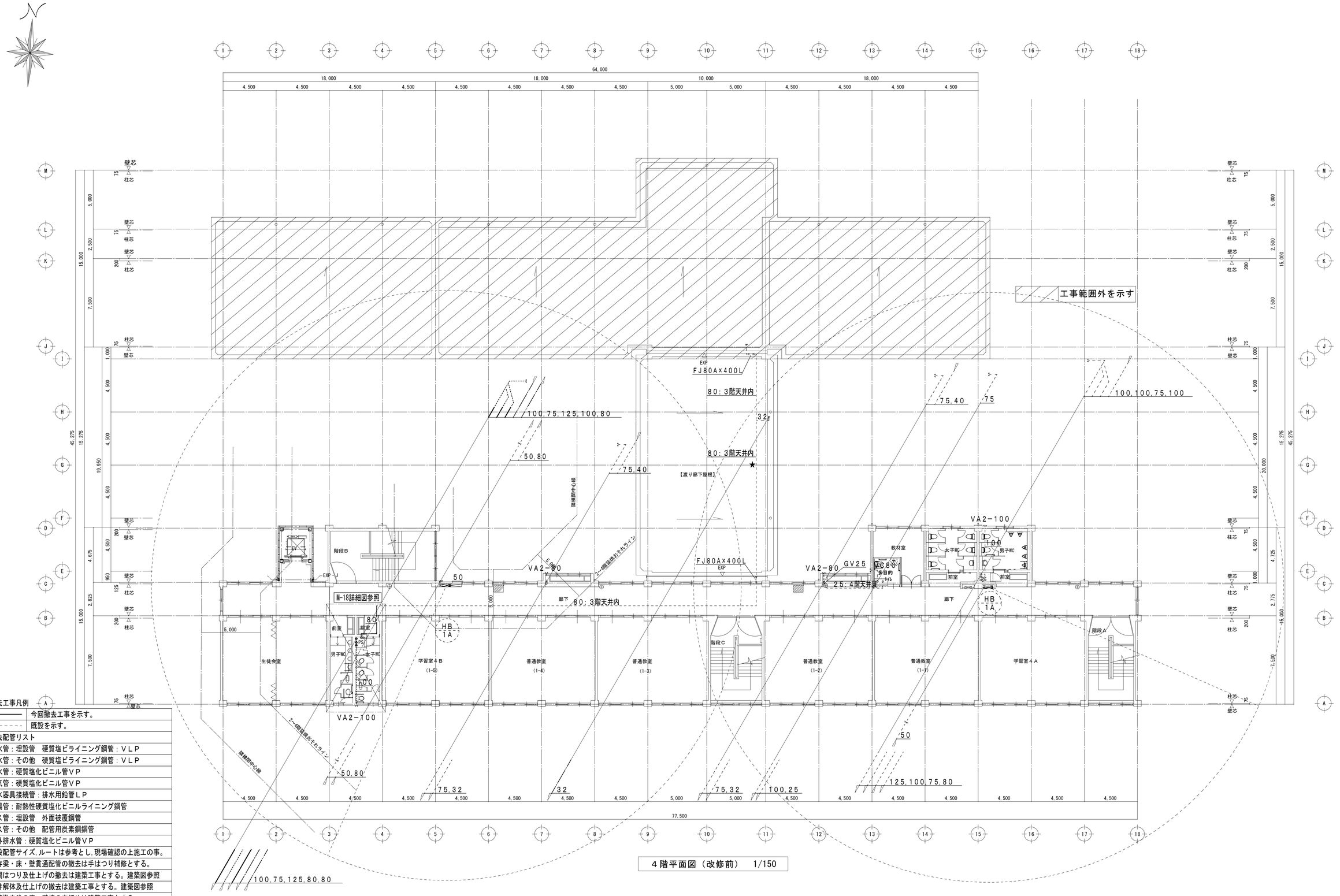
撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為、
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

３階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：３階平面図（改修前） ★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－０７



4階平面図（改修前）　1/150

撤去工事凡例

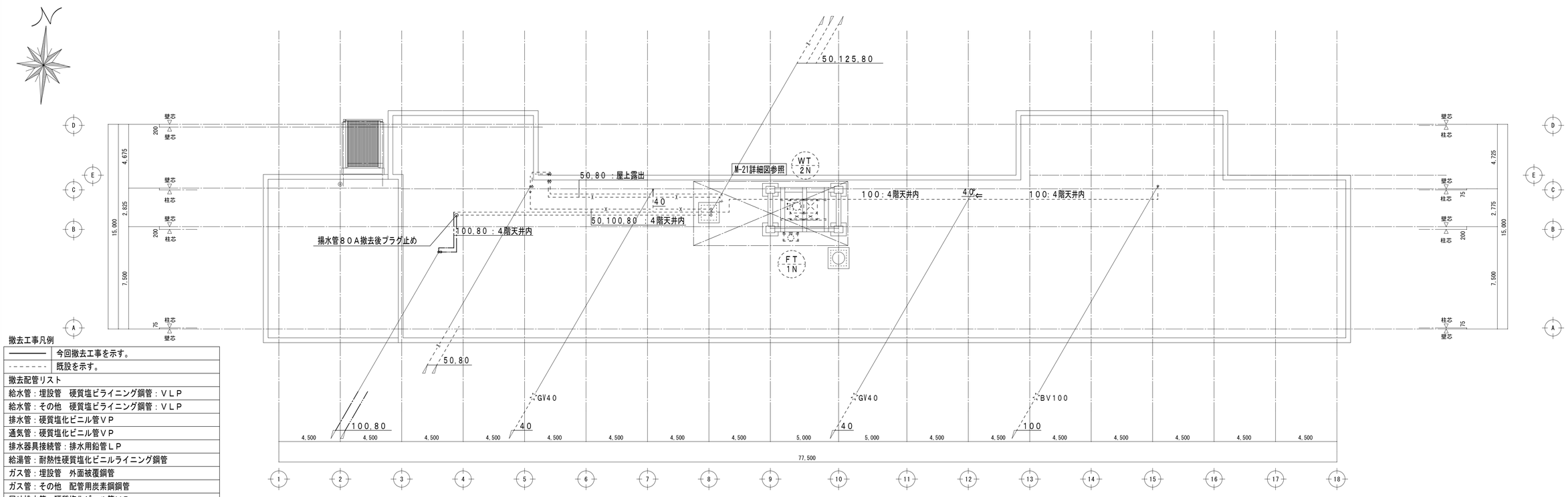
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：４階平面図（改修前）★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－０８

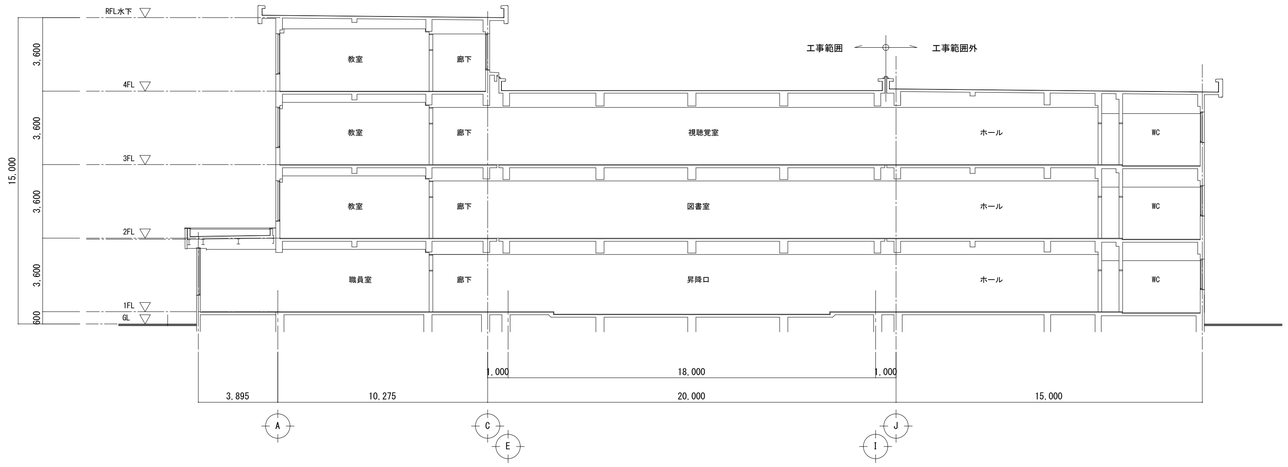


R階平面図（改修前）　1/150

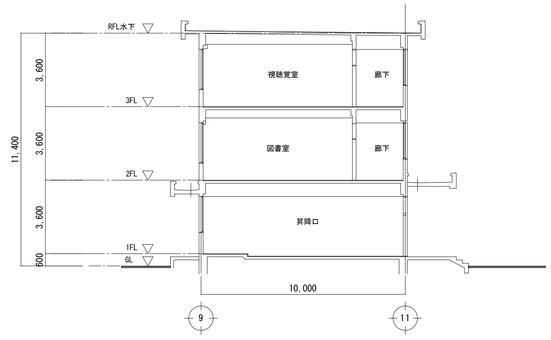
撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。



A断面図（改修前）　1/150



B断面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：Ｒ階平面図（改修前） ★	A1: 1:150 A3: 1:300 ★	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－０９

衛 生 凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称	記 号	名 称	記 号	名 称
——— - ———	給 水 管	⊠	給 水 栓	——⊣⊢——	フレキシブル継手		ダクト（保温施工範囲を示す） スパイラルダクト
———————	汚 水 管	⊠	給 水 栓	ⓗ ⓗ	床 上 掃 除 口		スパイラルダクト
———————	雑 排 水 管	⊠	混 合 水 栓	⊘ ⊘	排 水 金 物		天井換気扇・排気ファン
----------	通 気 管	——⋈ GV	仕切弁				吹出・吸込口
- - - - - - - - - -	既 設 配 管						パイプフード

衛 生 器 具 表

註： 1）衛生器具製造者の違いにより発生する工事は，本工事の範囲内とし，選定した衛生器具に適した施工を行う。
2）床上掃除口（COA）は化粧型でも可とする。

器具名称	参考（TOTO）	参考（LIXIL）		合計	1階 男子WC・前室	1階 西側WC・前室	2階 男子WC・前室	2階 西側女子WC・前室	2階 西側	2階 廊下昇降口横手洗	3階 男子WC・前室	3階 西側女子WC・前室	3階 西側	3階 廊下昇降口横手洗	4階 男子WC・前室	4階 西側女子WC・前室	4階 西側	屋外手洗・足洗	
腰掛便器	CS597BMS	BC−P20HU	陶器製密結タンク（内部金具同梱：蓋固定，手洗無し），普通便座（ソフト閉止），床給水，セット金具一式	24	2	4	2	4			2	4			2	4			
ワンタッチ紙巻器	YH117	CF−32H	本体（SUS製）	24	2	4	2	4			2	4			2	4			
手すり（樹脂被覆タイプ）L型	T112CL10	KF-920AE70D12J	寸法：700×700×120D，取付金具共	8	1	1	1	1			1	1			1	1			
自動洗浄小便器：低リップ	UFS900R	U−A51AP	AC100V・節水タイプ，バックハンガー	16	4		4				4				4				
小便器手すり（樹脂被覆タイプ）	T112CU22	KF−701AEJ	取付金具共	4	1		1				1				1				
マルチシンク	SK500	S−17	横水栓（レバー式），固定金具，壁排水金具（Pトラップ）	4	1		1				1				1				
化粧鏡	YM3545FE	KF−3545A	寸法：350W×450H（相当），盗難防止形（耐食鏡）	24	3	3	3	3			3	3			3	3			
自動水栓	TLE26SP1A	AM−230CV1	（AC100V）	24	3	3	3	3			3	3			3	3			
横水栓（泡沫・レバー式）	T123BQ13C	LF−7KRZF−13	クロムメッキ短管13A共	2						1				1					
胴長横水栓（泡沫）	T23B13V109	LF−7RF−13		18						5				5				8	

換 気 機 器 表

記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様		電気容量 相（φ）	電気容量 電圧（V）	電気容量 消費電力（W）	台数	備 考
FE−1	排風機	形 式	壁付換気扇（窓枠据付格子タイプ）	1	100	38．0	8	設置場所：
			低騒音形（電気式シャッタータイプ，樹脂製羽根）					1，2，3，4階男子女子WC
		風 量	520 m3/h					
		羽 根 径	200 φ					
		付 属 品	化粧枠，SUS製ウェザーカバー：防鳥網付，その他付属品共					
電源容量は参考数値とする。								

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 凡例・器具機器表（改修後）	★ A1：N:S A3：N:S	★	★	★	★	★	藤 川 設 計 株 式 会 社	一級建築士登録 222551 田中 富士夫	M−10

改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—Ⓜ	掃除口
—⊘	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

凡例　配管リスト　（ 太線：新設、細破線：既設）　特記無き限り 配管材料以下とする。

記　号	名　称	適用	仕　様
—·—·—	給　水　管	地中埋設、ｺﾝｸﾘｰﾄ埋込	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VD)
		上記以外	硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA)
———	排　水　管	PS及び便所	耐火二層管
——D———	汚　水　管	上記以外	硬質塩化ビニル管(100mm以下:VP、125mm以上:VU)
- - - - -	通　気　管	PS及び便所	耐火二層管
		上記以外	硬質塩化ビニル管(VP)
——— X ———	消　火　管	すべて	配管用炭素鋼鋼管(白)

注記

1. 揚水管の屋外露出部は、保温すること。配管材料：SGP-VA 保温外装：SUSラッキング
2. 屋上配管接続時、近傍の弁類を脱着すること。
3. 屋外露出配管施工前に配管ルート、勾配等を確認し、施工図にて施工後に機能を満たすことを確認してから施工すること。
4. 配管撤去箇所はモルタル充填等にて穴埋めを行うこと。

※1　PS内給水管解体作業に先立ちBV100を設置すること。
BV設置中は高架水槽給水が全て停止するため、BV設置後はすぐに給水を復旧し、断水を極力短くすること。
原則、休校日に行うこととし、学校関係者と調整し、学校運営に支障のない日時で施工すること。

※1　BV100設置

※1　断水時操作弁

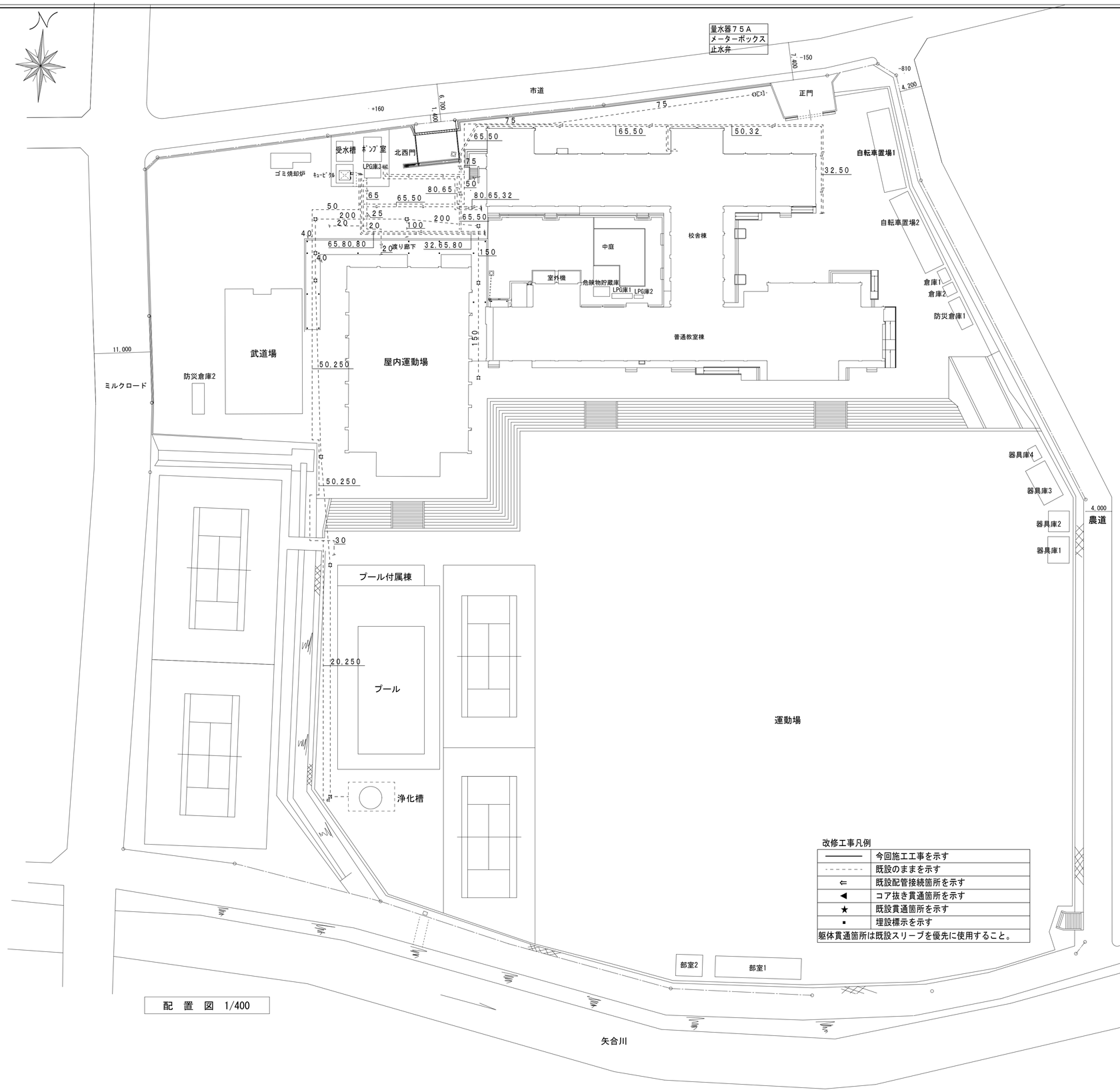
テスト弁

西側トイレ　西側廊下手洗い　東側廊下手洗い　東側トイレ　昇降口棟廊下手洗い

※配管の区画貫通部処理は法令に基づき適正な工法で行う事。

普通教室配管系統図（改修後）　昇降口配管系統図（改修後）　特別教室棟

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　給排水衛生設備 系統図（改修後）	A1：N:S A3：N:S	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　222551 田中　富士夫	M－１１



配　置　図　1/400

改修工事凡例

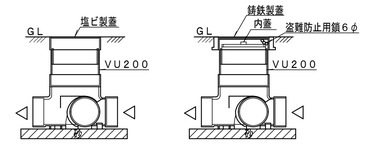
――――	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
▪	埋設標示を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

桝リスト（既設）

記号	名称		種別	現状地盤管底	備考
1	雑排水桝	現状のまま	ＲＣ桝３００×３００	－５３０	ＭＨＢ３００蓋
2	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝３００×３００	－５９０	ＭＨＢ３００蓋
3	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝４５０×４５０	－７３０	ＭＨＢ４５０蓋
4	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝４５０×４５０	－７５０	ＭＨＢ４５０蓋
5	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－８７０	ＭＨＢ６００蓋
6	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－９５０	ＭＨＢ６００蓋
7	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１０２０	ＭＨＢ６００蓋
8	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１１００	ＭＨＢ６００蓋
9	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１１５０	ＭＨＢ６００蓋
１０	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１３００	ＭＨＢ６００蓋
１１	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１３５０	ＭＨＢ６００蓋
１２	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝６００×６００	－１５３０	ＭＨＢ６００蓋
１３	汚水インバート桝	更新	ＳＣ４桝９００φ	－１７１０	ＭＨＡ６００蓋
１４	汚水インバート桝	更新	ＳＣ４桝９００φ	－１７４０	ＭＨＡ６００蓋
１５	汚水インバート桝	現状のまま	ＳＣ桝７５０×７５０	－１９４０	ＭＨＢ６００蓋
１６	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　１００－３００	－５６０	塩ビ製蓋
１７	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－３００	塩ビ製蓋
１８	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝９０Ｙ　１００－２００	－５２０	塩ビ製蓋
１９	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＤＲ　１００－２００	－５１０	塩ビ製蓋
２０	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－５００	塩ビ製蓋
２１	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－５３０	塩ビ製蓋
２２	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－５６０	塩ビ製蓋
２３	汚水小口径桝	現状のまま	塩ビ製桝　ＳＴ　１００－２００	－３００	塩ビ製蓋
２４	汚水小口径桝	更新	塩ビ製桝９０Ｌ　１００－２００	－３３０	塩ビ製蓋
２５	汚水小口径桝	更新	塩ビ製桝　ＤＲ　１００－２００	－３７０	塩ビ製蓋
Ａ	雨水桝	現状のまま	ＲＣ桝４５０×４５０	－７３０	ＭＨＢ４５０蓋
Ｂ	雨水桝	現状のまま	ＲＣ桝６００×６００	－９７０	ＭＨＢ６００蓋
Ｃ	雨水桝	現状のまま	ＲＣ桝６００×６００	－１１００	ＭＨＢ６００蓋

汚水小口径桝（参考図）

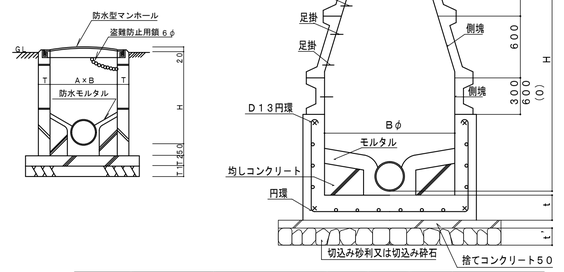


汚水小口径インバート桝：凡例

ＳＡ１：１００φ－２００φ
ＳＡ２：１２５φ－２００φ
ＳＡ３：１５０φ－２００φ

特記なき蓋は塩ビ製蓋
Ｔ８と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－８）
Ｔ１４と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－１４）
Ｔ２５と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－２５）

インバート桝（参考図）



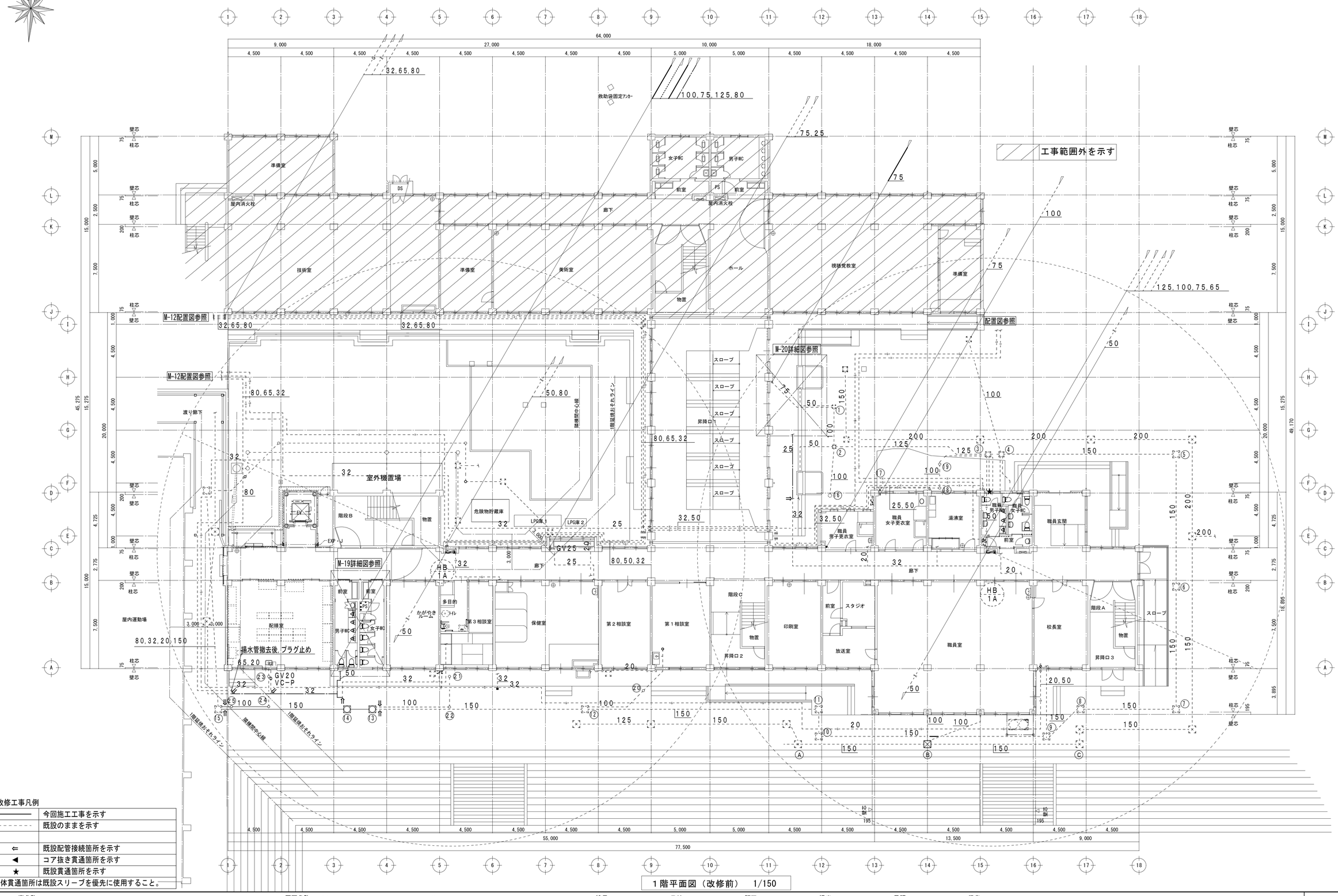
記号	ＡＸＢ	Ｈ	Ｔ	Ｔ１	Ｔ２	蓋
ＳＣ－１	３５０Ｘ３５０	４５０以下	１００	１００	１００	鋳鉄製３００φ
ＳＣ－２	４５０Ｘ４５０	４６０～６００	１００	１００	１００	鋳鉄製４５０φ
ＳＣ－３	６００Ｘ６００	６１０～１２００	１２０	１２０	１００	鋳鉄製６００φ
ＳＣ－４	９００φ	１２１０～３５００	１５０	１５０	１５０	鋳鉄製６００φ

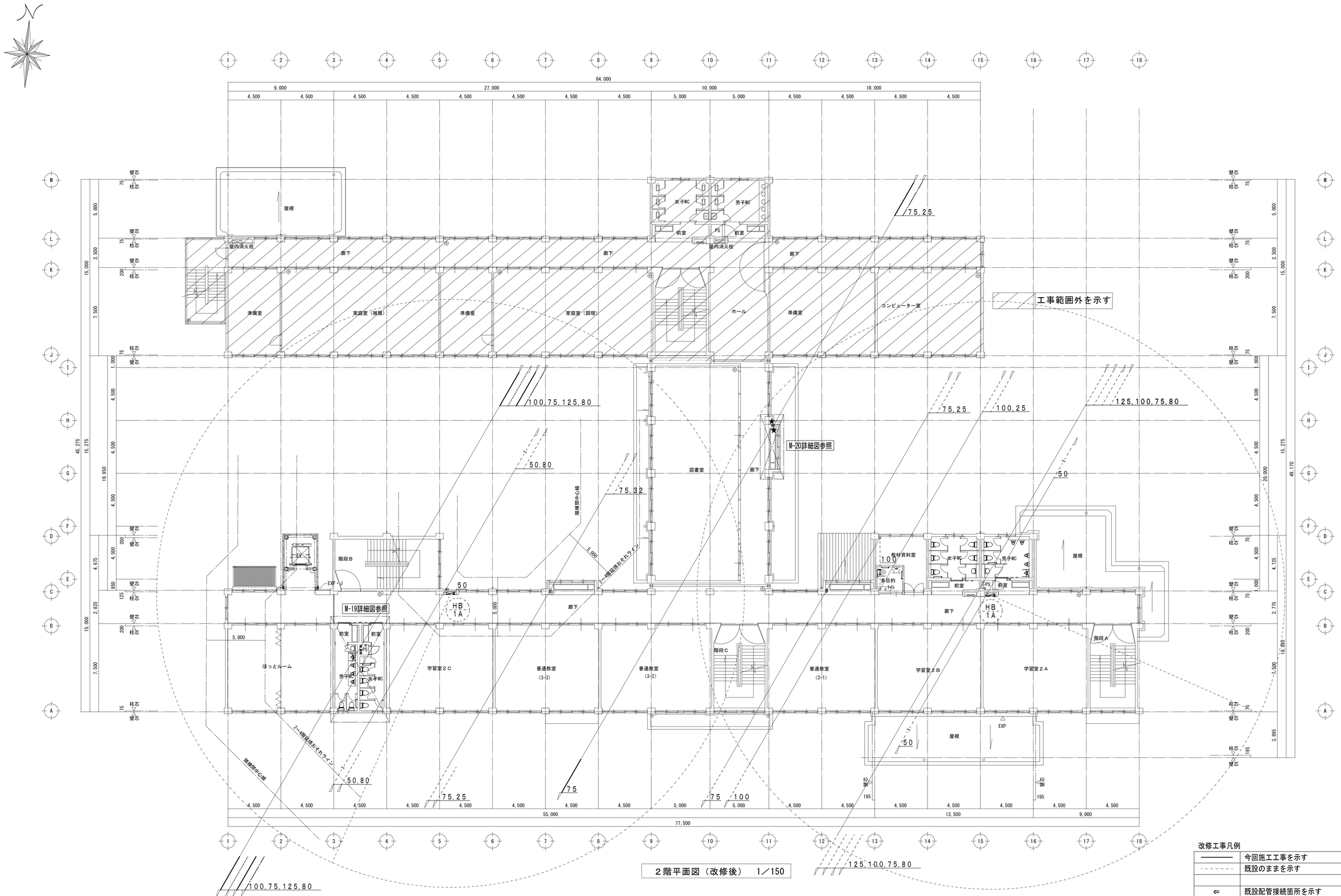
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　給排水衛生設備 配置図（改修後）	A1：1:400 A3：1:800	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－１２

※屋外排水管及び桝の施工は原則として休校日に行うものとし、施設管理者と協議の上、監督職員の承諾を得ること。
掘削深さ1.5m以上の箇所については適切に土留めを行うものとし、施工計画書を作成のうえ、施工すること。
掘削した穴は当日中に埋め戻すか、侵入防止措置を施すこと。


工事範囲外を示す
M-12配置図参照
M-20詳細図参照
M-19詳細図参照
配置図参照
準備室
技術室
準備室
美術室
廊下
ホール
物置
視聴覚教室
準備室
女子WC
男子WC
前室
PS
屋内消火栓
DS
救助袋固定アンカー
32,65,80
100,75,125,80
75,25
75
100
125,100,75,65
50
渡り廊下
80,65,32
50,80
スロープ
昇降口1
昇降口2
昇降口3
階段B
階段C
階段A
スロープ
EV
EXP.J
室外機置場
物置
危険物貯蔵庫
LPG庫1
LPG庫2
GV25
80,50,32
32,50
屋内運動場
配膳室
80,32,20,150
揚水管撤去後、プラグ止め
GV20
VC-P
65,20
多目的トイレ
かがやき
第3相談室
保健室
第2相談室
第1相談室
印刷室
前室
スタジオ
放送室
職員室
校長室
物置
職員男子更衣室
職員女子更衣室
湯沸室
職員男子WC
職員女子WC
職員玄関
HB
1A
隣接建造物とれきライン
隣接境界中心線
廊下
50
100
150
200
125
25
20
32
80
50
75
100
150
200
125
25
20
32
80
50
75
100
150
200
125
25
20
32
80
50
75



２階平面図（改修後）　1／150

改修工事凡例

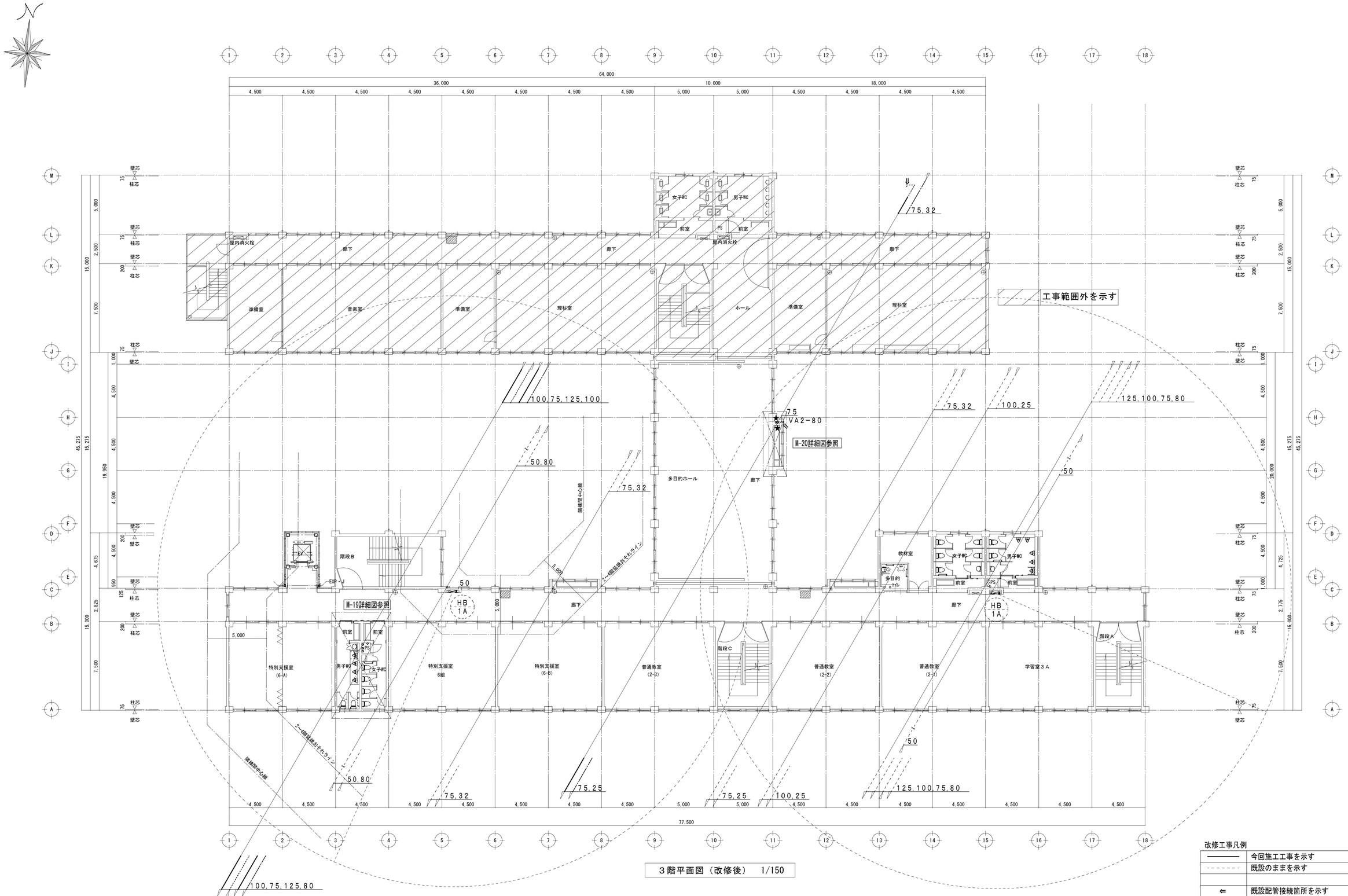
———	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：２階平面図（改修後）	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－１４



３階平面図（改修後）　1/150

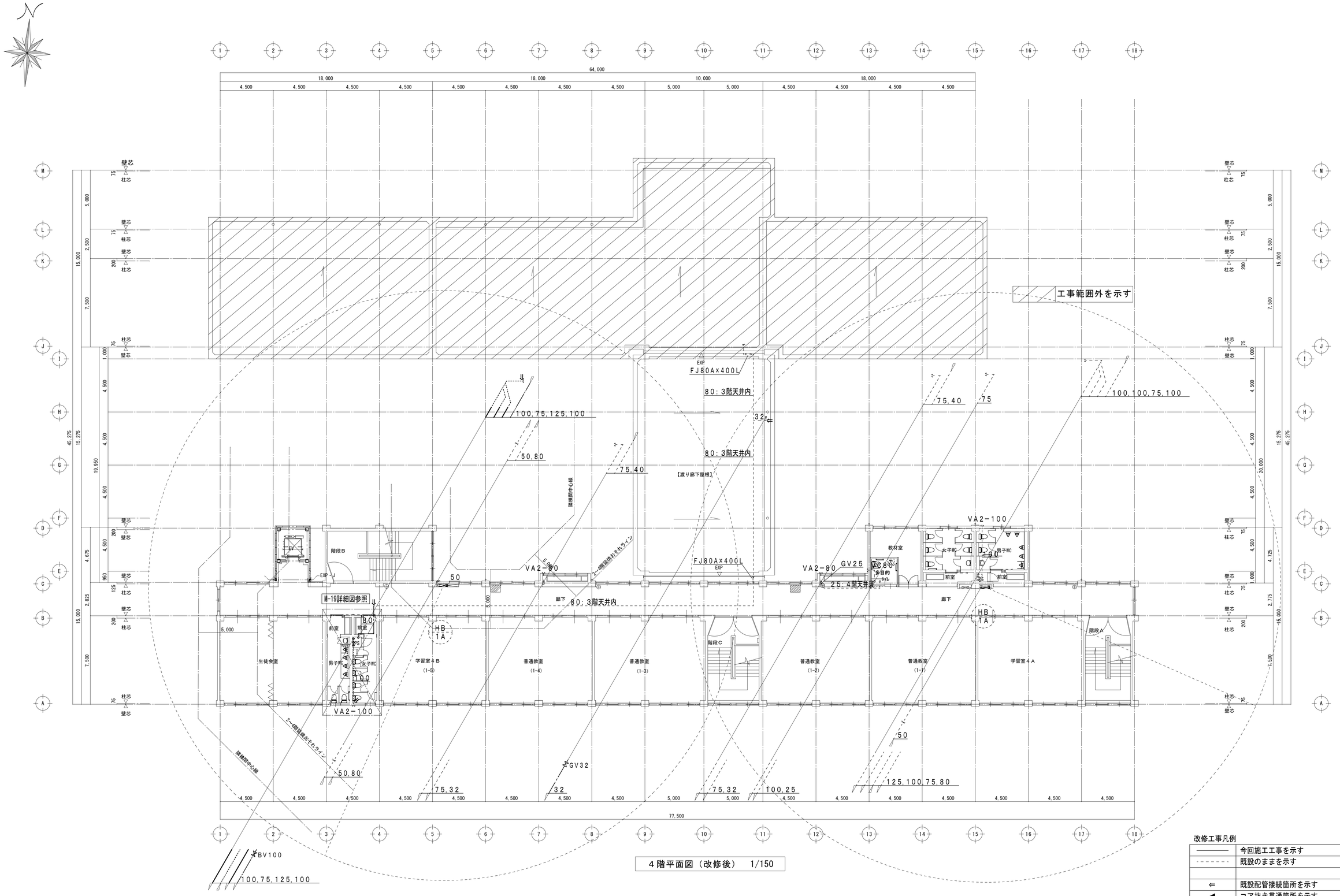
改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	★ 機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：３階平面図（改修後）	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－１５



４階平面図（改修後）　1/150

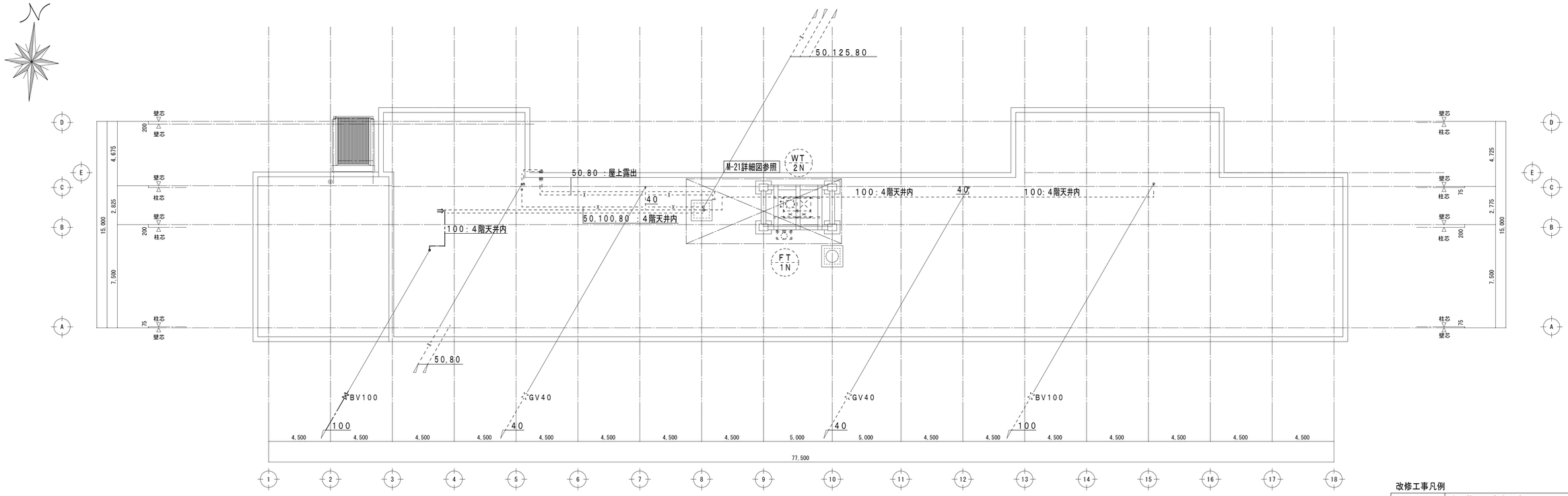
改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考	
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：４階平面図（改修後）	A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

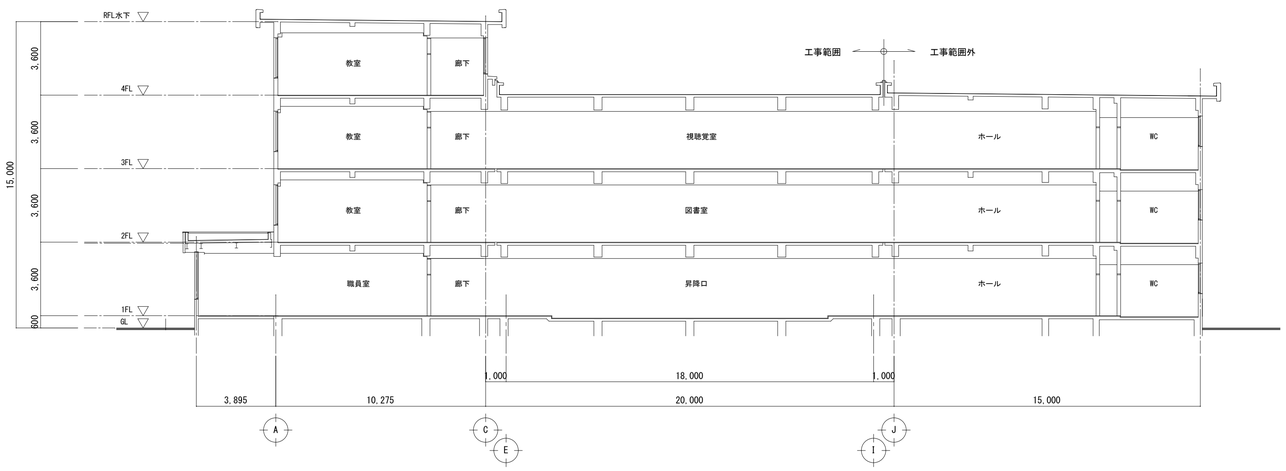
M－１６



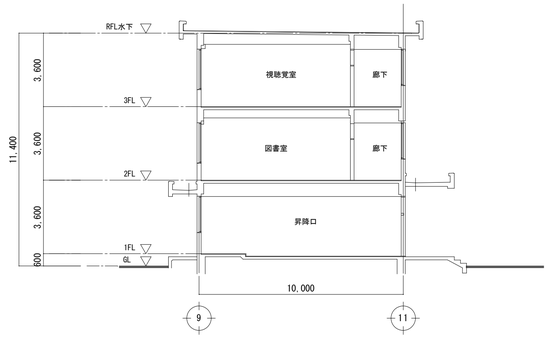
R階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⇦	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	



A断面図（改修後）　1/150

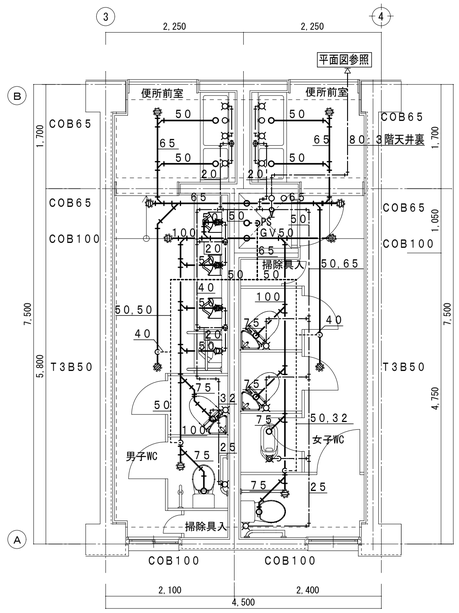


B断面図（改修後）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟：R階平面図（改修後） ★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社	一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－１７

衛生器具類撤去一覧表

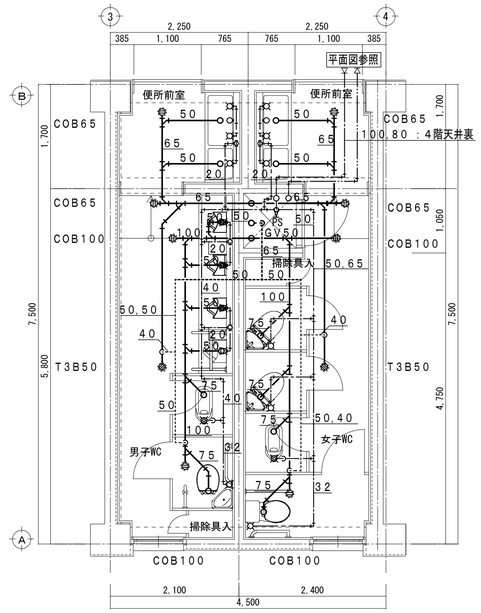
衛生器具及び付属品		男子・前室便所	女子・前室便所
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共		1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	2	3
ストール小便器	他付属品共	4	
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
横水栓		3	3
手すり		3	2



生徒用便所：3階前室・平面詳細図（改修前） １／50

衛生器具類撤去一覧表

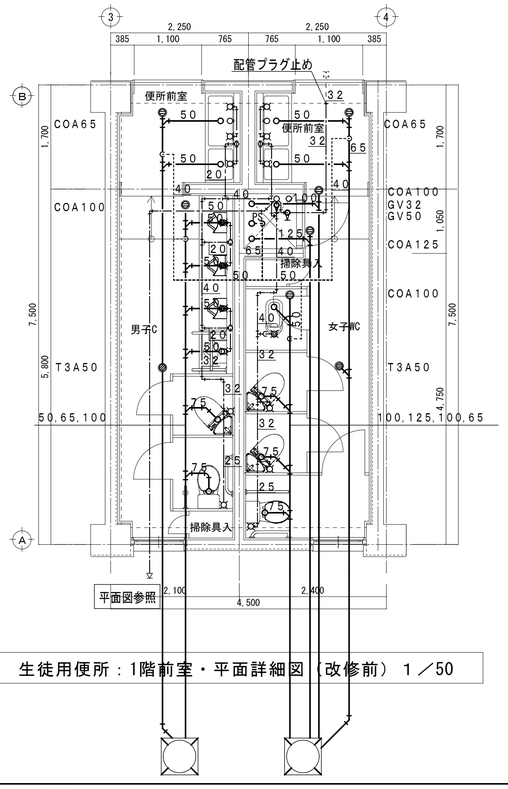
衛生器具及び付属品		男子・前室便所	女子・前室便所
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共	1	1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	1	3
ストール小便器	他付属品共	4	
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
横水栓		3	3
手すり		3	2



生徒用便所：4階前室・平面詳細図（改修前） １／50

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子・前室便所	女子・前室便所
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共		1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	2	3
ストール小便器	他付属品共	4	
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
横水栓		3	3
手すり		3	2



生徒用便所：1階前室・平面詳細図（改修前） １／50

撤去工事凡例

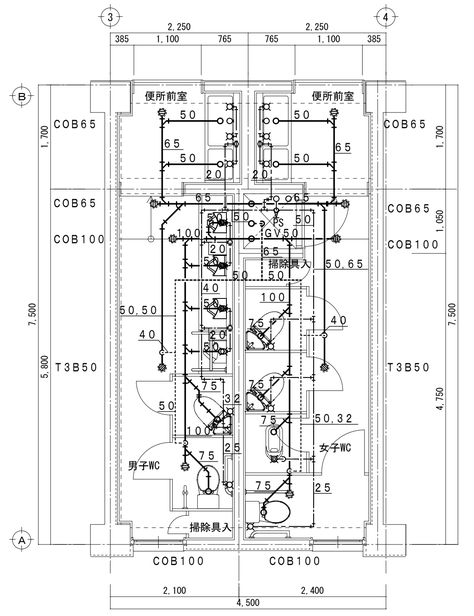
―――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。

撤去配管リスト

給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ
既設配管サイズ, ルートは参考とし, 現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為,
飛散防止措置を行い適切に撤去する事。

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子・前室便所	女子・前室便所
和風大便器	ＦＶ式, 紙巻器, 他付属品共		1
洋風便器	タンク式, 紙巻器, 他付属品共	2	3
ストール小便器	他付属品共	4	
水石鹸入れ	他付属品共	1	1
化粧鏡	３６３×４５５×５ｔ	2	2
横水栓		3	3
手すり		3	2

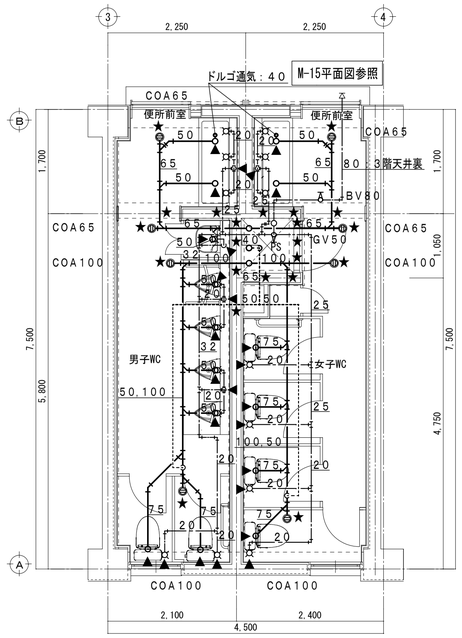


生徒用便所：2階前室・平面詳細図（改修前） １／50

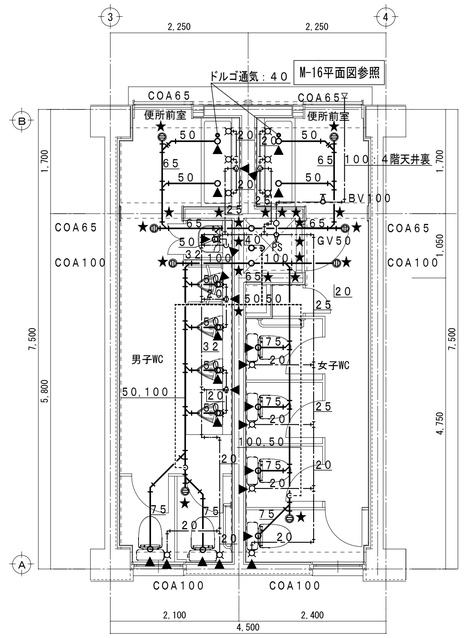
工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　生徒用便所：前室・平面詳細図（改修前）	A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

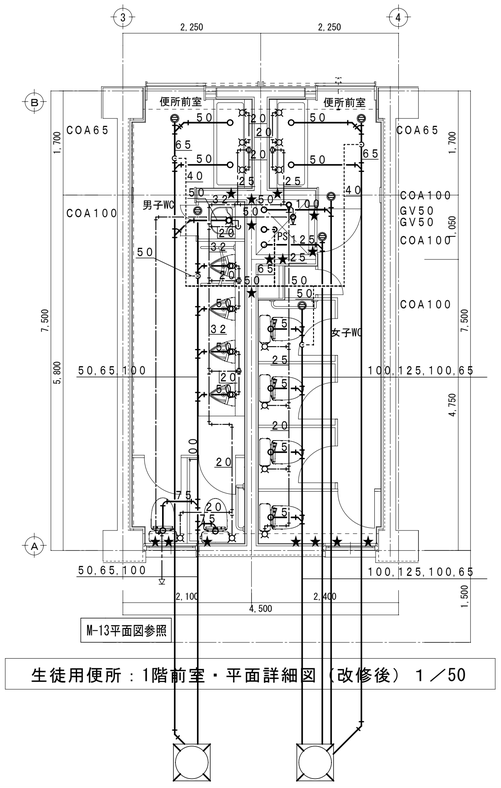
M－１８



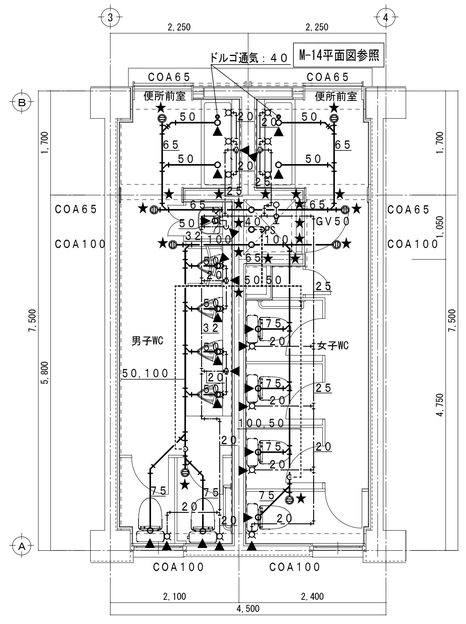
生徒用便所：3階前室・平面詳細図（改修後） １／50



生徒用便所：4階前室・平面詳細図（改修後） １／50



生徒用便所：1階前室・平面詳細図（改修後） １／50



生徒用便所：2階前室・平面詳細図（改修後） １／50

改修工事凡例

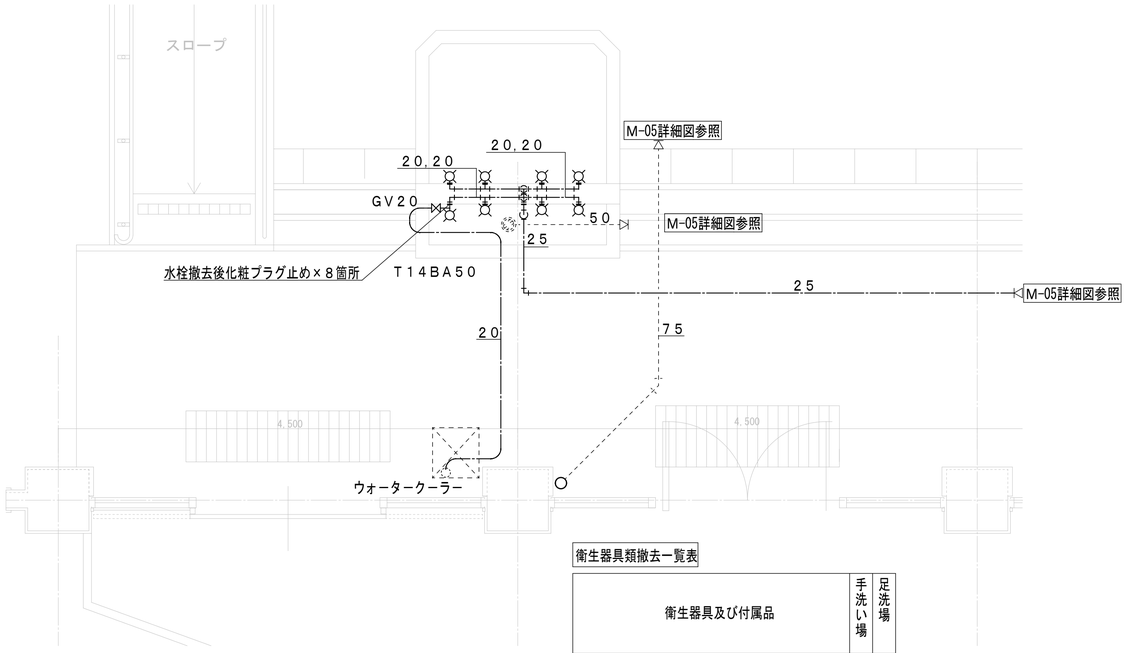
———	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⌑	給水栓
—Ⓜ	掃除口
—Ⓢ	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　生徒用便所：前室・平面詳細図（改修後） ★	★ A1: 1:50 A3: 1:100	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

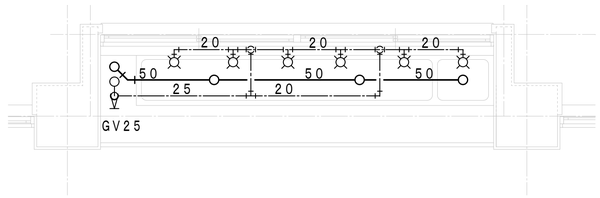
M－１９



衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品	手洗い場	足洗場
吐水口回転形胴長横水栓　　１３－Ｆ６	4	4

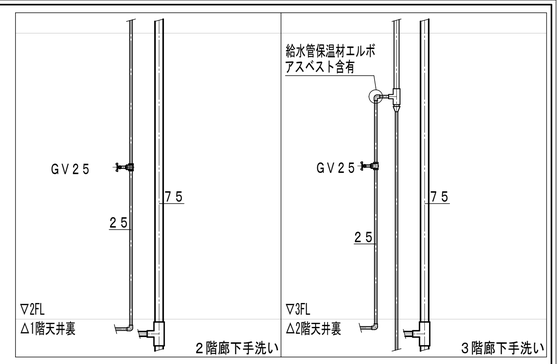
昇降口　平面詳細図（改修前）１／30



衛生器具類撤去一覧表　※昇降口棟（２，３階）：計２ヶ所

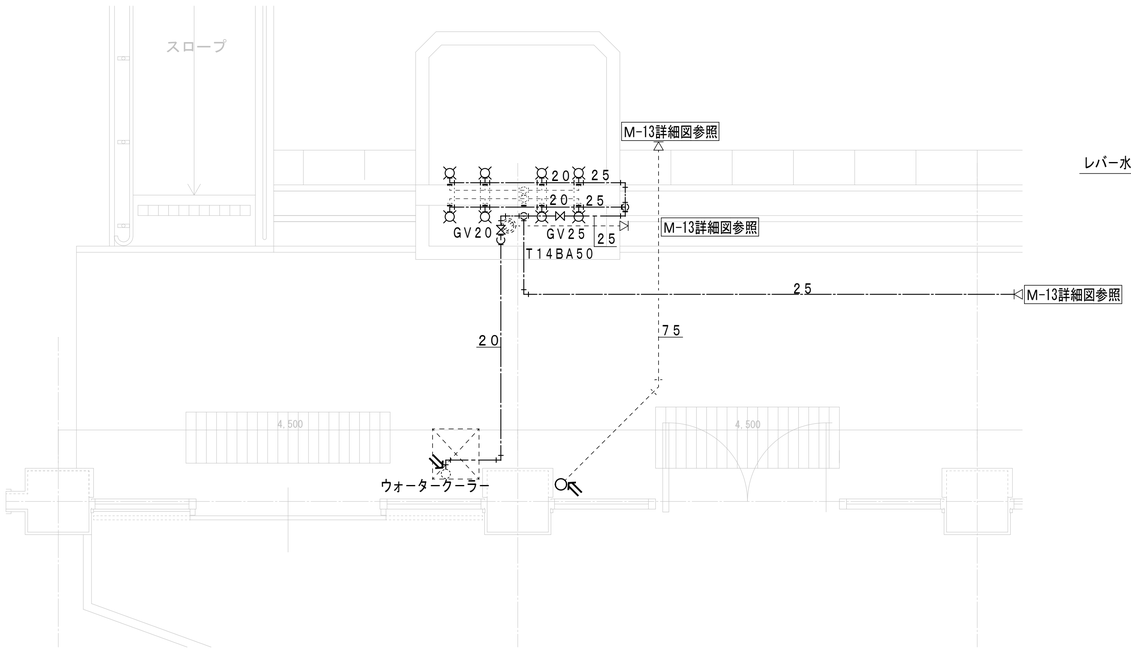
衛生器具及び付属品	２階廊下手洗い	３階廊下手洗い
吐水口回転形胴長横水栓　　１３－Ｆ６	6	6

廊下手洗い　平面詳細図（改修前）１／30

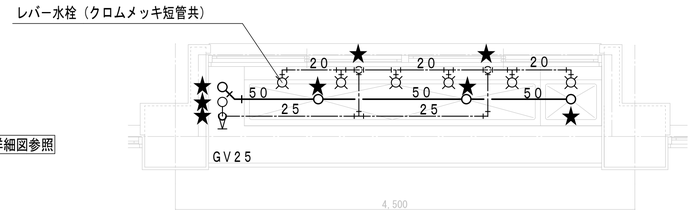


撤去工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁孔の穴埋めは建築工事とする。	
廊下手洗給水配管の保温材（エルボ部）に石綿が含有している為，飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

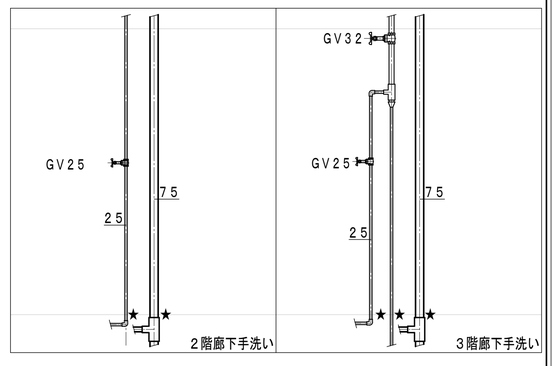


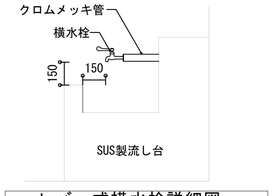
昇降口　平面詳細図（改修後）１／30



※昇降口棟（２，３階）：計２ヶ所

廊下手洗い　平面詳細図（改修後）１／30





レバー式横水栓詳細図
（各手洗1箇所　各所共通）

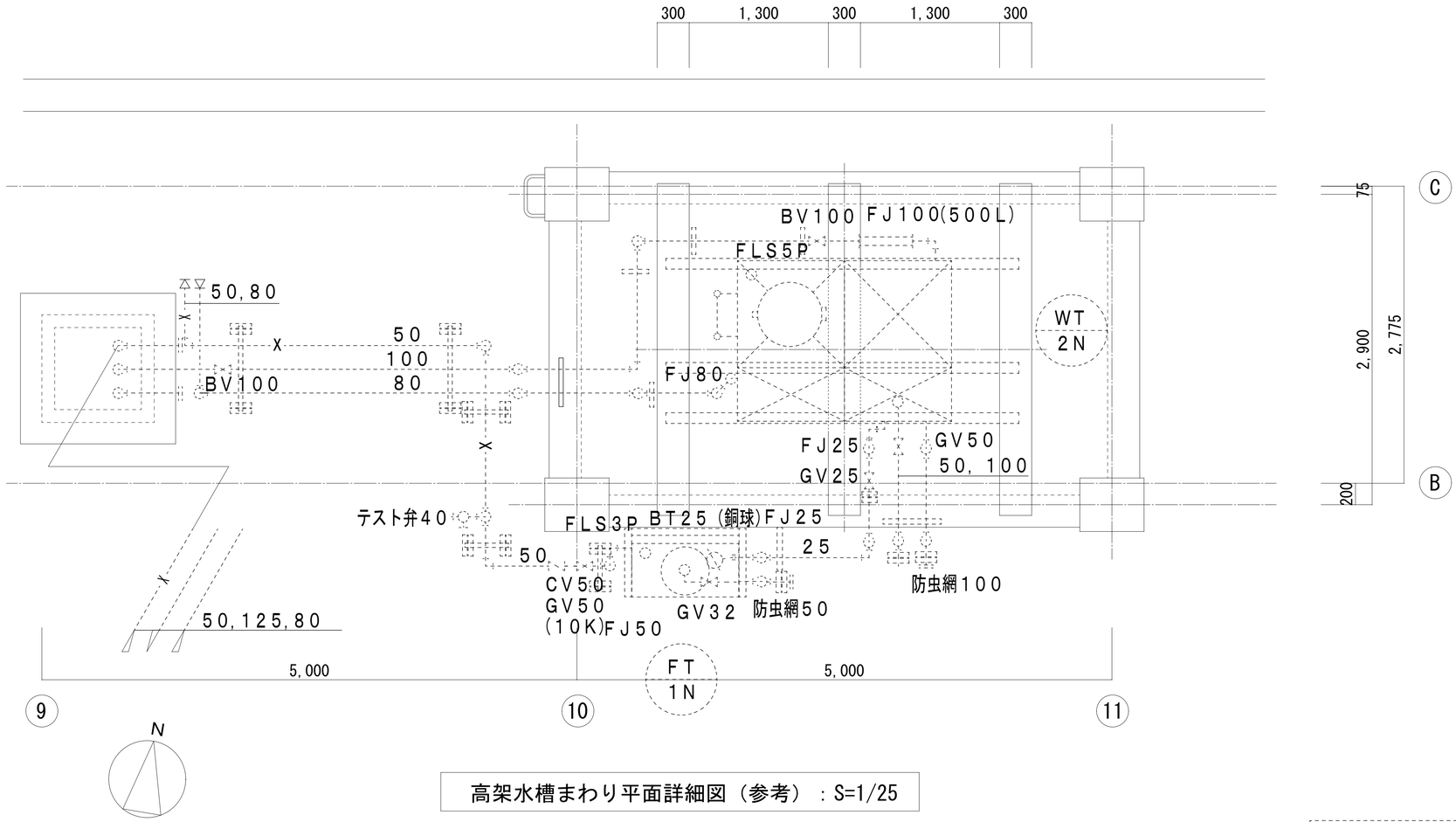
改修工事凡例

―――	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⊠	給水栓
⊟	掃除口
⊟	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
廊下手洗い屋外露出排水管はカラーVPとすること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）★	機械設備　給排水衛生設備 普通教室棟　廊下手洗い・昇降口平面詳細図（改修前・改修後）★	A1：1:30 A3：1:60 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２０



高架水槽まわり平面詳細図（参考）：S=1/25

WT-2Nまわり		
揚水	FJ(750L)80	
給水	FJ(500L)100	BV100
	FJ(300L)25	GV25
ドレン	GV50	
オーバー	防虫網100	
電極	FLS5P	

ＦＪはＳＵＳ製

FT-1Nまわり		
補給水	FJ(300L)25	
	BT25(銅球)	
消火	FJ(500L)50	
	GV50 CV50	
ドレン	GV32	
オーバー	防虫網50	
電極	FLS3P	

ＦＪはＳＵＳ製

- - - - - - -	既設を示す。
給水管：埋設管　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
給水管：その他　硬質塩ビライニング鋼管：ＶＬＰ	
排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
通気管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
排水器具接続管：排水用鉛管ＬＰ	
給湯管：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	
ガス管：埋設管　外面被覆鋼管	
ガス管：その他　配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	

工事名称
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）

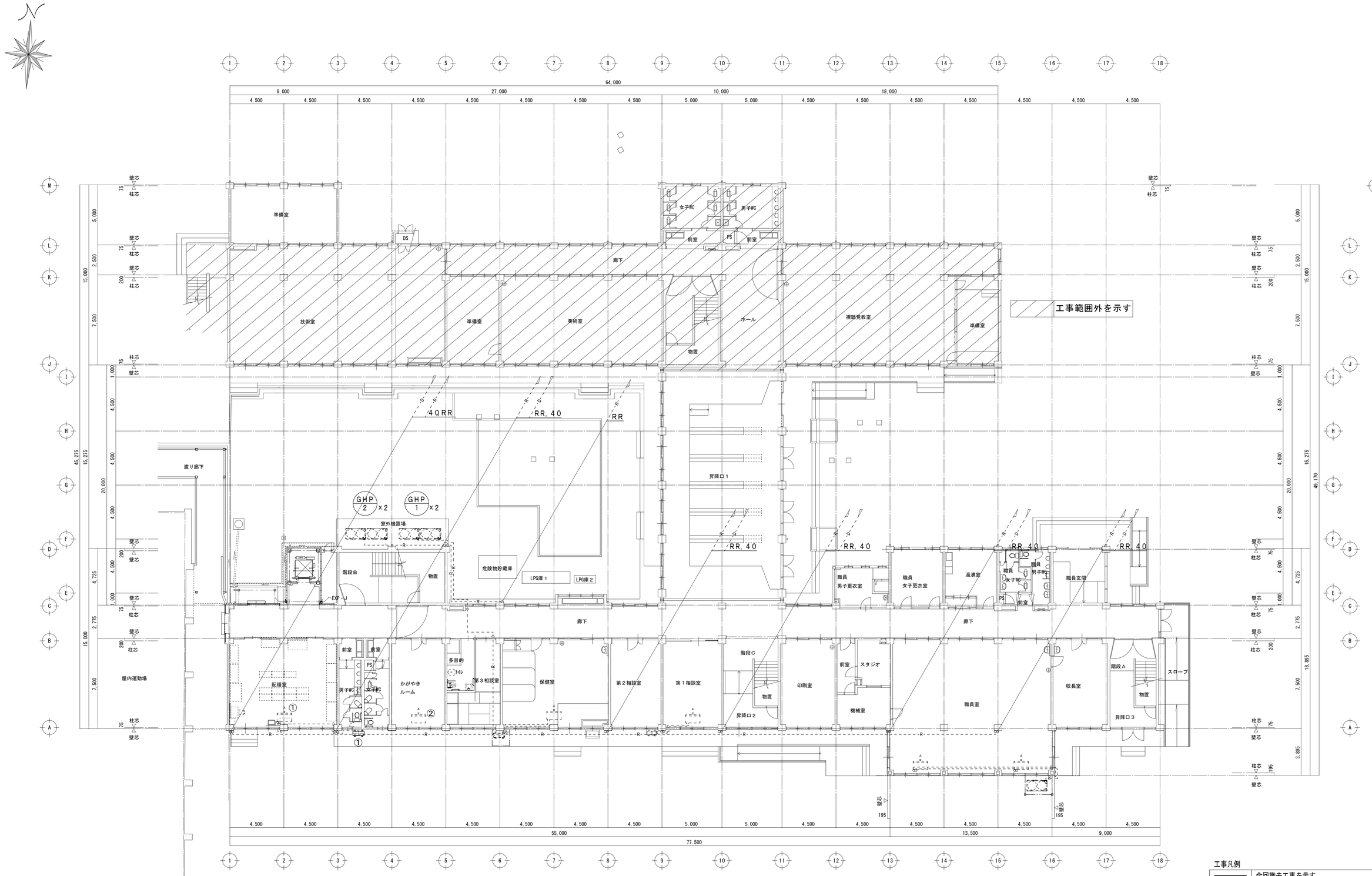
図面名称
★ 機械設備　給排水衛生設備
★ 高架水槽：平面詳細図（参考）

縮尺
★ A1：1:50
A3：1:100

日付	訂正	担当	承認	備考
★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－２１



①	室外機：６馬力取外し（冷房能力１４．０ｋW,暖房能力１６．０ｋW） 冷媒管（９．５φ,１５．９φ）,渡り配線（EM－CE２．０－３C）：取外し 冷媒ガスはポンプダウンを行い,室外機に冷媒ガスを回収後取外しの事。

※配膳室エアコンは令和８年８月２９日までに復旧すること。

１階平面図（改修前）　1/150

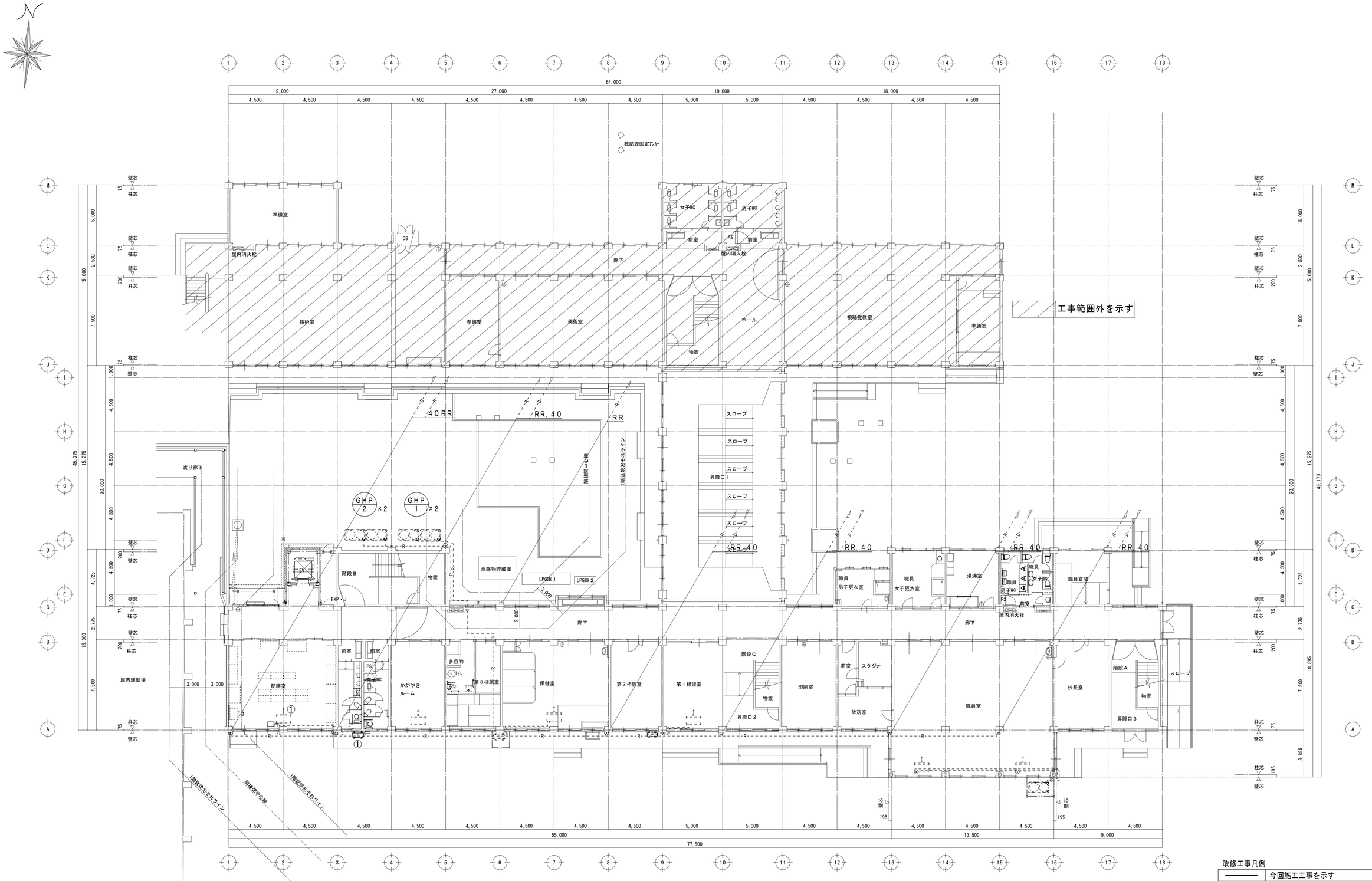
工事凡例

―――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管	
ドレン管：硬質塩化ビニル管ＶＰ	
既設配管サイズ,ルートは参考とし,現場確認の上施工の事。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	★ 機械設備　空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修前）	★ A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２２



①	室外機：６馬力再取付（冷房能力１４．０ｋW,暖房能力１６．０ｋW） 冷媒管（９．５φ,１５．９φ),渡り配線（EM－CE２．０－３C）：再取付 冷媒ガス復帰は窒素ガスにて清掃後、冷媒ガスを復旧すること。

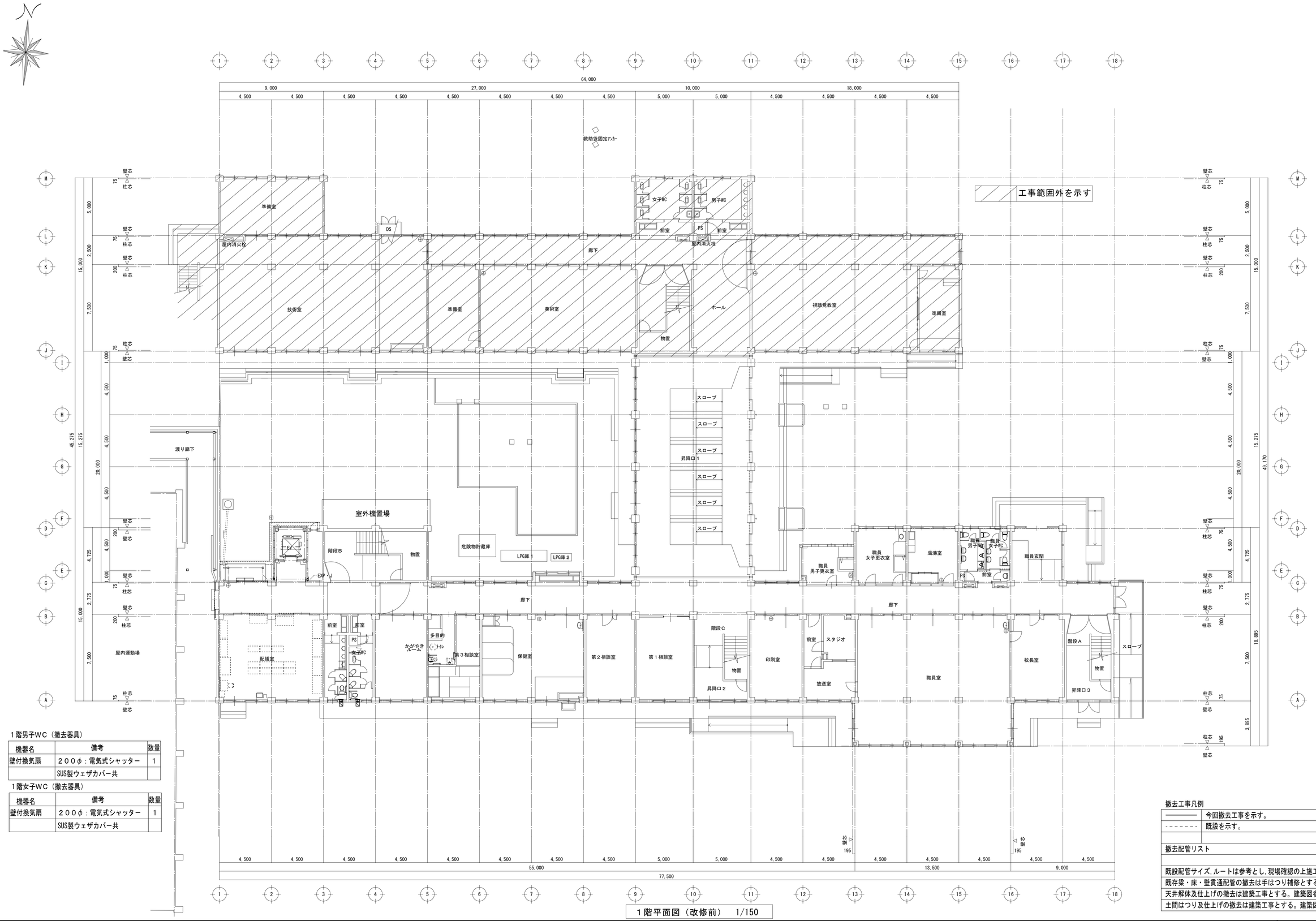
※配膳室エアコンは夏休み期間に施工し、令和８年８月２９日までに復旧すること。

１階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考	
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　空調設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫
★	★	★						M－２３



１階男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

１階女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

撤去工事凡例

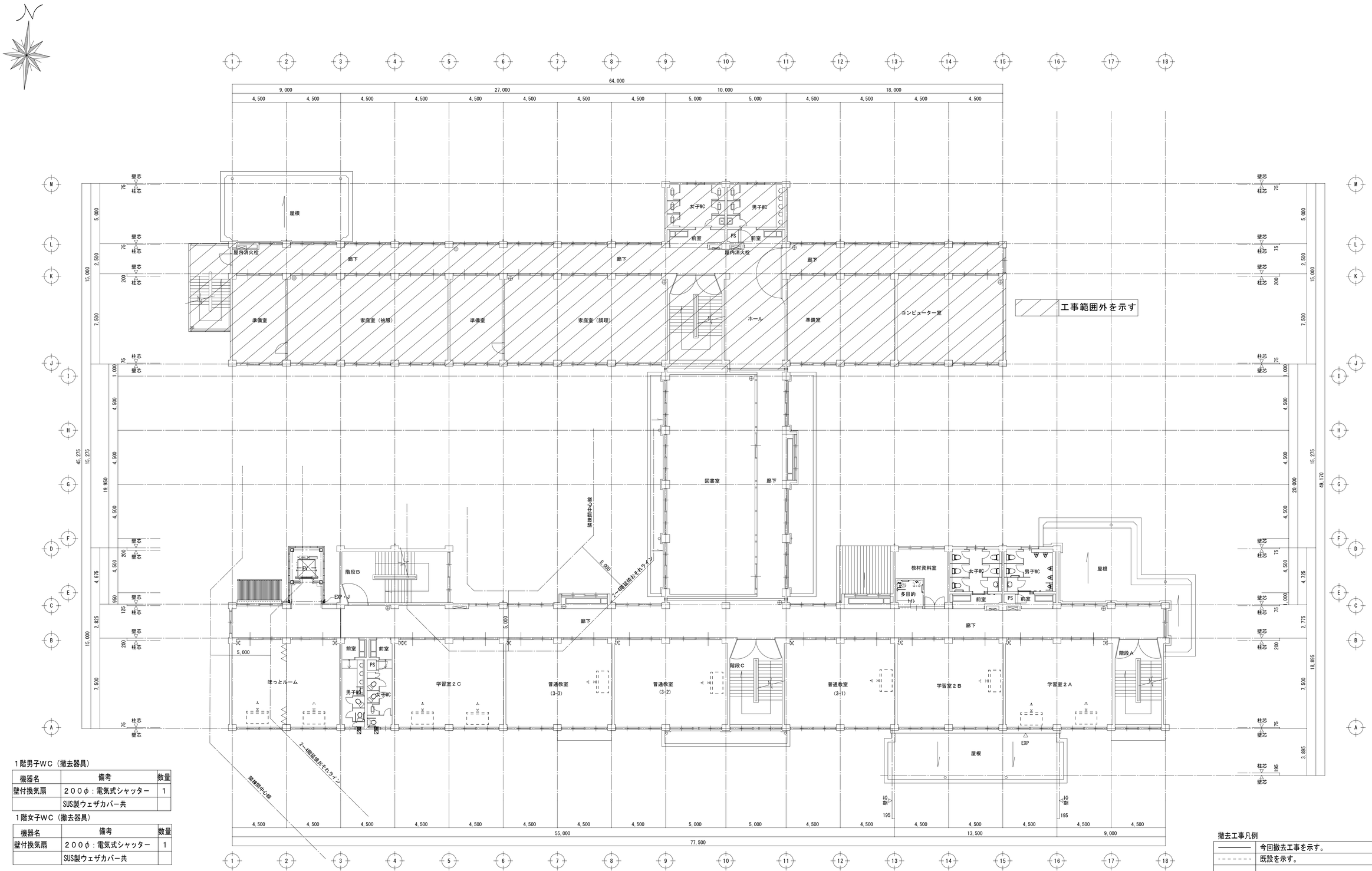
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

１階平面図（改修前）　1/150

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	★ 機械設備　換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修前）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤 川 設 計 株 式 会 社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２４



２階平面図（改修前）　1／150

１階男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

１階女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

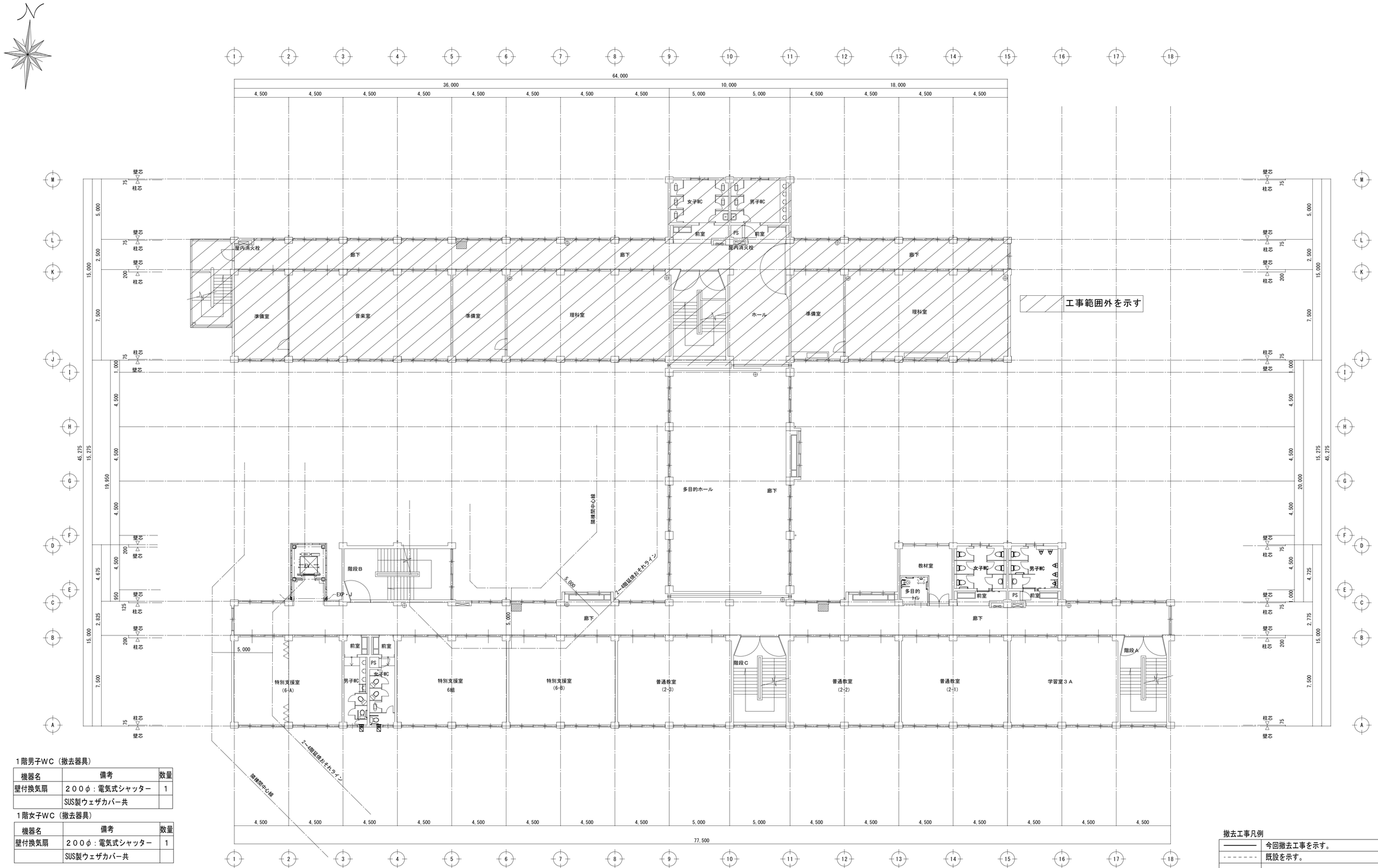
撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）★	機械設備　空調・換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修前）★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２５



１階男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

１階女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

３階平面図（改修前）　1/150

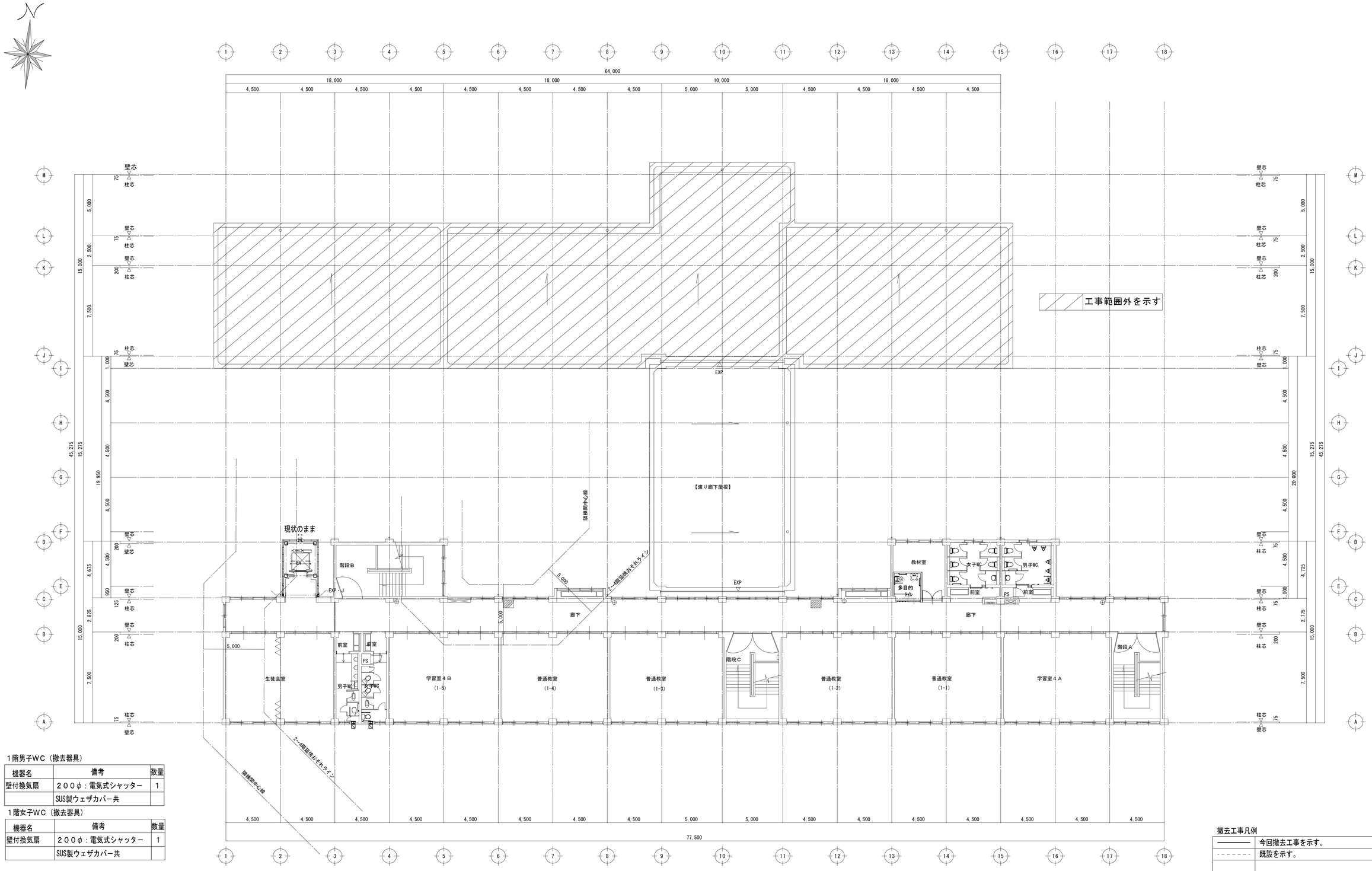
撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修前）	A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－２６



4階平面図（改修前）　1/150

1階男子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

1階女子WC（撤去器具）

機器名	備考	数量
壁付換気扇	２００φ：電気式シャッター	1
	SUS製ウェザカバー共	

撤去工事凡例

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
既設配管サイズ，ルートは参考とし，現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
天井解体及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

工事名称
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）

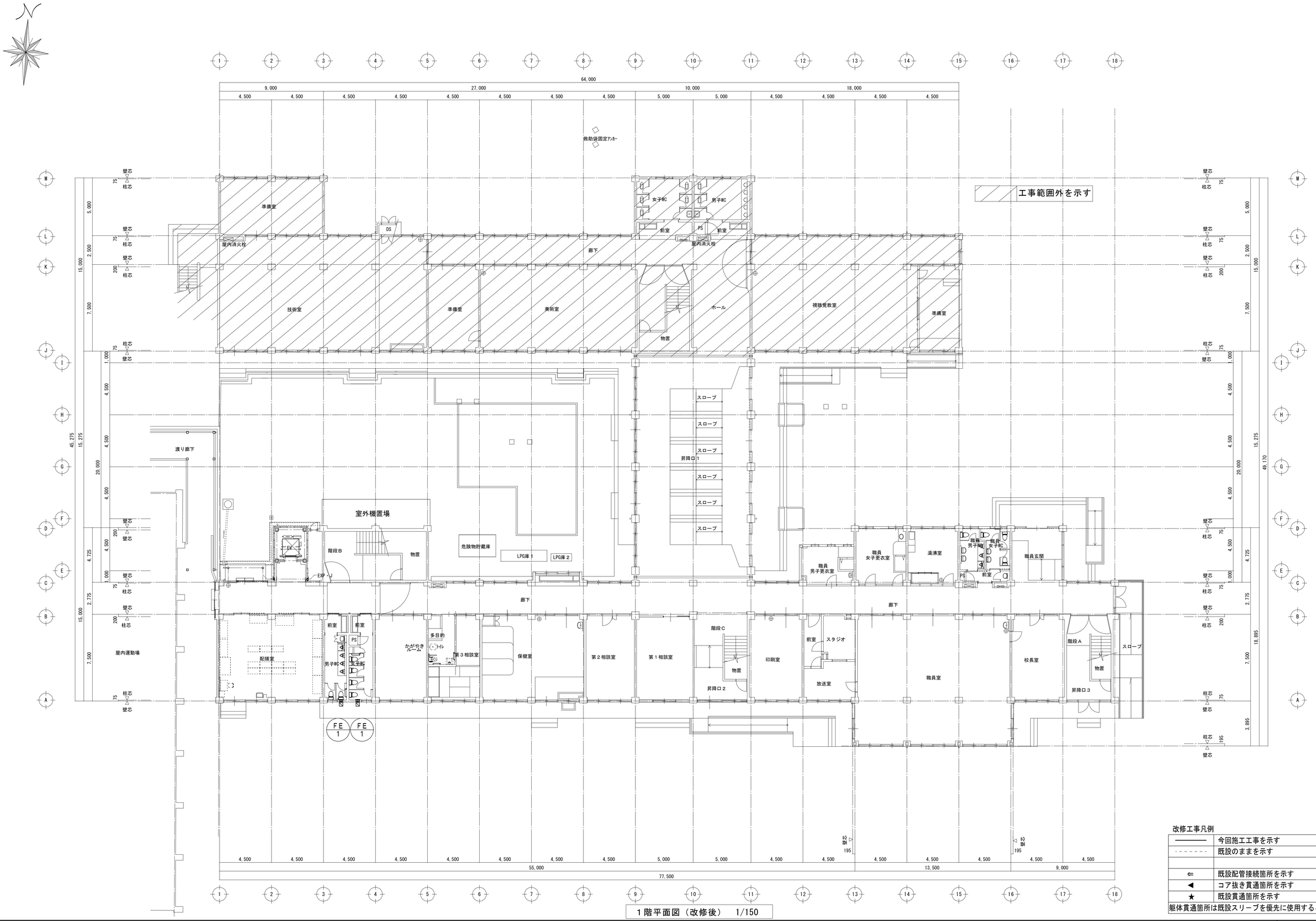
図面名称
★ 機械設備　換気設備
普通教室棟：４階平面図（改修前）

縮尺
★ A1：1:150
A3：1:300

日付 ★　訂正 ★　担当 ★　承認 ★　備考 ★

藤 川 設 計 株 式 会 社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－２７



1階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

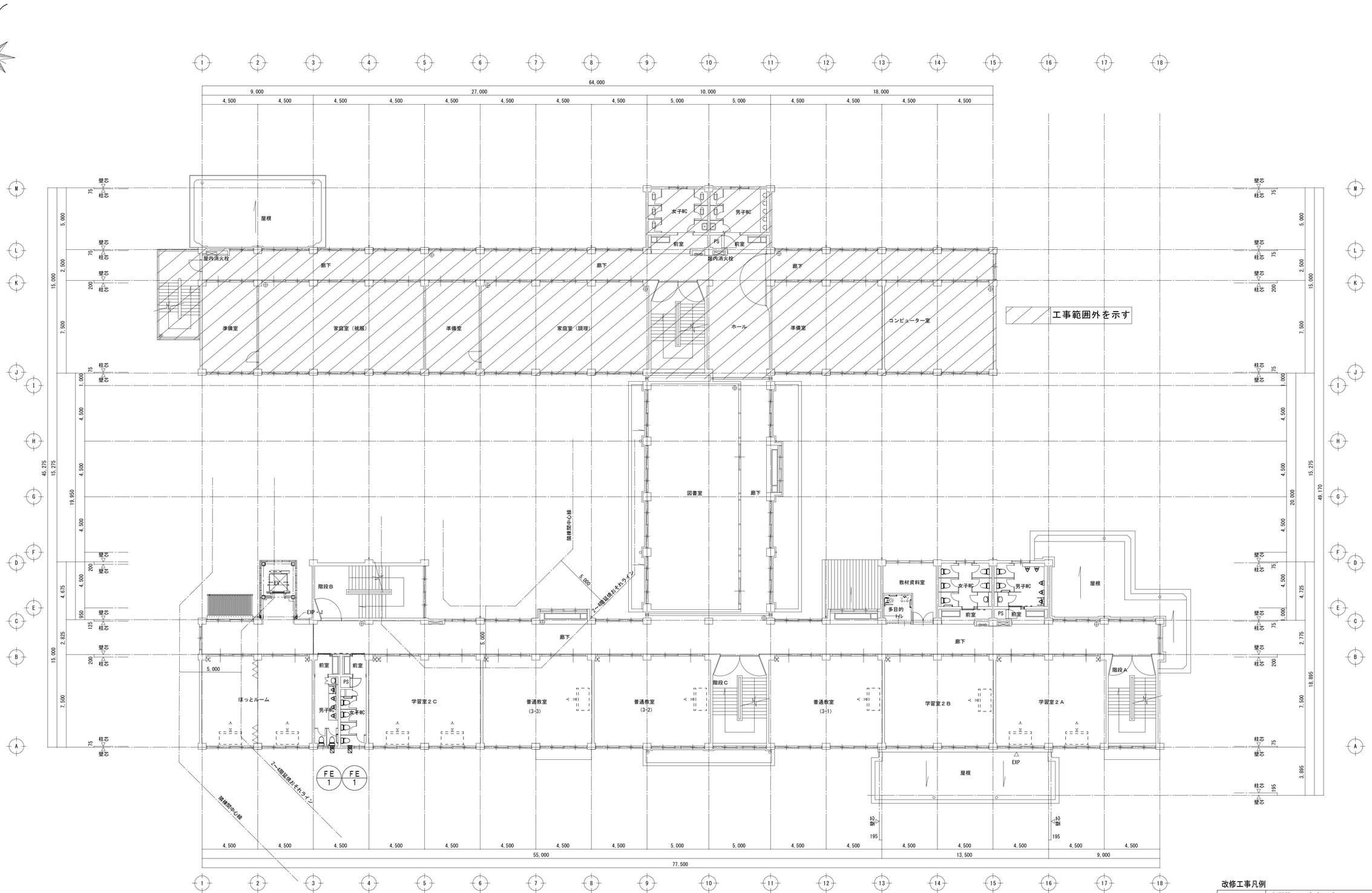
———	今回施工工事を示す
- - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　換気設備 普通教室棟：１階平面図（改修後）	A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２８



２階平面図（改修後）　1／150

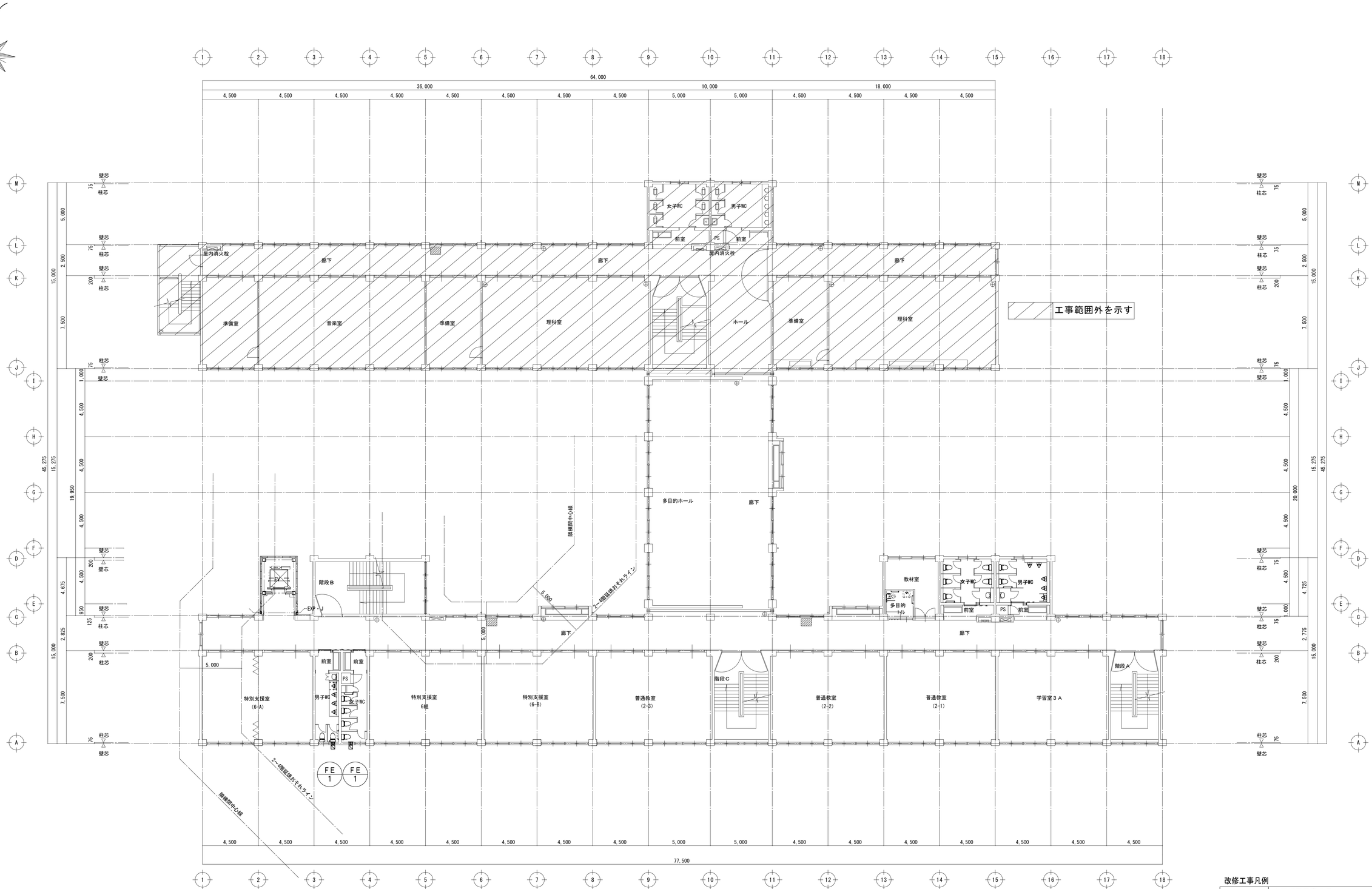
改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事） ★	機械設備　空調・換気設備 普通教室棟：２階平面図（改修後） ★	A1：1:150 A3：1:300 ★	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社　一級建築士登録　２２２５５１　田中　富士夫

M－２９



３階平面図（改修後）　1/150

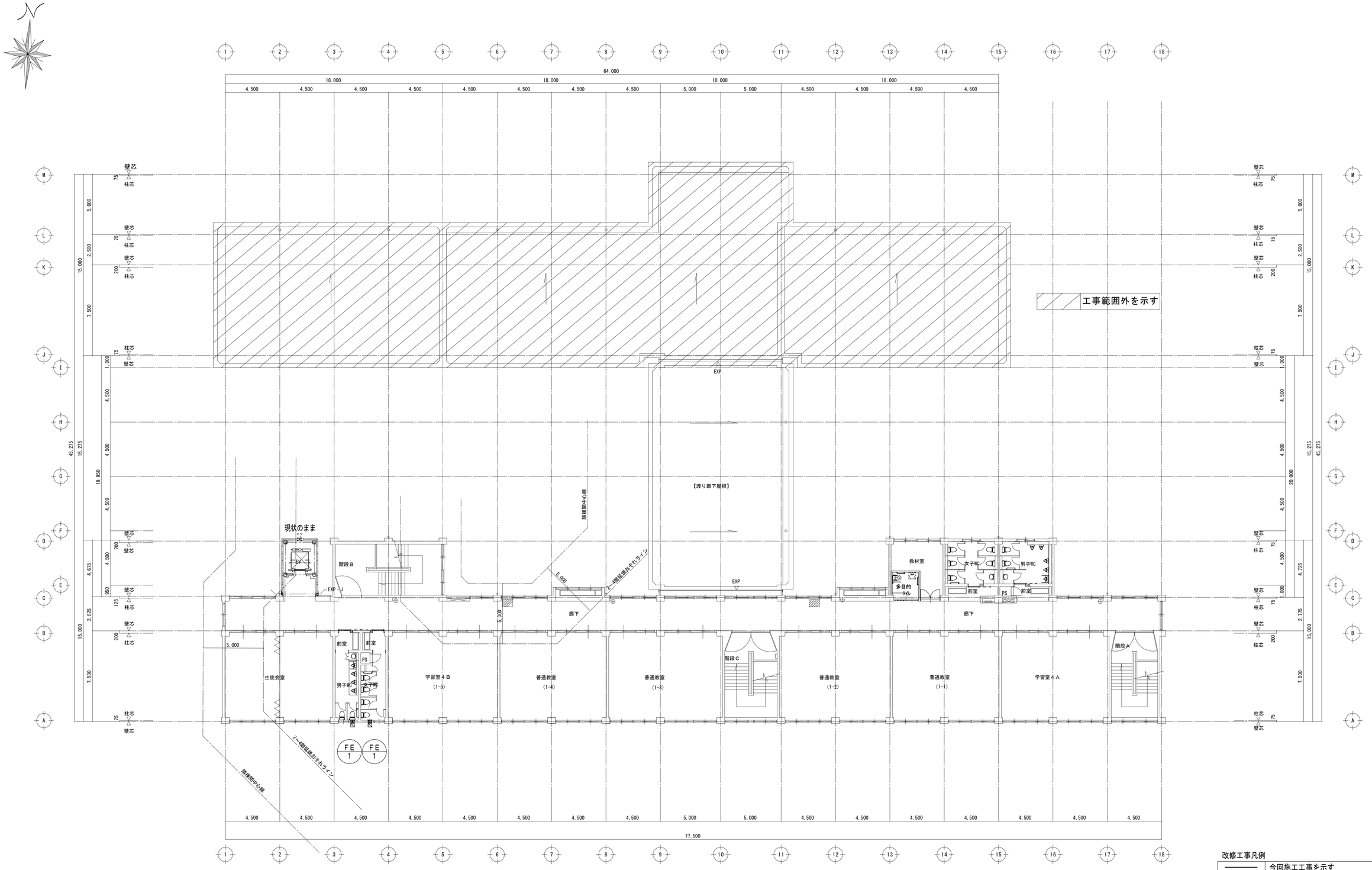
改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考
★ 桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	★ 機械設備　換気設備 普通教室棟：３階平面図（改修後）	★ A1：1:150 A3：1:300	★	★	★	★	★

藤川設計株式会社
一級建築士登録　２２２５５１
田中　富士夫

M－３０



４階平面図（改修後）　1/150

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - - -	既設のままを示す
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

工事名称	図面名称	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考		
桜中学校管理教室棟長寿命化改修工事（２期工事）	機械設備　換気設備 普通教室棟：４階平面図（改修後）	A1: 1:150 A3: 1:300	★	★	★	★	★	藤川設計株式会社 一級建築士登録　２２２５５１ 田中　富士夫	M－３１